

令和4年度

大学教育・学生支援機構  
報告書



群馬大学  
GUNMA UNIVERSITY

# 「令和4年度群馬大学大学教育・学生支援機構」報告書

## 発刊にあたって

大学教育・学生支援機構

副機構長 渡 辺 秀 司

群馬大学大学教育・学生支援機構は平成18年度に発足し、主に大学教育の企画・運営・改善・評価を担当する大学教育センター、学生の大学生活・就職活動を支援する学生支援センター、入学者選抜と学生募集に係る広報を担当するアドミッションセンター、学生及び大学教職員の心身の健康保持増進を図る健康支援総合センター、大学教育全体の改革を推進する教育改革推進室の4センター・1室で構成されています。令和2年度には、教育の内部質保証を推進し、教育内容・教育方法改善・成績評価等の組織的チェックを強化するために教育アセスメント委員会を設置し、その後、オープンバッジ管理室も設置いたしました。また令和5年度には、大学教育センター学部教務委員会に属していた外国語教育部会と国際センターに属していた国際交流委員会に加えて、さらにグローバル人材育成推進委員会をも統合することによりグローバルイニシアチブセンターを新たに設置する予定です。総合情報メディアセンターも、学生の修学に必須の組織として本機構と連携して活動しております。これら全ての組織は、群馬大学の教育業務を基幹的に担う重要な組織です。

令和4年度は、今後6年間に亘って新たに始まる第四期中期目標の最初の年度になると同時に、機関毎に実施される機関別認証評価を受審した年度でもありました。以前に構築した大学教育、人材育成の充実に向けた教学マネジメント体制に基づいて、令和4年度では大学教育の内部質保証のPDCAサイクルによる自己点検を実施して、教育改善の取組みを引き続いて実施しました。他方、大学全体においても、群馬大学教育学部と宇都宮大学教育学部の両学部の緊密な連携・協力に基づいた共同教育学部を令和2年度に設置し、続いて令和3年度には、これからの社会に欠かせないデータサイエンスを担う人材育成を目指した文理融合型の情報学部を設置致しました。さらに、令和3年度は文部科学省から認定を受けた「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」を、令和4年度以降は「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」をそれぞれ実施しています。これは新入生全員を対象とした必修の教育プログラムです。

本学の教育・研究の質を更に一層高め、本学が地域に根ざした知的な創造を通じて世界の最先端へとチャレンジし、社会と連携して21世紀を切り開いていく大学であることを示す必要があります。そのため、令和4年度における取組みをここに纏め、その総括と課題の抽出を進めていくために本報告書を作成することには大きな意義があります。報告書を纏め、評価と企画の基礎となるデータの系統的整理を行っていくことは、教学のPDCAサイクルを実行していく上でも基本となる作業です。

最後になりますが、本報告書の作成に当たり、編集にご協力を戴いた教職員の方々、また執筆して戴いた教職員の方々に深く感謝申し上げます。

## 目次

## 巻頭言

目次	1
1 大学教育・学生支援機構の組織	1
1.1 大学教育・学生支援機構の組織図	1
1.2 大学教育・学生支援機構構成員	2
1.3 教員による地域貢献事業	9
2 大学教育センター	12
2.1 教養教育部会	12
2.1.1 はじめに	12
2.1.2 令和4年度活動概要	12
2.1.3 令和4年度活動内容	12
2.2 外国語教育部会	15
2.2.1 はじめに	15
2.2.2 英語習熟度別クラス編成とプレイスメントテスト	15
2.2.3 英語アチーブメントテスト	16
2.2.4 Can-do Statement の実施	16
2.2.5 英語 101・英語 102	17
2.2.6 英語 201・英語 202	18
2.2.7 英語 111・英語 112	18
2.2.8 ポートフォリオへの記入	19
2.2.9 理工学部推薦入試入学生英語課題テスト	20
2.2.10 希望者受験用 TOEIC-IP,TOEFL ITP テスト	20
2.2.11 ドイツ語技能検定試験・フランス語技能検定試験	20
2.2.12 ドイツ語・フランス語の共通アチーブメントテスト	21
2.2.13 総括	22
3 学生支援センター	23
3.1 入学料免除及び徴収猶予	23
3.1.1 免除申請者数, 免除者数	23
3.1.2 徴収猶予申請者数, 徴収猶予者数	23
3.2 授業料免除及び徴収猶予	23
3.2.1 免除申請者数, 免除者数	23
3.2.2 徴収猶予申請者数, 徴収猶予者数	24
3.3 寄宿料免除	24
3.3.1 免除申請者数, 免除者数	24
3.4 奨学金	24

3.4.1	日本学生支援機構奨学生数（令和4年10月1日現在）	24
3.5	学生相談体制及び学生相談	24
3.5.1	学生相談体制	25
3.5.2	主な相談事項	25
3.5.3	学生相談実態調査アンケートの実施及び活用	25
3.6	授業欠席状況調査	25
3.6.1	授業欠席者数及び主な欠席理由	25
3.6.2	実施方法，時期	25
3.7	障害学生への支援	26
3.7.1	支援内容	26
3.8	学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険	26
3.8.1	加入者数	26
3.8.2	請求種別保険金請求件数	27
3.9	通学証明書，旅客運賃割引証	27
3.9.1	発行枚数及び主な発行理由	27
3.10	学生寮	27
3.10.1	養心寮入寮者数	27
3.10.2	啓真寮入寮者数	27
3.11	生活支援施設	28
3.11.1	食堂	28
3.11.2	売店	28
3.12	課外活動施設	28
3.12.1	体育施設	28
3.12.2	文化施設	30
3.12.3	課外活動共用施設	30
3.12.4	合宿所	30
3.13	学生団体及び主な活動	31
3.13.1	学生団体	31
3.13.2	大学祭	31
3.13.3	関東甲信越大学体育大会	31
3.13.4	クラブ・サークルリーダーシップ研修会	31
3.14	学生の就職支援	32
3.14.1	進路状況及び主な就職先	32
3.14.2	全学就職ガイダンス・セミナーの開催	32
3.14.3	キャリアカウンセリングの充実	32
3.14.4	キャリアサポート室における情報収集環境の充実	33

3.14.5	就職支援の体制強化の充実 .....	33
3.15	キャンパスニュース群の発行 .....	33
3.16	事件・事故 .....	33
4	アドミッションセンター .....	34
4.1	機動的で一体化した本格的な学生受入のための組織体制の整備 .....	34
4.2	大学入学共通テストへの対応と新型コロナウイルス感染症に対する入試対応 .....	34
4.3	入学者の選抜方法改善と追跡調査 .....	34
4.4	オープンキャンパス等 .....	35
4.4.1	群馬大学 Web オープンキャンパス「GU'DAY2022」【Web 配信】 .....	35
4.4.2	学部別オープンキャンパス .....	35
4.4.3	学生広報大使トークライブ（第二弾「受験生応援編」） .....	36
4.5	高大連携活動 .....	36
4.6	学生募集に係わるその他の広報活動 .....	36
4.6.1	高等学校等の教員を対象とした説明会 .....	36
4.6.2	群馬県高等学校長協会との意見交換会 .....	37
4.6.3	大学説明会・進学相談会・オンライン個別進学相談会 .....	37
4.6.4	夢ナビライブ .....	37
4.6.5	出張模擬授業 .....	37
4.6.6	高校訪問 .....	37
4.6.7	大学見学受入 .....	38
4.6.8	大学案内等のダイレクトメール，郵送など .....	38
4.6.9	ウェブサイト等による広報 .....	38
4.6.10	学生広報大使による広報 .....	38
4.7	広報戦略の立案 .....	38
4.8	その他 .....	38
5	健康支援総合センター .....	40
5.1	はじめに .....	40
5.2	令和4年度実施事業 .....	40
5.2.1	学生定期健康診断の実施 .....	40
5.2.2	精神保健調査の実施 .....	41
5.2.3	学校生活に関する困りごと調査の実施 .....	41
5.2.4	学生特殊健康診断の実施 .....	41
5.2.5	外国人留学生健康診断の実施 .....	41
5.2.6	自殺予防対策ワーキンググループの活動 .....	42
5.3	健康支援総合センター利用状況 .....	42
5.3.1	利用人数及び件数 .....	42

5.3.2	健康相談の対応内容別件数及びカウンセリング報告	42
5.3.3	疾病領域別利用者数	43
5.3.4	診療科別医療機関紹介件数	43
5.3.5	薬剤別処方日数	43
5.3.6	桐生地区・保健室利用状況	43
5.3.7	昭和地区・学生健康相談室利用状況	43
5.3.8	キャンパス・ソーシャルケースワーカーによる活動	43
5.4	教育関連活動	43
5.5	健康管理に関する調査研究活動	44
5.6	健康支援総合センター主催の委員会等	44
5.7	健康支援総合センターの全国会議等出席	44
5.8	学内行事実施に伴う救護業務	45
5.9	出版・広報活動	45
5.10	社会貢献活動	46
5.11	産業保健活動	46
5.11.1	安全衛生委員会	46
5.11.2	職員の定期健康診断	47
5.11.3	スタッフカウンセリング	47
5.12	通常業務以外の支援業務	47
5.13	健康支援総合センターの現状及び今後の方向性	47
6	教育改革推進室	48
6.1	教育課程・学習成果に関する取り組み	48
6.2	内部質保証に関する取り組み	48
6.3	その他の取り組み	48
6.3.1	ベストティーチャー賞	48
6.3.2	第14回全学FD連続講演会「大学教育のグランドデザイン」	49
7	資料編	50
7.1.1	令和4年度前期授業評価「学びのリテラシー(1)」集計表	50
7.1.2	令和4年度後期授業評価「学びのリテラシー(2)」集計表	88
7.1.3	令和4年度前期授業評価「データ・サイエンス」集計表	100
7.1.4	令和4年度前期授業評価「データ・サイエンス」(オンデマンド)集計表	115
7.1.5	表1 プレイスメントテスト結果推移	121
7.1.6	表2 TOEIC-IP結果	122
7.1.7	表3 Can-do Statement	122
7.1.8	図1 Can-do Statement 令和3年度、4年度の変化	123
7.1.9	表4 英語101、102 ルーブリック	124

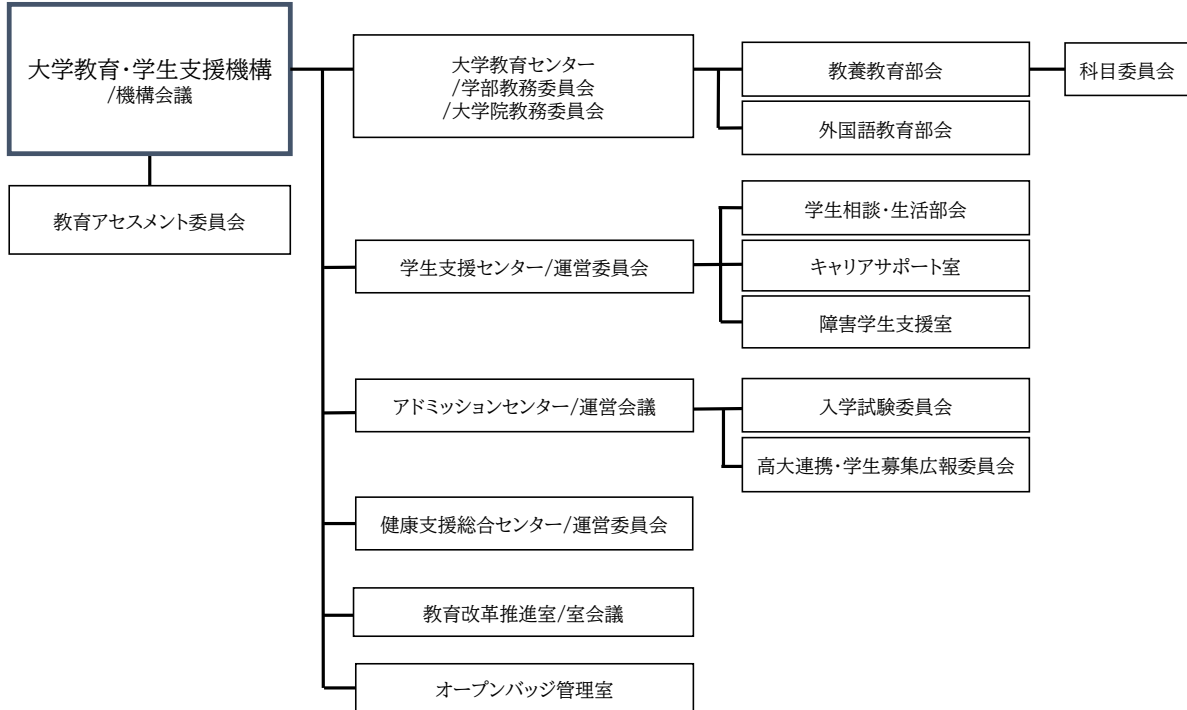
7.1.10	図2 課題テスト結果推移 .....	124
7.1.11	資料 3.1.1 : 令和4年度入学科免除 .....	125
7.1.12	資料 3.1.2 : 令和4年度入学科徴収猶予実施状況 .....	125
7.1.13	資料 3.2.1 : 令和4年度授業料免除 .....	127
7.1.14	資料 3.2.2 : 令和4年度授業料徴収猶予実施状況 .....	128
7.1.15	資料 3.4.1 : 日本学生支援機構奨学生数 (令和4年10月1日現在) .....	129
7.1.16	資料 3.6.1 : 令和4年度学部1~3年次生欠席状況調査一覧 (後期) .....	130
7.1.17	資料 3.8.1 : 令和4年度学生教育研究災害傷害保険, 学研災付帯賠償責任保険 加入者数 .....	131
7.1.18	資料 3.8.2 : 令和4年度学生教育研究災害傷害保険, 学研災付帯賠償責任保険請求種別別保険金請求件数 .....	132
7.1.19	資料 3.9.1 : 令和4年度通学証明書発行枚数, 学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由 .....	132
7.1.20	資料 3.13.1 : 令和4年度 クラブ・サークル一覧 .....	133
7.1.21	資料 3.14.1 : 令和4年度 進路状況及び主な就職先 .....	134
7.1.22	資料 4-1 : 2022年度 学生募集広報まとめ .....	143
7.1.23	資料 4-2 : 2022年度 高大連携まとめ .....	148
7.1.24	資料 4-3 : 「夢ナビライブ 2022Web in Summer」参加報告 (アドミッションセンター-高大連携・学生募集広報委員会 (令和4 (2022) 年9月13日開催) 【資料 5-1】) .....	152
7.1.25	資料 4-4 : 「夢ナビライブ 2022Web in Autumn」参加報告 (アドミッションセンター-高大連携・学生募集広報委員会 (令和4 (2022) 年11月16日開催) 【資料 4-1】) .....	154
7.1.26	資料 5-1-1 : 令和4年度 荒牧・昭和地区学生定期健康診断日程表 .....	156
7.1.27	資料 5-1-2 : 令和4年度 桐生地区学生定期健康診断日程表 .....	156
7.1.28	資料 5-2-1 : 令和4年度 学生定期健康診断受検状況 (荒牧・昭和地区) .....	158
7.1.29	資料 5-2-2 : 令和4年度 学生定期健康診断受検状況 (桐生地区) .....	158
7.1.30	資料 5-3 : 令和4年度 学生定期健康診断結果 .....	160
7.1.31	資料 5-4 : 令和4年度 精神保健調査結果 .....	161
7.1.32	資料 5-5 : 令和4年度 新入生の「学校生活に関する困りごと調査」結果 .....	162
7.1.33	資料 5-6 : 令和4年度 学生特殊健康診断結果 .....	163
7.1.34	資料 5-7 : 令和4年度 外国人留学生特別健康診断結果 .....	164
7.1.35	資料 5-8 : 令和4年度 健康支援総合センター利用状況 .....	165
7.1.36	資料 5-9 : 令和4年度 健康相談の対応内容 .....	166
7.1.37	資料 5-10 : 令和4年度 ころの健康相談者数 .....	167
7.1.38	資料 5-11 : 令和4年度 公認心理師による心理カウンセリング報告 .....	168
7.1.39	資料 5-12 : 令和4年度 疾病領域別利用者数 .....	169
7.1.40	資料 5-13 : 令和4年度 診療科別医療機関紹介件数 .....	170

7.1.41	資料 5-14 : 令和 4 年度 薬剤別処方日数.....	171
7.1.42	資料 5-15 : 令和 4 年度 桐生地区・保健室利用状況.....	172
7.1.43	資料 5-16 : 令和 4 年度 昭和地区・学生健康相談室利用状況.....	173
7.1.44	資料 5-17 : 令和 4 年度 キャンパスソーシャル・ケースワーカー業務について.....	174
7.1.45	資料 6-1 : 教学 IR レター vol.5.....	175
7.1.46	資料 6-2 : 群馬大学全学学習ふりかえりアンケート調査集計表.....	177
7.1.47	資料 6-3 : 群馬大学全学卒業時アンケート調査集計表.....	183
7.1.48	資料 6-4 : 群馬大学大学院全学修了時アンケート調査 集計表.....	201
7.1.49	資料 6-5 : 大学教育センター学部教務委員会提出資料「2022 年度末実施各種学生アンケート結果のポイント」.....	229
7.1.50	資料 6-6 : 第 14 回全学 F D 連続講演会「大学教育のグランドデザイン」開催案内...231	
7.1.51	資料 6-7 : 教育改革推進室監修・群馬大学演劇部製作動画「徹底解説!!正しいレポートの書き方」.....	232



# 1 大学教育・学生支援機構の組織

## 1.1 大学教育・学生支援機構の組織図



## 1.2 大学教育・学生支援機構構成員

### 大学教育・学生支援機構

機構長	林 邦彦
副機構長	渡辺 秀司

### 大学教育センター

センター長	渡辺 秀司
副センター長	尾崎 広明
副センター長・教授	飯島 睦美 (R5.1～ 副センター長)
教授	ネウパネ・プラミラ
准教授	コントレラス・ジェフリー
准教授	高波 幸代
准教授	フーゲンブーム・レイモンド
准教授	ベルジュロン・シルバン
講師	磯崎 アンナ

### 学生支援センター

センター長	林 邦彦
副センター長・教授	結城 恵
副センター長・准教授	五味 洋一

### 障害学生支援室

室長	五味 洋一
----	-------

### キャリアサポート室

室長	結城 恵
----	------

### アドミッションセンター

センター長	板橋 英之
副センター長	杉山 学 (~R4.11)
副センター長	栗原 淳一 (R4.12~)
副センター長	富山 慶典

### 健康支援総合センター

センター長	齋藤 繁
副センター長・教授	竹内 一夫
講師	宮崎 博子

### 教育改革推進室

室長	林 邦彦
副室長	渡辺 秀司

准教授

二宮 祐

## 委員会等

## 大学教育・学生支援機構会議

委員	林 邦彦	大学教育・学生支援機構長
委員	渡辺 秀司	大学教育・学生支援機構副機構長
委員	結城 恵	学生支援センター 副センター長
委員	五味 洋一	学生支援センター 副センター長
委員	板橋 英之	アドミッションセンター センター長
委員	杉山 学	アドミッションセンター 副センター長（～R4.11）
委員	栗原 淳一	アドミッションセンター 副センター長（R4.12～）
委員	富山 慶典	アドミッションセンター 副センター長
委員	齋藤 繁	健康支援総合センター センター長
委員	竹内 一夫	健康支援総合センター 副センター長
委員	二宮 祐	教育改革推進室 准教授
委員	笠井 好之	学務部長

## 大学教育センター学部教務委員会

委員長	林 邦彦	理事（教育・評価担当）・副学長
委員	渡辺 秀司	理工学府
委員	飯島 睦美	大学教育・学生支援機構
委員	尾崎 広明	理工学府
委員	佐野 史	共同教育学部
委員	伊藤 賢一	情報学部
委員	松崎 利行	医学系研究科
委員	久田 剛志	保健学研究科
委員	長尾 辰哉	理工学府
委員	笠井 好之	学務部
委員	二宮 祐	大学教育・学生支援機構

## 大学教育センター大学院教務委員会

委員長	林 邦彦	理事（教育・評価担当）・副学長
委員	渡辺 秀司	理工学府
委員	飯島 睦美	大学教育・学生支援機構（R5.1～）
委員	小林 英樹	共同教育学部
委員	音山 若穂	共同教育学部
委員	石川 真一	情報学部
委員	鯉淵 典之	医学系研究科
委員	筑田 博隆	医学系研究科
委員	齋尾 征直	保健学研究科

委員	細井 秀樹	理工学府
委員	笠井 好之	学務部
委員	浅尾 高行	数理データ科学教育研究センター
委員	鳥居 征司	食健康科学教育研究センター
委員	二宮 祐	大学教育・学生支援機構

大学教育センター教養教育部会

部会長	尾崎 広明	理工学府
部会員	飯島 睦美	大学教育・学生支援機構
部会員	津久井 貴之	共同教育学部
部会員	岩井 淳	情報学部
部会員	茂木 精一郎	医学系研究科
部会員	小澤 厚志	保健学研究科
部会員	天谷 賢児	理工学府
部会員	柴田 孝之	保健学研究科
部会員	京免 徹	理工学府
部会員	柴田 博仁	情報学部
部会員	中雄 勇人	共同教育学部
部会員	今井 就稔	共同教育学部
部会員	後藤 民浩	理工学府
部会員	渡辺 秀司	理工学府
部会員	大庭 志野	保健学研究科
部会員	越智 貴子	国際センター
部会員	佐藤 幸市	生体調節研究所
部会員	二宮 祐	大学教育・学生支援機構

科目委員会：学びのリテラシー委員会

委員長	柴田 孝之	保健学研究科
委員	小谷 英生	共同教育学部
委員	永野 清仁	情報学部
委員	奥津 哲夫	理工学府
委員	小林 正行	共同教育学部
委員	大塚 岳	情報学部
委員	和田 直樹	医学系研究科
委員	原野 安土	理工学府
委員	大和 啓子	国際センター

科目委員会：総合科目委員会

委員長	京免 徹	理工学府
委員	金澤 貴之	共同教育学部
委員	大野 富彦	情報学部
委員	松崎 利行	医学系研究科
委員	小山 真司	理工学府
委員	金澤 貴之	共同教育学部
委員	小竹 裕人	情報学部
委員	上宮 英之	保健学研究科

科目委員会：データ・サイエンス委員会

委員長	柴田 博仁	情報学部
委員	齋江 貴志	共同教育学部
委員	松井 猛	情報学部（～R4.11）
委員	齋藤 勇一郎	医学系研究科
委員	櫻井 浩	理工学府
委員	寺嶋 容明	共同教育学部
委員	豊村 暁	保健学研究科
委員	金井 昌信	理工学府
委員	濱元 信州	総合情報メディアセンター
委員	鈴木 裕之	数理データ科学教育研究センター

科目委員会：スポーツ・健康委員会

委員長	中雄 勇人	共同教育学部
委員	柿本 敏克	情報学部
委員	坂本 雅昭	保健学研究科
委員	座間 淑夫	理工学府
委員	田井 健太郎	共同教育学部
委員	木山 慶子	共同教育学部

科目委員会：人文・社会科学委員会

委員長	今井 就稔	共同教育学部
委員	藤井 正希	情報学部
委員	山本 康次郎	医学系研究科
委員	佐藤 守彦	理工学府
委員	山崎 法子	共同教育学部
委員	柿本 敏克	情報学部
委員	北村 純	情報学部
委員	村田 祥子	保健学研究科

科目委員会：自然科学委員会

委員長	後藤 民浩	理工学府
委員	大下 達也	共同教育学部
委員	石川 真一	情報学部
委員	鯉淵 典之	医学系研究科
委員	森本 英行	理工学府
委員	高江洲 俊光	理工学府
委員	岩崎 博之	共同教育学部
委員	西村 尚之	情報学部
委員	柳 奈津子	保健学研究科
委員	住吉 吉英	理工学府

大学教育センター外国語教育部会

部会長	飯島 睦美	大学教育・学生支援機構
部会員	尾崎 広明	理工学府
副部会長	ベルジュロン・シルバン	大学教育・学生支援機構
部会員	高波 幸代	大学教育・学生支援機構
部会員	コントレラス・ジェフリー	大学教育・学生支援機構
部会員	フーゲンブーム・レイモンド	大学教育・学生支援機構

部会員	ネウパネ・プラミラ	大学教育・学生支援機構
部会員	磯崎 アンナ	大学教育・学生支援機構
部会員	カステヤーノ・ワキーン	共同教育学部
部会員	末松 美知子	情報学部
部会員	村上 正巳	医学系研究科
部会員	川島 智幸	保健学研究科
部会員	名越 弘文	理工学府
部会員	田中 一嘉	共同教育学部
部会員	三原 智子	共同教育学部
部会員	大和 啓子	国際センター
部会員	渡辺 秀司	理工学府

学生支援センター運営委員会

委員長	林 邦彦	理事（教育・評価担当）・副学長
委員	結城 恵	大学教育・学生支援機構
委員	五味 洋一	大学教育・学生支援機構
委員	金澤 貴之	共同教育学部
委員	山口 陽弘	共同教育学部
委員	井門 亮	情報学部
委員	和田 直樹	医学系研究科
委員	菊地 千一郎	保健学研究科
委員	金井 昌信	理工学府
委員	市川 寛也	共同教育学部
委員	坂本 和靖	情報学部
委員	鯉淵 典之	医学系研究科
委員	近藤 浩子	保健学研究科
委員	笠井 好之	学務部
委員	竹内 一夫	大学教育・学生支援機構
委員	牧原 功	国際センター

学生支援センター学生相談・生活部会

部会長	結城 恵	大学教育・学生支援機構
部会員	五味 洋一	大学教育・学生支援機構
部会員	金澤 貴之	共同教育学部
部会員	山口 陽弘	共同教育学部
部会員	井門 亮	情報学部
部会員	和田 直樹	医学系研究科
部会員	菊地 千一郎	保健学研究科
部会員	金井 昌信	理工学府
部会員	渡辺 秀司	理工学府
部会員	竹内 一夫	大学教育・学生支援機構
部会員	牧原 功	国際センター
部会員	笠井 好之	学務部
部会員	宮崎 博子	大学教育・学生支援機構

学生支援センターキャリアサポート室

室長	結城 恵	大学教育・学生支援機構
室員	五味 洋一	大学教育・学生支援機構

室員	市川 寛也	共同教育学部
室員	坂本 和靖	情報学部
室員	鯉淵 典之	医学系研究科
室員	近藤 浩子	保健学研究科
室員	金井 昌信	理工学府
室員	笠井 好之	学務部
室員	牧原 功	国際センター

入学試験委員会

委員長	板橋 英之	副学長・理工学府
委員	栗原 淳一	共同教育学部
委員	濱田 秀行	共同教育学部
委員	杉山 学	情報学部
委員	浜崎 景	医学系研究科
委員	白田 滋	保健学研究科
委員	三輪 空司	理工学府
委員	宮本 俊一	アドミッションセンター
委員	飯塚 桐子	アドミッションセンター
委員	佐々木 斎人	アドミッションセンター

高大連携・学生募集広報委員会

委員長	板橋 英之	副学長・理工学府
委員	杉山 学	情報学部(～R4.11)
委員	栗原 淳一	共同教育学部(～R4.12～)
委員	富山 慶典	
委員	田井 健太郎	共同教育学部
委員	小竹 裕人	情報学部
委員	岸 美紀子	医学系研究科
委員	内田 陽子	保健学研究科
委員	天羽 雅昭	理工学府
委員	弓仲 康史	理工学府
委員	フーゲンブーム・レイモンド	大学教育・学生支援機構
委員	宮本 俊一	アドミッションセンター
委員	飯塚 桐子	アドミッションセンター
委員	佐々木 斎人	アドミッションセンター

健康支援総合センター運営委員会

委員長	齋藤 繁	理事(病院担当)・附属病院長
委員	竹内 一夫	大学教育・学生支援機構
委員	宮崎 博子	大学教育・学生支援機構
委員	山口 陽弘	共同教育学部
委員	井門 亮	情報学部
委員	和田 直樹	医学系研究科
委員	菊地 千一郎	保健学研究科
委員	金井 昌信	理工学府
委員	長谷川 靖彦	総務部
委員	笠井 好之	学務部

教育改革推進室

室長	林 邦彦
副室長	渡辺 秀司
室員	二宮 祐
室員	上里 京子
室員	杉山 学
室員	岸 美紀子
室員	坂本 雅昭
室員	越智 貴子
室員	幾田 英夫

理事（教育・評価担当）・副学長  
理工学府  
大学教育・学生支援機構  
共同教育学部  
情報学部  
医学系研究科  
保健学研究科  
国際センター  
大学教育・学生支援機構



## 1.3 教員による地域貢献事業

教員名	活動内容	実施日
飯島 睦美	群馬県立玉村高校 英語指導支援訪問（オンライン指導含む）	2022年5月6日 2022年6月10日 2022年10月20,21日 2022年11月17,18日 2022年12月1,2日 2023年1月20日 2023年2月17日
飯島 睦美	2022年度群馬大学地域貢献事業セミナー開催	2022年5月21日
飯島 睦美	2022年度モリサワセミナー講師	2022年5月28日
飯島 睦美	東京都台東区教育研究会講師	2022年6月8日
飯島 睦美	稲城市立稲城第3小学校校内研修会講師	2022年7月6日
飯島 睦美	神奈川LD協会セミナー講師	2022年7月29日
飯島 睦美	千葉県我孫子市教育委員会中学校英語科部会研修会講師	2022年8月23日
飯島 睦美	山口大学教育学部英語教育研究会講師	2022年11月12日
飯島 睦美	筑波大学附属桐が丘特別支援学校英語指導支援（オンライン指導含む）	2022年11月25日 2022年12月9日 2023年3月3日
飯島 睦美	埼玉県高等学校英語教育研究会英語劇発表会審査員	2022年11月16日
飯島 睦美	群馬県特別支援教育研究会自閉・情緒障害教育部会通級研究協議会研修会講師	2022年11月21日
飯島 睦美	東京都小学校英語教育研究会講師	2022年11月22日
飯島 睦美	高崎市通級教室研修会講師	2023年1月11日
飯島 睦美	明治学院大学教養教育センター外国語教育FD研修会講師	2023年1月30日
磯崎 アンナ	群馬地域に住んでいる人のための洋書を用いたブッククラブ開催	2022年6月18日 2022年9月10日 2022年12月11日 2023年3月11日
磯崎 アンナ	群馬大学公開講座『英語の本を読もう』開催	2022年5月7日

竹内 一夫	群馬地方労働審議会・会長代行	
竹内 一夫	群馬県障害者雇用対策プロジェクトチーム・座長	
竹内 一夫	全国大学メンタルヘルス学会・理事	
竹内 一夫	全国大学保健管理協会・評議員	
竹内 一夫	前橋市教育委員会学校問題対策委員	
竹内 一夫	群馬産業保健総合支援センター・相談員兼評価委員	
竹内 一夫	群馬職域メンタルヘルス交流会・幹事	
竹内 一夫	北関東医学会・評議員	
竹内 一夫	全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会・評議員	
竹内 一夫	群馬テレビ news eye 8 「リーダーズアイ」	2022年11月23日
竹内 一夫	群馬テレビ「ビジネスジャーナル」コメンテーター 「ポストコロナへ向けた職場のメンタルヘルス体制づくり」	2022年9月30日
二宮 祐	群馬大学公開講座「大学改革と学生文化の変容」	2022年8月6日
結城 恵	文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語教育スタートアッププログラム 地域日本語教育アドバイザー	
結城 恵	【文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業フォローアップ事業】 「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室 教材開発プロジェクト	
結城 恵	【文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業フォローアップ事業】 「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室フォーラムの開催	
結城 恵	法務省出入国在留管理庁「総合的な支援をコーディネートする人材の役割等に関する検討会」委員	
結城 恵	群馬県「産業振興基本計画推進有識者会議」委員	
結城 恵	群馬県「ぐんま SDGs 推進ネットワーク」委員	

結城 恵	前橋市アーツ前橋運営評議会委員	
結城 恵	渋川市 総合計画審議会副会長	
結城 恵	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM)教科問題研究会委員	
結城 恵	「グローバル・ハタラクラスぐんま」コンソーシアム（文部科学省「留学生就職促進プログラム」）委員	
結城 恵	留学生就職促進プログラム GHKG カリキュラム部会 部会長 GHKG インターンシップ部会委員 GHKG ビジネス日本語部会委員	
結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け 「ビジネス日本語Ⅰ」「ビジネス日本語Ⅱ」「ビジネス日本語Ⅲ」の提供	2022年5月～7月
結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け キャリア教育「地域協働のまちづくり」の提供	2022年5月～7月
結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け キャリア教育「グローバル地域創生と企業」の提供	2022年5月～7月
結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向けセミナー 「自己PRと求める人材像」の企画・実施	2023年1月6日
結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向けセミナー 「企業・自治体研究」の企画・実施	2023年1月13日
結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向けセミナー 「マッチング」の企画・実施	2023年1月20日
結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向けセミナー 「OBOG訪問」の企画・実施	2023年1月27日
結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向けセミナー 「合同企業説明会でつかむ情報・確かめる情報」の企画・実施	2023年2月1日
結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け「ビジネス日本語フォローアップセミナー」	
結城 恵	【文部科学省科学技術振興調整 群馬大学・群馬県「多文化共生推進士」養成ユニット フォロー・アップ事業】 「多文化共生推進士」へのヒアリング調査・フォローアップ研修	2022年12月～ 2023年2月
結城 恵	ぐんまイノベーション会議への登壇	2022年6月23日

## 2 大学教育センター

### 2.1 教養教育部会

#### 2.1.1 はじめに

平成23年度に発足した教養教育部会は、教養教育を実施・運営するための調整をはじめとする実務的側面を担う組織である。部会長、副部会長、大学教育センター副センター長、外国語教育部会部会長、科目委員会（学びのリテラシー、総合科目、データ・サイエンス、スポーツ・健康、人文・社会科学、自然科学）の各委員長、国際センター、生体調節研究所、大学教育・学生支援機構から各1名、および、各学部教務委員（共同教育学部、情報学部、理工学部からは各1名、医学部からは医学科、保健学科より各1名の計2名）の構成員からなる。令和4年度は18名のメンバーで活動した。

#### 2.1.2 令和4年度活動概要

教養教育部会は、毎月1回（原則として第3月曜日）に定例会会をオンラインにて開催し、教養教育実施に関する諸問題について討議した。令和4年度は、4月に第1回の部会を開催し、8月の休会を除いて、令和5年3月まで計11回の定例会議及び1回の臨時会議を実施した。

#### 2.1.3 令和4年度活動内容

令和4年度教養教育部会の主な業務は下記のとおりであった。

- 1) 次年度教養教育科目開講コマ数の確認
- 2) 次年度教養教育実施体制（担当教員などの確定）についての確認
- 3) 次年度教養教育科目の時間割の確認
- 4) 次年度教養教育等学年暦の確認
- 5) 教養教育部会が主として関わる年度計画の確認
- 6) 非常勤講師の採用及びゲスト講師の委嘱のための審査
- 7) TA及びSAの採用に関する確認
- 8) 教養教育科目の授業にかかわる経費などの確認
- 9) 授業評価アンケート項目及び授業改善アンケート項目の確認
- 10) ベストティーチャー賞候補者選考手順の確認
- 11) 教養教育履修手引の確認
- 12) 協定を結ぶ他大学等との単位互換科目の確認
- 13) 学生の移動を伴う授業にかかる経費配分の決定
- 14) 教養教育におけるオンデマンド型授業導入の整理
- 15) 教養教育科目におけるバイアウト制度を利用した非常勤講師による授業代行の整理
- 16) 令和3年度教養教育科目成績分布状況の確認
- 17) スチューデントアシスタント制度の検討
- 18) 令和5年度教養教育科目におけるメディア授業の確認

- 19) 障害を有する入学志願者との事前相談に関する報告
- 20) 交換留学生の教養教育科目履修についての報告

これらの主要業務及びそれに関連する事項について、月別に示すと以下のとおりとなる。

- 4月 ゲスト講師委嘱についての審査  
非常勤講師向け案内の作成  
教養教育科目における成績評価確認申請の取扱いに関する申合せの改正
- 5月 ゲスト講師委嘱についての審査  
教養教育関係予算案の確認  
「群馬大学教養教育課程における教育内容、方法等に係る自己点検・評価及び改善実施要  
項」案の確認  
令和3年度後期授業評価アンケート結果の報告  
令和3年度教養教育アンケート結果の報告
- 6月 令和4年度前期授業評価アンケート項目の確認  
令和4年度前期授業改善アンケート項目の確認  
令和4年度教養教育開講授業科目の変更の確認  
教養教育におけるオンデマンド型授業導入の整理  
前期既修得単位認定の報告  
交換留学生の前期教養教育科目履修についての報告  
令和4年度文化講演会の実施報告
- 7月 令和5年度学部別担当コマ数の確認  
令和5年度教養教育等学年暦案の確認  
教養教育科目期末試験実施に関する申合せの改正  
学生の移動を伴う授業にかかる経費配分の決定
- 9月 令和4年度非常勤講師の採用についての審査  
令和5年度の教養教育実施についての確認  
学生の移動を伴う授業にかかる経費配分の決定  
大学教育・学生支援機構報告書（令和3年度版）の確認  
令和4年度教養教育科目カリキュラムマップの確認  
ゲスト講師委嘱についての審査
- 10月 ゲスト講師委嘱についての審査  
教養教育科目におけるバイアウト制度を利用した非常勤講師による授業代行の整理  
令和4年度前期授業評価アンケート結果の報告  
令和4年度授業改善アンケート結果の報告
- 11月 ゲスト講師委嘱についての審査

- 令和5年度非常勤講師の採用についての審査
- 令和4年度後期授業評価アンケート項目の確認
- 令和4年度教養教育アンケート項目の確認
- スチューデントアシスタント制度の整理
- 令和3年度教養教育科目成績分布状況の確認
- 12月 学長と学生との懇談会実施報告
  - 令和5年度教養教育開講科目の確認
  - 令和5年度協定を結ぶ他大学等との単位互換科目の確認
  - 令和4年度教養教育ベストティーチャー賞候補者選考手順の確認
  - 令和5年度教養教育授業案内の確認
  - データサイエンス関連3科目の授業評価アンケート項目の確認
  - 後期既修得単位認定の報告
  - 令和5年度教養教育授業案内の作成の確認
  - 令和5年度データ・サイエンス科目のオンデマンド化の確認
  - レポートの書き方案内動画作成の報告
  - 障害を有する入学志願者との事前相談に関する報告
- 1月 令和5年度非常勤講師の採用についての審査
  - 令和5年度教養教育履修手引の作成の確認
- 2月 令和5年度非常勤講師の採用についての審査
  - 令和5年度開放専門科目の確認
  - 令和5年度TA・SA任用計画の確認
  - 令和5年度教養教育科目におけるメディア授業の確認
- 3月 令和5年度新入生オリエンテーション計画の報告
  - 令和5年度教養教育科目の授業実施方針の確認
  - 新入生（私費外国人留学生）の未入国による配慮願いの確認
  - その他、具体的な活動の一部を以下に記載する。

1) 教養教育におけるオンデマンド型授業の導入について

教養教育科目へのオンデマンド型授業の導入を検討した。学生への教育効果、科目の特性、受講上の利便性を総合的に勘案し、令和5年度からは「データ・サイエンス」をオンデマンド型で実施することを決定した。

2) 令和3年度教養教育科目成績分布状況の確認について

令和3年度教養教育科目成績分布状況について、適正な評価が行われているかどうかという観点から確認を行った。また、科目区分ごとの成績分布状況について担当教員へフィードバックを行った。

3) 教養教育授業評価について

全学部必修科目となっている「学びのリテラシー（１）」、「学びのリテラシー（２）」及び「データ・サイエンス」の授業評価アンケートを、全学部１年生を対象として実施した。いずれのアンケートにおいても、ほぼ全ての設問において８割～９割が良好との回答が得られており、講義目的は概ね達成されていると判断された。

## 2.2 外国語教育部会

### 2.2.1 はじめに

令和２年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンライン（ライブ配信）での授業実施が基本とされてきたが、令和４年度からは、多くの科目が対面授業での実施となった。そういった中、英語および７言語の第２外国語を含む外国語科目では「教室内で学生同士での口頭言語活動が行われること」による感染拡大が危惧されること、「非常勤講師を含め、大変多くの教員が授業に関わっているため、２年間のオンライン授業用に策定し、実施してきたシラバスとルーブリックの再作成に時間を要する」ことから教員および学生双方に動揺をもたらしかねないことを主な理由として、引き続きオンラインでの授業実施となった。

担当する教員は、Zoom を使ったのオンライン授業が３年目ということもあり、その機能を駆使しての授業実践が可能となってきた。一方、受講する学生の一部からは、他授業と同様に「対面で発音指導をしてほしい」という意見もアンケートにはあったものの、オンライン上でも改善の余地のあるものばかりであり、オンラインであることが故の解決できない原因からくる批判的意見ではなかった。

非常勤講師を含めた教員全員の尽力と、学生たちの協力により、様々な問題を乗り越えながら、危惧されたほど学習効果を損なわずに一年間の授業を終えることができた、と評価している。この３年間の経験と知見は、外国語教育全般にとっても大きな糧となった。

### 2.2.2 英語習熟度別クラス編成とプレイスメントテスト

令和２年度は、COVID-19 感染拡大のため、プレイスメントテストは実施せず、センター試験の結果と推薦入学者については、高校から提出された内申書の英語評価点を、高校の偏差値を考慮したうえで算出した傾斜配点をもとに、クラス分けを実施した。令和３年度は、ELPA がオンラインテスト対応となっていなかったため、急遽 TOEIC オンラインテストをプレイスメントテストとして実施した。令和４年度は、ELPA がオンラインテスト対応（ELCA）となったため、２年振りの実施となった。試験の難易度は、令和２年度までのものと同程度であった。

これまでの英語習熟度別のクラス編成は、平成 19 年度に行ったアンケート調査の分析結果に基づき、平成 20 年度から、希望する学部・学科のクラスを対象として正式に実施されることになり、平成 21 年度より、社会情報学部 1 年・2 年、保健学科看護学専攻 1 年（保健 A・B クラス）、工学部応用化学・生物化学科 1 年の英語クラスにおいて習熟度別クラス編成が行われた。平成 22 年度には、翌年度以降、工学部すべての学科に対して実施することが計画され、平成 22 年度末に社会情報学部及び工学部の全一年次生に対して、プレイスメントテストを実施した。このデータをもと

に、平成 23 年度の 4 月には両学部の全新入生に対して、習熟度別クラス編成を行った。平成 25 年度には、医学部（医学科・保健学科）の新生入生に対して、翌 26 年度には、教育学部の新生入生に対してもプレイスメントテストを実施した。また、平成 28 年度には、平成 29 年度以降に入学した教育学部 2 年生についても習熟度別クラス編成の実施が決定された。この結果、平成 30 年度には、医学部 2 年生（医学科・保健学科）を除く、すべての教養英語クラスにおいて、習熟度別クラス編成が実施された。

令和 4 年度も、例年同様、1 年次生については 1 クラス 40 名以下の習熟度別クラスを全学部で編成し、履修者数を 1 クラス 34 名以下とした。これまで過去 4 回の結果を「表 1 プレイスメントテスト結果推移」に示す。

### 2.2.3 英語アチーブメントテスト

例年、アチーブメントテストは、年度末において 1 年生、医学部を除く 2 年生のすべての学生を対象に実施する。その結果は、後期英語授業の成績に一部算入することとなっている。

令和 4 年度は、アチーブメントテストとして、オンラインで受験可能な TOEIC IP オンラインテストを、AI 監督システムを利用して実施した。「表 2 TOEIC-IP 結果」は、受験した 1 年生、2 年生の各学部の結果を示している。

この表から、1 年次には TOEIC 結果が大きく向上するが、2 年次において入学時のスコアに戻ってしまうことがわかる。実は、この傾向は、本学のみならず、日本全国の大学生に見られるものである。TOEIC のスコアが必要となるのは、就職や大学院への進学の際で、学生にとっては 2 年次などはもっとも学習動機が低くなる時期である。「学生の学習意欲、学習動機と的確に合致しているカリキュラムを策定する」ことが、「自律的学習者を育てる」ことにつながる、ということである。今後、教養教育としての英語科目、高年次教育と連携した英語科目のカリキュラムの在り方をしっかりと検討することが求められている。

第二外国語科目群も同様、これまでドイツ語及びフランス語の年度末共通テスト（アチーブメントテスト）を実施し、受講学生の学力向上の度合いを客観的に計測してきたが、令和 4 年度もオンライン授業が継続したことにより対面試験の実施が困難だったため、やむを得ず中止した。また、地域貢献活動の一環として例年行っている、両言語の技能検定試験は、コロナ禍により中絶していた本学施設の学外組織への貸し出しが令和 4 年 10 月から再開されたものの、準備期間が足りなかったため、令和 3 年度に引き続き本学での実施は見送らざるをえなかった。

### 2.2.4 Can-do Statement の実施

Can-do Statement（英語学習自己省察ツール）を開発し、令和 2 年度に試行的に運用した。令和 3 年度より全学部を導入し、1 年生は、入学時、前期末、後期末の 3 回、2 年生は、前期末と後期末の 2 回、教務システム上で実施している。



「表3 Can-do Statement」には、その内容を示しているが、この内容については、英語科目全体で定めた学習目標に従って、作成したものである。よって、単に言語をいかに効果的に習得するかという観点だけでなく、前半の9項目が「英語学習に対する姿勢、態度」に関する自己評価、後半の11項目が「英語力」に関する自己評価、合計20項目から構成されている。

「図1 Can-do Statement 令和3年度、4年度の変化」からもわかるように、本学の学生の傾向として、前半の9項目「英語学習に対する姿勢、態度」に関する自己評価が高く、後半の11項目「英語力」に対しての自己評価が比較的低く出る。さらに、設問2, 3, および11が、他の項目に対して低く自己評価している。これは、「英語だけをつかった活動」「英文読解の速度」への評価である。いずれも、学習が進むにつれて向上していっていることがわかるものの、こういった能力を強化していくための指導上の対策を検討していくことが必要である。

### 2.2.5 英語101・英語102

外国語教育部会では、令和2年度から英語教育改善WGにおいて進めてきた全学の外国語教育改革に取り組み、令和3年度より、教養英語新カリキュラム（群馬大学教養英語コア・カリキュラム）を導入した。コア・カリキュラムでは、教養英語科目における共通目標を以下の通り掲げた。

- ① 英語による主体的・協働的な学びを通して、文化・社会と自分のつながりを認識し、場面・状況を考慮したうえで、もっとも適切な形で、自分のアイデンティティを英語で表現（発信）できる力を養う。
- ② 英語による主体的・協働的な学びを通して、身の回りの問題や変化に気づき、それについての考察を深め、解決策を発信する力を養う。

1年生における年次目標を以下の通り定め、この目標を達成するために、PBLを手法とした教材（Leap to the Future! 1, 2）を、本学内で制作した。

#### 1年次目標

- ① 「話す」、「書く」活動を通して、自分自身や身のまわりの文化社会、及び他文化について、自らの考えを効果的に伝える意識を養う。
- ② 十分な「読む」、「聴く」活動を通して、多様な文化を理解し、感受する力を磨く。
- ③ 他者が使う英語やそれらが反映された文化に触れ、その違いに気づき、自分が使う英語を含め、多様な英語（文化）を受け入れる態度を身に付ける。
- ④ 地域・国内社会及び国際社会における諸問題に関して、英語で物事を批判的かつ論理的に考える力を養う。
- ⑤ 問題解決のために他者と協働し、自らが果たすべき役割を理解することで、率先して課題に取り組む態度を身に付ける。



Leap to the Future! 1,2

さらに、「表4 英語 101、102 ルーブリック」に示すような「共通評価基準（ルーブリック）」を作成し、1年生全学部において、統一カリキュラム・シラバスによる授業での評価の公平性を担保することとした。

### 2.2.6 英語 201・英語 202

2年次では、共通目標を以下の通り定め、それぞれの学部によって作成されたシラバスに従って、授業が行われた。

#### 2年次目標

- 1) 身近な環境、及びより広い国内外における多様性に気付き、そこで起きている出来事に関して自ら批判的に考え、確固たる意見を持ち、場面・状況に適した方法で発信することができる。
- 2) 他者と協働し、地域・国内社会及び国際社会における問題・課題を発見し、その解決策を考え、提案することができる。

「表4 英語 101、102 ルーブリック」には、理工学部の英語 201、202 において、評価の公平性を保つために作成し、運用したルーブリックを示す。

### 2.2.7 英語 111・英語 112

理工学部においては、学生の大学院進学率が高く、その進学の可否判定には TOEIC の得点を利用されている。また学部・大学院ともに、卒業・修了後ビジネス界に就職する率がもっとも高い学部・研究科であり、職に就いた後も英語力を要求されることは必至である。そこで外国語教育部会は、平成 22 年度に群馬大学の学生のおよそ半数を占める工学部（現、理工学部）学生の英語力を増強するために、大幅な英語カリキュラムの改善を検討した。その結果、平成 23 年度には教育基盤センター（現、大学教育センター）「外国語教育部会」がこれを実行に移した。おもな変更点は以下のとおりであるが、平成 24 年度以降もこの方策を継承し、さらに、1クラスの受講者数を削減する

ために、全体のクラス増を実現した。令和4年度現在、計20クラスを開講し、引き続き、1クラス30名以下の少人数クラスでの授業を実施している。

- 1) 週2回(90分×2回)の英語授業を履修する。
- 2) 前期2単位、後期2単位で、1年次に4単位を修得する。
- 3) 週2回のうち、1回は文法・読解力の養成、1回はコア・カリキュラムに沿って、全学統一の4技能育成を目的とした授業とする。上記に示した、3)文法・読解力養成の授業が本授業に相当する。

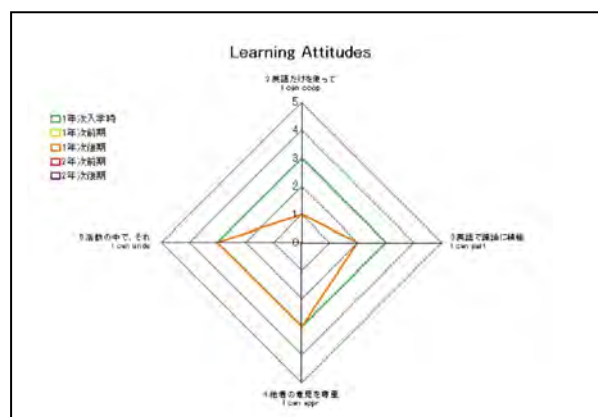
本学における全学の卒業要件となる英語の単位数は4単位であるが、英語力が低く且つ英語に苦手意識を持つ学習者群については、1年次に4単位を集中的に履修させることが望ましいと考え、週2回の授業で4単位を取得させるカリキュラムを運用している。

こうした改変の成果は、新カリキュラム導入から2年後の平成25年度末のアチーブメントテストの結果に明確に現れた。また、平成27年7月のTOEIC-IPテストの結果は前年度比の伸び率が高く、その原因としては、理工学部における統一カリキュラムの効果に加え、平成27年度より、理工学部の入試に英語試験が導入されたことに起因すると考えられる。さらに、入試科目の英語導入後においても、TOEIC-IPテスト結果は引き続き伸びている。平成27年度以降から令和元年度7月実施の平均点は、H27(433.25点)、H28(446.80点)、H29(457.60点)、H30(467.30点)、R1(462.5)と着実に継続して伸びている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため試験そのものの実施を見送ったが、令和3年度末のTOEIC-IPテストでは、オンラインにて実施し、534.1点という平均スコアが出た。オンラインテストは、若干ペーパー版よりも点数が高く出る傾向にあると思われるものの、そのことを考慮しても、この高い平均スコアは特筆に値する。

### 2.2.8 ポートフォリオへの記入

令和3年度より、英語学習を管理するための英語ポートフォリオを導入した。このポートフォリオでは、以下の内容が随時保存されていくこととなり、学生本人や指導教員も学生の学習状況を観察することが可能となっている。

TOEIC IP テストの結果  
 プレイスメントテスト結果  
 英語科目のリフレクション内容  
 Can-do Statementの結果



このポートフォリオの有効活用により、学生が自己の学習状況をモニターしながら自律的に学習するメタ認知力も高めることが期待される。上図には、Can-do Statement の一部の学年経過を示している。このように、学生は自身の自己評価についても、どのように捉えていたかを確認することが可能となっており、新たな学習目標設定にも有効である。

### 2.2.9 理工学部推薦入試入学生英語課題テスト

令和3年度より、理工学部では、推薦入試入学生を対象として、入学前の課題、入学後の課題テストを実施した。

課題は、大学入試対策として頻繁に利用されている英語文法、語法、語彙に関する問題集を課題として与え、自習をしてもらい、入学後にその習得状況をテストで確認することとした。

ここ数年、推薦入学者の入学時の英語力推移をみるため、同問題で実施している。「図2 課題テスト結果推移」に示す通り、平均点としては若干下がり気味ではあるが、一般入試を含めたプレイスメントテストの結果もここ数年、他学部も含めて低下傾向にある。理工学部は他学部と異なり、1年生で1単位多く、リーディング力に特化した授業を実施しているため、多読プログラムや e-learning システムを用いて英語学習をモニタリングしながら、難しきの観察される学生には、適宜指導をしてもらうように、非常勤、常勤の理工学部担当英語教員には依頼した。

### 2.2.10 希望者受験用 TOEIC-IP, TOEFL ITP テスト

TOEIC ならびに TOEFL については、例年、全1年生を対象に全学オリエンテーションで説明を行っているが、令和2年度からは、対面での説明会が開催できなかったこともあり、資料を配布することで対応をした。

群馬大学では、平成15年度から TOEIC-IP を継続的に実施しており、外国語教育部会が中心となって、多くの学生の TOEIC-IP 受験を促している。実施は年2回（7月／1月）で、平成21年度からは、申し込み手続を群馬大学で直接行うことにより、受験料を低く抑えることが可能になった。

海外留学を希望する学生にとって TOEFL の成績が要求されることが多いため、群馬大学では、平成20年度から TOEFL-ITP を荒牧キャンパスで年2回（6月もしくは7月と、12月もしくは1月）実施している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、TOEFL-ITP 試験を中止とした。令和4年度は、AI 監督をつけての試験として、TOEIC、TOEFL とともに再開した。

### 2.2.11 ドイツ語技能検定試験・フランス語技能検定試験

群馬大学では、ドイツ語、フランス語担当教員の協力のもと、地域貢献活動の一環として、本学学生のみならず周辺地域の受験希望者も受験できるドイツ語技能検定とフランス語技能検定の公開試験を、荒牧キャンパスで継続的に実施している。令和4年度は10月よりコロナ禍で中絶していた本学施設の学外組織への貸し出し許可が再び下りるようになったが、準備が間に合わなかったため、荒牧キャンパスでの実施は見送らざるを得なかった。その結果、ドイツ語技能検定試験（5

級～1級)は、ドイツ語専任教員が所属する大学での実施が前提となることから、群馬県内での実施は前年度に引き続き全面的に中止となり(県内の大学でドイツ語専任教員を置いているのは本学のみである)、フランス語技能検定試験(5級～準1級)は春季試験、秋季試験ともに群馬県内の別の会場で実施した。ちなみに、実施日時と受験者数は以下のとおりである。

#### フランス語技能検定試験

・実地日時：春季試験：令和4年6月19日(5, 4, 3, 準2, 2級)

学内外の総申込者数：46名(複数級併願者含む)

・実地日時：秋季試験：令和4年11月20日(日)(5, 4, 3, 準2, 2, 準1級)

学内外の総申込者数：71名(複数級併願者含む)

### 2.2.12 ドイツ語・フランス語の共通アチーブメントテスト

現在7言語開講されている外国語教養科目は、特にドイツ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語などの印欧語族の言語学習において、高等学校までの英文法の学習を補完し、当該言語のみならず既習の英語の構造をも、より論理的に整理して理解する貴重な機会ともなっている。このことは、英語以外の外国語学習が、英語や母語を含んだ総合的な言語能力を高め、学習者のコミュニケーション能力全体の向上に寄与することにもつながる。したがって教育内容の充実のためには、学習の達成度を客観的に把握することも重要である。

外国語教養科目のうち、専任教員が在籍しているドイツ語及びフランス語については、学習の進捗を測定するために平成21年度以来、共通のアチーブメントテストを実施しているが、前年度に引き続き令和4年度もコロナ禍により対面試験の実施が困難であったため、中止せざるを得なかった。

なお、平成21年度以来10年以上にわたって実施されてきた本試験には、ここ数年以下のような一定の傾向が続いている。

- \* 4単位(120時間)を履修する学生の平均得点は、ドイツ語ではどの学部でも全国のドイツ語技能検定3級合格者の最低得点と概ね同等、フランス語ではフランス語技能検定4級合格者の平均点と概ね同等である。
- \* 2単位履修者の平均得点は4単位履修者に比べて例年約20点低く、高得点者が少ないうえ、極端に得点が低い者が多い傾向が続いている。
- \* 3クラスサイズが30名を超えると得点が下がり始める傾向がある。

教室では、学生の英語以外の外国語に対する興味や学習意欲は十分高いのに、学力・学習能力のみが年々少しずつ低下してゆく傾向が見られる。英語以外の外国語への興味・意欲を保ちながら、外国語の学習能力を高める指導の工夫、少人数授業の徹底、およびカリキュラムの拡充が、今後の課題であろう。また、英語以外の外国語の履修者の方が未履修者よりも、TOEICなどの英語の

得点がより大きく向上することを示すデータも徐々に集積されつつある。

### 2.2.13 総括

新型コロナウイルス感染拡大によって、対面授業でコミュニケーション活動を主として行ってきた外国語教育は、当初大きな混乱をきたした。しかし、我々は、創意工夫を行う努力と学生の忍耐力と適応力のおかげで、どうにか教育効果、学習効果を維持することができた、と考えている。今後、どのような教育環境が日常的になっていくのか、現段階では予想できないものの、この3年間で学び得た経験、知見は、必ずや今後の教育に生かされていくものであることだけは、明確に言える。私たちは、人間の力強さと前進しようとするたくましさを共有できたことを誇りに思い、令和4年度の報告としたい。

### 3 学生支援センター

学生支援センターは、学生生活及び就職活動に対する支援、修学に係る相談等を行っている。運営に当たり委員会を置き、各学部等から委員が選出されている。審議内容等は、学生相談、生活支援及び就職支援等である。当該支援業務の事務は、学生支援課が各学部の学生支援担当係と連携を図り行っている。令和4年度の主な支援等の事項は、次のとおりである。

#### 3.1 入学料免除及び徴収猶予

入学料について、学部生においては、特別な事情（学資負担者が1年以内に死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合をいう。）により納入が著しく困難な場合について、また、大学院生、専攻科生においては、経済的理由により納入が困難、かつ、学業優秀と認められる場合又は特別な事情により納入が著しく困難な場合について、修学を支援するため、免除及び徴収猶予を行っている。

また、東日本大震災により罹災したことに伴う経済的理由により納入が著しく困難な場合について、免除を行っている。

##### 3.1.1 免除申請者数、免除者数

令和4年度入学料免除申請者数、免除者数は、次のとおりである（詳細は「資料 3.1.1 令和4年度入学料免除」のとおり）。

4月1日入学：免除申請者数 203人、免除者数 184人  
10月1日入学：免除申請者数 15人、免除者数 14人

##### 3.1.2 徴収猶予申請者数、徴収猶予者数

令和4年度入学料徴収猶予申請者数、徴収猶予者数は、次のとおりである（詳細は「資料 3.1.2 令和4年度入学料徴収猶予実施状況」のとおり）。

4月1日入学：徴収猶予申請者数 4人、徴収猶予者数 3人  
10月1日入学：徴収猶予申請者数 0人、徴収猶予者数 0人

#### 3.2 授業料免除及び徴収猶予

経済的理由により納入が困難、かつ、学業優秀と認められる学生又は特別な事情（学資負担者が納入期限の6ヶ月以内（入学者については、入学前1年以内。）に死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合をいう。）により納入が著しく困難な場合について、修学を支援するため、授業料免除及び徴収猶予を行っている。

また、東日本大震災により罹災したことに伴う経済的理由により納入が著しく困難な場合について、又は学部生及び大学院に在籍する、成績が特に優秀な学生を対象として、授業料免除を行っている。

##### 3.2.1 免除申請者数、免除者数

令和4年度授業料免除申請者数、免除者数は、次のとおりである（詳細は「資料3.2.1 令和4年度授業料免除」のとおり）。

前期：免除申請者数 772人、免除者数 704人  
後期：免除申請者数 752人、免除者数 698人

### 3.2.2 徴収猶予申請者数、徴収猶予者数

令和4年度授業料徴収猶予申請者、徴収猶予者数は、次のとおりである（詳細は「資料3.2.2 令和4年度授業料徴収猶予実施状況」のとおり）。

前期：徴収猶予申請者数 0人、徴収猶予者数 0人  
後期：徴収猶予申請者数 0人、徴収猶予者数 0人

## 3.3 寄宿料免除

本学では、学生本人又は学資負担者が風水害等の災害を受け、納入が著しく困難と認められる場合、寄宿料免除を行っている。

### 3.3.1 免除申請者数、免除者数

令和4年度寄宿料免除申請者数、免除者数は、次のとおりである。

免除申請者数 0人、免除者数 0人

## 3.4 奨学金

本学では、日本学生支援機構の奨学金と地方公共団体や民間奨学団体から本学に募集依頼のあった奨学金を扱っている。これらの奨学金は、いずれも学業・人物ともに優秀であり、かつ健康であって経済的理由により学資の支弁が困難であると認められた者が対象となる。

なお、日本学生支援機構の奨学金には、無利子貸与の第一種奨学金と有利子貸与の第二種奨学金と返還不要の給付奨学金があり、貸与奨学金は、貸与終了後に返還が必要となる。

### 3.4.1 日本学生支援機構奨学生数（令和4年10月1日現在）

令和4年10月現在の日本学生支援機構奨学生数は、次のとおりである。

第一種：学部生 50人、大学院生 208人  
第二種：学部生 680人、大学院生 21人  
給付：学部生 450人、大学院生 0人

（詳細は「資料3.4.1 日本学生支援機構奨学生数」のとおり：「学部生」には、専攻科生を含む。）

## 3.5 学生相談体制及び学生相談

本学は、次のような学生相談体制を設け、学生の個人的な問題や悩みごとについての相談に応じている。



### 3.5.1 学生相談体制

全学の学生を対象に荒牧キャンパスに学生相談室を、また、理工学部の学生を対象に桐生キャンパスに学生相談室分室を設けて相談に応じている。

### 3.5.2 主な相談事項

主な相談事項は、勉学・進路・就職活動、メンタルヘルス、クラブ・サークル活動、経済的事情・アルバイト、対人関係についてなどである。

### 3.5.3 学生相談実態調査アンケートの実施及び活用

令和4年12月現在で在籍している助教以上の専任教員に対して、令和4年1月1日から12月31日までの間に学生から相談のあった内容や各教員の対応について「学生相談実態調査アンケート」を令和5年2月に実施した。

実施方法については、Google フォームを活用し Web 上で回答を入力してもらい、入力されたデータを用いて報告書にまとめた。

なお、回収率は51.39%であった。

## 3.6 授業欠席状況調査

欠席状況調査は、授業への受講状況を通して本学学生の学業意欲を調査し、精神面の障害や不健康状態にある者を早期に発見して、面談等により本人へ適切な指導を与えることを目的としている。

### 3.6.1 授業欠席者数及び主な欠席理由

令和4年度後期欠席者数：

26名（詳細は「資料3.6.1 令和4年度学部1～3年次生欠席状況調査一覧（後期）」のとおり）

主な欠席理由：

早朝に授業があるため寝坊、精神的な悩み、身体的病気怪我、進路の迷い等

### 3.6.2 実施方法、時期

#### 1) 実施方法

- ・ 実施時期は、5月（前期）と11月（後期）の年2回を実施基準月とする。
- ・ 調査対象は、卒業研究に着手（研究室に所属）しない学部学生とする。
- ・ 調査科目は、各学部が指定した科目とする。  
ただし、1年次は、学部の依頼により大学教育センターが指定した授業科目とする。
- ・ 調査方法は、調査科目について連続4回の出欠チェックを行う。
- ・ 集計作業は、各学部担当事務（1年次生は学務部）が行う。
- ・ 4回のチェックのうち3回以上欠席した者をクラス担任別に集計する。

- ・ クラス担任別集計に基づき面接対象一覧と個人ごとの面接票を作成する。
- ・ 面接票には学籍番号，所属，氏名，住所，電話番号等を記載する。
- ・ 学部長名（1年次生は学生相談・生活部会長名）で面接対象一覧と面接票を添えて，クラス担任等に対して欠席者の事情聴取を期限内に終了するよう依頼する。

#### 2) クラス担任による欠席者の事情聴取

- ・ 調査方法は，クラス担任等が対象者を呼び出し，直接面談により欠席理由等を聴取する。
- ・ 面談により適切な指導を行い，かつ，精神科医の面談の要否を判断し，その内容を面接票に記載して，その都度学部長（1年次生は学務部）に提出する。

#### 3) 医師による欠席者との面談

クラス担任等から学部長（1年次生は学務部）に提出された面接票を，健康支援総合センター医師が確認し，医師の指導が必要であると判断した欠席者と面談を行い，必要なカウンセリング等を行う。

### 3.7 障害学生への支援

障害のある学生がその能力並びに障害の種別及び程度に応じ，十分な教育を受け，学生生活を送ることができるよう，大学教育・学生支援機構学生支援センターに，障害学生支援室を設置している。

#### 3.7.1 支援内容

群馬大学障害学生修学支援実施要項に基づく修学支援の必要な学生には，個別に障害の種別及び程度に応じた支援内容を明記した「配慮願い」を授業担当教員へ通知している。また，全教員に対して「障害学生支援での一般的な配慮事項」を配付して周知を図っている。

聴覚障害学生には，授業ごとに必要に応じて，UDトークやパソコンテイク，手話通訳等の情報保障を行い，肢体不自由学生には，休憩室の設置，車椅子対応の施設整備，低身長者のための踏み台の設置，介助者による移動介助などの支援を行い，内部障害学生には，講義中のトイレ退席等の配慮，また，発達障害学生には，休憩室の設置，学生支援センター専任教員及び健康支援総合センター医師による面談，履修相談などの支援を行っている。

### 3.8 学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険

学生教育研究災害傷害保険は，学生が正課，学校行事，学校施設内外における課外活動，学校施設内，通学，学校施設等相互間の移動時に係る全ての傷害に対して補償を行う保険である。

学研災付帯賠償責任保険は，学生が正課，学校行事，インターンシップ，介護等体験活動，教育実習，ボランティア活動等及びその移動時に，他人にけがを負わせたり，他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険である。

本学では，教育研究の円滑な実施のために，入学の際に当該保険に全員が加入することを勧めている。

#### 3.8.1 加入者数

令和4年度の学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入者数は、学部生4,662人・大学院生921人の加入をしている。詳細は、「資料3.8.1 令和4年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数」のとおりである。

### 3.8.2 請求種別保険金請求件数

令和4年度の学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険の請求種別保険金請求件数は、総計26人の請求を行っている。詳細は、「資料3.8.2 令和4年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数」のとおりである。

## 3.9 通学証明書，旅客運賃割引証

通学証明書は、学生がJR，私鉄，バス等の通学定期券を購入する際に必要となる証明書である。学生旅客運賃割引証は、学生の修学上の経済的負担軽減と学校教育の振興に寄与することを目的としている制度で、片道乗車区間の距離100kmを超える区間を乗車する際に使用することができる。

通学証明書の発行業務は、各キャンパス事務担当が行い、学生旅客運賃割引証発行は、証明書自動発行機で行っている。

### 3.9.1 発行枚数及び主な発行理由

令和4年度の通学証明書及び学生旅客運賃割引証の発行枚数等は、通学証明書(電車・バス)1,187枚、学生旅客運賃割引証14,149枚の発行を行っている。詳細は、「資料3.9.1 令和4年度通学証明書発行枚数，学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由」のとおりである。

## 3.10 学生寮

本学には、前橋地区に養心寮，桐生地区に啓真寮の2寮がある。学生寮は、学生が修学にふさわしい環境において勉学を継続するための住居施設として設けられている。

### 3.10.1 養心寮入寮者数

令和4年度の養心寮入寮者数(定員は男子74人，女子62人，合計136人，寄宿料月額4,300円)は、延入居者数が1,437人で，入居率は88.1%である。なお，男子部屋数は77室であるが，入居不可室が3室あるため，74室を定員とした。

### 3.10.2 啓真寮入寮者数

令和4年度の啓真寮入寮者数(定員は男子65人，女子24人，合計89人，寄宿料月額【ワンルーム型25,000円，シェア型15,000円】)は，延入居者数が916人で，入居率は85.8%である。

詳細内訳

ワンルーム型：定員は男子22人，女子10人，合計32人，延入居者数が370人で，入居率は88.1%  
 シェア型：定員は男子34人，女子14人，合計48人，延入居者数が576人で，入居率は88.9%

### 3.11 生活支援施設

本学では、学生生活の利便性を確保し、経済面の支援を図るために荒牧地区、昭和地区及び桐生地区にそれぞれ食堂・売店等を設けており、群馬大学生生活協同組合に委託している。

食堂では食事及び懇親会等を、売店では、書籍、日用品、旅行斡旋等を市価より安く提供している。

#### 3.11.1 食堂

事項・地区	荒牧地区	昭和地区	桐生地区
座席数	447席 (ホール内405席,外42席)	286席 (ホール内264席,外22席)	558席 (ホール内438席,外20席, 桐園100席)
営業時間	11:30~13:30	11:30~13:30	11:30~13:30
年間営業日数	283日	294日	249日
年間利用者数	65,775人	40,074人	77,576人
提供メニュー数	40以上	20以上	40以上

令和4年度は新型コロナの影響で、縮小しての営業となっています。

#### 3.11.2 売店

事項・地区	荒牧地区	昭和地区	桐生地区
営業時間	10:00~16:00	10:00~17:00	10:00~16:30
年間営業日数	294日	294日	149日
年間利用者数	57,881人	56,912人	46,930人

令和4年度は新型コロナの影響で、縮小しての営業となっています。

### 3.12 課外活動施設

本学には、荒牧、昭和、桐生の各キャンパスに各種の課外活動施設があり、体育の授業の他、学生の利用に供している。その主な施設については、次のような施設仕様、使用等状況である。

#### 3.12.1 体育施設

荒牧キャンパス	
陸上競技場	陸上競技場は、400メートルトラックである。陸上競技部が主として使用している。 また、トラック内のインフィールドも、やり投げ等の陸上種目の他、多目的な軽スポーツ実施の場として使用している。
サッカー・ラグビー場	サッカー・ラグビー場は、サッカー又はラグビーの公式試合が可能な面積を持っており、サッカー、ラグビー及びフットサル用のゴールが設置してある。また、夜間照明も設置してあり、サッカー部、ラグビー部、アメリカンフットボール部、フットサルサークル及びラクロス部が主として使用している。
テニスコート	テニスコートは、硬式専用コート3面、軟式専用コート3面(いずれもクレートコート)、全天候型コート2面(オムニコート)、両用コート1面(クレートコート(ゴルフ練習施設併設))の9コートがあり、硬式テニス部やソフトテニス部が主として使用している。 また、オムニコートは夜間照明が設置してあり、人工芝のため雨上がりにすぐ使えることもあり、利用率が高い。その反面、人工芝の

	消耗も激しく、修繕費がかかるのが難点となっている。
野球場	野球場は、天然芝で、夜間照明が設置してある。準硬式野球部、硬式野球部、軟式野球サークル及び医学部準硬式野球部が主として使用している。
プール	プールは、50メートル8コースで、6月から8月まで使用している。水泳部が主として使用している。近年は経年劣化による故障が多発しているため、継続維持をするための修繕費がかかるのが難点となっている。
第1体育館	第1体育館は、主としてバレーボール、バスケットボールなどに使用し、それぞれ2面使用可能である。バレーボール部、バスケットボール部が主として使用している。 大規模な改修を行っていないため、経年劣化による故障による修繕が増加している。
第2体育館	第2体育館は、主としてバドミントン、卓球、体操競技、ダンスなどに使用している。 また、ダンス用の広い面積の鏡や、体操での安全確保用のウレタンを敷き詰めたピットも設けている。バドミントン部、卓球部、体操部、ダンス部が主として使用している。 大規模な改修を行っていないため、経年劣化による故障による修繕が増加している。 なお、第1体育館、第2体育館の間にトレーニングルームが併設されている。
武道場	武道場は、剣道用の床面が1面、柔道用の畳面が1面の計2面があり、各種武道で使用する他、畳面にレスリング用マットを敷き詰めてレスリングをすることも可能である。剣道部、柔道部、空手道部、少林寺拳法部が主として使用している。
弓道場	弓道場は、平成22年度に新営され、公式試合が可能となった。弓道部が主として使用している。
馬場	馬場は、馬術部が使用している。乗馬して練習すると馬場の表面が荒れるため、馬術部学生が馬場の部室に常駐（授業時間及び深夜を除く）し、馬の飼育と馬場の管理を行っている。 なお、飼育している馬は馬術部の所有であり、その餌代は、日本中央競馬会からの寄付と馬術部の学生が負担している。
昭和キャンパス	
体育館	体育館は、バレーボール・バスケットボール・バドミントンなどの球技で使用するアリーナと、剣道場・柔道場各1面の武道場があり、武道場の2階は卓球場となっている。 昭和地区では体育の正課授業がないため、学生の課外活動用として、バレーボール部、バスケットボール部、バドミントン部、剣道部、柔道部、卓球部が主として使用している。
弓道場	弓道場は敷地面積が狭隘であるため、荒牧地区と比べると射場の幅は狭くなっている。弓道部が主として使用している。
桐生キャンパス	
菱グラウンド(サッカー・ラグビー場、野球場)	サッカー・ラグビー場は、サッカー及びラグビー用のゴールが設置してあり、サッカー部、ラグビー部及びフットサルサークルが主として使用している。野球場は、天然芝で、硬式野球部が主として使用している。
テニスコート	テニスコートは全天候型コート(オムニコート)が3面あり、硬式テニス部、ソフトテニス部が主として使用している。 また、夜間照明が設置してあり、人工芝のため雨上がりにすぐ使えることもあり、利用率が高い。その反面、人工芝の消耗も激しく、修繕費がかかるのが難点となっている。
プール	プールは、25メートル7コースで、6月から8月まで使用している。

	水泳部が主として使用している。荒牧地区同様に、近年は経年劣化による故障が多発しているため、継続維持をするための修繕費がかかるのが難点となっている。
体育館	体育館は、1階には剣道用の床面が1面、柔道用の畳面が1面の計2面があり、各種武道で使用している。剣道部、柔道部、空手道部、少林寺拳法部、ダンスサークル、八木節同好会が主として使用している。また、トレーニングルームも併設されている。2階は主として球技用のフロアであり、バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、バドミントン部が主として使用している。
弓道場	弓道場は、弓道部が主として使用している。

### 3.12.2 文化施設

文化施設等は、次のとおりである（荒牧キャンパスのみ）。

ミュージックホール：大学会館内の多目的ホールで、各種会合、集会等に使用する施設である。

集会室：2室の集会室があり、うち1室は和室である。和室は主として茶道部が使用している。

### 3.12.3 課外活動共用施設

#### ○荒牧キャンパス

課外活動共用施設は、南北に2棟あり、北棟は主として運動系サークルが、南棟は主として文化系サークルが共同で利用している施設である。北棟は1階、2階ともに8部屋の計16部屋あり、南棟は1階、2階ともに6部屋の計12部屋がある。

北棟1階に運動講義関係の器具庫があり、その他の部屋は部室として使用している。南棟は音楽演奏に向く防音の部屋が1室、写真部用の暗室、学生が各種印刷に利用する印刷室などがある。また、荒牧祭実行委員会もこの課外活動共用施設を中心に活動している。

#### ○昭和キャンパス

課外活動施設は体育館と繋がっており、1階、2階、3階に各6部屋の計18部屋あり、1階には音楽演奏に向く防音の部屋が4室ある。主に文化系クラブ・サークルが利用している。

#### ○桐生キャンパス

課外活動共用施設は、1階に9部屋、2階と3階に各6部屋の計21部屋あり、1階には音楽演奏に向く防音の部屋が1室、写真部用の暗室、学生が各種印刷に利用する印刷室などがある。主に文化系クラブ・サークルの活動場所や運動部の器具庫及び倉庫として利用している。

### 3.12.4 合宿所

#### ○荒牧キャンパス

4部屋あり、広さは談話室が12畳、1・2号室が計22畳、3号室が14畳、4号室が14畳である。なお、就寝用具などは学生の持ち込みとなっている。

### ○桐生キャンパス

4 部屋あり、広さは 1 号室が 12 畳、2 号室が 15 畳、3・4 号室が各 6 畳である。

関東甲信越大学体育大会などの各種競技大会開催間近には、強化合宿で利用率が非常に高くなる。

なお、就寝用具が部屋に備えられているが、就寝用具不足の場合は、学生の持ち込み対応となっている。合宿所内の共用の調理場や浴室等も利用できる。

## 3.13 学生団体及び主な活動

学生団体及び主な活動は、次のとおりである。

### 3.13.1 学生団体

令和 4 年度のクラブ・サークルは、「資料 3.13.1 令和 4 年度 クラブ・サークル一覧」のとおりである。

本学の運動部で対外試合のある種目では、荒牧キャンパスと桐生キャンパスは「4 年制大学」の出場枠となり、昭和キャンパスは「6 年制大学」の出場枠となるため、同じスポーツ名ではあっても「荒牧・桐生」と「昭和」は別団体、というクラブ・サークルが多い。

### 3.13.2 大学祭

学生の意識高揚と、広く群馬大学を学外に情報発信することなどを目的とし、大学祭を開催している。令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染対策を最大限考慮し、荒牧祭（荒牧キャンパス）を令和 4 年 11 月 27 日、群桐祭（桐生キャンパス）を令和 4 年 10 月 15 日～16 日に実施した。医学祭（昭和キャンパス）は非開催であった。

### 3.13.3 関東甲信越大学体育大会

関東甲信越大学体育大会は、学生スポーツの健全な発達及び普及を図り、併せて相互の親睦に資するため関東甲信越地区 13 大学（東京地区大学を除く。）が共同で開催している。

令和 4 年度は、埼玉大学が主管校として、群馬大学、山梨大学、都留文科大学の 3 大学がそれぞれ以下の種目を担当して実施された。令和 4 年 8 月 19 日～令和 4 年 8 月 31 日の日程で全 16 種目が開催され、各大学が担当した競技種目は下記のとおりである。

埼玉大学担当：陸上競技，ソフトテニス，バスケットボール，剣道，卓球

群馬大学担当：硬式野球，サッカー，テニス，水泳，体操，柔道

山梨大学・都留文科大学担当：準硬式野球，弓道，バレーボール，バドミントン，空手道

群馬大学が好成績（3 位以上）を収めた競技は以下のとおりである。

- ・優勝：空手道（自由）
- ・第 3 位：ソフトテニス（男子），ラグビー

### 3.13.4 クラブ・サークルリーダーシップ研修会

クラブ・サークルリーダーシップ研修会は、クラブ・サークルの新旧リーダー等を対象に、課外活動団体の健全な活動及び発展に寄与させることを目的として毎年行っている。

令和4年度は、以下のとおり実施した。

(研修スタイル) 令和5年3月24日 対面研修で開催

- (研修内容《講演》)
- ① クラブ・サークルリーダーのあるべき姿について
  - ② 酒・たばこについて
  - ③ 生活安全について
  - ④ 救命講習

### 3.14 学生の就職支援

荒牧キャンパスに全学生が利用可能な進路指導室としてキャリアサポート室を設置している。学生自身の適性や志向を見定め、明確な目的意識を持たせ、社会や仕事、働くことの意味や意義を考え学ばせる実践的な就業体験や各種の就職ガイダンス・セミナーを開催し、多様化する就職活動に対する支援を行っている。

#### 3.14.1 進路状況及び主な就職先

令和4年度の学生の進路状況等は、「資料 3.14.1 令和4年度学部卒業生の進路状況及び主な就職先」のとおりである。

#### 3.14.2 全学就職ガイダンス・セミナーの開催

本学で実施した就職ガイダンス等は、次のとおりである。

##### 1) 就職ガイダンス

基本講座	全 3 回	参加延人数	332 人
実践講座	全 7 回	参加延人数	612 人
特別講座	全 4 回	参加延人数	72 人

##### 2) 公務員講座

全 3 回, 参加延人数: 255 人

##### 3) 各種試験対策講座

全 2 回, 参加延人数: 227 人

##### 4) インターンシップ関係説明会及び体験報告会

全 4 回, 参加延人数: 954 人

##### 5) 合同企業説明会・公務員等業務概要説明会

全 2 回, 参加延人数: 88 人

##### 6) 医学部生向け講座

全 4 回, 参加延人数: 318 人

#### 3.14.3 キャリアカウンセリングの充実

学生の就職相談体制の強化として、前橋地区、昭和地区及び桐生地区にキャリアカウンセラーを配置



し、原則、対面(オンライン希望者には Zoom)によるカウンセリングを実施した。

- 1) 利用延人数： 591 人
- 2) 主な相談・指導内容
  - ・就職活動の進め方・職業適性・自己分析の相談
  - ・エントリーシート，履歴書の添削
  - ・面接試験の指導助言

#### 3.14.4 キャリアサポート室における情報収集環境の充実

- 1) 学生用に就職情報検索等のためのパソコン・プリンターを設置
- 2) 各種企業情報データを集約して教務システムに公表
- 3) 各種求人・会社説明会・インターシップ・公務員試験案内等の設置と配付
- 4) 先輩の就職活動報告書の公開
- 5) 就職関連書籍・DVD，ガイダンス動画の貸出
- 6) 就職ガイダンス開催・各種企業説明会，セミナー等の案内やカウンセリングの予約状況等について，ツイッター，Gメールによる情報発信

#### 3.14.5 就職支援の体制強化の充実

- 1) 国公立大学が参加する就職指導担当者研修会や全国就職指導ガイダンスにおいて意見交換を図るとともに企業の人事担当者等による専門的助言や情報の収集により就職支援体制を強化した。
- 2) 体験型インターシップを推進するため，実習先企業を継続的に確保し，また受入企業の新規開拓を図った。
  - ・事前説明会参加者： 599 人
  - ・実習事前講座参加者： 349 人
  - ・実習参加者： 298 人
  - ・インターシップ終了後の体験報告会参加者： 87 人
- 3) 就職活動に特化した情報を学生に提供できる様、情報サイト導入の検討・環境整備を図った。

### 3.15 キャンパスニュース群の発行

「キャンパスニュース群」は、主に各キャンパスの学生活動情報をウェブサイトに掲載し発信している。主な掲載内容は、各地区学園祭及びフットサル大会レポート，クラブ・サークル活動紹介等である。

### 3.16 事件・事故

本学学生が関係した事件・事故の件数は、次のとおりである。

- ・交通事故及び接触事故：22 件（学内 18 件，学外 4 件）
- ・盗難：0 件
- ・その他犯罪被害等：0 件

## 4 アドミッションセンター

アドミッションセンターは、学生受入センターを改組し、令和4（2022）年4月に発足した。センターにはセンター長（副学長）と副センター長（兼任）、兼任教員（各学部の入試又は学生募集広報担当委員会の委員）が在籍する組織である。センターの運営については、アドミッションセンター運営会議が設置されている。そして、下部組織として「入学試験委員会」と「高大連携・学生募集広報委員会」を組織し、各学部等から委員が選出されている。審議内容は、「入学試験委員会」が入学試験実施に関する基本方針に関すること等（これらを以下、「入試関係業務」という）であり、「高大連携・学生募集広報委員会」が高大連携活動及び学生募集広報活動に関すること（これらを以下、「高大連携・広報関係業務」という）である。

令和4（2022）年度に関しても令和3（2021）年度に引き続き、入試及び高大連携・広報関係業務等の実施事項は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため様々な点で活動が制限され、通常とは異なる結果となった。

### 4.1 機動的で一体化した本格的な学生受入のための組織体制の整備

今後も継続される大学入試改革、高大連携活動の活発化、そして、18歳人口の減少を踏まえ、本学の学生受入のための入試関係業務と高大連携・広報関係業務の実施体制をさらに発展させる必要があることから、機動的で一体化した本格的な学生受入のための組織であるアドミッションセンターを令和4（2022）年4月に設置し、専任のアドミッション・コーディネータを3名配置した。

入試関係業務は、全学の入学試験委員会と連携を図るほか、学務部学生受入課が各学部の入試担当係と連携を図り、令和4年度も従来通り業務を遂行した。

高大連携・広報関係業務は、昨年度までは「群馬大学広報本部」の下部組織である「学生受入部門」において企画・立案を行い、学生受入センター運営委員会の下部組織である「広報部会」で具体的な実施方法を練り、実行するという2体制であったが、前述したアドミッションセンターの設置に伴い、「高大連携・学生募集広報委員会」に企画・立案・実行の機能を集約し、広報本部とも連携して業務を遂行した。

### 4.2 大学入学共通テストへの対応と新型コロナウイルス感染症に対する入試対応

大学入試センターが令和3（2021）年度から実施を開始した「大学入学共通テスト」において、新型コロナウイルス感染症に対する入試対応のため、昨年度に準じて実施日程が、本試験：令和5（2023）年1月14～15日、追試験（各都道府県で試験会場設置）：1月28～29日という日程となった。本年度、本学は本入試である1月14～15日の実施を担当した。

新型コロナウイルス感染症に対する入試対応のため、令和5（2023）年1月16日付で本学ウェブサイトにて、「2023（令和5）年度一般選抜追試験実施要項」を掲載し、周知した。

### 4.3 入学者の選抜方法改善と追跡調査

前年度入試の実施状況等については、例年同様、受験産業による報告会を学内で複数回実施して本学

を含めた大学入試の最新動向の把握を行った。

これら複数回場で得た情報、受験産業から個別に提供された情報、そして本学で実施した各種アンケートや入学後の成績等の追跡調査結果を基に、各学部において「入学者選抜方法研究報告書」を作成し、次年度以降の入試改革に役立てることとした。

なお、令和4年度は、共同教育学部音楽専攻の一般選抜（前期日程）及び私費外国人留学生選抜において、実技科目の重要性を鑑み、配点を260点から300点に変更した。

#### 4.4 オープンキャンパス等

毎年本学では、教育研究及び学園生活の現状を、具体的に分かりやすく伝える場として、また、受験生の進路決定に資することを目的として、全学のオープンキャンパス「群馬大学オープンキャンパス『GU'DAY20xx』」と各学部学科等が開催する「学部別オープンキャンパス」を実施していた。

しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症のため、全学と各学部を一本化し、全てのプログラムがWeb上で完結する形式の「群馬大学 Web オープンキャンパス『GU'DAY2022』」と各学部の来場型イベントの実施を、高大連携・学生募集広報委員会決定し、昨年度と同時期の7月下旬から8月上旬の2週間実施した。

このWebオープンキャンパスに対して、群馬、茨城、栃木、静岡、埼玉、千葉、神奈川、東京、新潟、長野の全高校（約1,500校）へ周知文書とチラシを送付し、加えて、前年度の群馬大学オープンキャンパス申込者へのメール配信、そして、本学ウェブサイトやSNS等でも積極的に告知した。その結果、オンラインでの高校生及び保護者等による延べ4,907名の登録参加者があった。

##### 4.4.1 群馬大学 Web オープンキャンパス「GU'DAY2022」【Web 配信】

新型コロナウイルス感染症のため、今年度も前年度と同様、全学と各学部を一本化し、Web配信による形式の「群馬大学 Web オープンキャンパス『GU'DAY2022』」を、7月20日（水）から8月2日（火）の14日間開催した。例年同様に、総務課広報係と連携した事前のPR活動等の効果もあり、計14日間のWeb配信で4,907名の高校生と保護者のオンライン登録参加者があった。

イベント内容についても、平成29（2017）年度から発足した「群馬大学学生広報大使」の発案による企画を引き続き実施した。特に今回もWeb配信ということで、「学生広報大使トークライブ」を計画して実施し、多くのオンライン参加者から好評を得た。また、zoom授業体験を学部イベントとして、全学部対象に実施した。今回もWebオープンキャンパスの実施に対して、オンライン参加者へのアンケート結果から高評価を得た。

##### 4.4.2 学部別オープンキャンパス

前記したように、各学部学科等が開催する今年度の「学部別オープンキャンパス」は、新型コロナウイルス感染症のため「群馬大学 Web オープンキャンパス『GU'DAY2022』」へ一本化したため、今年度も中止となった。

#### 4.4.3 学生広報大使トークライブ（第二弾「受験生応援編」）

Web 配信による「群馬大学 Web オープンキャンパス『GU'DAY2022』」の実施の際、「学生広報大使トークライブ」が、今年度も大変好評であった。この「学生広報大使トークライブ」は昨年度と同様、YouTube でライブ配信し、チャット機能により寄せられた高校生からの質問にリアルタイムで回答するという、大学のオープンキャンパス企画としては目新しく充実した対応であったため、オンライン参加者のアンケートにおいて満足度の高い企画となった。

この結果を受け第二弾として今年度も昨年度と同様、受験シーズンを迎える直前の時期（10月10日）、各学部学科等の在学生に受験の体験記を中心に語ってもらうことで、特に高3生の受験に向けた不安を解消し、本学への志願に結び付けてもらうことを目的として「学生広報大使トークライブ（第二弾「受験生応援編」）」を開催した。その結果、248名の高校生等のオンライン登録参加があった。

### 4.5 高大連携活動

アドミッションセンターの新たな業務として「高大連携活動の企画、立案及び実施」が加わった。令和4（2022）年9月開催の高大連携・学生募集広報委員会において、高大連携に対する基本的な考え方と対応について審議し、大学教員へのインタビューや大学生の高校への派遣に関して、実施手順等を決定した。高大連携に絡んだ高校からの要望はこれからバリエーションが増えることが予想され、今後新しい業務が発生していくことも考えられるため、必要に応じて対応方法を適宜更新していくこととした。

### 4.6 学生募集に係わるその他の広報活動

アドミッションセンターでは、改組後も引き続き、学生募集に係わる様々な広報活動を行っているが、令和4（2022）年度も令和3（2021）年度と同様、新型コロナウイルス感染症への対応のため様々な点で影響があった。その主な学生募集に係わる広報活動の事項とその状況は、次のとおりである。

#### 4.6.1 高等学校等の教員を対象とした説明会

本学の主催で、高等学校等の進路指導担当等の教員を対象とした「高等学校等の教員を対象とした入学試験に関する大学説明会」を、例年6月下旬に開催している。これは以前、高等学校等の「進路面談（7月中旬頃）の前に、説明会を行って欲しい」旨の意見を進路指導担当等の教員から受け、平成28（2016）年から開催日時を従来の7月下旬より前倒しして行っている。

今年度はオンラインにて従来通りの6月24日（金）に「高校教員向けオンライン入試説明会」として本学主催で開催した。この説明会には、過去3年間の入試において志願者のあった約1,200校へ案内通知し、79校の高校教員の参加があった。そして「高校教員向け入試資料」を7月7日から本学ウェブサイトで公開した旨の案内を同様の約1,200校へ通知した。

本学主催ではないが、高校教員向け入試説明会として次の3件へアドミッションセンターとして参加し、説明を行った。（1）5月29日（日）に「大学入試改革シンポジウム in 富山」として富山県内高校の教員対象に参加1校、（2）8月16日（火）に「東京・多摩地区高校向けオンライン入試説明会」として都立高校の教員対象に参加39校、（3）12月23日（金）に「静岡向けオンライン入試説明会」として静岡県の高教員対象に参加20校。

#### 4.6.2 群馬県高等学校長協会との意見交換会

平成 30（2018）年に群馬県高等学校長協会からの要請を受け、平成 30（2018）年度は 7 月と 11 月の 2 回、令和元（2019）年度は 7 月の 1 回、令和 2（2020）年度及び令和 3（2021）年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため、日程調整が付かず開催できなかったが、令和 4（2022）年度は 7 月と 10 月の 2 回、群馬県高等学校長協会出席者と本学関係者での意見交換会を実施した。令和 5（2023）年度及び令和 6（2024）年度の入学者選抜方法、新課程に対応した令和 7（2025）年度入学者選抜の実施教科・科目等及び高大連携について意見交換を行った。

#### 4.6.3 大学説明会・進学相談会・オンライン個別進学相談会

今年度も昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響があったが、県内・近県等を中心に、高校や受験産業からの要請を受けて、オンラインを含め延べ 125 回、大学説明会・進学相談会等の対応を行い、高校生及び保護者等に群馬大学の PR を行った。

昨年同様、本学主催で高校生を対象とした「オンライン個別進学相談会」を 10 月 24 日（月）から 10 月 28 日（金）の 5 日間開催し、関東・北陸・中部・東海地方を中心に計 46 名の参加があった。オンライン参加者の多くから満足した相談が行えた旨の評価を受けることができた。なお、参加者の本学への志願率（2023 年度入試）は 92% を記録し、受験生のニーズを捉えていることが示された。

#### 4.6.4 夢ナビライブ

新型コロナウイルス感染症のため今年度は、株式会社フロムページが主催する高校生向け進学イベント「夢ナビライブ」は、オンラインとオンデマンド配信が混合した形での開催となった。本学は 7 月 9 日と 10 日の両日開催の「夢ナビライブ 2022Web in Summer」と、10 月 15 日と 16 日の両日開催の「夢ナビライブ 2022Web in Autumn」において、学部教員による、夢ナビ講義 Video、講義ライブ質問対応・研究室訪問、そして、学生広報大使によるオンラインセミナー（トークライブ）を行った。計 5 名の教員による講義等（参加者計 510 名）と、延べ 10 名の学生広報大使によるオンラインセミナー（参加者計 234 名）を行った。

#### 4.6.5 出張模擬授業

今年度も昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響があったが、高校からの依頼により、オンラインを含め延べ 49 校の高校生に対して、各学部学科等による出張模擬授業を実施した。なお、今年度後半からアドミッションセンターの構成員と本学名誉教授による出張模擬授業をスタートさせた。

#### 4.6.6 高校訪問

今年度も昨年度と同様、新型コロナウイルスの影響があったが、アドミッションセンターの教職員を中心に、県内・隣県等の延べ 16 校を高校アプローチ戦略に基づいて訪問し、高校の進路指導主事等との意見交換を行った。

#### 4.6.7 大学見学受入

今年度も昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症のため、大学見学の受入は原則中止した。

#### 4.6.8 大学案内等のダイレクトメール，郵送など

今年度も例年通り、広報活動のためのツールとして、冊子体の大学案内を作成して、出前説明会等において配付した。さらに、今年度も昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症のため、過去3年間の入試において志願者のあった約1,300校の高校へ大学案内を郵送した。また、理工学部では、高校3年生へDM（ダイレクトメール）も送付した。

#### 4.6.9 ウェブサイト等による広報

今年度も例年通り、本学ウェブサイト等を活用し、受験者等への情報発信（LINE、Twitter等のSNSを含む）を種々行った。「入学者選抜に関する要項」や「学生募集要項」の発表、受験状況の公表のほか、平成25（2013）年度からは試験問題及び解答例・評価のポイント、群馬大学入学者選抜における受験上の配慮内容、次年度以降の入試の変更点を公表している。また、大手の受験産業が運営する進学情報サイト等に入試情報を掲載し、より広範な広報活動を行った。

加えて、本学に関する紹介動画を各種作成して、群馬大学公式チャンネル（YouTube）に掲載した。

#### 4.6.10 学生広報大使による広報

本学の広報活動を推進するため、学生ならではの視点を活かして広報活動の企画・実施に参画してもらうことを目的として、平成29（2017）年度から「群馬大学学生広報大使」の活動が行われている。具体的な活動内容としては、オープンキャンパスへの協力、夢ナビライブなどの進学イベントへの参加、大学説明会への同行など多岐にわたる活動を行っている。ただ今年度も昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症のため、活動が制限されたが、今年度は「群馬大学 Web オープンキャンパス『GU'DAY2022』」での「学生広報大使トークライブ」やラジオ番組「Guuuum（グウウウム）」などの活動を行い、多くの高校生の共感を得た。

### 4.7 広報戦略の立案

今年度は、アドミッションセンター運営会議及び高大連携・学生募集広報委員会において、広報戦略等を継続して検討した。

### 4.8 その他

令和5（2023）年度「群馬大学オープンキャンパス『GU'DAY2023』」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全てのプログラムがWeb上で完結するWeb配信型と一部対面イベントを増やして、ハイブリッド形式として開催することとした。なお、with コロナの時代において、いつの段階で「GU'DAY」をコロナ前の全対面形式の水準まで戻すのか、あるいは戻さないのかということについては、今後の

検討課題とした。

## 5 健康支援総合センター

### 5.1 はじめに

令和4年度は令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を前提とした対応のもとに、健康支援総合センター（以下「センター」という。）の活動・行事を行った。

まず、センターの基本となる業務として、学生ならびに教職員の心身の健康の保持増進を図るため、学生健康診断やその事後措置としての助言・指導、健康に関する相談対応、感染症の流行情報の把握と予防教育活動及び健康に関連した調査や研究を行っている。大学を取り巻く環境が変化していく中で、近年その活動は、以下の新たな3つの点を中心に実施されてきた。

- 1) 学内関連組織との円滑な連携に基づく学生の心身の健康に関する支援拡充
- 2) 障害学生支援室との連携強化（平成28年4月障害者差別解消法施行）
- 3) 学外の医療・教育関係機関との連携による地域貢献活動の拡充

令和4年度は上記の点に加えて、新型コロナウイルス感染症の状況の変化に対して柔軟に対応しながら、業務を行う必要があったことから、各種活動の日程や内容の変更、支援活動の拡充についても状況に応じて随時関係者で検討しながら実施した。以下に主な点を列挙する。

- ① 危機対策本部会議との連携：上記の政府・文部科学省の方針の下、危機対策本部会議が開催され、センター長（病院長）が出席。副センター長もオブザーバーとして出席し、検討に参加し対策実施に協力した。
- ② 学部行事への予防対策助言：学部の要請に基づき、入学試験や講義における感染予防対策について個別の助言を行った。
- ③ 学生相談のオンライン化：引き続き、従来の対面型の学生相談以外に、オンラインでの相談も実施継続した。
- ④ カウンセラーによる学生向けセルフケアセミナーを企画、実施した。
- ⑤ 教職員のためのカウンセリングの支援：令和2年度より人事労務課に協力して、非常勤産業カウンセラー1名を配置し、教職員のためのカウンセリングを実施し、必要に応じて産業医としての助言を行うなど産業保健活動へ貢献した。

## 5.2 令和4年度実施事業

### 5.2.1 学生定期健康診断の実施

令和2年度は対象者を限定して実施したが、令和3年度からは例年通り対象者を全学生とし、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、「資料5-1-1 令和4年度 荒牧・昭和地区学生定期健康診断日程表」「資料5-1-2 令和4年度 桐生地区学生定期健康診断日程表」に示す日程で実施した。受検状況は「資料5-2-1 令和4年度 桐生地区学生定期健康診断日程表」「資料5-2-2 令和4年度 学生定期健康診断受検状況（桐生地区）」に示すとおりであった。学部学生の受検率は前橋地区全体で81.4%、桐生地区全体で64.0%であった。1年生については、共同教育学部100%、情報学部97.7%、医学部医学科95.9%、医学部保健学科96.9%、理工学部94.4%と良好であった。各検査結果は「資料5-3 令和4年度 学生定期健康診断結果」に示すとおりであった。要精検者については、医療機関への紹介状を作成し、



円滑な受診につなげている。

### 5.2.2 精神保健調査の実施

例年、4月の健康診断時に精神保健調査（スクリーニング検査）を実施している。在学生については令和3年度より健康診断予約システムを用いて予約時にオンライン上で実施し、新入生についてはGoogle Formを用いた質問票にオンライン上で回答する様式で実施した。

調査方法は、メンタルヘルス質問票33項目を用い、抑うつ状態、気分変調、精神病像、食行動異常、生活支障度、相談希望、既往歴についてスクリーニングし、面接の可否を判定した。要面接と判定された者に対して、センター医師により、対面またはオンラインで診断的面接を実施した。

結果については「資料5-4 令和4年度 精神保健調査結果」に示すとおりであった。要面接者は、昨年度急増した新入生においては1.9%と減少し、在学生においても1.9%と例年並みになっていた。

一方、精神科、心療内科等に通院歴のあるものの人数は、数年前に比べると倍以上に増加してきている。また、発達障害を背景とした学生への対応件数も引き続き増加している。

### 5.2.3 学校生活に関する困りごと調査の実施

例年、6月に新入生を対象とした講義内で実施しているが、令和2年度からは新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、10月にGoogle Formを用いた質問票にオンライン上で回答する様式で実施した。回答結果より「相談を希望する」「相談するべきかどうか迷っている」と答えた学生に対し面接を勧めた。面接は、センター医師（講師）が担当した。結果は「資料5-5 令和4年度 新入生の「学校生活に関する困りごと調査」結果」に示すとおりであった。

### 5.2.4 学生特殊健康診断の実施

特殊健康診断の受診対象者は、「常時使用する労働者」であり、教職員、非常勤教職員であるが、学生も実習や実験研究を通じて、教員等と同様の環境下にあることから特殊健康診断の対象とすることが必要であると考えられる。このことから、平成25年度より学生に対しても同健康診断を実施している。令和4年度は、「リスク評価システムにおいてリスクレベル「ⅢS」と判断された理工学部4年生及び理工学府生」を対象に実施した。結果は「資料5-6 令和4年度 学生特殊健康診断結果」に示すとおりであった。受診者84名中、異常なし82名、要経過観察者2名、要精密検査者は0名であった。要精密検査の学生がいた場合には、医療機関を受診し必要な検査を受けるよう個別指導を行っている。

### 5.2.5 外国人留学生健康診断の実施

平成21年度から感染性肺結核症の有無を検査するクオンティフェロンTBゴールド検査を実施していたが、平成30年度よりT-SPOTに変更して検査を実施した。令和3年度からは新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、新規の外国人留学生も少なく、T-SPOT検査は実施せず、11～12月に胸部レントゲン検査を実施した。結果は「資料5-7 令和4年度 外国人留学生特別健康診断結果」に示すとおりであった。留学生1名が肺結核と診断され治療を開始した。

### 5.2.6 自殺予防対策ワーキンググループの活動

令和元年に関係部局と連携して自殺予防対策ワーキンググループを立ち上げ、令和2年はガイドラインを作成する年度に該当していたが、新型コロナウイルス感染症対策及びメンタルヘルス不調による個別緊急対応事例の増加から、延期となっていた。事例検討を行い、「群馬大学自殺予防ガイドライン」の素案を作成した。令和3年度は、その内容をもとに現場に必要な学びの場を作ることとして令和4年3月18日（金）に自殺予防ガイドライン策定ワーキンググループ研修会を開催し、一般社団法人日本グリーフ専門士協会代表理事、公認心理師の井手 敏郎氏より「グリーフケア～悲嘆にどのように向き合うか」と題してご講演いただいた。また、研修会終了後には、自殺予防ガイドライン策定ワーキンググループ会議を開催し、ガイドラインの素案について意見交換を行った。

## 5.3 健康支援総合センター利用状況

### 5.3.1 利用人数及び件数

センター利用人数は、1,281名（年間延べ人数）であった。からだの健康相談、こころの健康相談、健康診断書の発行についての各件数を月別に集計した。新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、引き続きオンラインでの相談が多かった。結果は「資料5-8 令和4年度 健康支援総合センター利用状況」に示すとおりであった。健康診断書については、そのほとんどが自動発行のシステムを利用して発行されており、所定の健康診断書への記入が必要であった5件に関してはセンターで発行した。

### 5.3.2 健康相談の対応内容別件数及びカウンセリング報告

健康相談を「からだの健康相談」と「こころの健康相談」に分けて月別に集計した。結果は「資料5-9 令和4年度 健康相談の対応内容」に示すとおりであった。さらに、こころの健康相談者数とその内容については「資料5-10 令和4年度 こころの健康相談者数」に示す。また、荒牧・桐生キャンパスでの公認心理師による月別カウンセリング利用者数及び動機内訳を「資料5-11 令和4年度 公認心理師による心理カウンセリング報告」に示した。学生本人だけではなく、学生の家族や担当教員との面談や電話・メール相談も随時実施した。対面での授業が再開されたことにより、授業の合間の時間を使っての面談も多く、各キャンパス内でZoomでの面談やカウンセリングが受けられるよう、昭和キャンパスの学生健康相談室および学事・学生支援係、桐生キャンパス保健室の協力を得て部屋を確保した。担当教員と学生との面談時でも、センターを利用すること、セルフケアセミナーなどの研修を通じて、早期に相談することの大切さも伝えていることから、今後もセンターで受ける健康相談件数は増加することが予想され、センターの医師や公認心理師が対応する相談やカウンセリングにかかる時間数の増加は避けられないと想定される。

近年大きな課題となっている外国人留学生のメンタルヘルスサポートについては、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のために一時出入国が制限されていたこともあり、対応件数は減少したが、ポストコロナの今後はむしろ増加することが予測され、動向を観察していく必要があると思われる。

### 5.3.3 疾病領域別利用者数

疾病領域別利用者数を月ごとに集計した表を「資料 5-12 令和 4 年度 疾病領域別利用者数」に示す。オンラインでの相談が多く、メンタル系症状に関連するものが圧倒的に多数を占めた。センター医師・カウンセラーによる心理相談を行い、必要に応じて近隣の医療機関を紹介した。

### 5.3.4 診療科別医療機関紹介件数

センターから他の医療機関への紹介件数は、延べ学生 35 件、教職員 3 件であり、結果は「資料 5-13 令和 4 年度 診療科別医療機関紹介件数」に示すとおりであった。

### 5.3.5 薬剤別処方日数

センターで処方した薬剤の量を投与日数で集計した。結果は「資料 5-14 令和 4 年度 薬剤別処方日数」に示すとおりであった。

### 5.3.6 桐生地区・保健室利用状況

桐生地区での保健室利用状況は、「資料 5-15 令和 4 年度 桐生地区・保健室利用状況」に示すとおりであった。

### 5.3.7 昭和地区・学生健康相談室利用状況

昭和地区での学生健康相談室利用状況は、「資料 5-16 令和 4 年度 昭和地区・学生健康相談室利用状況」に示すとおりであった。

### 5.3.8 キャンパス・ソーシャルケースワーカーによる活動

キャンパス・ソーシャルケースワーカーの活動は、各キャンパスで教員からの要請に従い支援を行っている。令和 4 年度は資料 5-17 に示すとおり、桐生地区 15 名、荒牧地区 3 名の計 18 名の学生への対応の要請があった。事例から得られた経験を蓄積することで、更なる機能の向上をめざす。

## 5.4 教育関連活動

センターの医師は、教員として教養教育等の講義を担当している。新入生を対象とした教養基盤科目のスポーツ・健康「健康教育」について、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインにて実施した。疾病対策及びメンタルヘルス不調対策として、それぞれ 90 分の講義を 5 回（同一内容）行った。内科医からは「からだからのサインに気づく」と題して大学生に必要な日常に身近な疾病対策についての講義を行い、精神科医からは「精神の健康」をテーマに発達障害を含めたメンタルヘルス不調全般について講義を行った。なお、令和 4 年度は学期開始当初より新型コロナウイルス感染症対策のため全学オリエンテーションが実施できなかったことから、新入生向けの上記講義を例年より早めの 5 月連休後から実施し、講義の中で本センターのオリエンテーションを実施した。なお、例年オリエンテーションの際に実施しているアルコールパッチテストについては、簡単な説明

のみ行った。

また、令和5年3月にはクラブサークルリーダー研修において、「酒とタバコ」に関する健康講話を実施した。特に「イッキ飲み防止協議会」の資料をもとに、アルコールハラスメントの禁止を改めて強調した。

更に、精神科医師は、非常勤講師として医学部医学科3年生臨床行動科学講義「心の健康を保つには」を行った。

## 5.5 健康管理に関する調査研究活動

群馬大学「性の多様性に関する学生意識調査」からみるSOGIへの展開

(人を対象とする医学系研究倫理審査委員会へ研究計画書提出)

研究責任者：長安めぐみ（ダイバーシティ推進センター副センター長）、研究分担者：宮崎博子、竹内一夫

## 5.6 健康支援総合センター主催の委員会等

下記の委員会等を主催した。

1) 令和4年度健康支援総合センター運営委員会（令和4年9月21日、令和5年3月17日）

2) 令和4年度群馬県内大学等メンタルヘルス研究会（令和4年9月21日ハイブリッド開催）

「大学メンタルヘルスはパンデミックを超えられるか？－COVID-19で浮き彫りになった課題」

講師 影山隆之 大分県立看護科学大学 看護学部教授

「オープンダイアログ（開かれた対話）について～学生支援の場への導入を目指して～」

講師 森川すいめい 精神科医／オープンダイアログ国際トレーナー

3) 群馬県内大学等保健管理担当者会議（10月13日）

群馬県内の大学、短期大学、高等専門学校等の保健管理担当実務者及び事務担当者へのメール会議を開催した。会議内容は、研究集会の報告、「健康ミニガイド」の作成、保健管理担当者へのアンケート結果の報告などである。

4) オープンダイアログを大学へ「対話の場を開く」研修会（令和5年3月19日）

ファシリテーターに森川すいめい氏を招聘し、他大学の学生支援担当者を中心に周知し、大学外部からの参加者を募って開催した。

## 5.7 健康支援総合センターの全国会議等出席

下記の全国会議等にセンターの教職員が出席し、最新の情報の収集を行い、センターの機能強化につなげた。さらに関係大学との情報交換を行い、連携を深めた。

1) 第13回全国大学保健管理協会総会（オンライン開催）：京都（6月21日）

副センター長が出席

2) 第60回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会（ハイブリッド開催）

- 東京工業大学（9月1日、2日）：副センター長、センター講師、公認心理師、看護師が出席
- 3) 第60全国大学保健管理研究集会：北里大学（10月19日、20日）  
副センター長、センター講師が出席
- 4) 令和4年度国立大学法人保健管理施設協議会総会：横浜国立大学（10月21日）  
副センター長が出席
- 5) 第44回全国大学メンタルヘルス学会（ハイブリッド開催）：一橋大学（12月22日、23日）  
副センター長、センター講師が出席
- 6) 第24回フィジカルヘルスフォーラム：名古屋大学（3月16日、17日）  
副センター長、センター講師が出席。

## 5.8 学内行事実施に伴う救護業務

下記の学内行事に教職員が救護活動を行った。

- ・入学式
- ・共同教育学部体育大会
- ・関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験
- ・情報学部第3年次編入学試験
- ・情報学部・社会情報学部スポーツ大会
- ・荒牧祭
- ・共同教育学部、情報学部推薦入学試験
- ・大学入学共通テスト
- ・個別学力検査（前期、後期）
- ・学位記授与式

## 5.9 出版・広報活動

下記の出版、広報活動を行った。

- 1) 「健康ミニガイド 2022～よりよいキャンパスライフを送るために～」を発行した。先に示した群馬県内大学等保健管理担当者会議が、健康についての意識や知識を高めてもらうことを目的に共同で作成した冊子であり、新入生に配布した。
- 2) 「群馬大学 大学教育・学生支援機構報告書 健康支援総合センター」の令和3年度原稿を作成して提出した。
- 3) 群馬テレビ「ビジネスジャーナル」出演（副センター長）  
「ポストコロナへ向けた職場のメンタルヘルス体制づくり」2022年9月20日
- 4) 共著（副センター長）「シンプル衛生・公衆衛生学 2022」（南江堂）、2022年、東京
- 5) 共著（副センター長）全国柔道整復学校協会監修「衛生・公衆衛生学 改訂第6版第8刷」（南江堂）、2023年1月、東京
- 6) 監修（副センター長）「衛生テキスト」（日本バーテンダー協会）、2022年、東京

## 5.10 社会貢献活動

センターの医師は、専門性を生かして下記の社会貢献活動を行った。

### 【精神科医・教授（副センター長）】

各種外部委員、嘱託医及び各関係機関からのコンサルテーション要請への対応

令和4年度 群馬地方労働審議会・会長代行

令和4年度 群馬県障害者雇用対策プロジェクトチーム・座長

令和4年度 全国大学メンタルヘルス学会・理事

令和4年度 全国大学保健管理協会・評議員

令和4年度 前橋市教育委員会学校問題対策委員

令和4年度 群馬産業保健総合支援センター・相談員

令和4年度 群馬産業保健総合支援センター・評価委員

令和4年度 群馬大学医学部非常勤講師（精神医学）

令和4年度 北関東医学会・評議員

令和4年度 群馬職域メンタルヘルス交流会・幹事

そのほか群馬県医師会、各郡市医師会、群馬労働局、群馬県障害者職業センター、群馬労働基準協会連合会、群馬産業保健総合支援センター、日本産業カウンセラー協会、日本バーテンダー協会などの要請に応じて各種講演や講義を行った。

### 【内科医・講師】

嘱託医及び各関係機関からのコンサルテーション要請への対応

令和4年度 渋川看護専門学校非常勤講師として看護研究に必要な基礎統計学講義を担当。

令和4年度 高崎市乳幼児健診事業 内科診察及び発達・発育相談対応。

令和4年度 群馬大学 性の多様性に関する基本的考え及び対応ガイドラインに基づく支援員（にじいろライン相談員）として初期相談対応。

## 5.11 産業保健活動

産業保健活動に関しては人事労務課が統括しているが、平成25年度途中から荒牧・上沖・若宮地区に関しては、センター医師2名（内科、精神科）が兼務する体制をとっている。昭和地区は非常勤産業医（精神科）1名が勤務しており、桐生・太田地区は桐生市医師会医師に依頼している。平成27年度にはこれらの産業医の意見を集約するための産業医部会が発足し、継続している。

### 5.11.1 安全衛生委員会

荒牧及び若宮事業場はセンター医師が産業医として参加し、毎月の委員会中での職場巡視の報告及び質疑応答を通じて、職場環境改善のための指摘を行った（1回/月、8月を除く。メール会議の月もあり、その場合は資料を閲覧）。

### 5.11.2 職員の定期健康診断

人事労務課からの依頼を受け、若宮事業場及び上沖事業場の職場健診における内科診察を行った。全事業場に勤務する教職員の健診結果の判定及び個別結果の事後措置、医療保健相談についてはセンター内科医が対応した。

### 5.11.3 スタッフカウンセリング

人事労務課に協力して、非常勤産業カウンセラー1名を配置し、教職員のためのカウンセリングを実施。

## 5.12 通常業務以外の支援業務

全学危機対策本部会議にオブザーバーとして招集され、新型コロナウイルス対策の一部について意見を述べた（副センター長）。

## 5.13 健康支援総合センターの現状及び今後の方向性

冒頭に記したように令和4年度は、令和2、3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の予防対策に重点を置き、臨機応変な業務対応を余儀なくされる中、オンラインでできる活動の可能性を模索しながら日々の業務を遂行してきた。令和5年度よりほぼ全面的に対面講義が開始になるという政府方針決定を受け、次年度初頭の健康診断についてもほぼ従来通りの健診体制とするための準備を、令和4年度内に整備していった。

学生の支援業務に関しては、令和2年度より続いていた大学教育のオンライン化に伴う学生の孤立や将来への不安などから、心身の不調を訴える学生の個別対応事例の増加に対して関連教職員との連携を密にし、柔軟に対応した。精神科、心療内科等に通院歴のある学生の人数は急増しており、発達障害を背景とした学生への対応件数も増加していることから、学外各機関と協力し、コロナ禍に合わせた活動を行った。

オンラインによる相談が定番化する一方で、現場での職員のICT利用における技術支援の必要性が高まっている。また、外国人留学生のメンタルヘルス不調者への対応について国際課や領事館と対応協議する必要があるケースも生じていることから、大学国際化にあたって言語・文化面での支援を健康支援部門にも拡張する必要性が生じてきている。

ポストコロナ時代を見据え、こうした中・長期的な視点で、健康管理部門における国際的な支援への強化が求められている。

## 6 教育改革推進室

教育改革推進室は平成 28 年度概算要求「地域と連携した教育体制の整備と展開」が予算措置されたことを受け、平成 28 年 7 月に、大学教育・学生支援機構の教育基盤センター及び教育企画室の改編とともに設置された。大学教育に関する、(1) 教育実施体制及び教育方法、(2) 地域と連携した教育、(3) 社会ニーズを踏まえた教育プログラム、(4) アクティブ・ラーニングに関する企画立案を行うことが業務となっている。

### 6.1 教育課程・学習成果に関する取り組み

各講義、演習等が学位授与の方針であるディプロマ・ポリシー、教育課程編成・実施の方針であるカリキュラム・ポリシーと整合するように、かつ、学生が主体的に学ぶことができるような取り組みを進めている。そのためにシラバス、カリキュラム・ツリー、カリキュラム・マップの点検を実施している。また、学生が評価の観点毎に到達基準を把握できるループリックの導入、学生が振り返りを通して学修目標を自覚し自学自習できるポートフォリオシステムの利用推進、学習の管理やレポート執筆に関するフライヤーの作成、配布を行っている。

各教員の講義、演習等に関する授業コンサルテーションを随時受け付けている。特に、オンライン授業の効果的な方法、LMS (Learning Management System: 学習管理システム) の一つである Moodle の利用、アクティブ・ラーニングの推進についての相談活動を実施している。

### 6.2 内部質保証に関する取り組み

教育活動に関する適切な根拠(資料、情報)を収集するために、インスティテューショナル・リサーチ(IR)を実施している。入学から卒業までの学生の GPA 推移の分析、入試区分と GPA との関係についての分析、講義毎の成績評価分布の分析、履修パターンの分析等を行っている。また、分析結果の一部を IR レターとして全学へ配布している。

学習成果を把握する一環として、群馬大学全学学習ふりかえりアンケート調査(学部対象)、群馬大学全学卒業時アンケート調査(学部対象)、群馬大学全学修了時アンケート調査(大学院対象)を毎年実施している。なお、群馬大学卒業生・修了生就職先機関アンケート調査については3年毎に実施することになっている。

また、教育研究活動を推進、点検・評価する各学部・研究科等の組織—医学部医学科カリキュラム評価委員会、医学部 IR 室会議、数理データ科学教育研究センター運営会議/数理データ科学教育研究センター定例ミーティング、群馬大学データ利用倫理審査委員会、ぐんま未来学 WG、教育アセスメント委員会、経営 IR 室会議、大学教育センター学部教務委員会、大学教育センター大学院教務委員会、大学教育センター学部教務委員会教養教育部会—において、教育の PDCA サイクルを機能させる取り組みについての専門的助言を実施している。

### 6.3 その他の取り組み

#### 6.3.1 ベストティーチャー賞



ベストティーチャー賞は、教育実践に顕著な成果を挙げた教員に対して、その功績を表彰するとともに、受賞者による公開模擬授業を通して、本学の教員の意欲向上及び大学教育の活性化を図ることを目的として、平成18年度から実施している。各学部等より推薦された候補者から、審査委員会による書面審査により学長賞及び優秀賞を選出した。

### 6.3.2 第14回全学FD連続講演会「大学教育のグランドデザイン」

平成21年度より実施している全学FD連続講演会を引き続き開催した。本年度は「大学院改革について～筑波大学の取組～」をタイトルとして、学位プログラム制、教学マネジメントの取り組みについて筑波大学の執行部の先生方からご講演いただいた。

## 7 資料編

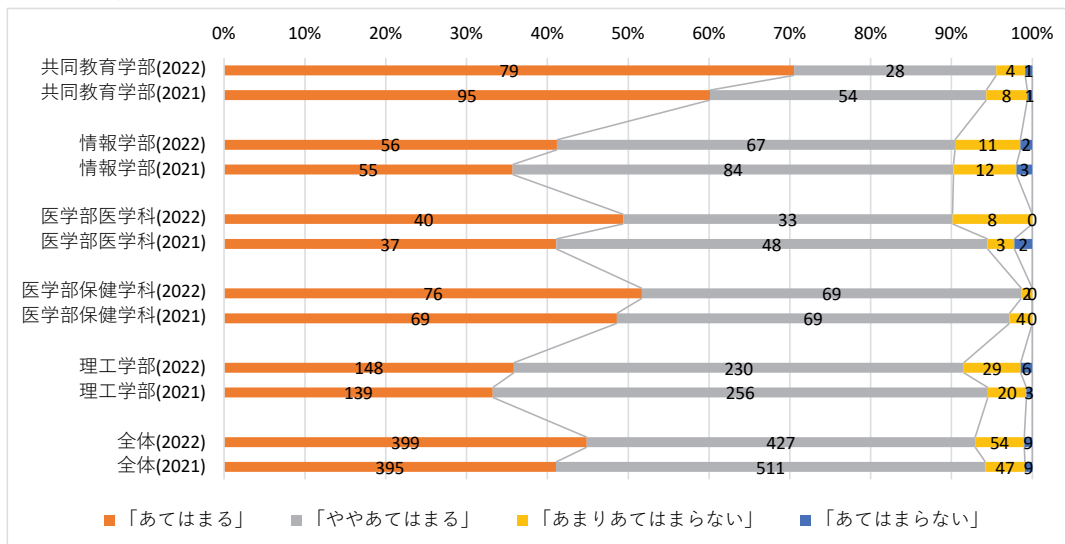
## 7.1.1 令和4年度 前期授業評価「学びのリテラシー (1)」集計表

区分	年度	対象者数	提出者数	回収率(%)
共同教育学部	2022	202	112	55.4
	2021	(202)	(158)	(78.2)
情報学部	2022	173	136	78.6
	2021	(184)	(154)	(83.7)
医学部 医学科	2022	109	81	74.3
	2021	(108)	(90)	(83.3)
医学部 保健学科	2022	161	147	91.3
	2021	(161)	(142)	(88.2)
理工学部	2022	489	413	84.5
	2021	(494)	(418)	(84.6)
合計	2022	1,134	889	78.4
	2021	(1,149)	(962)	(83.7)

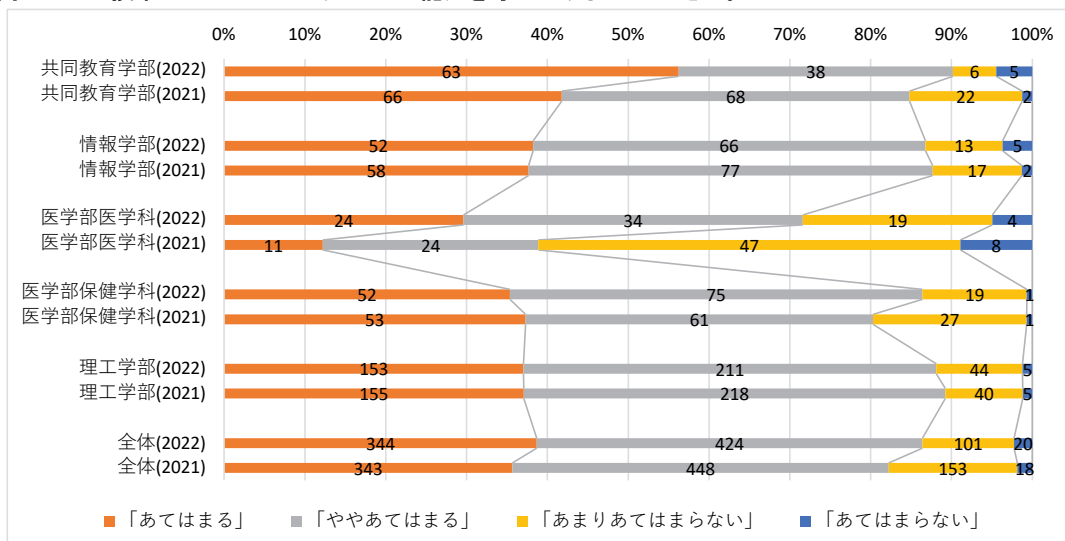
※ ( )は昨年度の結果

※評価基準 1「あてはまる」 2「ややあてはまる」 3「あまりあてはまらない」 4「あてはまらない」(以下 同様)

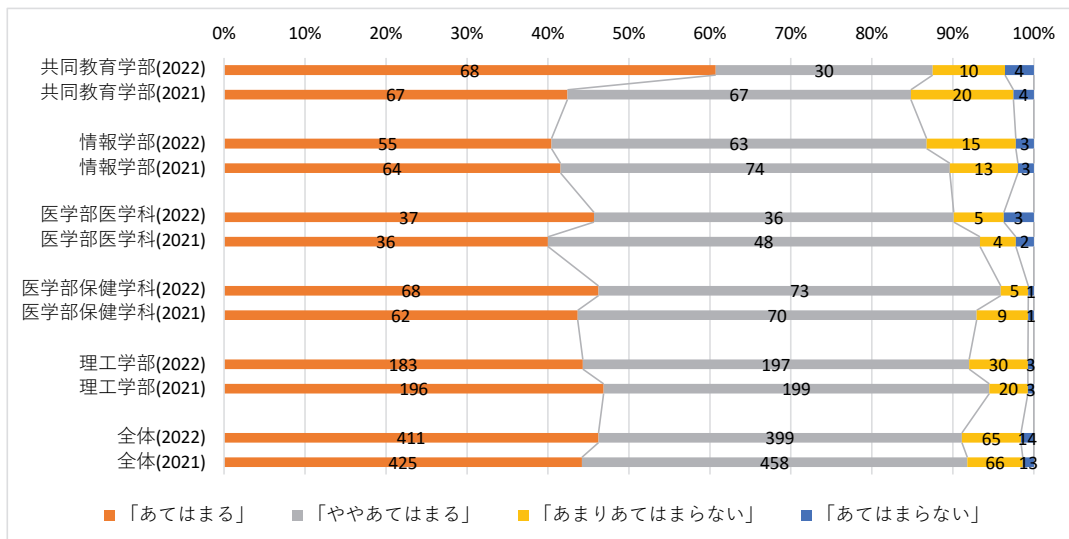
質問 1. この授業によって論理的思考力を身につけることができた。



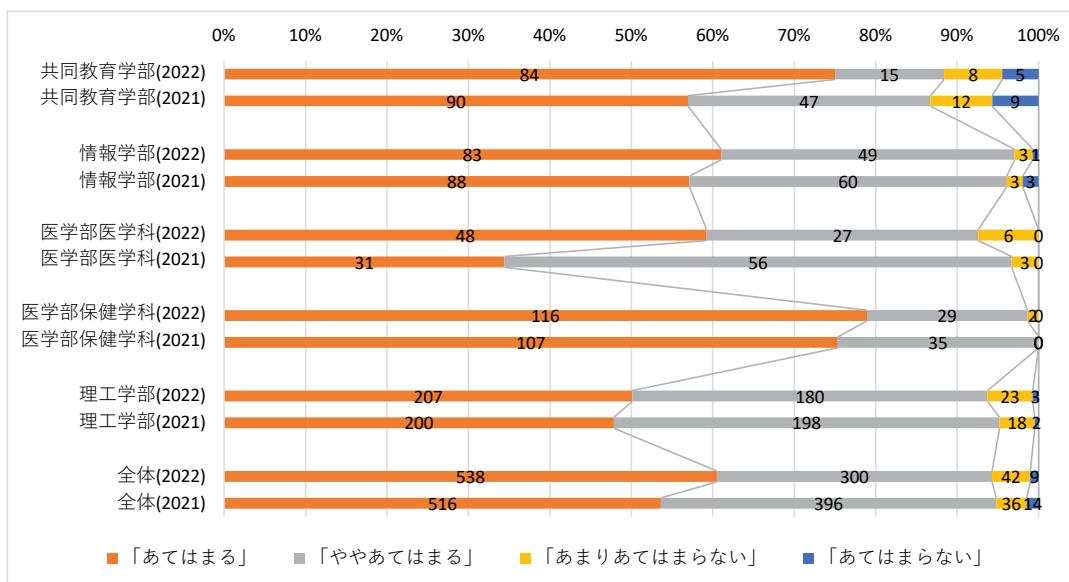
質問 2. この授業によってコミュニケーション能力を身につけることができた。



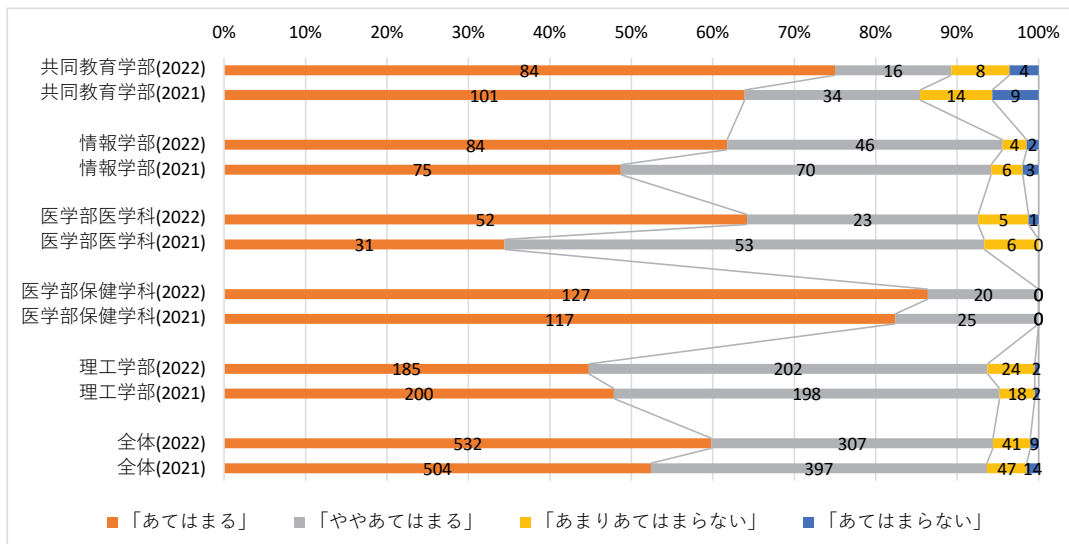
## 質問 3. この授業によって大学生に必要な日本語の能力を高めることができた。



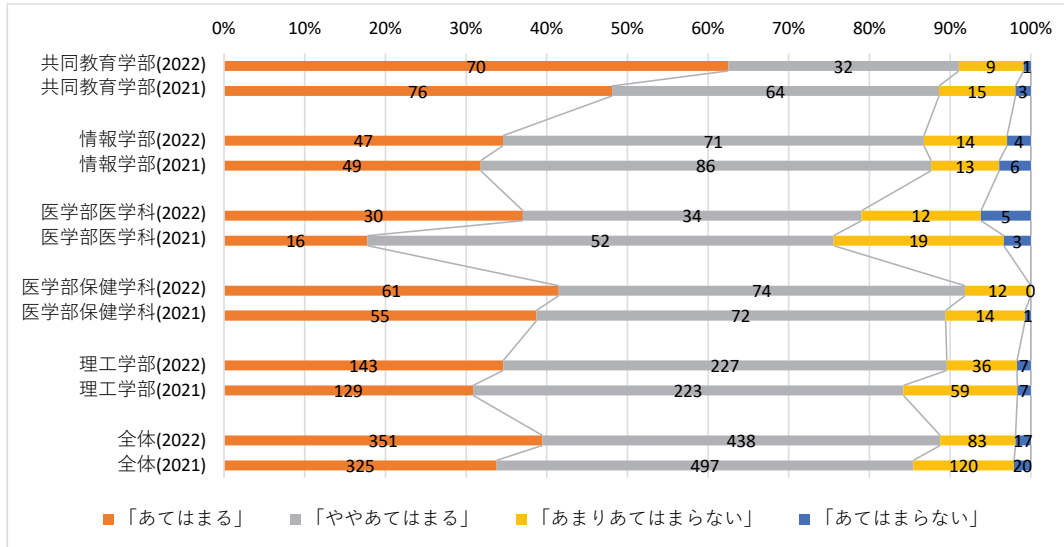
## 質問 4. この授業で報告の仕方やレポートの書き方が修得できた。



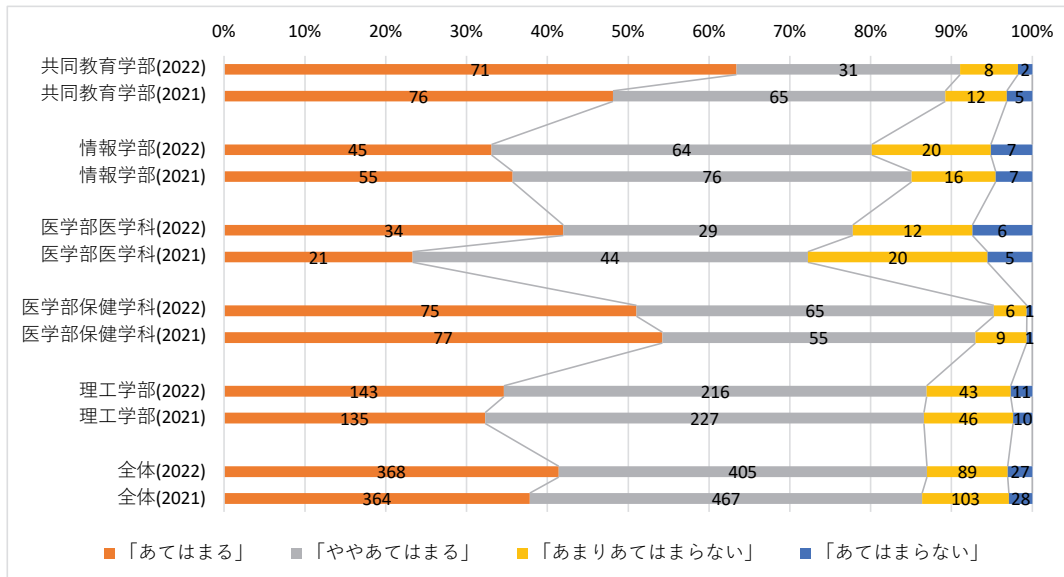
## 質問 5. この授業で情報収集や引用の方法について学ぶことができた。



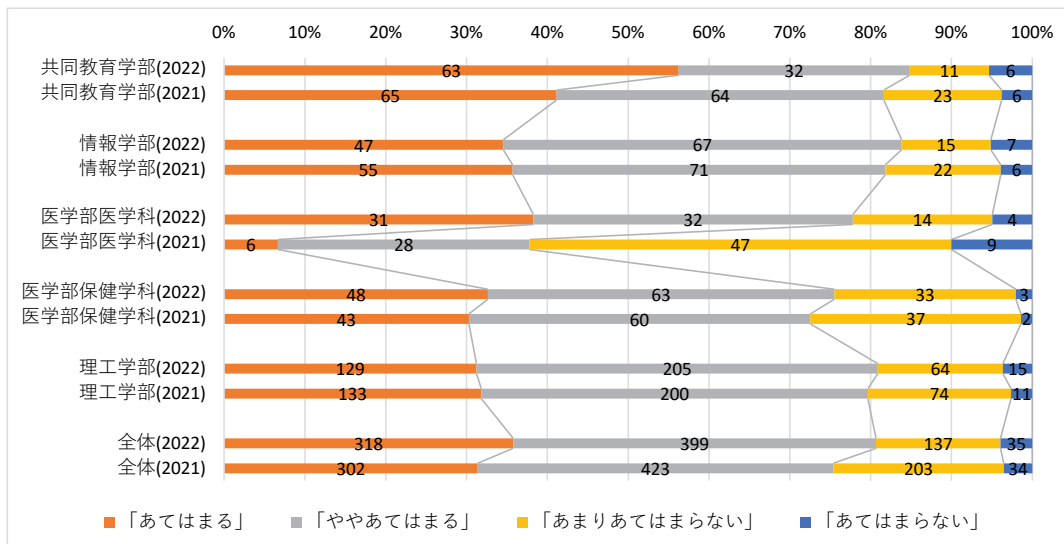
質問 6. この授業で大学での学習方法を修得できた。



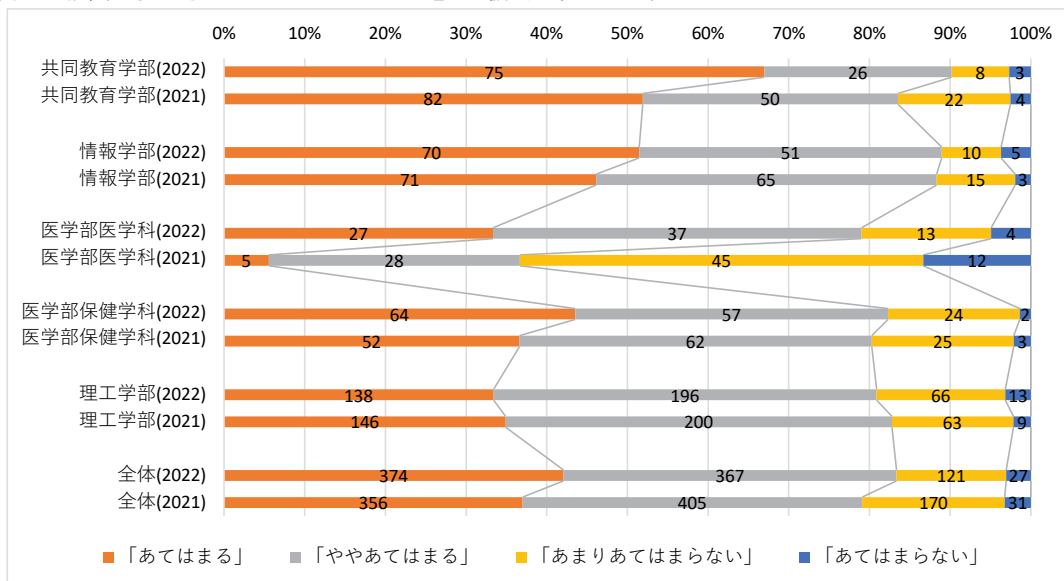
質問 7. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。



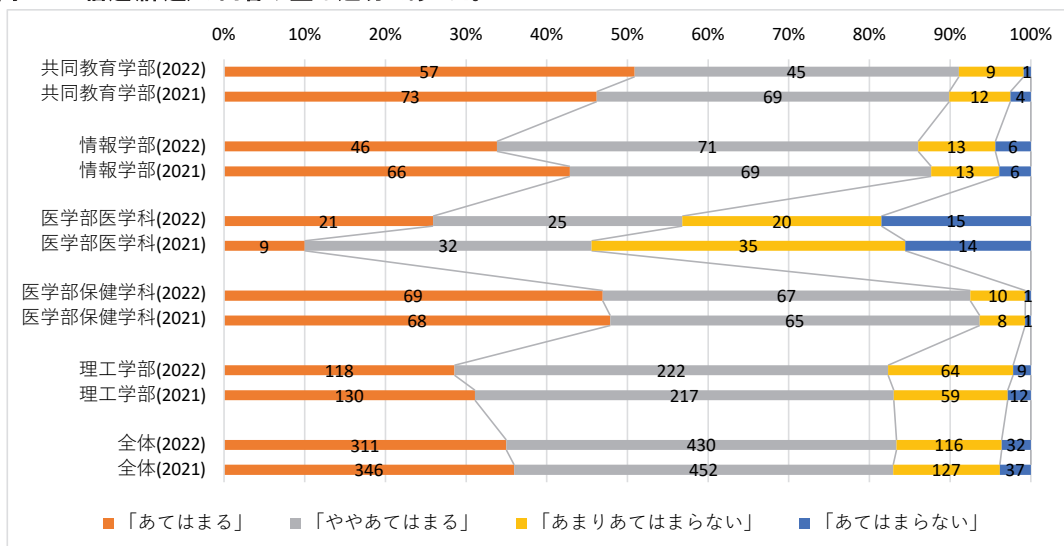
質問 8. 教室での討論は活発であった。



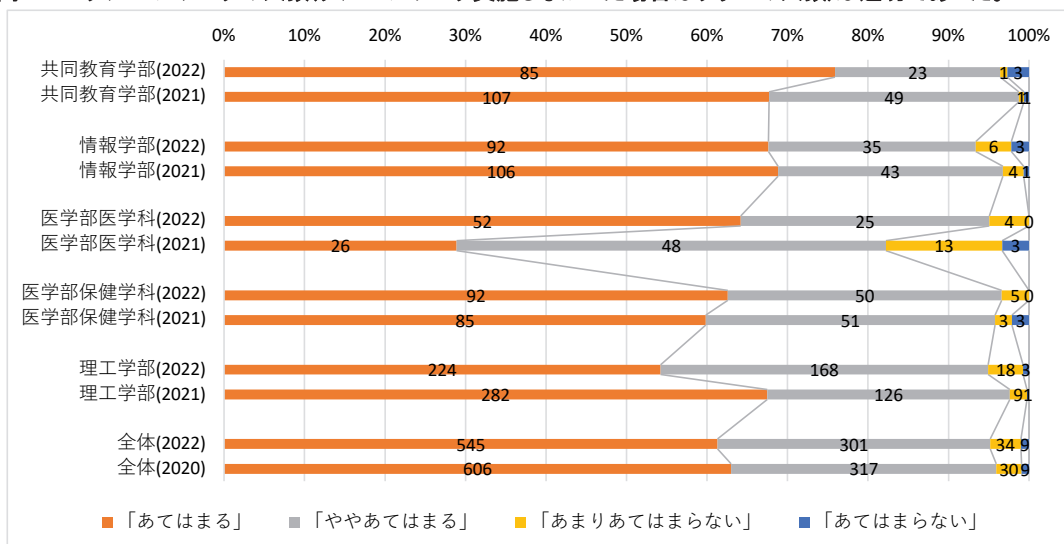
## 質問 9. 教員や他の学生とコミュニケーションをとる機会が多かった。



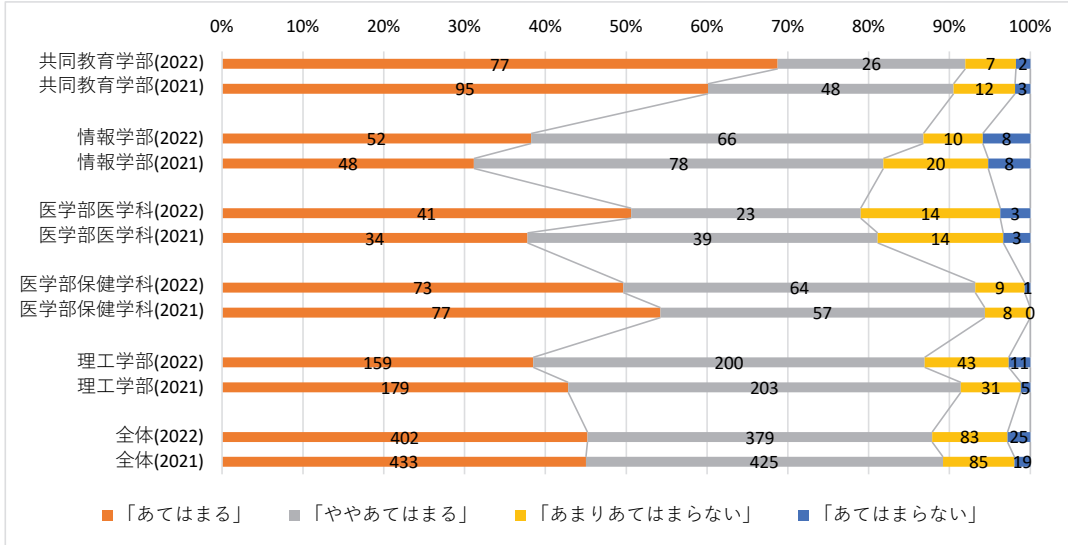
## 質問 10. 宿題(課題)の内容や量は適切であった。



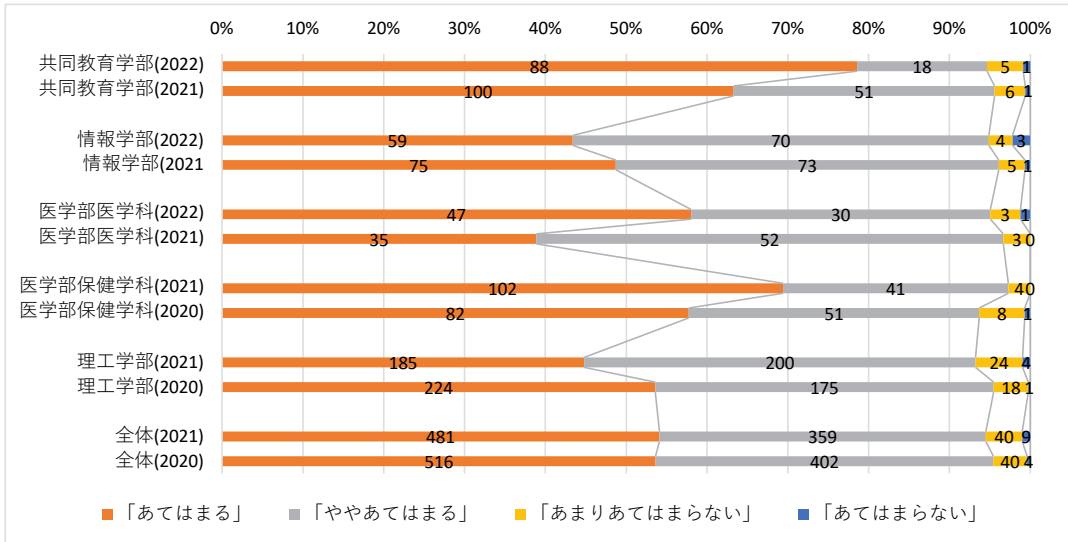
## 質問 11. グループワークの人数(グループワーク実施しなかった場合はクラスの数)は適切であった。



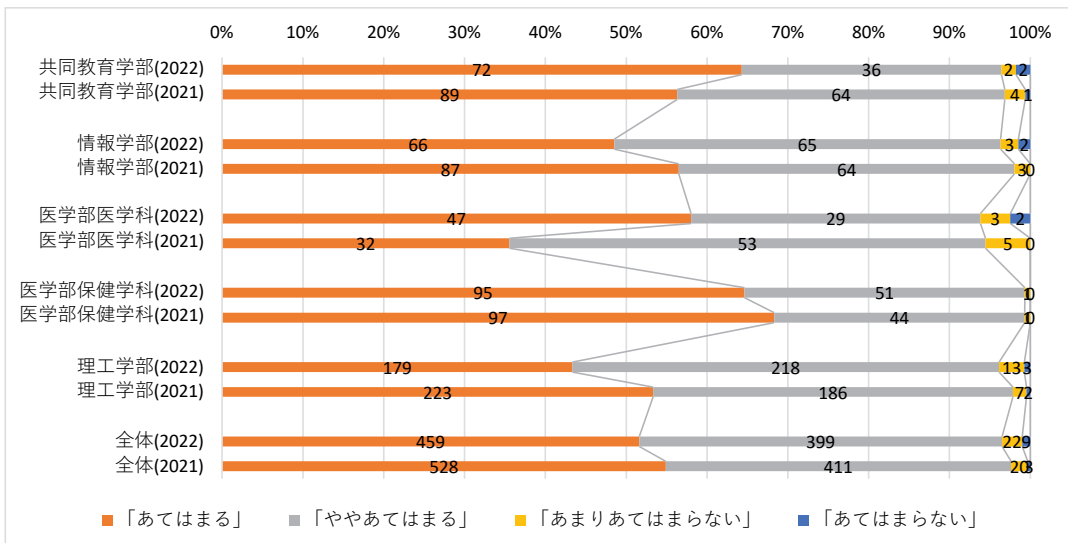
質問 12. 学部の専門教育を学ぶために必要な授業内容であった。



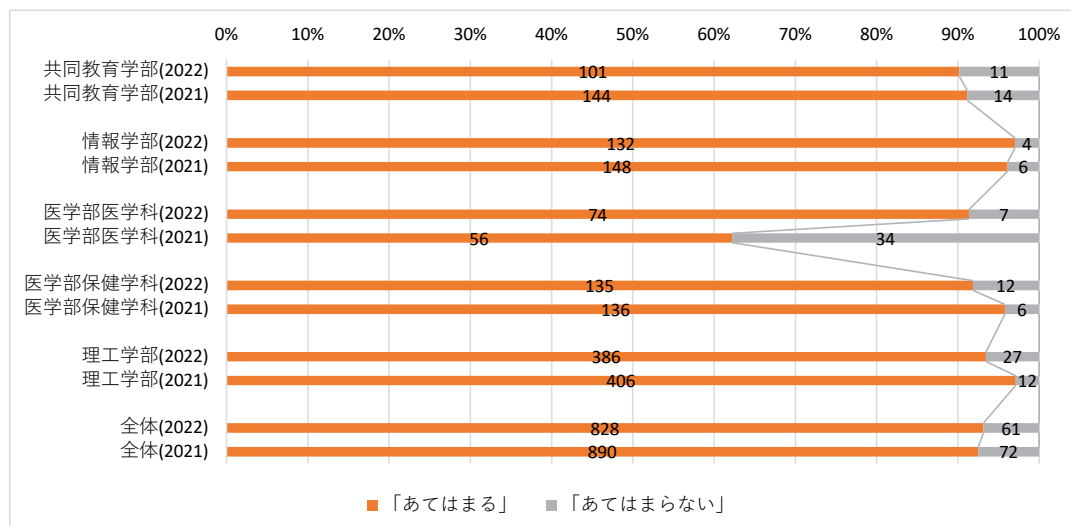
質問 13. 自分はこの授業に積極的に取り組んだ。



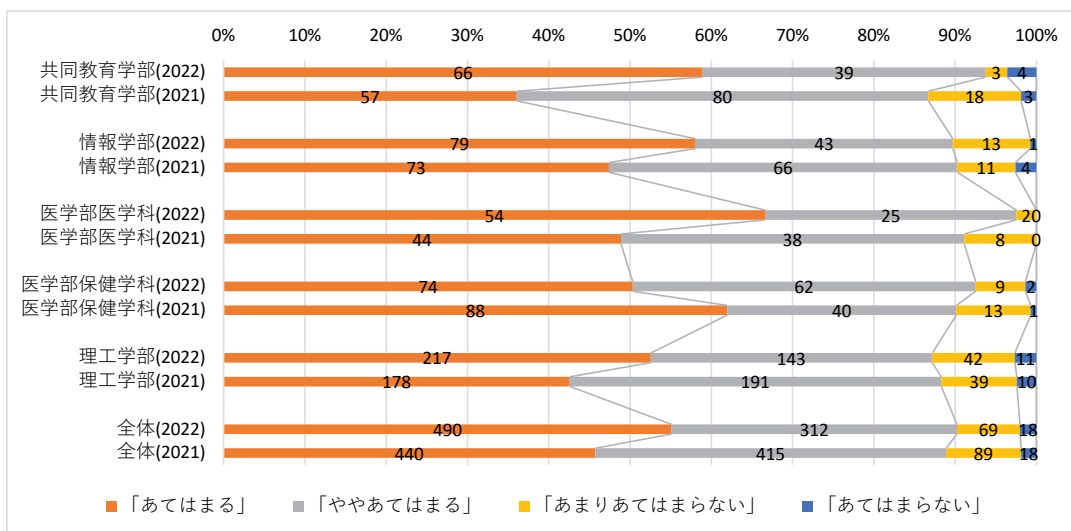
質問 14. シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。



質問 15. この授業は教員による一方的な講義ではなく、学生の能動的な学修への参加(例えば、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなど)を取り入れた授業(アクティブ・ラーニング)であった。



質問 16. 教養教育科目全般に関して、オンラインを利用した授業に満足している。



---

**学びのリテラシー(1)に関して、気付いた点、改善すべき点等を自由に書いてください。**


---

**質問17. 学びのリテラシー(1)に関して、気付いた点、改善すべき点、感想等を自由に書いてください。**

この講義は大学生として重要な、論文を書く力を総合的に高められる良い講義だったと思います。他の専攻、学部も受講する価値が十分にあると思います。

パラグラフィティングを学んだ後に、初回のレポートに対してコメントをつける活動があったら面白いと思う。

レポートについて書く機会は大学に入って、この授業が初めてでした。レポートの書き方について全く分からない最初の頃に比べて、引用の仕方など、レポートを書くために必要な知識は身についたと実感しました。ありがとうございました。

課題を少なくしてほしい。

学びのリテラシーを通して、引用などの論文pルールを学ぶことができた。

文章の書き方、特に自分の意見を表す文章の書き方を学んだ。今までは書き方のルールや気を付けるべき点などは考えもせずただ思ったことを書いていたが、意見文に必要なものを学ぶことができてよかった。特に、自分の意見を書いて、それに予想される反論を述べ、それに対して再反論するという書き方は、本当に説得力のあるものであったがとても難しかった。課題は自分にとっては少し大変であったけれど、どれで必要な文章力を少しは身につけることができたと思う。努力せずに文章を書くことがうまくなるわけではないので、継続して努力していくことが重要だと感じた。

論文の書き方が役に立った。他の授業でもレポートや論文で課題を提出する場面が多々あるので、学びのリテラシー(1)で学んだ知識や技術を生かしていきたい。

論理的に記述する能力は身についたと思う。しかし、まだ不十分であるため、今後も切磋したい。課題が提示される日と、提出日までの期間が短かった気がした。

3つのグループで調査するテーマが異なっていたため、プレゼンテーションでは様々な分野について学ぶことができて楽しかった。また、学びのリテラシーを通して、レポートの書き方やプレゼンテーションでの効果的な表現などを知ることができて非常に勉強になった。

4人のみのグループワークなどだと2人同時に休んだ場合が大変なので何かしらの対策をしてほしいです。

5人のグループで私だけ通路を挟んで他の4人と通路を挟んで反対側だったことがあり、その時は少し話しくかった。また、席替えの際に1人や2人だけを入れかえるとその人たちが話に入っていないときが出てくるので、もう少ししっかり入れ替えた方がいいと感じた。

LMSに宿題をコピーをして持参しなければいけないのか、パソコンで見ながら受講してもいいのかわからない書き方をしてあることがあったのではっきり書いてほしい。あいまいな書き方をして減点するのは納得いかなかった。

LMSに日付が書いてあるとわかりやすい

いちばん初めに「現在興味を持っているもの」についてレポートを書いたが、提出することもなければ次のレポートは医療に関するものについてであったためなんのために書いたのかわからなかった。

学びのリテラシー(1)で引用の書き方や、図書館の利用について知ることができてよかった。

いろいろ知れた

---



---

オンラインか対面のどちらかに決めてほしかった。

---

オンラインであっても少人数で話し合いをする場があれば、活発にコミュニケーションがとれることがわかった。しかし話し合いの議題によってはブレイクアウトルームにおける討論時間が適切でない場合もあったように感じた。

---

オンラインではなく対面だったためグループワークがあったことでいろんな人と話すことができ良かったです。また、これから社会に出ていく上での言葉の使い方などを学ぶことができたので良かったです。

---

オンラインで受講可能なのか、そうでないのか、わかりづらい時がありました。

---

オンラインで良い

---

オンライン授業が増える中で減っていたグループ活動が多く取り入れられていて、楽しく取り組むことが出来ました。

---

オンライン授業が多い中で、対面で同級生と協力しながら様々なことに取り組むことができ、学ぶだけでなく交友関係も広がり、とても充実した講義ばかりでした。

---

オンライン授業が多かったため、この授業は対面でコミュニケーションがとれて楽しく学んでいけたと思う。

---

グループが固定ではなく、席替えがあることによってさまざまな人の考えが知れて良かった。

---

グループディスカッションを多く取り入れていて、非常に有意義な講義であった。

---

グループでのレポートの発表やプレゼンテーションで他の学生とコミュニケーションを取ることができたので良かった。

---

グループでの活動をより多く時間をとってほしかった。

---

グループでの活動を通して、大学の勉強に必要なレポートの書き方や言葉の使い方を学ぶことができた。

---

グループでの討論は自分の考えを深めることができ有意義なものだった。

---

グループで考えをまとめてたり話し合ったりして関わる事ができて楽しく授業に参加することができた。

---

グループで話し合うときに活発に行うことができ良かったです。しかし、席替えをしてもグループで同じ人が必ずいるので、毎回違う人にしてほしかったです。毎回違う人になるとより多くの人と関わると感じたからです。

---

グループで話し合っ、主張・反論・再反論について決めるところについて、学生によって、やるべきことの理解が異なっていた。賛成と反対のマトリクスを作り、そこから考えていくことだと考えていた。学生によっては、学生各々が考えて、賛成か反対かの立場を決めて、多数決を取るという方法だと考えていたようであった。

---

グループで話す時間を長めにとってほしい。

---

グループワークがあったことで、横のつながりが増えてよかったです。

---

グループワークがあったことで、友達を増やすことができたのでとてもよかったです。

---

グループワークがあつてよかった

---

グループワークが多く、活発に議論を交わすことができたが後半になるにつれてその機会が減ってしまったのが残念だった。

---

グループワークが多く楽しい授業でした。

---

グループワークなどを通して学生同士の交友関係を深めることができる点がいいと思った。その中で、さまざまな意見を知ることができた。大学の学習のルールなどを知ることができて良かった。

グループワークなど討論したり協力したりしあえてとても良かった。

グループワークの機会が多く、新鮮で面白かった。今後の大学生活に役立つ内容だったと思う。

グループワークの際マスクをしていたり、席が少し離れていたりしてスムーズに会話ができないことがありました。メンターの班とメンバーが同じでもっといろいろな人と話したいと感じた。

グループワークの時間が少ないように感じた。

グループワークの前に個人で情報収集する時間を少しとった方が、スムーズに行くように思います。

グループワークは3人ぐらいだとより話しやすくなり、議論も活発になり、友好関係も気づきやすいのではないかと思います。

グループワークは多いので、面白いと思います

グループワークやみんなで考えを出し合ったり、新しい知識をたくさん得られたりしてとても良かったです。

グループワークを通していろんな人とコミュニケーションがとれてよかったです。

グループ学習や発表などの機会が多くあり、実践的な学習ができて身のためになりました。

グループ活動などで、友達を作るきっかけにもなって良い授業で楽しく感じた。

グループ活動に積極的に取り組めたと感じます

グループ活動を通じた授業が多かったので、学びやすい環境でした。

この講義では、大学生活において必要なレポートを書く技能などについて詳しく解説をいれており、ほかの講義でもいかせる情報がたくさんありました。その点において、いい講義であったと思います。

この講義では、文章を書く力と論理的思考力を身に付けられたと思う。

この講義で学んだことが活かされていると実感することがある

この授業では、論文を書くなどの今後も用いる力を付けるために様々な工夫が施されていた授業であったと感じています。先生方の書き方の講座や、論文の書き方を一から細かくお教えくださり、自身でも筆記能力が身についたと実感することができました。

この授業は一方向の講義だけではなく、発表などの準備のために適宜グループを作って行う活動が行われた。このような活動は、コミュニケーション能力や日本語運用の能力を向上させることに繋がるため、今後もこのような授業を続けてほしいと感じた。

この授業を受ける前と比べて、文章力や正しい日本語、敬語の使い方を理解し活用することができるようになった。このことをこれからにしっかり活かしていきたい。

この授業を通して、コミュニケーション能力を高めることができました。入学当初、知り合いが全くおらず、不安を抱えたまま生活していましたが、授業において話し合いの機会がたくさん設けられているおかげで友人ができました。

この授業を通して、論理的な文章の書き方や大学でのレポート作成の手順、方法について学ぶことができた。課題は毎週かなり多く、非常に大変な思いをしていたが、それも確実に自分の糧になっていたと思う。話し合いをする機会も多く、コミュニケーション能力の向上や、他者とともに考えることの良い練習になった。

この授業を通して自分の文章力が上がっていると信じたいです。度の講義よりも少し多めの課題に真剣に向き合い、努力してきたつもりなので、力が身につけていると信じたいです。

この前期の授業で一二を争う大変さだったと同時に、最も学んだことが多かった授業であると感じた。

コミュニケーションが多くて楽しい授業だった。

コミュニケーションをとることで自分だけでなく相手の意見も取り入れながらレポートがかけた。

これからの大学生活だけでなく、社会に出ても必要になる基礎的な知識を身につけることができました。この授業で学んだことを忘れず、これからの学生生活を送りたいです。

これまで論証や反論、再反論などを意識してレポートを書いたことが無かったので、授業を通して学ぶことができるとても学びになった。

コロナの影響で中止の授業もあったので、それをしっかりと受けてみたかった

さまざまなことについて基礎的な知識や流れを学ぶことができ、今後の学習に大いに役立つと感じました。

しっかりとしたレポートの書き方を学ぶことが出来たので良かった。また、班の中で情報交換を行い積極的に授業に参加することが出来た。

しっかりと大学生活に必要な知識を十分身につけることができた。

すべてオンライン授業でいいのではないかと思う。

そこまで気にはしていないが、先生によってはやや高圧的な人がいて授業の雰囲気があまり快いものではなかった。

ためになる講義ばかりでとてもよかった。

ディスカッションが多く、自分の意見をしっかりと持てた授業であった。

できればオンラインなのか対面なのかを統一するか変わるならLMSか何かで事前に言ってほしいと思いました。

できれば授業で扱ったスライドをLMSにアップロードしてほしいです。後で見返したい時がよくあります。

とてもためになった授業だった。

とても楽しかったです

とても楽しく、有意義な議論を行える授業だった。

キャリア計画と形態が似てるので、学生が間違えないように、出席確認方法をそろえるべき。

とても分かりやすかった。レポート・メールの書き方を学べて良かった。課題が少し多かったけど、正しいルールを知るために必要だったのでとてもいい学びだった。

どのようなレポートにも使える、基本的なレポートの書き方を学べてとても良かったです。また、学籍番号の近い人たちと協力してプレゼンテーションをすることで、プレゼンテーションをするという経験ができたと同時に身近な人たちとかわることができてとても良かったです。

ノートをとるのに精一杯になってしまうので、もう少し、授業のスピードを遅くしてほしいと思いました。

プレゼンを班で協力して製作することで親交を深めることができ、よかった。

プレゼン制作は大変だったが非常にためになった。

ほかの学生とコミュニケーションをとる機会があるので、学びを得ること以外にも中を深めることが出来るという点が良いと思った。

みんなの発表を聞けるのが楽しかったです。各個人の設定したテーマがちょうどバラつく、さまざまな知識に触れることができました。

メールの書き方、レポートを書く際の引用の仕方など、日常でよく使うことを学ぶことができて良かったです。

メールの書き方や敬語の使い方など、専門教科では習わないけれども大切なことを取り上げてくださったことが、有り難かったです。

メールの書き方や敬語の使い方については、大学生になってからはじめて必要になるものだったので、教えていただけてよかったです。また、レポートの書き方もこれから大事になってくるので、教えていただいたことを活かしながら大学生としてふさわしい文章、レポートを書きたいです。

メールの書き方や正しい文章の書き方など、社会人として必要な基礎知識を学ぶことができたと思います。

もう少しグループディスカッションをしたかった

もう少しグループワークが欲しかったです。

もう少しグループワークを増やした方が良かったと思います。

もう少しテスト対策の演習問題を増やしてほしい。

もう少し発表の時間を取って欲しい

もっとグループ・ディスカッションの機会を増やしたほうが良かった。

もっとディスカッションが多くてもよかった。

もっと学生同士で話し合う時間があってもいいと思う。

もっと少人数でのディスカッションのほうが距離が近くなるため会話がしやすくなると思った。大学生活におけるレポートの書き方や論文の探し方をまなぶことができてよかった。

もっと色々な生徒と交流してみたかった。

レジュメを印刷して授業に取り組みたいため、前日にレジュメを開けるようにすると良いと思った。

レポートには表紙をつけることや、単位についての決まりなど知らないことが多くありました。レポートの書き方の講義の際に初めから教えていただきたいと思いました。

レポートの基本的な書き方を学ぶことができたので役立ちました。また、論文を読むことで医学の知識が身につきました。

レポートの書き方がわかってよかった

レポートの書き方について、全部の授業で活用できるのでためになった。

レポートの書き方についての授業が7月頃にあり、すでに他の科目でレポート課題が課せられていた時期だったので、もう少し早い段階でレポートの書き方に関する授業を行ってほしかったと感じた。他の科目のレポート課題が大学に入ってから初めてのレポート課題であったため、書き方が良く分からず悩んだので、この学びのリテラシーの授業の早い段階で習うことが出来れば良かったと感じた。

レポートの書き方について詳しく教えていただくことができ、大変参考になりました。

レポートの書き方は高校までには習わないことなのでとてもありがたかったです。

レポートの書き方は他の科目でも使えるので良かった。

レポートの書き方や、プレゼンのやり方やコツなどがよくわかった。

---

レポートの書き方や、実験をする際にとる実験ノートの重要性についてよく理解できた。また、グループディスカッションやグループプレゼンテーションもほかのチームのまとめ方などが見れてとても面白かった。自分のレポートの良いところと悪いところがしっかりとわかり、今後に生かせるような成果が得られた。

---

レポートの書き方やプレゼンテーションの作り方などの基本的な方法を学ぶことができ良かった。レポートの書き方や構成の立て方など基本的だが以外と学ぶことがないようなことが学べたので良かった。

---

レポートの書き方や参考文献の書き方などわからないことが多くあったが、この授業でそれを学ぶことができた。学んだことを活かしてこれからも学習していきたい。

---

レポートの書き方や調べ物をするときには気をつけなくてはいけないことを学べたことがよかった。大学に入る前まではレポートを書くことはなかったから、受けることでまだまだ未熟ではあるが自分なりに基本を知ることができた。

---

レポートの書き方や文献の調べ方が分かってよかった。

---

レポートの書き方を学べたため、今後に生かしていきたいです。

---

レポートの書き方を最初に教えて欲しかった。

---

レポートの書き方を手寧に教えてくださったので他の科目でも生かせることができるのでありがたかったです。習ったことをしっかり生かしていいレポートが書けるようにしたいです。

---

レポートの書き方を詳しく知れたことがこの授業のなかで一番大きかったことかなと思います。大学生活でレポート課題は何回も出てくると思うので学んだことを生かしたいです。

---

レポートの書き方を知ったり、研究の発表を行い、論理的に説明できるように努力することができたりして良かった。周りの人が興味を持った研究について、いろいろ知ることができて楽しかった。

---

レポートの書き方を知ることが出来て良かった

---

レポートの書き方等を学ぶことができました。

---

レポートの提出など大学生活を送るうえで欠かせない学習の仕方を学ぶことができた。また、プレゼンの仕方やポイントを学ぶことができたので、これからの生活を送るうえで生かしていきたいと思った。

---

レポートやプレゼンテーションの基礎的な作り方を分かりやすく、実践的に学ぶことができた。

---

レポートや論文の書き方は他の授業では本格的に教わることはなく、大学生活を充実させるための準備を教わる授業もないため、他の科目とは違った、役立つ実用的なことを学ぶことができた。

---

レポートを書く経験があまりなかったため、学びのリテラシーの授業を通してレポートの書き方についての知識を深めることが出来たと思う。プレゼンテーションに向けて、参考にする資料を探すことからレポート作成、プレゼン資料作成まで初めて行う作業が多く苦労したこともあったが、相手が自分のプレゼンに興味を持ってくれるように工夫を凝らすことに努めた。プレゼン本番では、事前に用意していた資料を見ながら発表してしまい、原稿を棒読みする形になってしまったので、またプレゼンをする機会があったら、聞いている人たちの方を見て話したり、ポインターでパワーポイントの大事な部分を強調することが出来るようにしたい。

---

レポート課題が毎週出されていたので、作文力が付いたように感じる。

---

レポート課題のおかげで、レポートを書くのが苦手ではなくなりました。

---

---

一番話し合いなどの機会も多く、多くの人と話し合いができました。また、レポートの書き方やメールの書き方など必要なものをしっかり学べて良かったです。

---

引用などのレポートの書き方や、パワーポイントの作り方などを学べてよかった。

---

引用表現を学べたのがとても良かった。

---

演習と抗議が交互になっていてとても理解力の向上に最適だったと思う。

---

課題が特に大変でした。ですが、そのお陰でレポートの書き方や敬語の使い方など、普通に過ごしては出来なかったことが、出来るようになり、社会にでていくなかで必要な技術が身に付いたと思います。

---

課題の提出期限が早すぎる。翌日提出となると文献を漁る時間も限られてくるため読み込みが浅くなり、論拠としては不十分なものになる。

---

課題の提出期限を授業の2日後にしてほしい

---

課題はとても大変だったが、その分自分の力になっていると言うことを強く感じた。アクティブラーニング式の授業がとても良いと感じた。

---

課題を出した次の授業で、正しい解答例のようなものが示されていなかったため、自分の課題が正しいのかが判断しづらく、何を学習しているのかわからなくなった。

---

改善すべきだと感じたことはありません。レポートの書き方について具体的に学べる場所があることはよいと感じました。

---

改善すべき点はとくには見当たらなかった。学びのリテラシーでは、より論理的で他者にわかりやすい文章を書けるように鍛えていただいた。

---

改善すべき点はないと思う。今まで通りやっていけば十分だと思う。

---

各自班員分の印刷して行くのは無駄が多いように思いました。

---

学びのリテラシー(1)では、講義のあとに演習をするという形を取っていて、学んだことを実践できるという授業の形が非常に良いと思った。また、様々な分野を授業で取り扱っていて、今後大学生、社会人で生きていくためのスキルを得ることが出来たと感じている。

---

学びのリテラシー(1)では、大学1年生として入学し、大学生、社会人として過ごしていく中で身につけていかなくてはならない論理的思考や考えの表現方法などについて学ぶ機会であったと感じる。これから大学で学ぶにあたり、今回学んだ論理的な考え方やその表現方法、根拠の収集などを活かして学びを深めていきたい。

---

学びのリテラシー(1)によって、専門的な分野への関心が高まると共に、レポートの書き方やコミュニケーション能力が取得できたと思う。

---

学びのリテラシー(1)の授業を通して、基本的な文章と書き方を学ぶだけでなく、発展的で応用ができるような技術を学ぶことができた。いままで正しいと思い込んでいたものも間違っていたりすることがあり、授業を受けてよかったと強く考える。

---

学びのリテラシー(1)を通して、基本的なレポートの書き方を身につけられたので良かった。引用文献のルールやパワーポイントについても学習することができたと思う。

---

学びのリテラシーでは、レポートの書き方や参考文献の書き方、引用の方法、メールの書き方など、大学生になって本格的に使い始めたが、正解がよくわかっていなかった内容を学ぶことができて良かった。レポートのテーマは1から自分で考えるのではなく、キーワードが与えられていたことで、すぐに調べる段階に移行できた。発表時間が5分というのも丁度良いと感じた。

---

---

学びのリテラシーでは、自分で課題を見つけそれに対する解決策を模索し、自分の中で完結させずにスライドを作成し周囲の人へ発表するという、主体的な姿勢を身につけることができた。情報収集の仕方や、正しい敬語の使い方も教えてくださり、大学生活のみならず、今後一生ためになるスキルを教わった。また、他の人の発表を聞くことで、人に伝える上で自分に足りない部分を学ぶことができた。特にこれからレポートや論文を書くときに今回学んだことを活かしていきたい。

---

学びのリテラシーでは、社会に出た時に必要になることや大学生になって高校とは違うノートの取り方、授業に取り組む姿勢などを教わりました。自分はこの授業を受ける前までは、まず、ノートの取り方は何でも良いと思っていて見やすさなどは自分が良ければいいと思ってました。また、要約の仕方なども学びました。要約は社会に出た時に必ず必要となる能力だと思うので、改めてしっかり学ぶことができてよかったです。そのほかにも社会に出た時に必要な敬語の使い方や手紙の書き方などをしっかりと学ぶことができてよかったです。こういった知識を小学生や中学生の時の知識のまま社会に出た時に使うと恥をかいてしまうのでこの時期にもう一度やり直しておくことはとても良い経験にもなったし今後に役立てていきたいと思いました。また、このような授業を対面でグループのメンバーと話し合っ解決することができたことも本当に良かったと思います。一人で考えるよりもたくさんの意見などが出て、何があっいて何が違うのかをはっきりさせながらする授業は大事だし、ただの授業よりも意味のある授業でとても楽しく取り組むことができました。

---

学びのリテラシーの学習により、大学生活において大切なことや、学習方法、目的について理解することができました。大学生は、メールや文章の書き方が大切になってくる中で、それらの部分を学習することができてよかったです。コロナ禍の中でも、対面授業やグループワークを行えたことはとても良い経験だったと思うので、この経験をしっかりと活かしていきたいと思います。

---

学びのリテラシーの時間にはプレゼンテーションの仕方などを学ぶものだと思っていた。しかし、自分たちの学部では普通の授業のような時間になっていたところもあった。もう少し学生同士の交流の場をつくらたり試験内容を軽くしてもらいたかった。また、学習内容が難しく、スピードが速いということもあり、授業についていけなくなることもあった。

---

学びのリテラシーの授業を受講することによって、論拠を適切に引用して自分の意見を述べる力や、主張、反論の想定、再反論という骨組みで文章を書く力を身につけることができた。この授業を一年生で受けられたことで、今後の大学での学びやレポート執筆に大いに役立つと思う。

---

学びのリテラシーの授業を通して、レポートの書き方についての理解を深めることができた、特に引用の仕方については、学んだことを実際にレポートの中で行うことができたので良かった。

---

学びのリテラシーの授業を通して、調査したことに関する文章の書き方や発表の仕方など基本的なものを身につけることができた。

---

学びのリテラシーの授業を通して、論文、レポートの論理的な書き方を学ぶことができました。また、自分の興味のある議題について調べ、レポートにまとめ、多くのことを知る良いきっかけになったと思います。みんなの前でそれぞれが発表し、様々な意見を聞くことができ、良い経験になりました。

---

学びのリテラシーは素晴らしい授業だったが、一つだけ改善点を上げるとしたら、課題の提出期間が短いため、追われる形での提出が多かった。テーマに対してよりゆっくと考えるために後1日程度提出期間を延ばしてほしい。

---

学びのリテラシーを通じて、自分の研究した内容を発表したり、グループごとにパワーポイントを利用してプレゼンテーションできた環境を提供してくれたことに感謝しています。

---

---

学生の課題に対する先生の指摘がわかりやすかった。ありがとうございました。

---

学生の課題文への教員のコメントで、悪い例だけでなく良かった例も取り上げていただけると、学生のモチベーション向上にもつながりますし、どのような文を書けば良いのかがよく伝わると思います。

---

学生実験のレポートの書き方について細かいところを学ぶことが出来て良かったです。

---

学生同士で会話する時間がもっと欲しかった。

---

楽しく授業を受けられた

---

完全な講義形式が対面、グループワークがオンラインということがあったので、逆の方がいいと思った。

---

基本的に学生同士でコミュニケーションを取りながら行う講義でしたが、そういった講義は持参が必要な課題があることがほとんどでした。毎回このような講義だと大変ではと感じましたが、数回、座学のような講義もあり、負担になりすぎず受講することができました。

---

議論することについての時間が無かったので、来年以降はそれも取り入れると、授業に＜参加＞することがわかりやすくなると思う。

---

教育・教育心理で受ける授業があったおかげで教心の子とコミュニケーションが取れるようになりました。

---

興味深い内容が多かった。

---

これからも続けて欲しい

---

講演の時間よりも演習の時間をもっと増やしてほしいです。授業内容はとてもわかりやすく、レポートの書き方などを身につけることができました。

---

講義で敬語の使い方やメールの書き方を学べて良かった。

---

講義を受けてみて、自分には足りていなかった一般常識である手紙の書き方や、レポートの書き方や、データの引用の仕方などの理系人として身につけなければいけない知識を知ることが出来てよかった。また、大学に入ってグループの人と話す機会がなかったため、この授業で多くの人と意見交換することが出来たことはよかった。

---

講義全体を通して大学や社会でも役立つ内容が豊富に含まれていたため、内容をより理解するために復習して、実際に使えるように工夫した。実生活でも使えることもあったので意識して活用していき知識の定着を図りたい。

---

講義第十三回目の課題の印刷について、PCでやってもよいが時間がかかるという記述をしていたため、PCでも印刷した紙でもどちらでもよいという認識を学生にさせるものであったにもかかわらず、印刷をしていない生徒を減点にするのはおかしいと感じた。今回の件、あまりにも多くの学生が印刷をしていなかったということで、何かしら違和感を感じてもよかったはずなのにただ弛んでいると断言するのはおかしいと感じた。

---

講師の方の声が聞き取れないがありました。

---

高校生までに身につけることの出来なかった、レポートのための能力を身につけることが出来ました。また敬語について改めて考える気ができ、今後の役に大いに経つと思う。

---

今まで、質問に対して正確に答えられていないことが多かったなと思った。質問に対する正確な返答、説得力のある文章構成などを学ぶことができた。

---



---

今までグループワークを行ってこなかったのが大変だったが、コミュニケーションを多くとることができて良かった。

少人数のグループワークは活発に参加することができたが、全体抗議の時は講義を聴くことが中心だったので少人数で行いたかった。

---

今まではっきりやってこなかった分野だったので受講して良かったと思った

今まで引用方法などに触れて生活してこなかったのが、新しい知識を得ることができて良かったです。大学生になってレポートを書くことが多くなりましたが、学びのリテラシーで学んだことを活かしてレポートを書くことが出来ています。

---

今後役に立つ様々な情報やスキルを知ることができ、とても有益な授業だった。

---

今後レポートや論文を書くために必要な力を身に付けるための適切な講義だったと思う。

---

今後大学生活を送るうえで必要なことを多数学べて、とてもいい授業でした。

---

最初から、とりあえずレポートを書くという難題だった。しかし徐々に論理的な文が書けるようになっていけるのを実感できたので良い訓練になったと思う。また、現在の学校教育の問題点やその改善に向かう現場について学生同士で議論出来て、教員を目指す立場としての考えも深まった。

---

最初の敬語の書き方、メールの使い方にかんしてはありがたい授業だった。

レポートの書き方についての授業は正直言ってしまえばいろいろと雑だった。レポートの書き方はあの段階ですでに実験で習っているうえ、実験をするとしても正確な値を計り取れない環境、器具も自己負担、原理原則も書かれていないサイトをおすすめしてあとは勝手にレポート書いてプレゼンしてくださいというのは無理があるし、あれで成績を付けられるというのはこちらとしてはたまったものではない。

あとは少し考えたらわかりそうなことというのが散見される。直近ではGB155教室に少なくとも150人いる環境で一斉にZoomでミーティングしたら近い人の音声が入り、会話もままならないことはわかるし、そもそもネット環境が悪いということもわかるであろうに一切の考慮をしていなかった。

忙しい時間を縫ってカリキュラムを立ててくれているのはわかるが、もう少し生徒に寄り添って考えてほしい。

---

最初は医学生として何を学びたいかを考えた。自分がどのような医師になりたいのか将来を見据えながら、今の自分にはそのためにどのような過ごし方が必要なのかということを考えることができた。また、授業の中で他の人の考えも聞くことができ視野が広がった時間であった。ここで着目したアウトカムとコンピテンシーを達成できるように意識しながら、日々の勉強も頑張ってきた。

この授業では主に論述文の書き方を学んだ。基礎の部分から始めて説得力のある論述文を書くにはどうすればいいのか、多くのことを学ぶことができた。その中で印象的だったのは、自分の視点だけでなく反対側の視点も踏まえた上で書くべきだという点である。反対意見を把握した上で、その再反論をすることで説得力のある文章を作れるということが分かり、これから多くの場面で活用していきたいと感じた。

後半では前半の内容を踏まえて、実際に様々なテーマで論述文を書いた。毎回、先生が前回のテーマで重要だったポイントや直すべきポイントを、例を挙げて説明していただいたのが非常に分かりやすかった。今回学んだことをこれからのレポート作成にしっかり生かしていきたい。

---

採点基準があいまいになってしまうような活動が多かった印象を受けた。

---

---

参考文献の書き方、引用方法について詳しく学べたのが、レポートを作成する上でとても助かりました。

---

思っていたよりも、グループワークが少なかった。また席替えといってもグループのうち2人は同じメンバーなどで、交流が広がったとはいえない。中和滴定の実験レポートがあったが、そのようなレポート課題提出をもう少し頻繁にやりたい。

---

私がこの授業を通して感じたことは、グループワークが活発であったことである。このグループワークによってコミュニケーション能力を身に付けることができた。課題もよく考えるものも多く、実力につながった。

---

私はこの授業で本を一冊読み分析・追及し、論文を作成した。正直に言えば、私の選んだ本から論文を作成するのは難しく感じた。論文作成に慣れていないから子も知れないし、本と私の相性があわなかったからかもしれない。しかし、教授の例話参考に、今まで特に考えようとしてこなかった現実の出来事に結び付けてみてからは、スムーズに進んだ。

---

私は文章を読んだり、考えたり、書いたりすることが苦手でしたが、学びのリテラシーの授業を受けたことで、その能力を伸ばし、自信を持つことが出来たと思う。しかし、グループワークはもう少し積極的に参加できたと思い、そこが反省点である。

---

次の授業日に印刷して持ってくるものがある時はLMSにしっかり記載して欲しいと思いました。(一回だけ記載されてない時があった)。

---

参考文献の載せ方、レポートを書く時の注意点などを学ぶことができて大学生らしくなった気がしました。

---

自分が同専攻の友達のプレゼンテーションを聞く側にまわることで、より効果的なプレゼンテーションをするための態度やスライドの作り方などを知ることが出来た。

---

自分の好きなことを自由にプレゼンすることができてよかった。

---

自分の伝えたいことを相手に明確に伝えるための文章の書き方を学ぶことができ、将来に直結する授業内容であったと思う。

---

実用的な内容を学ぶことができて良かった。

---

社会に出てからも必要になる技術を身につけられた。

---

主に正しい日本語の使い方などの国語的内容で、自分に足りていない能力を学ぶことができて良かった。また4~5人とかのグループでいろいろな人と交流したことで友達作りに良い機会となった。理工学部で学ぶ上で必要なレポートの書き方、将来的に大事になってくるであろうメールの書き方や敬語など様々な勉強をすることができた。

---

手紙の書き方などの説明がわかりやすく、理解しやすかったです。

---

手紙やメールの正しい書き方を学べて良かったです。

---

授業が他生徒とコミュニケーションをとる機会になっていて、内容も興味深かった。論理的に考える力を身につけることができた。

---

授業づくりの練習になりそうだと思います。

---

授業の翌日に課題提出締切を設けるのは、生徒の事情への配慮があまりにも欠けている。せめて土日を含めれば予定が入っていても余裕を持って取り組めるだろう。また、その短い取り組み期間では提出する課題の質も相応なものになってしまう。限られた時間でそれなりのものを、という考えもわからなくはないが、まだ1年生の段階であるのだから、まずはきちんと時間をかけてそれ相応のものを作成できるようにするのが先決ではないだろうか。

---

---

授業を通して、参考文献としてどのような資料を参考にすべきか、どのようにその資料を活用すべきかという、文章を作成する際に必須となる知識を得ることが出来た。そして、授業内にグループディスカッションを取り入れることで、自分の探し出した参考文献が適切なものかを確認することができたため、この能力を身につけるのには効果的な授業であると感じた。

---

授業中に演習を行い、ほかの学生と結果を比較することで、違いや工夫したことなど様々なことに気づくことができた。また、自分で定めた実験内容に沿って実験を行い、レポートにまとめて、小グループ内でそれについて発表するという授業を通して、ほかの人がどのような手順で実験を行ったかや、どのようにデータを採るかなどを自分の作ったものと比較することができ、今後レポートを書く際の参考になった。

---

授業内容は、レポートにおける日本語の使い方や参考文献の正しい記載方法など幅広く教えて頂いたため、わかりやすかった。ずっと同じメンバーでグループワークを行うのではなく、一回程度は変更した方がよいと感じた。

---

周りの友達や先生とのコミュニケーションが取りやすく、わからないところなどを聞きながらできたので良かった。

---

周囲の人と意見交換する時間が多かったのが良かったと思います。

---

就職したときに身につけていたほうが良いことを知れて、これからの学生生活の参考になった。メールの送り方、敬語の使い方を実生活で意識するようになった。

---

宿題を印刷するのか、印刷しなくてもパソコンを見ることで足りるのかの記述が曖昧な時があり、結果的に印刷してくるという行動が想定解だった時があるので、その記述を明確にして欲しいと感じました。この授業によって日々読む文章に敏感になり、不審な文章や拙い文章の判断が素早くできるようになりました。研究者への第一歩は疑うことだと聞きました。この授業でその第一歩が踏み出せたと思いました。ありがとうございました。

---

出席の確認方法を統一してほしい。

---

出席番号順でのグループワークにすることによって普段はなさないことディスカッションをすることは出来たが、あまり会話の得意でない子が話せず、全体的にスムーズに進むことが出来なかった。これは難しい問題だが、自由にグループを作り、グループの中に一人でも話せる子を入れたほうが良いと感じた。ただグループでのディスカッションは対面の少ない自分たちにとってとても有意義なものになった。

---

小中学校でも話し合いをする授業は行ってきたが、この授業のような活動量の多さは人生で初といっても過言ではないと感じた。しかし、大学入学後の初の授業において、受講生同士で積極的に話し合うという経験ができてとても良かった。論文を書くという経験は間違いなく今後に生かしていけると思うので、つなげていけるようにしていきたい。

---

色々な学生と交流できて良かった。

---

真面目に受けている人と受けていない人の差が激しかった。

---

人と直接接する機会が設けられていて良いと感じた。

---

人と話す機会があるので良かったです。

---

図書館の利用の仕方や医中誌ウェブの使い方の説明をもっと早くした方が、レポートをうまく進めることができると感じました。

---

図書館や医中誌を用いた情報収集のやり方を学ぶことが出来たので、これから論文を書く機会が増えていく中で様々な文献を活用できるようになると思う。また、授業のスピードは丁度良かった。コロナの影響で対面授業が少なかったがグループで話し合う機会が出来てよかった。宿題もそこまで多くなかったので、苦なくして取り組めた。

数少ない対面授業の1つだった。この授業でできた友達も何人かいるので良かった。

正しい日本語を身につけるとい授業の内容が非常に良かった。毎週課題を出し印刷までさせるのは、少し重たいと感じた。

正直一班あたり6人欲しい、

生徒が主体となってディベートなどを行う内容があつてよかった。

生徒との話し合いがあり貴重な学内交流の場があつてとてもよかった。

生徒同士でコミュニケーションをとり合えるのはとても良いと思った。第一回から1000字はとても大変だと感じたので、800字程度スタートでもよいのではないかと考えた。

生徒同士の交流の機会が多く、コミュニケーション能力も高められた。

席の配置的にコミュニケーションが取りにくかった。グループ内で自分のレポートが選ばれる機会が多かったのでやりがいがあった。

席替えが多く、グループ活動を通して話せるようになった人とすぐに離れてしまったのが少し残念だった。

席替えは二回で十分だと思いました。

席替えをすることでその時まで仲が深まってきた友達と別れてしまったので、席替えしないまたは回数を減らすなどした方がいいと感じた。授業内容はとても分かりやすく適切な内容だったと感じた。

席替えをもう少し頻度を減らしたほうが良いと感じた

積極的な議論ができなかったのが残念だった。授業内容から、無理に対面授業にする必要はなかったのではないかも思った。

積極的に学生と交流し話し合える場だったので良かった。

説明が丁寧でした。

先生によって引用の書き方などが異なっていて困惑した。

前半はかなりグループディスカッションがあつたが、後半は個人作業が多かったように感じた。

全く知らない人と話すことができたり、グループでパワーポイントを作ったりと、この時期にはなかなか難しいことができ有意義な時間を過ごすことができた。

全体での講義で、グループワークを必要としない場合には、オンライン講義でも可能だとは思いました。

全体講義の時も、各教室に分かれた時も、人数が多すぎてコロナの感染が少し心配だった。

全体的に、今後大学生として必要なことだけでなく、社会に出ても必要である文章力やコミュニケーション能力を鍛える内容であつたので、この講義を学ぶ意義を大きく感じた。

全体的にグループワークやディスカッションなどが多く取り入れられており、自ら考え意見を発する場が多かつたのが能動的に授業を受ける大きな手助けになっていたと感じた。

全体的に面白い授業でした

他の学生とお話しできる機会があつたのでよかった。

他の人とのコミュニケーションが多くとても良かったです

対面、グループワークと言っても基本的には教授や講師の先生が話しているのを聞いているだけであり、学期の初めに言われていた同学部の学生たちと交友を深める場としての機能は、正直感じられなかった。1学期を通してグループのメンバーが同じであったなら、前期の4か月間を通して、打ち解けることもできただろうが、かなり短いスパンで席替えが行われたため、人となりが分かってきた頃にはもう席替えで関わる機会がなくなってしまった。体育や実験科目の方が人と繋がる機会は多かったと思う。新型コロナウイルス感染拡大防止のために殆どの科目がオンラインとなっている中、数少ない対面での授業で同級生と関わる機会としてとても期待していたが、それこそオンラインでもできるような授業内容だったのでがっかりしている。

対面が必須であったが、本当に対面である必要があるのか疑問に思う内容の時があった。

対面で、普段喋れない人と話すことが出来たから良かった。

対面で行う意義が感じられないようなときが何度かあった。

対面を行いながらzoomを使用するのは意味がないと思った。

対面授業が少ない中で、学びのリテラシーを対面授業で受けることができ、一年生にとっては仲間ができるいい機会であったため良かったと思う。グループワークでコミュニケーションがとれるのはよかった。

対面授業で、他の学生とコミュニケーションをとる機会があった。

対面授業でグループで作業をすることが楽しかったです。

対面授業で自分のレポートを班の人に添削してもらえたりしてスキルアップできたのが良かった。

大学でのレポートの書き方や注意点について学ぶことができてよかった。

大学で学ぶ上で必要な知識を身につけることができた。

大学で学んで行く上での重要なことを学ぶことができた。

大学で学生として学ぶことに必要なことを学ぶことが出来てよかったです。

大学で必要不可欠なレポートを書く力を身につけることができました。また、活発に話し合い活動が行われたためコミュニケーション能力も高めることができたと思います。ありがとうございます。

大学に入って友達も少ない状況で、グループ活動を通して友達を作ることが出来たのでありがたかった。

大学に入り、レポートを書く機会やレポート、論文を読む機会は増えたが、それらの正しい書き方、読み方を知らなかったので、学ぶことができてよかった。

大学の講義やこれから社会で使うであろう多くのことを学ぶことができました。

大学や社会人において必要となる知識や技術を学べ、良かった。

大学一年前期で学ぶべき内容が多く、よかったと思う

大学生1年で身につけておくべきレポートの基本的情報を学ぶことができる講義だった。犯しがちな間違いを具体例とした説明が理解の助けとなった。

大学生としての学びの基礎知識と学科内容の基礎知識を並行して学ぶため、初期は混乱したりテキストの持参を忘れるようなことが多発した。

大学生にとって必要な敬語の使い方やレポートの書き方などを効率的に学ぶことが出来たので、とてもためになった。とくにメールの書き方は社会に出てからも絶対に必要なものであるが、なかなか聞けないことなのでとても役立った。最後の発表会では様々な分野のことが聞けて、楽しかった。

大学生になってから初めてレポート提出があって書き方についてあまりわからなかったのでこの授業を通して学ぶことができて良かったです。

大学生になってレポートを書くことが初めてで不安だったが、講義内で書き方を教えてもらったので安心して書くことができた。

大学生に求められる能力を養うことができた。また、プレゼンテーションなどを通して、他者に自身の考えを伝える能力をグループワークなどを通して、身につけることができた。学生自身で考える時間が多くあったことで、より深い学びになったと思う。

大学生に必要な日本語や適切なレポートの書き方、敬語の使い方といった、社会に出てから必要なことを1年生のうちに学ぶことができてとても良かったです。また、グループディスカッションを多く取り入れられた授業は、自分の意見を上手く、適切な言葉遣いで伝える練習の機会でもあったので、自身のコミュニケーション能力を高めることができました。課題の量や内容は多すぎず少なすぎず、難しすぎず簡単すぎないちょうどいいものだったので、良かったです。

大学生活でのレポートや発表スライド作成などの知識を身につけることが出来ました。

大学生活で必要になる学習をすることができて、良かったです。

大学生活で多く書くだろうと思われる。レポートについての話がたくさん聞いて参考になった。グループワークではたくさんの人とコミュニケーションをとりながら授業を進められたので良かったです。

大学生活やその先の社会人で生かせる内容をたくさん学んだ。これらの事は心にしまっておき、いつでも活用できるようにしていきたいと考えている。

大学生活を送るにあたって大切なことやノート・レポートの書き方などの学習面で役に立つことを学ぶことができて良かったです。ここで学んだことをこれからに生かしたいと思います。

大学生活を送る上で知っていなければならないことを知ることができた。また、この授業で学んだ方が他の講義に活かせることができたのがとても良かったと思う。

大学入学後早期に大学での学習の進め方やレポートの書き方を学べて非常に良かった。

大体の授業がオンラインの中、対面で人とコミュニケーションが取れたので良かった。

男女の比率もあるが、男子の中に1人の女子での活動だったため、男女比を平等にして欲しい。

適度にグループワークがあって良かった

同じ専攻の学生の興味があることを知ることができて、面白かった。高校でも同様の授業を行ったことがあるのだが、今回の授業のおかげで、より詳しく、論理的に調査やレポートを書くことができた。

同じ専攻の人と様々な活動ができて良かった。

難しかった。

日本語の正しい使い方やノートの取り方など基本的なことをはじめ、学生にとって重要なことを身につけることができて良かった。

日本語の正しい使い方を学ぶことができて良かった。プレゼンの発表の経験はこれからも生かせそうだなと思ったのでよい機会であったと思う。

日本語能力は、理系でも得るべき能力だと思うので、1年のうちにこの授業を行うのは必要なことだと思います。

漠然とした自分の意見ではなく、適切な情報を収集して、客観的な考えを示すことを意識できるようになった。

---

発表する機会が多く、筋道立てて説明する力を養えたと思う。

---

発表は対面でないと行えないものだが、スライドの作成方法や論文の書き方などは講義資料をLMSにアップして各自で見えるようにしても同じような学習成果が得られるように感じた。対面でやるならばそれなりに対面ならではの内容をやってほしかった。(内容が高校の時と同じでやってる意味を感じられなかった)

---

発表を通して色々な人の考え方やデザインについて学ぶことができた。引用についてはさらに丁寧な指導をいただきたい部分はあったが、身になる授業であったと思う。

---

発表時間が短かったためあまり濃い内容の発表ができなかった。ただ、準備時間もあまりなかったため、妥当なのかもしれない。

---

班のみんなで協力することができた。

---

班のメンバーや、そのほかの人の意見などをしっかりと聞くことができ、自分のためになった。

---

普段の生活では学ぶことができないことを学ぶことができ、自分にとって大変有意義な時間だった。

---

複数のグループ活動があってよかった。改善すべき点は特になし。

---

分かりやすい説明だった。話の内容が興味深いもので楽しかった。

---

文献の検索や引用の仕方を学ぶことができて良かった。

---

文献の書き方について、先生によって言っていることが違っていたので、統一してほしかった。

---

文献を参考にして、自分の意見がきちんと正当なものであることを論証するためにはどのような点に注意すれば良いのかなどがよくわかっていなかったためそういった課題があって良かったと思う。

---

文書の組み立て方やレポートの書き方など、とても重要な内容を学ぶことができたのが良かった。これからの学生生活で、しっかりと意識していきたいと思った。

---

文章を書くことが苦手な自分には難しい課題が多かったですが、ためになる授業でした。

---

文章を書くのに慣れることができたと思う。

---

聞いている側として、これから大学で学んでいくうえで必要な技術を多く説明してもらったので、とてもありがたかったです。

---

勉強になった

---

飽きない授業を提供してくれた

---

本授業を通して、論理的な文章の組み立て方を学ぶことができた。自分の頭で考えたことを、読み手に分かりやすいように、根拠も提示しながら述べることは難しかったが、本授業を受講していくうちにだんだん書けるようになった。また、他の学生とのディスカッションを通して、様々な視点から物事を柔軟に考えることができた。コミュニケーションスキルも身についたと思う。

---

毎回、様々な分野に特化した先生方が講義をしてくださったので、面白かったです。実験レポートの書き方やメールの書き方は今まで知らなかったので、課題として提出する際に、自分で調べながら学んでいくことができた。

---

毎回の講義が、今後必ず役に立つことについての深い学びを教えて頂けるため、とても勉強になっています。敬語など、以前から学校で勉強してきたことなども、改めて学び再確認することができました。また、手紙の書き方(県庁や高校の先生)なども、実際に書いてみることで、書き方の難しさに気づき、どのようにしたら良いかなど考えることができ、本当に自分にとって役立っています。要約や主語述語のつながりなども、今まで学んできたことですが、文の成り立ちなどから学べ、勉強になっています。グループごとの活動も、実際に他の人と意見を交換し合うことによって、自分の考えについて他の人の意見が聞けることや、他の人の考えを学ぶことができるので、とても良いと感じています。

毎回の授業を楽しみにしていました。発表のために、課題は少し多いと感じましたが、美術専攻の12人がそろう場であったことも楽しかった要因の一つでした。半年間わかりやすい授業をありがとうございました。

無意識のうちに間違った敬語を使っていたことに気がつけてよかった。しかし私の敬語は十分ではないので、自主的に学び身につけていきたい。

面白かったです。

問題はない

役に立つ授業でした。

約1000字の論述の提出日が翌日だと十分に調べたうえで書くことができないので、提出期限を考えてほしいです。

唯一の大学生らしい大講義での授業で楽しかったです。何度もレポートと感想文の違いについて教えていただいたので、今後は混同することもないかと思います。感染症にかかった際、しっかりと対応していただけてとても感謝しています。ありがとうございました。

様々な内容で授業を行う点が良かった。

要約を作る能力があらゆる場面で重要だと思いました。

理解するのは難しかった。

理由は分からないが、四人グループに分かれた時に私だけ学籍番号が奇数で他三人が偶数だったことがあり、心細い気持ちになった。

良かったです。

良かったと思う。

論文の書き方、主張と論拠の書き方など、大変参考になりました。

論文やレポートの書き方を学べる、有意義な授業でした。他者の論文への批評が少し難しかったので、その説明がもう少しあるとやりやすかったです。4か月間ありがとうございました。

論文作成時の情報収集から発表のスキルまで非常に多くのことを習得できた講義であった。これからの大学生活でずっと役立つことが学べたと思う。

**質問19. 教養教育科目全般に関して、気付いた点、改善すべき点、オンライン授業に関する感想等を自由に書いてください。**

オンライン受講教室が密になってた。

オンライン授業だとグループセッションが難しい。また、回線の問題も発生するため、集中して授業に取り組めない場面がまれに発生した。



オンライン授業はあまりなじみがなかったが、思っていたよりもずっと快適に授業を受けることができた。しかし対面授業もあったので、キャンパス間の移動が大変であった。自宅から大学まで近くないところに住んでいるので、1時間ほどの空き時間では自宅から学校に来ることができなかった。そのため、昭和キャンパスにも少しで良いので、教養教育のオンライン授業を受けることができる部屋を増やしてほしいと感じた。そのことにより余裕をもって移動が行えるので、履修登録の際の悩みを一つ減らすことができるであろう。

講義資料をLMSに掲載しないのにリアクションペーパー数百字はおかしいと思います。いくら授業を真剣に聞いていてもそんなに書けません。

それから講義で動画を流し、その後動画のリンクをLMSに掲載せず、動画に関してのリアクションペーパー数百語(感想は語数に含まない)を課題とするのは酷ではないでしょうか。もちろんメモをしたりしてはいますけどまず追いつきません。

・オンラインでの授業中や試験中に、Wi-Fiの接続の関係上音声途切れたりフリーズしたりしてしまうことがあった。

Gmailには大学にかかわる非常に多くの連絡が届く。そのため、課題提出の記録のような返信等の必要のない報告に埋もれ、重要な通知や回答が必要なアンケート等が見にくくなることがあった。何らかの方法で、返信や回答等が必要な情報とそれ以外の通知を分けてほしい。とくに、課題が提出されたことを示す通知は膨大な数にのぼりメール欄を圧迫する。Gmailでない方法で通知してもらいたい。

Q5 授業内容は学生の主体的な参加を促すものであった。

(例：オンラインでの質問、プレゼンテーション、グループワーク、対面でのフィールドワークなど能動的な学修を取り入れている) 【必須入力】

→これが評価対象となっているために全く無意味なディスカッションを取り入れる授業が多いため廃止して欲しい(例：TOEICの択一問題でディスカッション 一体何の学習効果が?)

zoomのリアクションボタンを積極的に利用するなどして、もう少し授業に参加したかった。アンケート機能を使った授業があったが、結果もその場で見れるため、面白かった。

ZOOMを使ったオンライン授業を初めて受けて、何度か接続の悪いことがあったけれどそれ以外は特に問題なく受けられたのでよかった。

zoomを大学生になって初めて使ったので、使いこなせるか不安があったが、特に問題なく受講することができた。ブレイクアウトルームやリアクションの機能等を使って活発的な授業も行えるし、講義を聞くときは周りの音等を気にせず静かに聞けるのが良かった。ただ、対面の授業に比べて眠くなってしまいうこともあったので、話を聞くことがメインの内容となる講義に関しても、アクションが必要となる内容が欲しいと思った。

あまりにも音声聞き取りずらくて授業に支障をきたすことがある。

ありがとうございました。

いろんな分野の授業が学べて面白かったです。

オンラインか対面かを自分の予定にそって選べたりするのが良かった。

オンラインだけど大変わかりやすかった。グループワークをやれたかった。

オンラインだったが、先生方が工夫してくださって、面白い講義だった。ありがとうございました。

---

オンラインだとグループワークがしづらいと感じました。教科書の文をただ読んでいるだけの授業があって、先生がお書きになって教えていただきたいと思いました。

---

オンラインだとどうしても先生から生徒への一方通行の授業になってしまうので、対面にはかなわないと思います。その一方で、家でも受けることができるため、自由な時間が増えることが魅力だと思いました。

---

オンラインだとメッセージを気楽に送れて良い。

---

オンラインだと友達をつくるのが難しいと感じました。

---

オンラインだと理解が遅くなるなど感じた。

---

オンラインであったが、各先生の工夫でオンラインでも充実した授業だった。

---

オンラインであるため授業内容などを見返すことができるのがとても良かったです

---

オンラインであると他学部や他学科との関わりがほとんどなくなるが、講義の内容は対面との差を感じる事がなく、オンライン授業で十分だと感じた。

---

コロナウイルスがなくてもオンライン授業を実施して欲しいと思った

---

オンラインでつながりにくい時があった。講義がスライドだと早いと感じることがあった。

---

オンラインでの講義も場合によっては今後もするべきだと思う

---

オンラインでの授業であったが、資料配布やチャットでの意見交換を行ったことで積極的に授業に参加できたのが良かった。

---

オンラインでの授業は集中にけるが自分の好きなように勉強することができてとても満足している。また、オンライン授業によりスライドを利用している講義が多いが、スライドにより授業内容が見やすく、またLMSにそのスライドが残っていると復習もしやすかった。

---

オンラインでは、特にトラブルなどが起こらずに授業を受けることができたのでよかった。

---

オンラインではブレイクアウトルームなどを活用し、学生同士のコミュニケーションをとらせてもらえるのはありがたかったが、やはり対面よりはコミュニケーションが取りづらいなと感じた。

---

オンラインではほとんどの授業が音声オフ、画面オフだったので同じ授業を受けている人の様子や理解度が全く分からないことやオンライン上のため友達に分からないことを聞くことができずに不便に感じた。また、ただ先生が説明をしているだけで学生の反応とかがあまりできないため、双方向的ではなく一方的な授業のように感じた。

---

オンラインでもできることはオンラインで行い、コロナへの感染対策が徹底されていてよいと思った。

---

オンラインでも質が落ちることなく素晴らしい授業でした。

---

オンラインでも十分満足できる講義だったのでよかった

---

オンラインでも対面同様の学びを得ることができたと思います。

---

オンラインでも通常の授業のようにこちらの様子を見ながら進めてくださったので、一方的な授業も少なく良かったです。

---

オンラインで何かを話す際に使える教室が限られており、ある時間だけ話す際に移動が忙しくなってしまう大変だった。

---

オンラインで行うと外出する必要がなくなるので、コロナに感染するリスクも減りとても良かった。大学に通学しなくていい分、遠くから通っている身からすると授業に間に合わないという心配がなくとても良い。私はなかったが、機械トラブルが起こった場合出席できなくなってしまうことがやや心配である。

---

---

オンラインで行われるのは大変助かっている。移動に時間や労力を割く必要がないので、その分授業に集中して取り組めた。

---

オンラインで自宅で受けられるところは良かった。大学でオンラインを受けるとき、ときどき通信が良くないところがあって止まることもあったのでそこが改善すべきだと感じた。

---

オンラインで受けられるのはあまり家から動きたくない自分としてはとても助かった。

---

オンラインで十分に理解できたので不満はない。

---

オンラインで特に支障がなかったので引き続きオンラインにしてほしい

---

オンラインならではの利点を感じる授業もありました(zoomのチャットや共有を用いることなど)。対面が可能になった状況でも併用できるといいかもしれません。

---

オンラインにすることで、余分なところでの疲れがないので、その分集中して受けられた。

---

オンラインにすることにより、チャットなどですぐに気軽に質問をし、その質問がその場ですぐに解答されるのでオンライン授業に不安があったがとても便利であった。zoomにはブレイクアウトルームがあり、直接会って話し合うよりもどこかブレイクアウトルームのほうが話しやすいと感じたため、後期でもオンラインの科目があればよいと思う

---

オンラインの授業だと生徒同士も先生ともコミュニケーションを取っている実感が沸かない。

---

オンラインの授業では、出席の確認の仕方が授業ごとに異なるため、すべて統一してもらえるとわかり易いと思った。

---

オンラインの授業ということもあって、生徒同士のふれあいが少なくなるのでやはり対面の方がいいなと思った。

---

オンラインはとても充実していて良かったです。チャットで意見を言えたり、先生とのダイレクトメッセージで連絡できたりなどできたので充実していて良かったです。

---

オンラインは機械の調子が悪い時があるので、操作で時間をとってしまうことが多くあった。それは良くなかったけど、対面ではないから緊張せずに自分の意見を言えたと思う。チャットで意見を出すのはとても良いと思った。

---

オンラインは場所を選ばずに受けられるのが良かったが、やはり同じ授業をとっているほかの学生との交流がなかなか難しいのが残念だと思った。

---

オンラインを利用する授業形態により、様々な動画や音声を身近に感じる事ができて良かった。

---

オンライン学習において、感染症対策については完璧だと思いますが、授業の理解については、やはり対面のほうが理解度は高いと思いました。

---

オンライン教室を利用する人のマナーがなっていないと思った。発話を伴う授業の時は前の席に座って授業を受けたり、授業時間内ぐらい騒がしくしないでほしかった。オンライン授業に関しては教員側もわかりやすい説明をしてくれたり、質問できる時間をあらかじめ設けていただけたのでとても良い授業を受けることができた。

---

オンライン形式は継続すべきだと思う

---

オンライン講義だと、チャットで先生にすぐに質問できるなど良い点がありました。しかし、対面で実際にキャンパスに足を運んで受講をしたいともありました。

---

授業はわかりやすく、とても勉強になりました。ありがとうございました。

---

オンライン講義では、スマホなどで写真撮れてしまうが、ノートにしっかりまとめるべきだと考えた。

---

---

オンライン講義を開講している教授の皆さんは、対面の講義よりもより学生の学習意欲を削がないような、出来れば興味の引くような授業を意識してほしいと思いました。ですが、コロナ禍の中講義をしてくださりありがとうございました。

---

オンライン受講に配慮した授業の進め方であり、不便さを感じなかったので良かったと思う。

---

オンライン受講教室の環境をもっとよくしてほしい。

---

オンライン受講者が多く、教室で授業を受けている人数が少なく感じた。

---

オンライン授業か、対面授業か片方だけにしてほしい。一つの対面講義のためだけに、時間をかけて大学に行くのは時間の無駄だと感じた。

---

オンライン授業が多かったため、キャンパス内の移動などなく良かった。

---

オンライン授業が多かったので、授業に関する質問が少しづらひように感じました。

---

オンライン授業が多く、友達ができない状況が続いていたので心配だったが、キャリア計画の対面授業や、英語の授業のグループワークを通して友達ができたので良かった。オンライン授業は、たまに回線が悪くなったりして大事な部分が聞き取れなかったりしたので難しいかもしれないが、改善してほしい。

---

オンライン授業だからこそのチャットなどの機能を活かした活動ができたらいと思う。

---

オンライン授業だと、映像やスライドなどが見やすかったので良かったです。個人的には、今後も継続してほしいです。

---

オンライン授業だとスライドが見にくいなどのことがなく、わかりやすかったです。

---

オンライン授業であったことによって、自分で使える時間が増えたので、よかったですと思います。

---

オンライン授業であっても、zoomの機能を使って積極的にグループディスカッションをする講義があったのでとても効率的であったと思う。

---

オンライン授業であることで時間を有効活用できましたが、語学の授業は対面でしていただきたいかったです。

---

オンライン授業であれほど充実した授業を受けられたことに驚いている。この先オンラインが続くのであれば、このような授業を続けていただき、さらに向上させていていただきたい。

---

オンライン授業でインターネットの接続が悪く、授業がとぎれとぎれになってしまうこともあり、すごく焦った。オンライン授業は移動しないという利点があるが、私の家のようにネット環境が悪くなってしまう人にとってはネット環境を回復している間に授業が進んでしまうという欠点があるのだなと思った。

---

オンライン授業では、時々通信状況が悪くなってしまったりパソコンの調子が悪かったりできちんと受けられなかったこともあり、そこに関しては少しやりづらさを感じたこともあった。しかし、それ以外は特に不自由さを感じることはなく、オンデマンド授業などもあり、感染症が再熱しつつある今において、無理に人が集まる場所に出向かなくても授業を受けることができるという点でとても良いと思った。

---

オンライン授業では、他の学生や先生方とのコミュニケーションが取りにくい印象であったが、オンライン上でであってもグループディスカッションなどを通して他者の考えを知り、その中で自分がどのような考えをしたのかということを理解することができた。それにより、他者の考えや自分の考えの位置を知らずに学ぶよりもより深い学びができたと感じている。

---

オンライン授業では一方的な授業になりやすいと感じた

---

オンライン授業では自分の意思を伝えるににくい。また、質問もしにくい。  
対面っでしかひろがらない交流はあると思う。後期、もしくは2年生以降は対面授業に戻ってほしい。

オンライン授業では授業に用いた資料や動画をLMSに掲載して下さり、復習にとっても役に立ちました。

オンライン授業では集中できないことが多かった。

オンライン授業でも、チャットで質問をすれば答えていただけたたり、工夫をされていたりしたので、不便を感じたことはありませんでした。

オンライン授業でもしっかり学べることができた。

オンライン授業でも教養科目の基本的内容がよく理解できる講義内容であった。オンライン授業であるがゆえに、質問やリアクションがしやすく、講義への積極的参加をより促していたと思う。

オンライン授業でも授業はおこなえるけれどやはり、対面の授業が受けたいと思った。

オンライン授業でも先生がメールでも質問してくれて大丈夫です。と仰ってくれていたのが気軽にメールすることができオンラインでも不安になることはなかったです。

オンライン授業でも大きな支障なく受けることができた。

オンライン授業でも特に気になる点はなく、勉強できました。チャットなども利用できて良かったです。

オンライン授業でも特に支障なく学べた。

オンライン授業で行えることが限られた中、先生方が沢山工夫して下さっていることが伝わりとてもありがたかった。

オンライン授業ということで、多少の不安も抱えながら授業を受け始めたが、教授の分かりやすいスライドや動画を見ながら、効率的に学ぶことができた。また、zoomのチャットを通して質問ができたため、対面授業で手を挙げて質問するには勇気があるが、オンラインの場合は遠慮せず質問できた点が良かったと思う。

オンライン授業と対面授業が前後にある場合に、前の授業が長引く時、対面授業に遅れてしまう時があるため、出来るだけ統一してもらいたいと思う。また、宇都宮大学との共同授業ではグループワークを行う際に、オンライン授業の方がスムーズに行えるため、オンライン授業の方が良いのではないかと思う。

オンライン授業については、大きなトラブルは無かったので満足していますが、先生の声が途切れることが多くあったので、そこが改善されると有難いです。

オンライン授業には戸惑うことも多かったけど、教員の方々の配慮の元適切に円滑に受講することができた。

オンライン授業によって、離れた場でも学ぶことができ、良かった。

オンライン授業に関しては、少々インターネットトラブルがあったりして困ったことがあった。あと、オンラインだとグループワークがあまり活発でなくなる場合が多かった。人が密集しない面ではよいと思う。

オンライン授業に関しては、特に不便もなく受講することができた。

オンライン授業のID表を個人に配布されるサービスがあればいいなと思います。

オンライン授業のほうが様々な面において都合が良く感じました。

オンライン授業のほうが良いと感じた

---

オンライン授業の際に、接続が悪く映像が乱れることが時々あった。

---

オンライン授業の場合、やはり他者と話し合うことが対面よりも難しいと感じる。

---

オンライン授業の中でも能動的な活動が行われていたり、議論が活発だったりして良かった。

---

オンライン授業の撤廃

---

オンライン授業の良さとしては、自宅で受けることができるという点があるが、やはり対面で授業がしたかったと感じる。

---

オンライン授業は、学校に移動する時間がなくなるのでとても便利ですが、たまに先生が上手く画面共有できていなかったり、スライドの字が読みにくかったりと不便を感じる点もありました。

---

オンライン授業は、対面である必要のない授業を自宅で受けたりすることができて、通学費や労力を節約できてよかったです。しかし、トラブルも発生しやすく、対応も難しいことがあって、良い点だけではないなと思います。

---

オンライン授業は、便利ですが、授業をしてるっていう実感が分らない感じがちになってしまいました。

---

オンライン授業はこのようなコロナ禍では参加しやすいため続けていただきたいと思います。

---

オンライン授業はやはり寂しい。人とコミュニケーションが取りたい。

---

前期の間、ありがとうございました。

---

オンライン授業はやはり目が疲れたり、腰が痛くなったりするが、オンライン授業にはオンライン授業の良い点があった。例えば、普段手を上げて発言しにくい人が、Zoomのチャット機能によって、発言が容易になったり、画面が目の前にあるのでメモしやすかったりするなど様々なメリットを感じた。

---

オンライン授業は教室を移動しなくても受けることができたので授業前にしっかりと準備して臨むことができた。

---

オンライン授業は自宅でできたり、少人数で受けることができるので、感染症対策にとっても効果的だと思いました。

---

オンライン授業は授業への意欲が半減する。難しいと思うが対面授業が多くなれば良いなと思っている。

---

オンライン授業は場所に捉われず受講できるため、そこが便利だった。また、オンデマンド式ではなく、zoomを用いたスタイルだったため、授業動画を見ないまま溜めてしまうなどのことがなく、良かった。画面共有や挙手、チャットなどzoomの機能を活用した授業に満足した。

---

オンライン授業は大学生感がないので後期は対面で授業を受けたいと思いました。

---

オンライン授業は満足いくものが多かったです。ぜひ後期もオンライン授業の継続をお願いします

---

オンライン授業よりも対面授業のほうがわかりやすいし、モチベーションも高かった。

---

オンライン授業をしている際学生側のミュートが外れて音声が入ってしまい、授業に集中出来ないことがあった。zoomのホストは参加者を強制的にミュートにすることが出来る機能があると思うので、それを活用して欲しいと感じていた。

---

オンライン授業をもう少し少人数で出来たらいいと思いました。質問しやすくなり、授業への集中度もあがります。

---

---

オンライン授業を利用した授業では授業を受けやすい環境で受けることができたので良かったです。教養教育科目全般に関してはそれぞれの科目で難しいところがありましたが、テストに向けて学習を頑張りました。

---

オンライン授業中にブレイクアウトルームに入った後にメインルームで説明されてもわからず、伝わらないことがあった。

---

きちんと感染症対策を取りながら授業を進行されていたのでとても良かったと思います。

---

グループワークが難しい

---

これから、専門科目が増えていく中で、このような科目を学ぶことが出来てとても良い経験になった。自分は英語が苦手だったので、苦戦したが大学生活では必ず必要になってくるので、学習して良かった。

---

これからもこのオンライン授業形態を継続させてほしい。

---

コロナウイルス対策はいい加減にしてほしい。もう弱まっているのだから。最低限対面の授業にしてください。

---

コロナの影響からですが、オンライン授業は、とても良いと思いました。先生との距離も近く感じることや、パワーポイントなども見やすく、私は、とても分かりやすく学びやすいと感じています。しかし、オンラインのつながりの状態が悪くなってしまうこともあると思うので、その点だけが心配な点だと思います。

---

コロナの影響で期末試験がレポート等の課題になると早い段階で決まったときは、シラバスの情報を更新してほしい。成績の評価を試験か課題のどちらかで行うのかは、授業を選択するときの参考になるから。

---

さまざまなことを学んでいくのに必要な力を総合的に身につけることができた。

---

ズームを開いたとたん、声が入ってしまう授業があったので、それを改善してほしいです。

---

スペイン語基礎実践(水7-8)について、先生同士での引き継ぎをやっておいて欲しかった。また、どうすることもできないことだが、テストの日程が変わったのが、厳しかった。

---

スライドの説明がわかりやすかった。

---

スライドや資料が毎回用意されていてとても分かりやすかった。リアルタイムで感想を募ったり演習をしたりといった授業だったのでオンラインでも積極的に取り組むことができた。課題も適切な量だったのでありがたかった。

---

せめて、英語や第二外国語などの語学は対面方式が良いと思います。教養教育科目は全てオンラインとするのではなく、講義の内容に沿って、どういった授業のスタイルで進めていくのか考えていただけると良いと思います。

---

せめて言語の授業だけでいいので対面だと嬉しいです。発音の練習が全然うまくいきません。

---

たまに電波が悪く、音が飛んでしまっていたことがありました。しかし、授業に支障が出るほどでは無かったです。

---

チャットでの質問に丁寧に答えてくださることが大変ありがたいです。

---

できたら対面形式がいいと思いました。オンラインだと、友達や先生と難しかった問題の共有などがしづらく、1人で不安になってしまう事が多かったです。また、週のほとんどを家で過ごすため、半分不登校のような気分になることが多かったです。

---

できるだけ対面にして欲しいです

---

できればテストは対面のほうが学生も先生方も楽になると思いました。

---

---

テストや課題の提出の締め切りが授業日の当日が多かったです。ネットの不具合や部活や電車の関係でその日のうちに提出ができないことがありました。出席証明の場合、出席したのにLMSに出席票を出せなかったことで欠席扱いされるので、提出期限の考慮が欲しいと思いました。

---

どうしても回線が悪かったりする事例が発生するので、そこを改善できると良いかと思った。また、学生の問題ではあるが、ミュートし忘れる人がしばしば見受けられる。各学生が注意していかなければと思う。

---

ときどき電波が悪くて、画質が悪くなってしまうこともあったが、全体的にスムーズに授業が行われていたと思う。画質が悪くなってしまった時のためにzoomの録画をlmsにアップしてもらえると助かると思う。

---

とても楽しかった

---

どの講義もオンラインをうまく活用した内容や進め方をしており、知識・技術がよく身に付いたと感じた。講義で使用したものを教員と学生でしっかりと共有できていればなお良いと感じた。

---

どれもわかりやすい講義であった。

---

どれも自分の教養になって、非常にためになった。

---

なかにはzoomの画質が悪くて文字が読めない講義もあったので、オンラインでも問題なく講義を行えるような環境を整えてほしい。

---

なし

---

なるべく必修科目の対面の授業は1日にまとめてくださるとありがたいです。

---

ネットが途中で切れてしまうことがあるので考慮していただきたい。ミュートについて、オフの場合はそのように設定していただきたい。

---

ネットの調子が悪い時などはとても焦った。

---

ネットの問題で音声聞きづらい場面も多々あり、授業動画が後から見れない授業だと不便だと感じた。

---

ハイブリッド授業において、オンラインの方が先生が記述した内容が見やすい講義が多かった。

---

ブレイクアウトルームなどの少人数の話し合いでは意外と全員が積極的に発言ができた。また、オンラインであっても顔出しをすると他の学生の顔がわかり、より対面の講義に近い形で実施できていたように思う。

---

ブレイクアウトルームの活用など、オンラインならではの進め方をしていた授業もあり、良かった。

---

ほかの人との交流があまりなかったのもっとできるようにしてほしい

---

ほとんどオンラインだが、時にある対面の影響で、オンラインを学校で受けることが多く、感染対策にはなっていないと感じた。

---

ほとんどの講義はオンラインでありながら学生にわかりやすく授業をしていて、困った点はありませんでした。

---

もう少し対面授業を増やしてほしい

---

やはりオンライン授業なので、対面授業より気が抜けてしまい、意欲的に取り組めないなど思うこともあったが、オンライン授業のブレイクアウトルームを使用した討論のなかで、他学部の方の考え方や感性に触れることができたので、非常に勉強になった。

---

やはり慣れてないので対面の方が良い

---



レジュメを配布してくださる授業はとても受けやすかった。どのオンライン授業もレジュメ配布は必須だと感じた。

わからない点を言いづらかった。

意見交流などをするとき、やはり対面のほうがやりやすいと感じた

一部の授業でzoomの入室を許可制にしている場合がある。先生側にとっても手間だと思うので、許可制はやめてもいいと思う。

一部の授業で大学のネット環境が悪く、音声に問題があったり、先生が退出してしまうような問題があった。

一部の先生の通信環境が悪く、話の内容を満足に聞き取れない事態も少なくなかった。

一部科目で授業時間を大幅に超過して授業が行われた結果、昼食が取れないことがあった。

一方通行の授業はやめていただきたい

音声の大きさに差があり、特にパソコンの音声を最大にしても聞き取りづらい先生の授業は受けづらかった。

家で授業を受けられることはよかった。

課題の送信時に送信前に再度確認画面が挟まれるタイプと、すでに送信した内容が表示されるタイプの二つが存在するので送信されたのか分かりづらいです。どちらかに統一してくださると助かります。

課題を提出した際のコメントが毎回辛辣で心が折れた授業があった。

会話が必要なオンライン授業などがあると、オンライン受講用の部屋がうるさくなってしまうたり、雑音がマイクに入ってしまったたりしたので、改善すべきだと感じた。

開いている教室で、学生が集まって受講していることが多く、オンライン授業の意味がない、対面授業と同じような状況になっているのではないかと思った。

外国語の講義はオンラインだとコミュニケーションが取りにくいと感じた。

学びのリテラシーが対面授業だったので他の授業も対面にしてほしかった。学生が発言する場面がなかったので対面授業にしたら発言しやすくなると感じた。

学校でオンライン授業を受けるためには3コマ以上あるとパソコンのバッテリーが充電なしでは持たなかったのが大変でした。

学校側もオンライン形式に慣れてきている様で大きく差し支える問題はないと思う。

顔出しするものはあらかじめ言っておいてほしかったです。

基本私が履修していた科目はほとんどオンラインだったが、健康教育と地理学は対面で受けていた。オンライン授業は、家から授業を受けることができるため、新型コロナウイルスの影響を感じずに授業に参加できたが、地理学は人数が多く、感染に対して少し怖い気持ちを持っていた。しかし、対面だからこそオンラインよりも学びを吸収しやすく、The 大学をいう雰囲気味わうこともでき、大学はこう対面であってほしいと感じた。

基本的な授業はオンラインによって、移動による費用や時間を短縮することができる面で助かった。どこでも受けることができるので、自分に合った環境を選択できる点が良かった。しかし、言語系の科目では、オンラインでは聞き取りや発音などに限界があると感じた。やはり、他言語を学ぶときには実際にコミュニケーションの場面や、発音を正してもらえる機会が必要だと思った。

気づいた点などはない。このままやっていたらいいと思う。

---

教師側の回線が悪いことも多かったので特に合宿施設からの講義の時は先生もビデオを消してよいと思います。

---

教室では遠目になるためスライドが見にくいですが、オンライン授業ではスライドを共有してもらえるので見やすかった。

---

教務システムやLMSの内容が更新されておらず、試験方法や評価基準が不明確である科目がある。教養科目の中には、医学生である自分にとってもかかわりが深いものがあった。一見、関りがなようなものでも学んでみると関係があったりなど、本当に楽しかった。

---

教養科目はオンライン授業がほとんどであることを入学時に教えて頂きたかったです。

---

教養科目はオンライン授業でよかった。

---

教養科目はほとんどがオンライン授業であったが、それでも教師、教授は対面授業のような話し方をしている、実際に対面で授業しているような感覚を得た。

---

教養科目を取得して普通に生きていたら学ぶことのないような楽しい知識を学ぶことができよかったです。一つ目の教養の心理学では心理学を学びました。心理学には興味がありましたが、学ぶ機会がなく実際に学んでみて、とても奥が深く、学びがいのある授業で楽しかったです。今後こういった心理学系を学ぶ機会があれば積極的に学びたいと思いました。二つ目はドイツ歌曲です。ドイツ歌曲では、ドイツの歌などについて学んだり、実際に聞いてみて感想などを書いたりしました。高校の時に聞いたことのある曲があったり、初めて聞いた曲もあり、とても楽しく授業に取り組むことができました。ドイツの曲はすごいものばかりで実際にドイツに行って歌詞を書いたシューベルトやモーツァルトのことを深く学びたいと感じました。普段から日本の曲ばかり聞いている僕からしたらよい経験で楽しかったです。三つ目は、手話です。手話も本当に学びたいと思っていて実際に大学で手話を学ぶことができよかったです。耳の聞こえない人など障害をもった人の役に立ちたいとかがえ、手話を通じて会話をし、役に立てたらいいなと思いました。

---

教養教育がオンライン授業だったのはよかった。教員側のマイクの不調で音声不良があることもあったため、今後は改善する方が良いと感じた。

---

教養教育科目で、今まで自分では考えなかった新しい視点をいくつか学べました。特に、サービス産業の分野についての授業で学んだことは、社会に出てから役立つと思うから、覚えておくようにしたいです。

---

教養教育科目では、オンライン授業だったので、どうしても理解できたいところが出てきてしまっていた。スムーズに進んでいく授業の中で、難しいところは時間をかけてやりたかったが、それをするのが難しかったと思います。授業終了後に復習をしても、自分だけの理解力では限界があったため、わからないままにしてしまったところがあると思います。後期ではしっかりそこを改善していきたいと思います。

---

教養教育科目の授業を受けて、医学専門に特化した授業ばかり行うのではなく、広い範囲の知識を身につけることが大切だと感じた。私自身聴覚のことについて興味があったため「手話ろう文化」の授業は特に貴重な授業だったと感じている。また、「ぐんま未来学」の授業を通して群馬の現状問題を知ることができた。群馬の未来がよりよくなるように私もなにか貢献したいと考える。コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでの授業になってしまい他学部との関わりが減ってしまったり、うまくグループ討論が出来なかったのがとても残念だった。しかし、そんな中でもブレイクアウトルームを通してほかの人の意見を聞くことが出来てよかった。今後は、以前のように他学部と同じ教室で授業を受けることができる日が来ることを期待する。

---

---

教養教育科目はすべてオンライン授業であったが、どの授業もzoomをうまく利用した授業をしていて、対面授業と遜色なかった授業だったと思う。むしろ、オンラインの利点を活用して画像や動画をうまく用いるなど、非常に内容が理解しやすい授業だったと思う。

---

群馬大学で今後学んでいくために必要な最低限度の知識は身に着けることができた。レポートの書き方から、情報社会でのリテラシー、倫理学まで幅広く学ぶことができた。オンライン授業のため、グループワークが少なく、授業環境も通信環境に左右されてしまうので、この点だけは少し残念だった。

---

群馬大学で受講するときに、ネット環境のためにzoomから出てしまうことが多々あったので、対面の日は対面の授業、オンラインの日はオンラインで固めた方が良かったと感じた。

---

言語などの授業だと特に音がよく聞こえなかったり画面が固まったりで少し大変だったです。

---

言語の科目はオンラインで受けると音が飛んだりしたときに大変だった。

---

言語学習で教員とのコミュニケーションはとりやすいが、生徒間でのディスカッションはやりづらかった。

---

午後のオンライン授業は眠くなる、。

---

後期もオンライン授業で受けられることを願います。

---

語学以外の授業はコロナに関係なくオンラインで十分だと思う。資料も手元のPCの方が見やすい。考古学の講義で、例年ならば出土した土器の類を実際にみたり、講義として遺跡に行ったりすることができたのだが...という話を聞き、少し残念だったので、段階的・部分的に対面授業に戻してほしい。

---

考古学の授業で、先生がずっとひとりで話しているので、眠くなってしまう

---

講義スタイル（教員の説明を聞くだけのようなスタイル）の授業はもちろん、グループワークを行う授業であっても不自由なく取り組むことができ、また、通学で消費するはずであった時間を学習時間に有効活用することができたのでおおむね満足している。

---

講義中に他の学生の様子をうかがうことができないため、分からないことがあった時にとっても不安になってしまう。

---

また、キャリア計画や学びのリテラシーで、あれだけの大人数を1つの講堂に詰め込んで講義を行っているにも関わらず、他の授業はオンラインで行うことに意味はあるのだろうかと感じていた。接触の機会を減らすという意味ではたしかに一理あるが、結局上記の対面授業で一堂に会しているため、あまり意味がないのではないかと考えていた。感染対策を行うのであれば、やはり一律で対面にするか、一律でオンラインにする、もしくは、学びのリテラシーやキャリア教育などの、講堂の収容率が明らかに高くなってしまいう科目をそれこそオンラインで行う方がよいのではないかと考える。私個人は早く全授業対面形式に戻ってほしいと思っている。コロナウイルス感染拡大による厳しい状況のなか、大学受験を乗り越えてようやく大学生になったというのに、家でオンライン授業を受けるばかりでは気が滅入ってしまう。状況に応じた形にはなると思うが、後期の授業は学期の途中からでも対面形式になることを切に願っている。

---

講義中の資料を先に配布してあった方が良かったと思う。資料にワードなどで書き込んでいくタイプの講義は書き込んだ後の資料もlms上にあげて貰えると良かったと思った。

---

講師の方の声が聞き取れないときがありました。

---

高校ではコロナ禍であって対面での授業だったのでオンライン授業が初めてだったのですが、大学からの説明などもあり、対応することが出来ました。しかし板書がある訳では無いのでメモをとるのが大変でした。

今季の教養教育科目の授業は、ほぼ全てがオンライン、または対面とオンラインの併用で行われた。オンライン授業であっても、授業の質などは対面での授業と大きくは変わらなかったと感じた。

オンライン授業は高校生だった時にも多少取り入れられていた。その時とは使用するサービスが多少違っていたものの、すぐに慣れることができた。

オンラインでの授業中にはカメラをオンにする授業とそうでない授業が混在していたが、特にカメラをオンにしない授業で集中力が切れることがあって大変だったなと感じた。

私はオンライン授業が好きではないです、なぜなら授業に集中できないという点や学校で友達と会う機会が減るからです。

自宅で授業を聞くことができるのは便利であったと思う。

自分の興味がある内容について学ぶことができて良かった。

自分の興味のある授業をとることができたので、とても楽しかった。しかし、履修登録期間前にいろいろな授業を試しに受ける際に、ある時間の授業を受けている時には、同じ時間に開講しているの別の授業は出席できなくなってしまうので、科目に悩みすぎると不利になってしまうのではないかと思った。実際、この場合は欠席扱いになってしまうのか。

自分の責任だが、オンラインだと緊張感がなく集中できなかったように思える。特に専門科目は対面授業にしてもらいたい。

自分の専門でない科目をこれ程多く学ぶことができるとは思ってもみなかったけれども、楽しく学ぶことが出来たし、知識の幅を広げることが出来ました。

自分の専門以外のこと特に文系が学ようなことも学習できた。また、特に妊活などは今後に活かせる、非常に学ぶことの多い授業であった。

質問がしやすいところがあるので、授業に集中しやすいけど質問しにくい対面とどうにか融合出来れば授業の質は大きく向上すると思う

実技以外の教養分野なら、オンラインで充分学べると思った。

授業がすべてオンラインで家で受けられることがいいと思いました。

授業ごとに出席のシステムが異なるので統一してほしい。

授業によって、課題の形態が様々であったが、オンラインの授業では家での受講が可能なため、作業がしやすかった。

授業資料はPDFの方が扱いやすいのでPDFにしていただけるといいと思いました。

宿題の量や講義の内容がとても適切であった。

出欠の取り方がバラバラで分かりづらい

出席している事になっているか心配だった。

出席をとる際にきちんとできているか不安が残るところがあるため、そこを改善してほしいと感じた。

状況に応じたいい対応だったと思います。

新型コロナウイルスはまだ終息する気配がないのでまだオンライン授業でもいいのかなと感じた。

身の回りのことを詳しく知れたと思うので楽しかった。

---

進むスピードが速いと感じました。対面のほうが自分には向いていると思いました。

---

人によっていろんな授業をとっていて教養科目は自分のしたいことだけできるのが面白かった。ひとつひとつ専門的なことをやるから全部ついていけるというわけにはいかなかったが、先生の話も面白かったし、楽しんで授業を受けることができた。

---

人間性を培うことができた、素晴らしい授業が多かった

---

人数が多い授業ほど質問がしにくいというデメリットがありますが、オンライン授業の方が自分に合った環境で学ぶことができるので満足しています。

---

数学や物理など今後使っていく大事な科目は対面にしてほしい。キャリア教育、学びのリテラシーはオンラインでいい。

---

説明が丁寧でした。

---

先生によって、同じ科目でも単位や評価される難易度にかなり差があるように感じる。多少違うのは仕方ないと思うけれど、もう少し揃えてほしい。また、現在の抽選の仕方は楽単目的で選んだ人が講義を受けることができ本当にその講義で学びを得たいと思っている人が講義を受けられないという状況に多々なる。実際学びのリテラシー(2)で私も、将来は医薬品の研究など生物の知識を使い医療に携わりたいと思っているが、生物や医療に関する講義2つに落ち、楽単目的でそのうちの一つの講義を選んだ友人はその講義を受けられることになった。なかなか手間もかかるようになって難しいとは思いますが、その講義の希望理由を書かせたり教授へのメールを書かせるなどして少しでもこういった状況になることを減らしてほしい。

---

先生側の回線の不都合などで音声や画面がはっきりとしない場合があった。講義はオンラインなのにテストは学校まで行かなければならないのが大変だと思う。

---

先生方がスライド等を活用してくださったため、とても分かりやすかったです。グループワークなども、zoomの共有機能を用いて円滑に行うことができました。

---

先生方がもう少しZOOMについてよく理解できていればよかったと思った。

---

先生方のオンラインならではの工夫が見られ、とても充実した授業であったと感じています。対面であったら大勢であるため、意見をくみ取ることができなかつたであろう授業も、チャットで気軽に質問することができたり、投票機能を用いて統計的にどのような意見を持っているのか知ることができたり、オンライン授業でよかったと思う点が多くありました。

---

全てオンラインであったが、医学部ということもあり昭和キャンパス近くに家を構えていたので、家でできるという点で非常に良いものだと感じた。通学時間を減らすことができたので、その分勉強に回すことができより多くのことを学べた。一方で、他学部と交流する機会はこのような科目でしかすることができないので、この点はオンライン授業のデメリットだと感じた。個人発表をグループ内で行った授業ではお互いのことを少し知ることができたので、オンライン授業ではこのようなグループ活動を広げていくことが重要ではないかと感じた。

---

科目の種類数については非常に豊富で、自分が学びたいことがしっかり用意されていると感じた。抽選で落ちてしまったものはあったが、その分自分の視野を広げるような勉強をすることができ楽しかった。授業の中で、自分が日常生活を送る上では分からないような新しい発見や気づきを得ることができたのは、これからの大学生活や医師としての仕事の中で大いに役立つと感じた。医師にはあまり関係ないからといって無下にするようなことはせずに、学んだことをしっかり大切にしていきたい。

---

全員対面の科目を一日にまとめてほしい。

---

---

全部オンラインでいいと思う。

オリエンテーション時にZoomの使い方をしっかり説明してくれば今後ともこのスタイルでいいと思う

---

他の大学や高校はどこも対面授業をしているので対面授業を増やしてほしい。友達の中に対面授業が1回もない週がある人がいて流石に対面授業が少なすぎると感じた。大学に行く機会が少ないと新しい友達が全然できないので、できる範囲で対面授業を増やしてほしい。

---

他学部の人と同じ授業を受けるのでできれば対面で受けたかった。

---

対面だったら他の学部の人とも関わりがあると思うので、対面でもやりたかった。言語の授業は、パワポが良く見えたり、発音の口がよく見えたりしたので、オンラインを望みます。

---

対面である必要のない授業を対面にするのは如何なものか。

---

対面での授業を増やしてほしいです。

---

対面でやった方がよさそうな授業内容もあったと感じました。グループワークやプレゼンをオンラインで行うのは初めてだったので、難しかったです。

---

対面で受けたかった。オンラインはごくまれに通信が悪くなり会話が飛ぶことがあったがそこまで授業に支障はなかった。

---

対面とオンラインの両方が活用できたのは有難かったのですが、オンラインしかない曜日と対面しかない曜日で分かれていたらより便利だと感じました。他の講義はすべてオンラインなのに1講義だけ対面のものがある日が多く色々な面で大変でした。

---

対面なのかオンラインなのかわからない事が度々あったので我々自身の問題もあるかもしれないが、もう少しわかりやすいアナウンスがほしいと感じた。

---

対面の方が楽しそうだと思います

---

対面の方が良い。友達との話し合いによって解決することもある。

---

対面も増やしてほしい

---

対面を増やしてほしいかった

---

対面講義と対面講義の間にオンライン講義があると、結局のところ学内の教室に集まることになる。感染症対策の面からみて、時間割の組み方が下手であると感じた。

---

対面授業の方が授業に対してモチベーションの維持がしやすいため、教養についても対面で行って欲しい

---

対面授業の方が集中できるので、オンラインだけでなく、学びのリテラシーやデータ・サイエンスのように対面授業もあったことが良かったと思う。

---

大学での語学学習の際、科目が違う人たちが同じ部屋でオンライン授業を受けているせいで、いろいろな言語が混ざって勉強しづらい印象を受けた。

---

大学に行ってオンライン授業を受けるのはおかしいと思う。対面の授業はまとめてほしい。

---

大学のWiFiが貧弱であることを、教員の方々はもっと知るべきだと思う。家の学習環境は整えられるが、大学で授業を受けなければいけない場面もあることを問題として議論が行われるべき。

---

大学構内でオンライン授業を受ける必要性がない。また対面授業とオンライン授業を同日に行うことをやめるべきだと感じている。

---

第2言語や英語はできたら対面のほうがいい

---

丁寧に教えてもらい、わかりやすかったです。

---

通学する時間を学習に使えるので良かった。

---

---

通学時間がかかってしまう身としては、オンライン授業は本当に助かった。

---

通信環境などを考慮した授業だったので助かった。

---

オンライン授業でも多くの工夫がされていて、わかりやすい講義だった。

---

添付資料等も有効活用でき、提出課題の指示等も分かりやすかった。

---

転換期なので仕方ないのかもしれないが、1日に対面とオンライン授業の両方があると、どうしても学内でオンライン授業を受講する必要がある。その時、周りが発言しないようにしてほしいなどの教授の要望に無理があると感じた。どの教室がいっぱいなのか、空いているのかということは、行ってみるまで分からない。発言やディスカッションを講義で行いたいなら、オンラインでない方がよいと思った。

---

途中で通信が切れてしまったときの対応などを全授業で統一してマニュアル化してほしい。

---

同じ授業でも、その日やる内容によってオンラインと対面を変えられたらより効果的なのではないか

---

特に不満はない

---

特に問題なく、良かった。

---

内容はそれぞれ広く深いと思った。オンラインの良さとしては、主にチャットを利用した回答時に、自分以外の意見や逆に自分の意見の共有がスムーズであったことだ。対面授業ではできなかったことかもしれない。現在テスト期間であるが、まだ慣れていなかったこともあり、lmsに授業動画やpdfが残っていたりするとより理解の定着につながると思った。

---

必要な力を伸ばすことができよかった。

---

不便ではない

---

幅広くバリエーションに富んだ授業があつて、とても面白かったです。

---

文字, 数値の入力がオンラインだと時間がかかる.

---

勉強になった

---

面白かった。

---

問題はない

---

様々な学生とコミュニケーションをとることが出来てとてもよかったです。

---

様々な種類の科目がありたけなる授業だった。

---

様々な分で学んだことがつながっていると感ることができた。

---

このような学びが自分の考え方を広げ思考力が身についたように感じた。

---

現代ドイツ哲学の講義が自分の知らないところを発見できるような講義でした。とても楽しく学んでいます。

---

理系以外の科目も学べて思考力が養われたと思う。

---

良かったと思う。

---

論理的思考力を身につけられる科目が多くあったので、とても自分のためになりました。

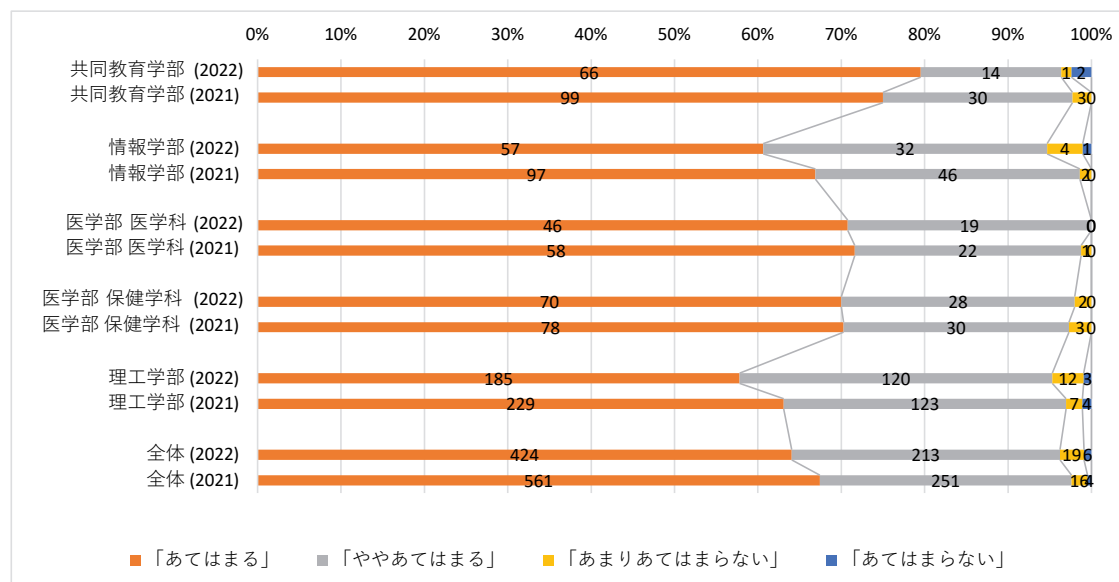
---

## 7.1.2 令和4年度 後期授業評価「学びのリテラシー (2)」集計表

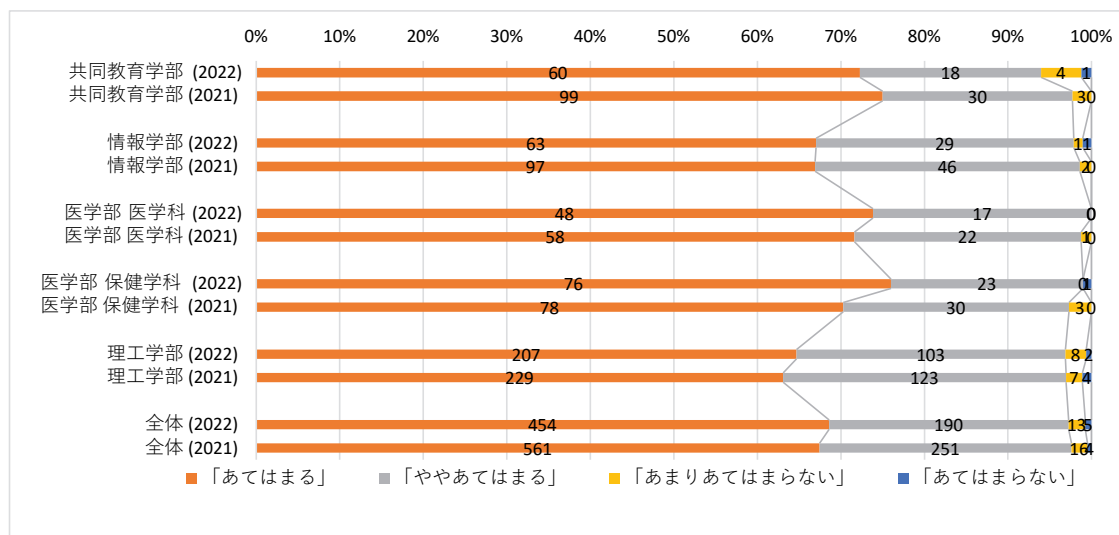
区分	年度	対象者数	提出者数	回収率(%)
共同教育学部	2022	201	83	41.3
	2021	(182)	(132)	(72.5)
情報学部	2022	172	94	54.7
	2021	(152)	(145)	(95.4)
医学部 医学科	2022	109	65	59.6
	2021	(90)	(81)	(90.0)
医学部 保健学科	2022	161	100	62.1
	2021	(138)	(111)	(80.4)
理工学部	2022	502	320	63.7
	2021	(401)	(363)	(90.5)
合計	2022	1,145	662	57.8
	2021	(963)	(832)	(86.4)

※ ( )は昨年度の結果

## 質問 1. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。

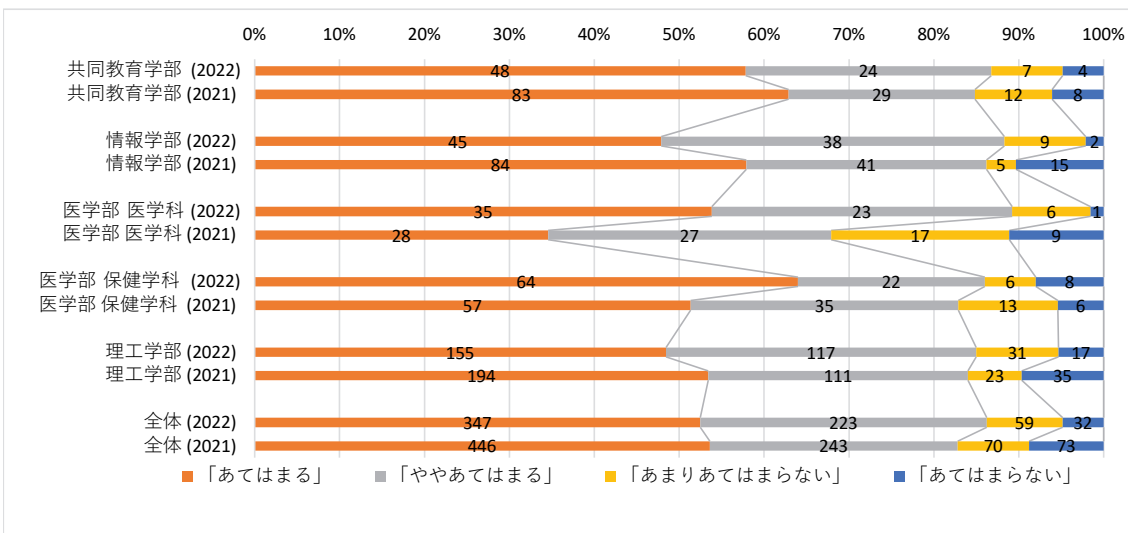


## 質問 2. シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。

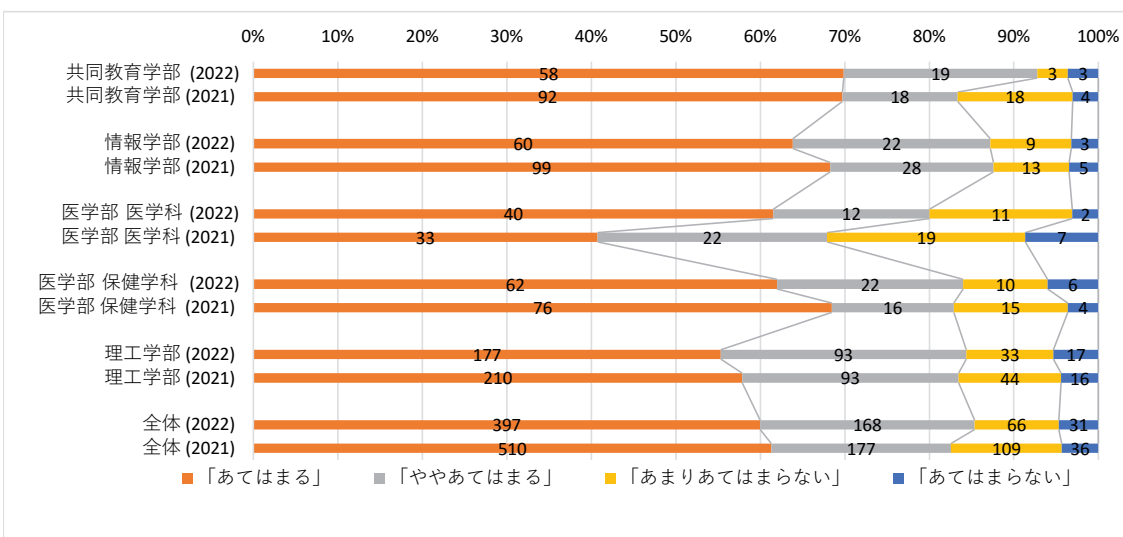




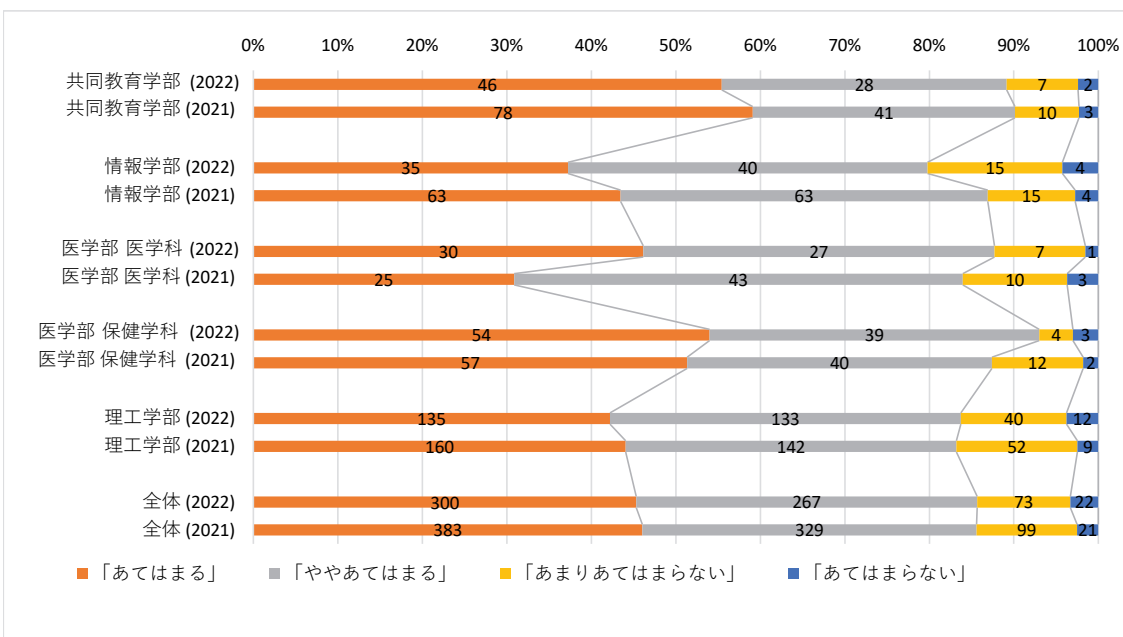
## 質問 3. 講義での討論は活発であった。



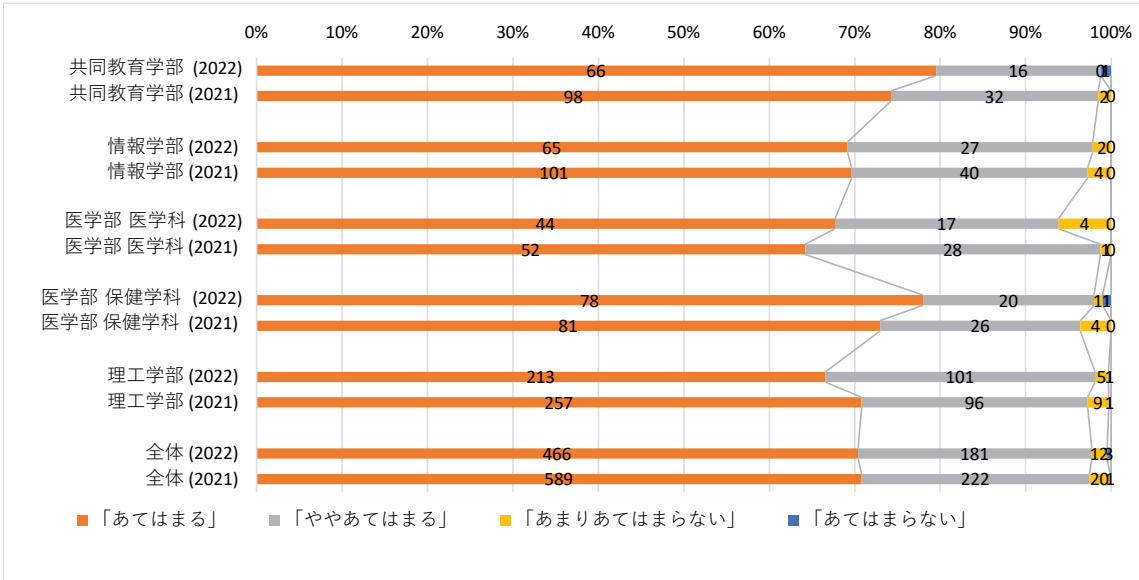
## 質問 4. 教員や他の学生とのコミュニケーションをとる機会が多かった。



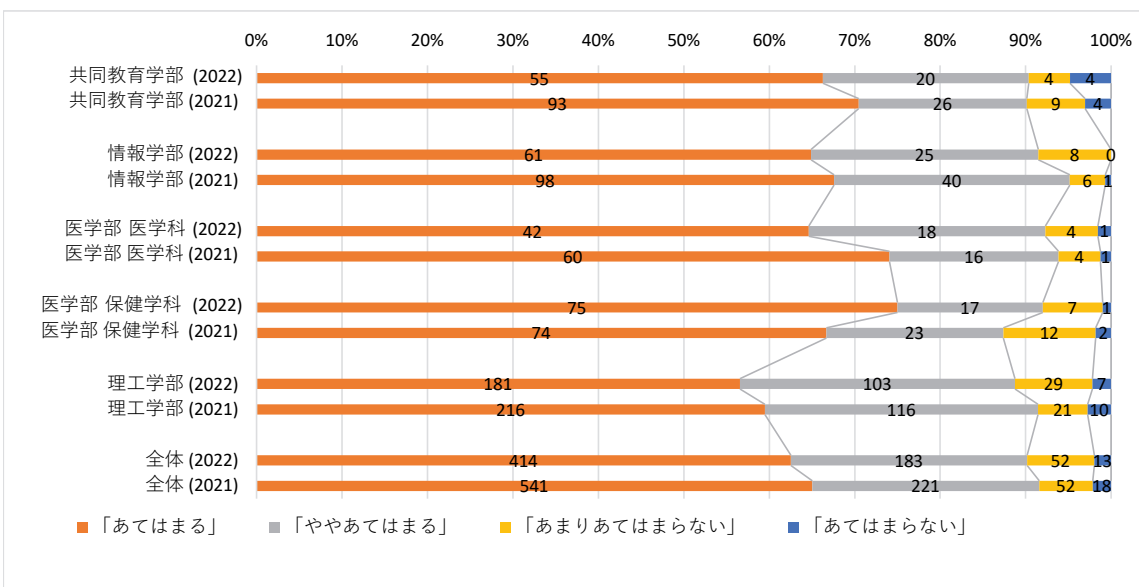
## 質問 5. この授業で報告の仕方やレポートの書き方を修得できた。



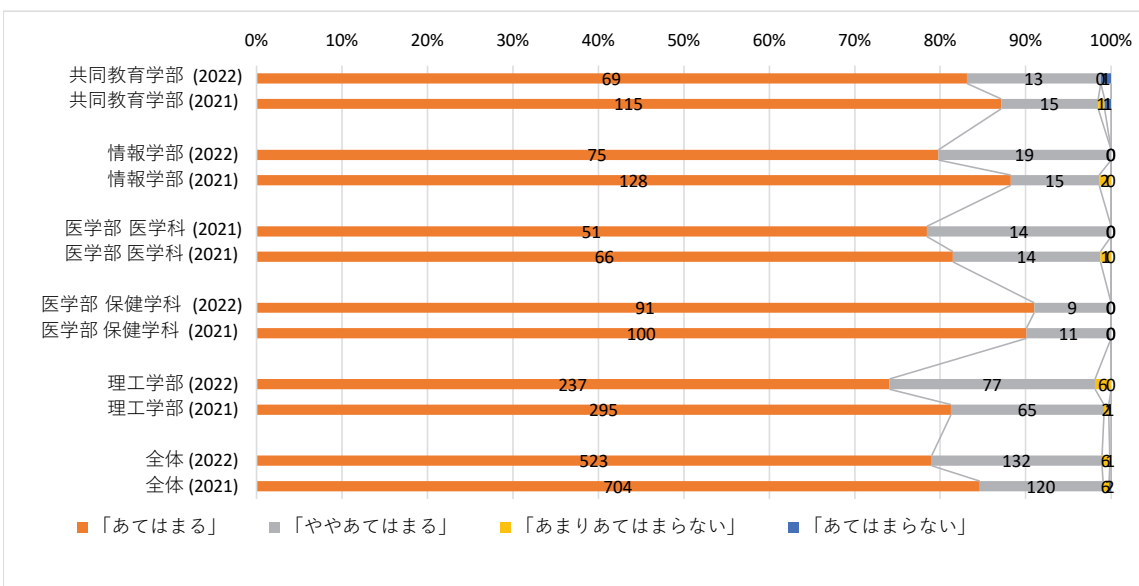
質問 6. 出欠管理、成績評価基準など教員の学生との対応は適切であった。



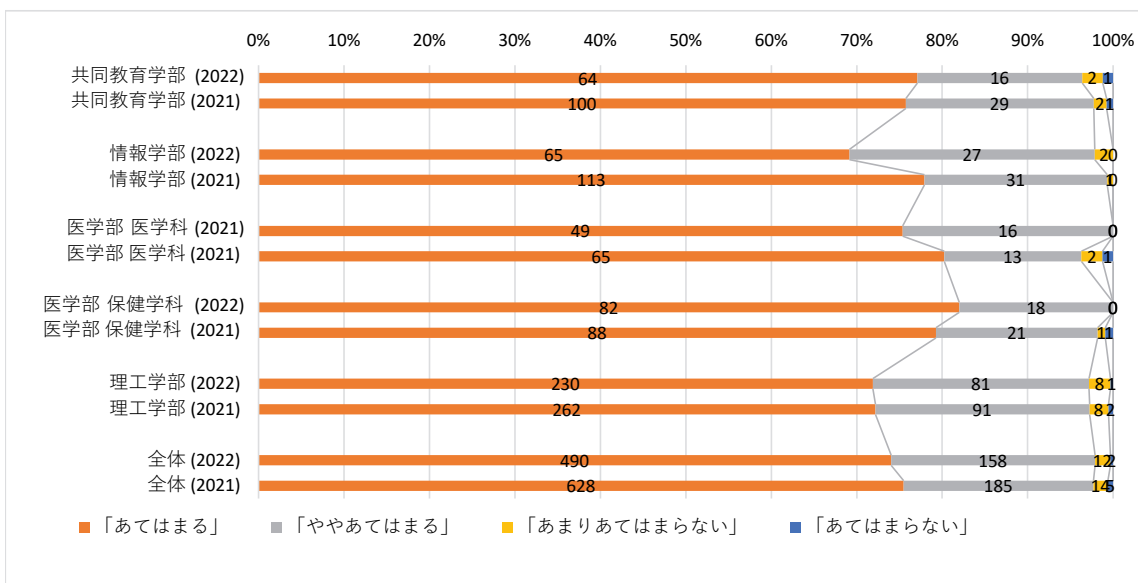
質問 7. 希望した科目を選ぶことができた。



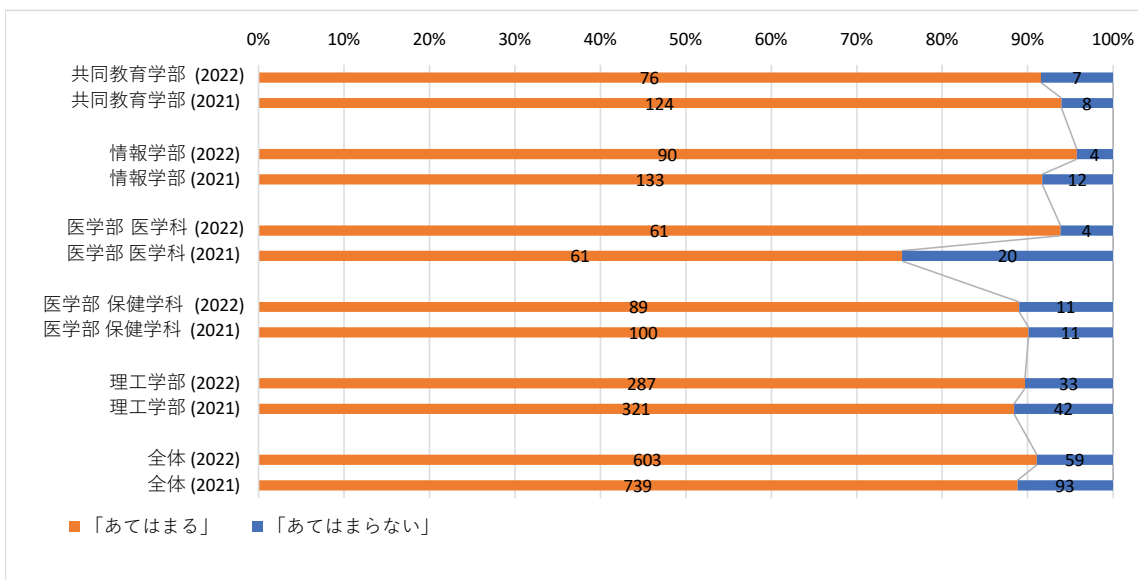
質問 8. クラスの人数は適切であった。



## 質問 9. 講義の環境は適切であった。



## 質問10. この授業は教員による一方的な講義ではなく、学生の能動的な学修への参加(例えば、講義内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなど)を取り入れた授業(アクティブ・ラーニング)であった。



## 【自由記載】

学びのリテラシー（2）に関して、気付いた点、改善すべき点等を自由にご記入ください。

ZOOMでの授業では音声あまりよくない講義が数回あったため、改善していただけるといいなと思いました。

学生が毎回違うグループを作ってプレゼンテーションを行うものだった。2週間に1ターンで行うため、最初の週に教員の講義、次の週に発表という形式だった。学生は講義後の1週間で連絡を取り合って各自スライドを作成しなければならなかったが、全くこの活動に参加しない人がいたり、協力的でない人がいたりしたため、その人達の分の負担が非常に大きくて大変苦痛だった。また、教員は2週目の発表で評価を行っていたため、スライド作成に参加せずに発表だけに参加した人も評価されていたことがおかしいと感じた。評価は公正に行うべきだと強く思うし、負担が偏るようになってはいけないと思う。評価を行う教員らにも、このような現状を知ってほしい。同じように負担する学生が今後出ないように、2週間ではなく3週間で1ターンにして、2週目にスライド作成、3週目に発表という形に改善してほしいと強く思う。

「ロゲルギストになる」の講義はとても発言の機会が多くコミュニケーションを多くとれた。それだけではなく、文の構成の仕方についても学ぶことができた。

DVDを見る、グループディスカッション、学外への施設や人に取材をするなど、幅広い手段で講義のテーマについて考えることができとても面白かった。ジェンダーだけでなく、自分について考える良い機会になった。機材トラブルで講義が進まないことがあったので、そこを改善したらより良い講義になると思う。

HTML,CSSの学習の際、進行が早くコードの記述をコピーで済ませてしまい、コードの意味を理解する時間がないときがあった。

おもしろい授業でした。

お互いに積極的に討論できる環境で、良いコミュニケーションができたと思う。これを機に、大勢の前でプレゼンテーションをする時に、活かしていきたい。

グループディスカッションが主で現代らしい主体的な授業でした。

グループディスカッション中に詰まっていると、適宜先生が助け船を出してくれたので、課題の内容で詰まってしまうということはほとんどなかった。数学に対する知見を深めるとともに、数学の本質的な面白さについて教えてくれる良い講義でした。

グループでテーマを自由に決め、調べ、プレゼンをするという経験をできてよかった。感染と免疫という授業名だったがプレゼンのテーマが幅広く考えられたことがよかった。先生の専門的な話も勉強になった。

グループで話し合う際に、毎回メンバーが変わっていたため、いろんな人と話せてよかったと思う。また、前期で受けた講義が大人数の授業ばかりだったため、最初は少人数すぎるのかなと思っていたが、発言のしやすさや相手との話しやすさなどがあり、今ではこのくらいの人数が丁度いいのかなと思う。

グループワークがメインの授業だったので、コミュニケーション力の向上につながったと思います。

グループワークが主となっていたので、他学部他専攻と話せるのが良い点だと思いました。

グループワークが多く、他学部の学生ともたくさん関わることができて楽しかった。また、様々な学生と意見交換をし、学びが多かった。

グループワークが多く、他者と多くのコミュニケーションをとることができたので良かった。

---

グループワークが多くあり、コミュニケーション能力を高めることや他の学部の方の考え方を  
知ることなど、多方面の学びに繋がりました。

---

グループワークが中心だったので他の学部の人と関わることができる良い機会だった。

---

グループワークの際に、1つの学部だけで作るのではなく、他の学部の人達ともグループを組め  
れば良かったと思う

---

グループ活動が多く、他学部の学生とも積極的にコミュニケーションをとることができ、他の授  
業では味わえない貴重な経験をすることができた。また、授業では、前回の授業の課題で提出し  
た文章を他の学生と共にどの部分がよく、どこに改善点があるか話し合う時間が設けられてお  
り、自分の癖などを直すよききっかけとなった。授業を重ねるごとに論理的な読みやすい説明が  
書けるようになった。

---

グループ活動も行われていて、すごくよかった。

---

グループ活動を通してコミュニケーション力を高めることができた。男女共同社会においての問  
題に気づくことができた。

---

この講義は学生と教授の間、また学生間でのコミュニケーションを活発に行いやすい環境が整え  
られていて、学生の積極性を伸ばす良い講義であった。

---

この授業はとても楽しかった。授業内容もいいし、色々なことが学んだ。先生とクラスメイトが  
すてきでした。

---

この授業は学生同士の話し合いの機会が非常に多く、意欲的に授業に参加することができた。

---

コミュニケーションを取る機会が多く、とても有意義な時間になりました。また小林先生の講義  
を受けたいです。

---

シラバス以外にも、どんな雰囲気での授業で何をするのかという各授業の様子がわかる動画等があ  
ると科目選択を行いやすくなると思った。

---

せっかくの他学部と合同授業にも関わらず、他の学生との交流が少なかった。

---

たくさんの学部の人と知り合えていい刺激になった。人数が少ないとコミュニケーションのハー  
ドルが下がって、話しやすかった。教室のマイクが調子が悪いのが少し気になったが、理工学部  
では学ばないことも学べて全体的に充実した授業だった。

---

たくさんの講義が開講されていて、選択の余地が多くあり楽しかったです。

---

ディスカッションなどの機会がとても多く、最も緊張する授業の一つだったが、毎回よい学びが  
できてよかった。課題のgoogleフォームの振り返りも、他の人の考えなども知ることでよ  
かったが、何回か自分の出した課題が振り返りのところに載っていない時があったので、提出で  
きているのか心配になることがあった。

---

データ処理や、人の心理に基づいた物事の伝え方を学ぶことができました。

---

とても楽しかった。

---

とても楽しかったし、いろんな発表を聞いて様々な知識を増やすことができてよかった。

---

とても分かりやすくして良い授業である。

---

とても良い授業だった

---

とても良い授業でした

---

ハンセン病についてきちんとした理解を得られた。患者さんや医療従事者や政府などあらゆる視  
点でハンセン病問題について考えられた。また、プレゼンテーションの進め方について理解が深  
まった。

---

---

プレゼンテーションを頻繁に行ったので、パワーポイントの制作が素早くできるようになった。伝わりやすいプレゼンテーション作りも少し出来るようになった。また、2年次に詳しく学ぶであろう微生物学を、複数の先生方から教わり、深く興味を持つことが出来た。

---

プレゼンをする機会が多く良い経験になった。

---

プロジェクターで映したスライドの文字が小さくて少し見づらかったです。

---

ほとんどの授業が学生に考えさしてくれる授業だったので、今まで興味の無かった分野も考えることができ、新たな発見をたくさん見つけることができた。

---

ミョウバンの育成は、非常に楽しいうえに考える力がついた。プレゼンテーションの練習もできて良かった。

---

もう少し早くからレポートやプレゼンテーションがあることを教えてほしかった。

---

よかった

---

リアペいらない。800字多すぎ。レポートもあるし。他のまなりではもっと楽。

---

レポートの提出期限を遅くしてほしい

---

レポートや話し合いに対するフィールドバックがあり、自分自身の意見や考えを改め直す機会があり良かったです。

---

わかりやすい伝え方とは場面や時によって変わるものだということ。短く話す、はっきりした声で話すといったことは、どんな場面やどんな人にもわかりやすく伝えるための前提であり、本当のわかりやすい伝え方ではないということ。

---

扱った教材の各トピックについて、3人くらいのグループでまとめて発表するなかで、そのテキストに記されていることが今の社会にも当てはまる部分が多くあった。改善点はもう少し広い教室で行ってほしいということである。

---

医学科の専門科目にもつながる内容であったり、日常生活にも生きてくる内容であり、非常に役に立ちました。

---

医学部の学生以外とも医療と関係が深い遺伝子について話し合うことができて良かったです。後半の発表の準備期間が2回目の発表とはいえ短かったです。何とかみんなで協力して全グループ発表を終えることができましたと思います。

---

半年間ありがとうございました。

---

音楽用語が多かった。そこまでちゃんと音楽を勉強した生徒は少ないので配慮してほしい。

---

化学に関する基礎知識が各々によって違っていたからか、内容が全く理解できないという言葉だけで低評価をもらったという友人の話を聞いた。

---

このまま改善せず、パワーポイントの出来や発表態度などを一切考慮せずにただ内容がわからないというだけで全て低評価にされてしまうような状況では、授業に対する意欲がなくなってしまおうと思う。

---

そのため、知識のレベルについて、このくらいならば理解できるという指標を最初にアンケートなどを用いて作り、全員が理解できるレベルで授業を展開していければ理想だと思った。また、授業評価を適当に行わず、自身の発言に責任をもつように、匿名でなく名前を公開して、発表者に評価が届くようにすべきだとも思った。

---

課題の提出日を次の日ではなくその週の日曜日などもう少し延ばしてほしいなど思ったりしました。

---

---

改善した方が良かった点は特にないです。ただ、もしかしたら、最初の論文ぎめのアブストラクトの発表での興味関心をもとに班決めをした方がいいのかな、とも思いました。これで決めてしまうと、学部が偏ってしまう、ということがあるから、このようにしたのかな、とも思っているのですが…

私が、このようなとても貴重な経験ができたことは、このような良い講義設定で、意欲のある学生が集まっていたおかげだと思っています。他学部の人ともたくさんコミュニケーションが取れて、違う環境について知ることができて、世界も広がりました。このような意欲のある学生が集まってきたことには、シラバスでの設定が厳しかったこと、人数が少なかったことが要因としてあると思います。シラバスを見て、周りの人たちに「難しそう」「よくやるね」と言われていたので…

---

外部の方の話なども聞く機会が設けられ、より幅広い知識が身に着けられたことが良かったと思います。

---

外部教師の講義や他の学生との交流、自身の発表スキルなど、自ら行動する様式の授業で多くのスキルが身につきました。

ありがとうございました。

---

各講義ごとに食生活に関することを議題にするとともに、研究やディスカッションに関することも教えてもらえてとてもよかった。

---

各班の発表テーマを1度目の講義の最後に共有すると、テーマが被らず、聞く方の興味もより引き出せるのではないかと思った。

---

学びのリテラシー(1)とは異なり、最終発表のプレゼンテーションがあったため、人前で話すプレゼン能力が身についたと感じた。

---

学びのリテラシー(1)より実践的内容であること。

---

学生が毎授業のたびにレポートを作成しそれを発表するという形の講義だったため、議論が活発に行われており、それによる学びも多かった。

---

学生とのグループディスカッションをもう少し増やしていただけると、さらに良くなると思いました。

---

学生の積極性に呼び掛けて講義を進てくれたり、今後の大学生活でこの講義をどう生かしていけるのかを考えさせてくれたりと非常に有意義な講義で、受講出来て良かった。

---

学生一人一人が自分の興味あることについてプレゼンテーションを行い、発表に対して質問をするという内容で、学生同士の能動的で活発な積極的な活動がしやすかったと思います。

---

学生主体で、毎時間とても考えさせられる内容が多く、良い意味で頭が疲れました。

---

哲学を全く学んでこなかった私でも十分に参加出来たので良かったです。

---

学生数に対して教室が狭かった。

---

学生同士で学びが深められたので、友人もでき、非常に満足のいく授業になった。

---

学生同士で協力しあい、コミュニケーションをする機会が多く、とても良い授業だと思います。

---

学生同士のディスカッションが多かったため多様な視点を学ぶことができ、自分のキャリアについて改めてじっくり考える良い機会となった。

---

学生同士の積極的なディスカッションが促されていて良かった。

---

楽しくキャリアデザインについて学べる授業で良かったです。群馬大学の理工学部の授業ではあんまりグループディスカッションがなかったので、新鮮で楽しかったです。

---

活発に少人数で討論できる良い授業だった。

---

希望は通ったし特に不満はなかった

---

---

議論が活発になるような面白い問題が多く、楽しかった。

---

教科によっては、グループワークやディベートが難しい場合もあると思う。私が受けた講義は、そこを研究発表やプレゼンテーションで補うような授業でした。色々な形があっても良いと思います。

---

教室が人数に対して狭い

---

教養科目の履修登録期間のように1回か2回試しに授業を受ける期間が欲しかったです。

---

興味があって現代国際政治を履修したが、知識がほとんどなく授業の内容を理解することが大変だった。

---

好きな音楽に対して、科学的に見る事が出来て大変有意義な時間だった。

---

講義の説明に高校物理の履修の必要性を強調して欲しい。物理基礎すら習わずにこの講義を受けるのはかなり厳しかった。

---

講義の途中で演習を取り入れていたため理解度が深まった。

---

講義中に話が脱線することが多く、結局何の話が一番大事なのかがよくわからなくなることが時折あった。ただ一つ一つの話は個人的には興味深いものが多かったので、可能であれば別の授業資料としてLMSにアップしてほしいと思った。

---

今まで生物を取ったことがなかったのでとても新鮮でした。とても分かりやすく、良い授業でした。

---

思っていた以上に面白くて役に立った。

---

自身の将来につながることを学べてよかった

---

自然とふれあう機会ができて良かった。

---

自分が履修した学びのリテラシー(2)の科目について、前半、後半ともに積極的な活動を要することが多かったと感じました。また、前半では座学の時間が多く、グループワークが少なかったので、感染対策をとりながらもグループワークを増やすとより役に立つ授業になるのではないかと思います。

---

自分で実験し、発表する形であったが、個人の発表で気づいた点や取り入れたらよい点を知ることができた。また、墓の人の発表聞き、多面的かつ内容を深められた。

---

自分で実験の計画を立てて実験をし、結果をまとめて発表することができて様々な力が身についたと思います。

---

自分の学びたいテーマだったのでよかった。

---

自分の専門外のことを学べてよかったです。いい刺激になりました。

---

自分は希望通りだったが、抽選の制度である以上自分の専攻科目に落ちて納得できない人がいると思う。なるべく希望が通るように、人数の調整ができるといいと思う。

---

自分らしさについて知ることができて楽しかったです。また、刺激を受けました。

---

実験もできて楽しかったです

---

実験を行う機会が少なかったため様々な実験ができて良かったです。また、グループの人たちと話し合っって結論を導けたので良かったです。

---

実際に草津に行くことでさらに興味をもって深く学ぶことができてとてもいい機会でした。

---

主にグループ活動を通して、班の人とたくさん会話をする機会がありコミュニケーションをとりながら一つの作品を作り上げていく事の大切さを理解することが出来ました。

---

授業に関する話だけでなく、教員と学生が日常的な会話も重ねており、楽しい授業であったと感じた。

---



授業の内容ごとに先生が変わるので、先生方のそれぞれの専門的な研究について知る良いきっかけになった。また発表内容だけでなく、スライドや発表態度などについても評価やアドバイスをいただけて、モチベーションに繋がりがやすい環境だった。最初のころは一回一回の発表に緊張していたが、段々と慣れてリラックスして発表することができるようになり、自分の成長を感じることができた。

授業の内容は難しかったですが、自由に学生同士で討論できる活動はとても良く積極的に参加できました。

授業を行っていく中で、議論のテーマに対して班のメンバーとより活発した話し合いを行うことが出来るようになった。

授業案内の内容をもう少し詳しく書いたほうが良いと思いました。

授業中や授業後に毎回演習問題を解いたことで、授業内容に対する理解を深めることができたので良かった。

少人数であることに驚いたが、話し合いがしやすく良かったと思う。Aではレポートの基本を学ぶことができた。Bでは基礎化学実験では行わない有機の実験ができ、とても楽しかった。クラスの人たちと話す機会がたくさんあり良かった。

少人数なのだから顔を出してもよかったのではないかな

少人数制であったので非常にグループ活動を行いやすかった。

色々な学部の子と交流でき楽しく授業が受けられた。

食について学ぶことができた。アンケートのデータの解析なども学ぶことができてよかった。

新しい視点を持つことができたと思う。

人に行動を促す技法「ナッジ」について知ることができた。

人数がちょうどよく、とても楽しい授業でした。

生徒が自主的に虫を採取して調べるといった内容になっているので、虫の知識もついてきてとても良い講義内容だと思った。

生徒の自主性を重んじ、自分たちで授業を始めさせていた。

生徒間でお互いに発表し、質問し合う講義形態は知識を含めた多くのことを学ぶことが出来たのでとてもよかったと思います。

改善点としては発表の時に時間を見れるようにしてほしいです。時間が見れば発表しながら省く点や補足する点について考えることができ、発表の臨機応変さが身につくと思います。

生徒同士でよく話し合っ発表することができた。ただ何回目に発表するかによって準備時間が違いすぎると感じた。これは生徒の発表時間をきちんととることの兼ね合いがあるので難しいとは思いますが、もう1回か2回分準備時間があればうれしかった。発表ごとに質問コーナーがあることは良いと思う。普段理工学部としか話さないで、教育学部の人とお話ができて楽しかった。

生徒同士のディスカッションの時間が長く、授業の内容に関する話し合いの時間が多すぎた気がします。教授がたまに話し合うテーマを与えてくれ、それをきっかけに話し合いが進むことが多くあったのでその点は良かったと思います。

積極的に生徒の話し合いの場を作っていたところが良いと思いました。改善すべき点は特にありません。

先生がとても優しく、学習意欲が増しました。

先生が毎授業変わって面白い講義でした。レポートの提出条件について最初に説明して欲しかったです。

先生の講義よりも学生のグループ活動をメインとして、発表に向けてスライドをつくる時にもう少しグループ活動の時間が欲しいと思った。グループの決め方が学部順だったり名簿の上から規則的に割り振られたりと決まった分け方だったのでその部分に関しての自由さが欲しかった。

先生やクラスの人たちと意見を共有しやすい環境でした。

専門的すぎず、抽象的過ぎないちょうどよい授業だった。

前期に受講した若者の社会学では実社会で起きている社会現象を対象に授業展開していたが、この授業ではフィクションの映画を対象としていて別の感覚で受講できた

前期よりも主体的に活動できたと考えています。例えば、レポートも自分なりに考えました。前期よりもやるが増えた印象を受けました。

他の学生とコミュニケーションをとる機会が多く、とても楽しかった。

他の生徒とコミュニケーションをたくさんとる機会が多かったので良かったと思いました。

他学部との交流の機会があったのは、様々な視点に触れることができたため、良い経験となったと感じています。

多くのことを学ぶことができ、とても満足しているが、履修したかった科目が抽選であったため、受けたかった科目を受けることができなかった。定員を増やすか、好成績の人が優先的に選択できるようにしてほしい。

大変学びの多い講義の数々でした。ありがとうございました。

第三希望だったこと以外はよかった

段階的にレポートや発表への準備ができたのは良かった。グループワークも多く自分の見解を広げる手段となった。

地域社会と行政法では、実際に草津に行って自分の目で確かめられたことがとても良かった。

虫を集めるのが大変だった

虫を捕まえる際の器具の貸出などがあったらもう少し捕まえられる虫の種類が増えるかもしれないので導入を考えてほしい。

冬に虫を捕まえるのは大変だった。

同じようなことを発表するのが苦しい

特にないです。日本語訳ではこうなっているが、原文だとこういう意味であるという補足説明が難儀な本を読み解く際に大きな助けになりました。

特になし。素晴らしい授業をありがとうございました。

内容が難しかったが、課題を書くことで理解を促進できた

難しかったけど、楽しかったです。

日によって、講義資料が授業後LMSに載っていなかったことがあった。

発表した班それぞれのスライドを私たちにもみられるようにLMSに載せて欲しい。

発表の際に班ごとに各々のパソコンを持って行ってプロジェクターに接続するというのは非効率的だと感じた。例えば、前日までにLMS上に提出し、教員のパソコンをプロジェクターに接続して班ごとに映すスライドを切り替えるといった形式のほうがスムーズに進行できると思った(実際、パソコンのトラブルでごたついたことも何度かあったため)。

発表の順番を決める際に、欠席した人の枠が優先されたが、適切な理由がない限りはそのようなことがない方が良かった。

発表やグループワークが複数ありよかった。特に改善すべき点はないです。

班の人が結構休んでいたの、出席名簿とかをつけていただくときちんと来ている人がうれしかった。

---

班の人と様々な角度からテーマについての問題を話し合い、発表できたので良かった。改善すべき点はなかった。

---

非常にグループディスカッションが活発でほかの学生とコミュニケーションをとることもできてよかったです。プレゼン発表の時に先生がコメントをしてくださりますが時々分かりにくい時があるので、黒板に書いて説明してくださるとより分かりやすいかなと思いました。

---

非常に良かったです。

---

微生物についてグループで調べる機会が多かった。

---

必修の統計の内容のほうが進んでいて、こちらで扱う題材が易しかった。

---

同じような内容の授業（とくに必修と内容が重なるもの）を受け持つ教員は、シラバスを見る程度でもいいので相互に内容の確認を行って欲しい。

---

普段、深く触れる機会のない話題に多く触れることができた。

---

普段は関わることの無い留学生さんとお話出来るいい機会だと思いました！

---

普通の講義はあくまでも知識のインプットを行ったり、教科書の証明や利用がメインで個人的には退屈します。しかし神経科学総論ではレポートから教授か生徒が指定した課題がたいていレポート内に答えがないものだったり、レポートそのものが全く知識のない未知のものだったり、自分が自分で答えを導く方法を考えなければならず難しかったです。私たち生徒が研究を始めたとき、解かなければならない問題は教科書でわかるものではない未知のものです。この講義で得たノウハウや考え方は必ず生かせるように感じます。

---

幅広いものの中から、自分の好きな分野について学べるのは良いと思った。

---

報告に対する他者評価を見られるのがよかった。

---

毎回かなりしっかりしたレポートの提出が必要とされるため、オンライン講義でありながら、対面授業以上に授業に真剣に取り組んだ。

---

毎回スライドのコピーを持ってきてくれたのでとても有難かったです。授業内容も面白かったです。

---

毎週レポート課題を課されたが、内容を振り返ることができたので適切であったと思う。

---

様々な学科から人が集まり、交流を持てたことが良かったと思います。

---

様々な病気についていろいろな講師の方が別の視点で原因や治療法について解説していて面白い授業だった。また、毎回の課題で内容や関連することについて自分でLMSに書き込んで他の人がどう考えたのかなど見れて面白かった。

---

落単目的の人の希望が通り、その科目を本当に学びたい人の希望が通らないことも多いような仕組みだったので、もう少しそこをどうにかできないのか

---

留学生と会話するという、なかなか体験することのできない活動をすることができ、とてもためになった。それ以外にも実践的、対話的な場面が多く、とても楽しい授業だったと感じる。

---

話し合いによって理解を深めることができた。

---

## 7.1.3 令和4年度 前期授業評価「データ・サイエンス」集計表

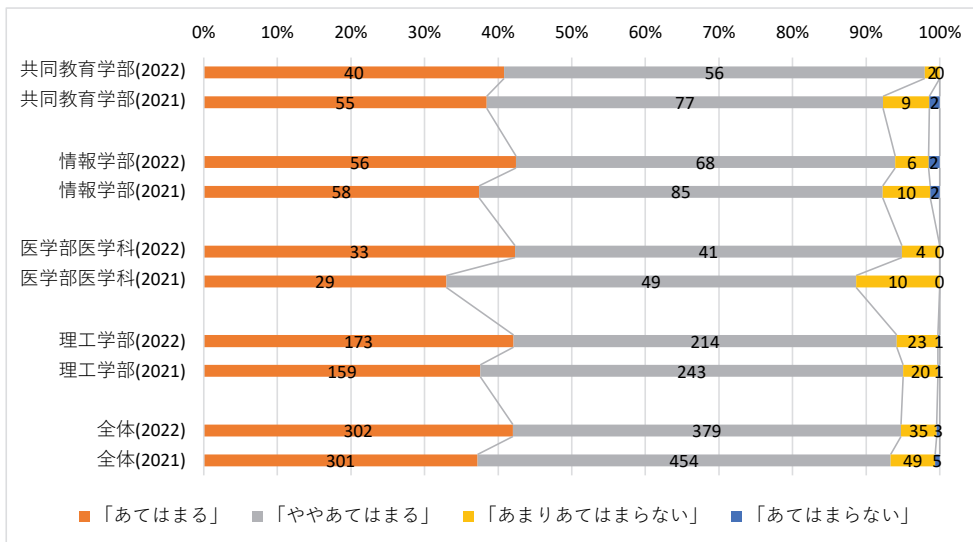
区分	年度	対象者数	提出者数	回収率 (%)
共同教育学部	2022	202	98	48.5
	2021	(205)	(143)	(69.8)
情報学部	2022	171	132	77.2
	2021	(187)	(155)	(82.9)
医学部 医学科	2022	108	78	72.2
	2021	(108)	(88)	(81.5)
理工学部	2022	488	411	84.2
	2021	(515)	(423)	(82.1)
合計	2022	969	719	74.2
	2021	(1015)	(809)	(79.7)

※ ( )は昨年度の結果

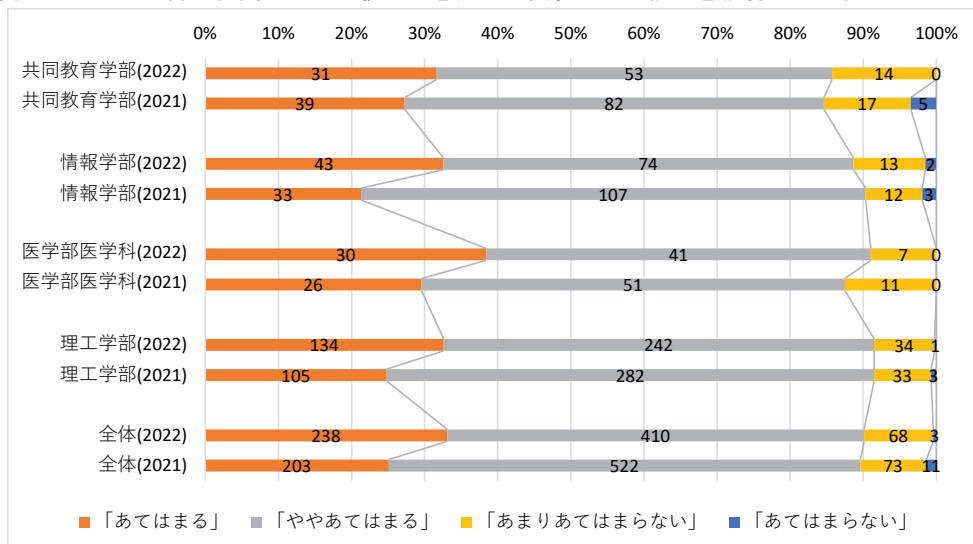
※ 保健学科はオンデマンドクラスで質問が異なるため別集計

※評価基準 1「あてはまる」2「ややあてはまる」3「あまりあてはまらない」4「あてはまらない」

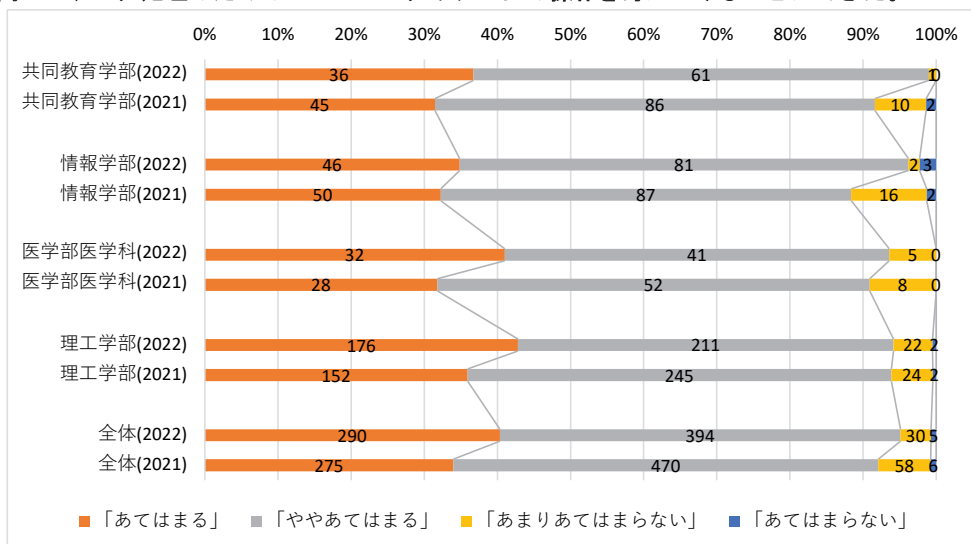
## 質問1. コンピュータを用いてデータを適切に処理するための能力を修得できた。



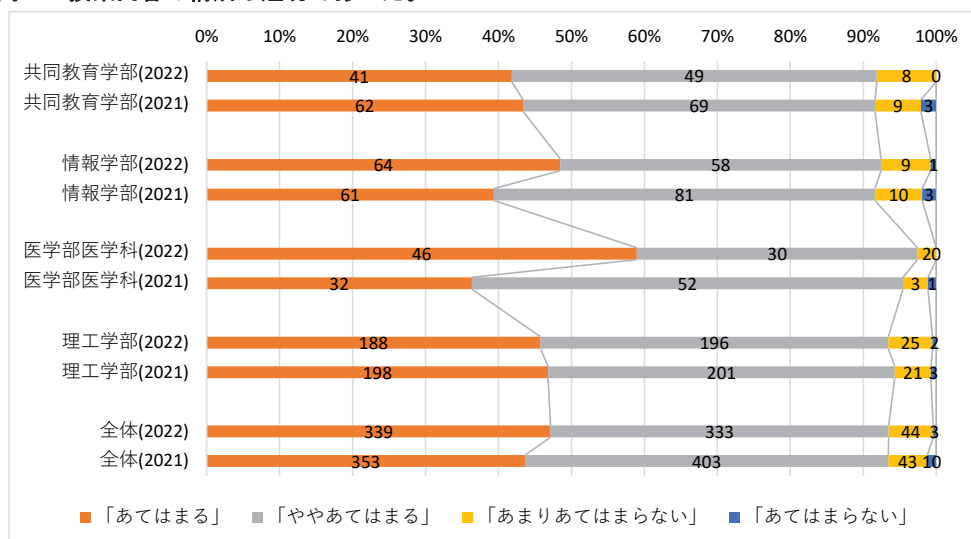
## 質問2. データの持つ性質について統計量を用いて要約できる能力を修得できた。



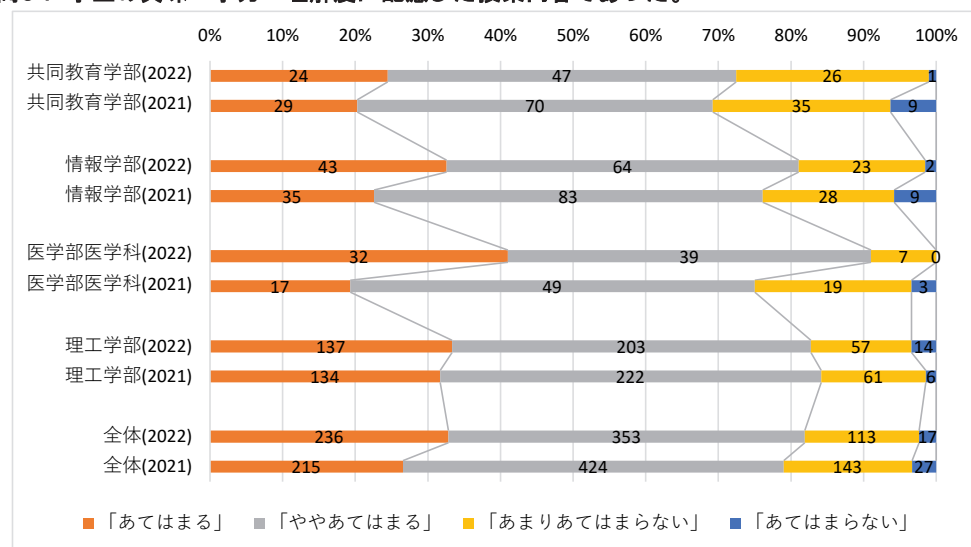
## 質問3. データ処理のためのコンピュータやソフトの操作を身につけることができた。



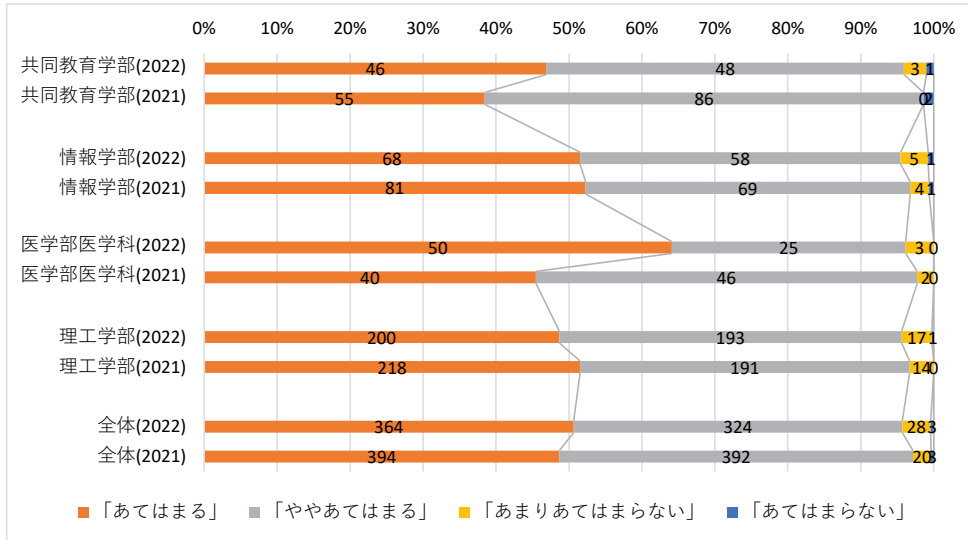
## 質問4. 授業内容の構成は適切であった。



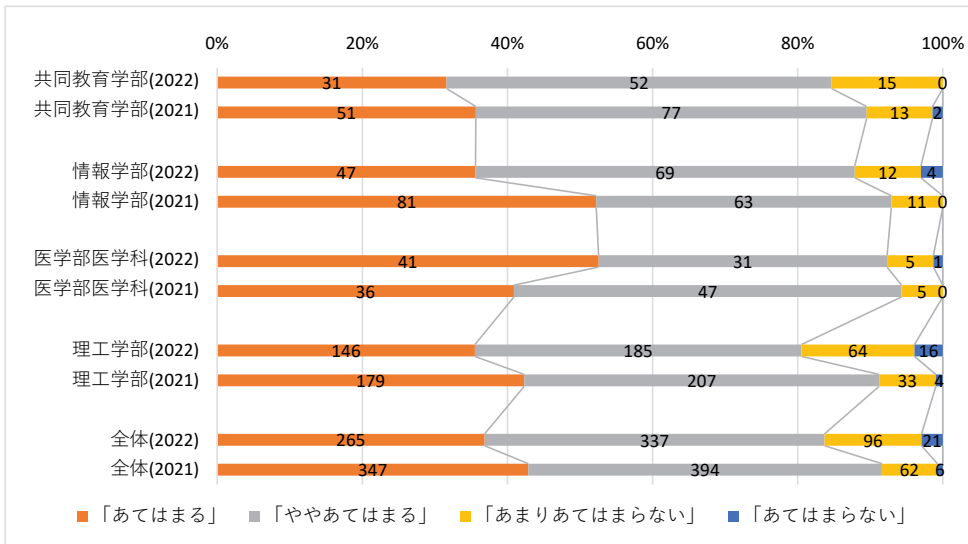
## 質問5. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。



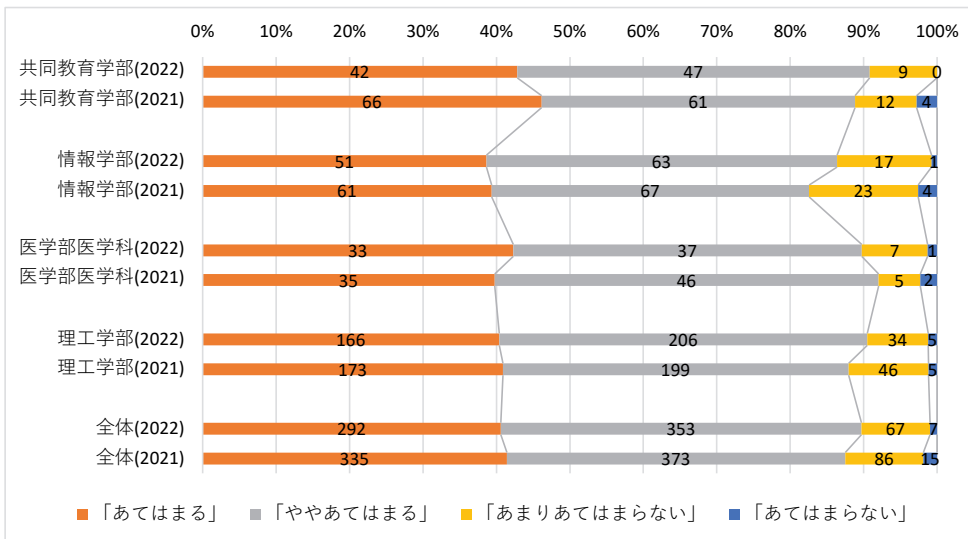
質問6. シラバスの記述は、授業の進行に沿った適切なものであった。



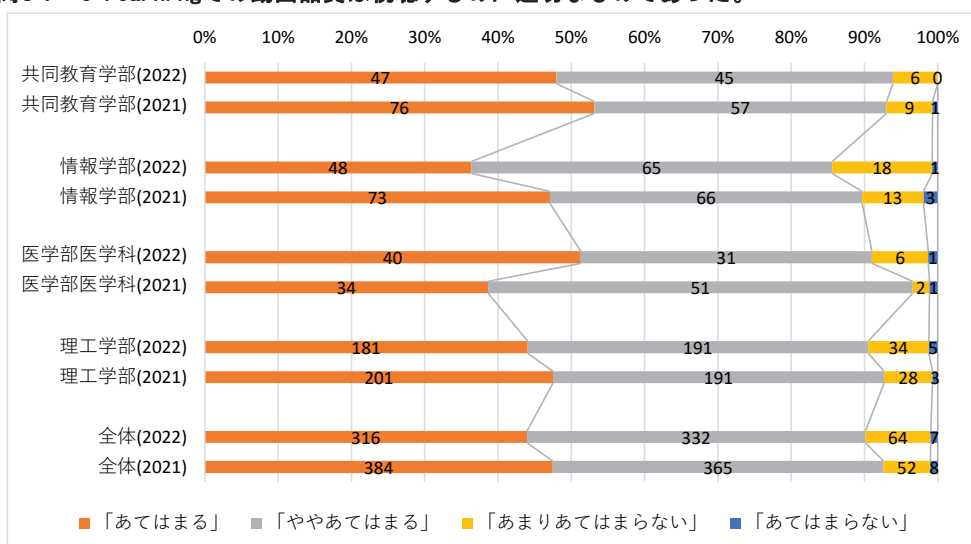
質問7. 教員やTAの考え方は、分かりやすく適切なものであった。



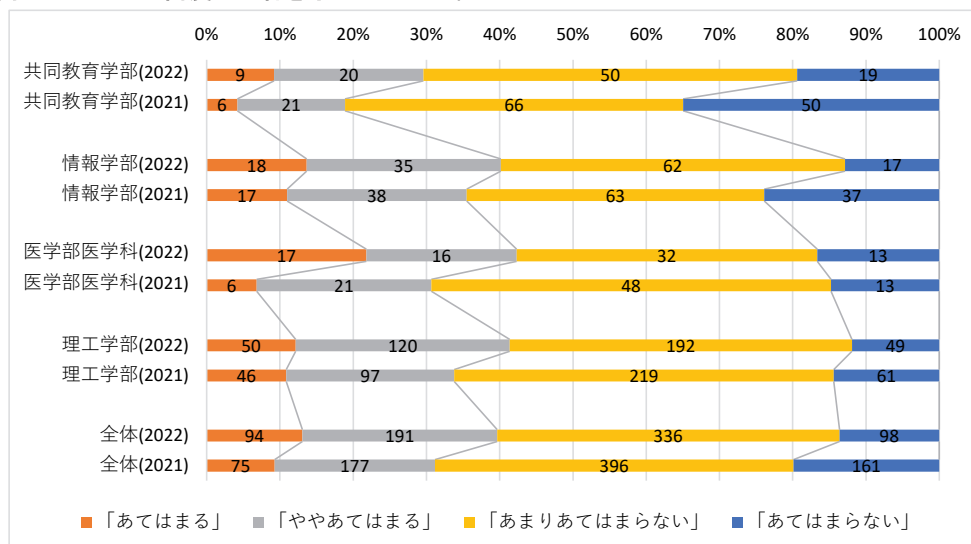
質問8. e-learningでの動画内容はよく練られていて分かりやすかった。



## 質問9. e-learningでの動画品質は視聴するのに適切なものであった。



## 質問10. もっと高度な内容を学びたかった。



データ・サイエンスの授業に関して、気付いた点、改善すべき点等を自由に書いてください。

**質問11. データ・サイエンスの授業に関して、気付いた点、改善すべき点、オンライン授業に関する感想等を自由に書いてください。**

この授業で扱ったことは、興味のある内容だったのでとても面白かったです。ですが、高校でエクセルについてほとんど触れたことがなかったので、エクセルを使用して行う学習は非常に難しかったです。それでも最終課題を仕上げるころにはエクセルの初歩的なことを覚えることができたので良かったです。ありがとうございました。

最終課題では説明のビデオを上げていただいたことにより課題に取り組みやすかった。

e-learningではネットのリテラシーを学ぶことができた。日々の課題を通して、インターネットの理解を深めたり、実際に使い方を学習したりすることができて良かった。

e-learningについて、動画の音声は、自動の無機質な音声でない方が良かったと思った。

e-learningによる学習は何度も見返して復習ができるのでとても役に立ちました。

e-learningのテスト、満点を取った後に問題一問一問の解説をみれるようにすると理解度がもっと上がると思う。

e-learningの講義資料でExcelの操作方法が一部省略されている部分があり、元々パソコンに詳しくなかったため、操作するのに苦労したので、詳しい説明を書いてほしいと感じた。

パソコン操作の苦手な人にも対応した説明やその動画を準備してもらえると良いと感じた。

e-learningの中に演習問題をより多く取り入れるほうが良いと思った。(暗記だけで覚えるのに苦労したため)

E-learningの動画で音声聞きにくいことがあった

e-learningは学校で授業を受けるよりも内容が理解しにくく感じた。しかし授業のペースが速く追いつけなくなってしまい、操作をあきらめてしまう部分があった。

e-learning形式の時の対面授業を受けたがほとんど動画の内容と変わらず残念だった

Excelについてたくさん知れてよかったです。

Excelを使用してデータを分析することが最も大変であった。これまでExcelを利用する機会がほとんどなかったため、ゼロからのスタートであった。しかし、たった数回の授業で基本的な使い方とデータの分析の仕方を習得できたのは大きな成長であると感じている。

Excelが前よりも使えるようになったので、とても良かったです。

Excelなどこれから社会に出るにあたって、必要となる能力を学習出来る機会が在り方、良かったです。ありがとうございました。

Excelの使い方がいまいちわからない自分にとってはわかりづらいところが多かった。どこの範囲を選択してどのような操作をすればいいのか困ることが多かった。また説明も少し早かったのももう少しゆっくり説明してくれるとありがたいと思った。

Excelの使い方がよく分かった。楽に計算したり、表にしたりすることを学ぶことが楽しかった。

Excelの使い方が難しく、説明がもう少し欲しかった。けれど、Excelに触れる機会ができたのはよかったですし、使いかたも身に付けられてよかったです。

Excelの使い方はレポートなどでもとても役に立ったし、今後の生活でも役立つ能力だと思うので、授業で取り扱って頂いた事について、ありがたく感じました。

Excelの使い方や情報機器の扱い方について学び、実践することができました。ありがとうございました。

EXCELの操作の仕方を学んだので、非常にためになった。



Excelの操作方法を丁寧にわかりやすく教えてくださってありがたかったです。

Excelの大まかな使い方を理解することができた。

excelは、計算やグラフを作るうえでよく使われるものなので、この授業である程度の使い方を学べてよかったです。

Excelを使ううえで、実用的なものをそのまま教わったのでわかりやすかった。

Excelを使用する上での必要最低限の知識が得られた。

excelに少しばかり詳しくなれたので、個人的に、得たものは以外と大きいように感じる

ITが得意な方ではないのですが、説明が大変わかりやすかったため、理解できました。

WordやExcelの使い方が分かって良かった。課題をやることで出席確認をするのは大学に行く必要がないため楽だった。

ありがとうございました。

ある内容が難しいと思って、やりにくくて覚えにくいところも結構あって、エクセルの使い方のビデオを作っただけで良かったです。

インターネットリテラシーやExcelの使い方を理解できました。この授業で学んだことを将来生かしていきたいです。半年間わかりやすい授業をありがとうございました。

エクセルが苦手だったのですが、この授業のお陰で、物理実験でも活用することが出来ました。

エクセルが自分が思っているより難しかったです。

エクセルについてよくわかりました

エクセルについて学ぶことが出来たので、とてもよかったです。

エクセルに触れる機会があってよかったです。対面授業もあったが、e-learning形式になったときに対面授業に参加する人がとても減ったのでおどろきました。e-learning形式の際に対面授業に出た。その時の講義の内容に合わせてエクセルを実際に使ってデータの処理の仕方についてよく学べたのでよかったです。

エクセルの基礎的なところから学ぶことができて、自分みたいなパソコン初心者にはありがたかった。課題の説明がいまいち足りなかったのもう少し詳しく説明してもいいと感じた。

エクセルの基本的な使い方やデータ整理の仕方を学び、役に立った。また、エクセルでグラフの作成の仕方やデータの見方についても学べたため、これから実際に活用していきたいと思った。

エクセルの基本的な操作をすでに知っている自分にとっては、今までの知識の復習のような授業で少し退屈だった。また、作業ができない人に合わせて進行が遅れることもあった。自分はまだ少し、サーバーのことなど、調べても自分ひとりでは理解しにくいことなど、コンピュータのシステムについての学びをもう少し深めたかった。

エクセルの基本的な操作を学ぶことができて良かった。

エクセルの使い方がほとんどわからなかった自分でもある程度理解し使えるようになったのはとてもよかったです。

エクセルの使い方がよく分かりました。

エクセルの使い方なんかは授業を通してでないとなかなか触れる機会がないため、とても充実した授業であったと感じました。

エクセルの使い方についての動画がわかりやすかった。半年間、ありがとうございました

エクセルの使い方や、最終レポートの説明などをとても丁寧に説明してもらえたのがとても良かったです。操作や課題の進め方に困らず理解を深めることができました。

エクセルの使い方やデータ処理に関する情報は大学に入るまでほとんど知らなかったのですが、この授業でしっかりと学ぶことができた。

---

エクセルの使い方をより深く学ぶことができたと思う。

---

エクセルの使い方を学びました。自分は今までエクセルの使い方を勉強したことがなく、新しい知識がほとんどでしたが、授業や解説動画を見て、エクセルを使えるようになりました。

---

エクセルの使い方を学べてよかった

---

エクセルの使い方を知れたので良かったです。

---

エクセルは今後使う機会が多くなるので、基本的な技術を身につけることができてよかった。

---

エクセルを使うときに先生のスピードで進んでしまい、とても早くてついていけないことが何度かありました。できれば、エクセルを使うときのスピードをもう少しゆっくりにしてほしいです。

---

エクセルを用いた作業や知識は実験などのデータ処理や解析にも非常に役立ちました。

---

エクセル初心者に最終課題は難しすぎた。

---

この講義のおかげで、Excelなどの扱い方に少しではありますが慣れることができ、友人にも教えることもできました。ありがとうございました。

---

この講義のおかげでエクセルの基本的な使い方を学ぶことができました。高校生のときにもエクセルを用いる授業がありましたが、この講義で復習と、知らなかったテクニック等を学ぶことができました。また、データの適切な処理を学ぶことができたので、良かったです。e-learningの映像教材の音声の再生速度をもう少し速く設定できると嬉しかったです。

---

この授業では、将来使うであろう、私自身の苦手とする、pcについて様々なことを学んだ。特に、wordやエクセルなどのアプリケーションは大学在学中でも多用するだろう。エクセルの使い方に関しても、便利で知っておくべきいろはを学んだが、正直すべてを覚えるには、時間と経験が必要であると感じた。大学生である今だからこそ、pcを多用し有効活用して、自分のスキルとして身につけておきたいと思った。

---

この授業で覚えることが多すぎて、定着している自信がありません。もっと演習を重ねようと思います。

---

これからコンピューターミを使うことが増えてくるので1年時に学べてよかった。

---

これから学生生活を送っていくうえで必要な知識を習得することが出来たので良かった、また授業の内容を復習できる何かがあればいいなと感じた。

---

これから先レポートをたくさん作っていくため、そこで生かせるような技術を学んだ。自分的にはちょうどよいレベルの講義だったと思っている。

---

これから必要になるであろうコンピュータや情報の知識や技術を得ることができたのでとても良かった。

---

これから必要になる基本的な操作や気を付けることなどを身につけることができて良かったです。

---

これまであまりExcelに触れていなかったため、使い方が全くわからなかったが、この授業を通じてExcelで何が出来るのか、どのように操作すれば良いのかを理解することが出来て良かったと感じる。PCでのプログラミングにおいて、他にどのようなことが出来るのかを深く学びたいと思った。

---

これまであまりコンピュータでのデータ処理に慣れていなかったが、わかりやすい説明で、理解しやすかった。

---

コンピューターのスキルを上げることができ、非常によい経験となった。この授業で学んだ事をこれからの活動に活かしていきたい。

---

コンピューターの仕組みについて詳しく知ることができ将来に役立つ内容であった。また、エクセルの使い方を細かいところまで学ぶことができ、エクセルの凄さを実感することができた。

---

---

スピードが速かったので完全に理解が及ばないところが多くある。もっと学生と一緒に進めてほしい。

---

スライドとして学ぶ範囲を出してくれたので予習復習が簡単に行えた

---

スライドに加えて説明の動画もあり見直して学習する際に困ることはなかった。個人的にはもっと先生や他人と交流してexcelについて理解を深めることができればよかったと反省している。

---

たまに回答不能な課題があったがこれからの人生で役立つ授業だと思った。

---

たまに説明が早くて置いていかれてしまう事はあったが、基本的にはわかりやすくて良かった。

---

データ・サイエンスの授業では、主にデータ、情報の取り扱い方、情報機器、エクセルの使い方について学んだ。毎回の授業で先生が分かりやすく説明してくださったおかげで、授業内容が非常に理解しやすかった。後半の授業では、エクセルの使い方をe-learnig方式で学んだ。毎回の課題で問題が用意されていたため、学んだことを演習することで、しっかりと身につけることができたと感じている。

---

データサイエンスが対面だったのですが、授業のペースが少し早く、作業中に進んでしまうことが多かったので、ついていくことが大変でした。しかし、授業でやったことはしっかり覚えることができたので、これからの授業や仕事にも役に立つと思います。

---

データサイエンスでexcelについて基礎を学んだおかげで自分からexcelを使おうという気が起きた。授業、家庭学習両方で力がついた。

---

データサイエンスに関する知識を身に付けることができた。エクセルの使い方をもとに、データを分析する力を身につけられた。高校で習った知識に加えて、詳しい知識を得ることができた。将来的にこの知識を活かしていこうと思う。

---

データサイエンスの授業では、エクセルなどのパソコンの使い方だけでなく、個人情報の取り扱い方や、パソコンの危険性などをクイズなどを用いながら学ぶことができ楽しく、また、たくさんのことを学ぶことができました。パソコンは大学生の時だけでなく、社会人になってからも必要になると思うので、たくさん知識を身に付けることができてよかったです。高校時代にもエクセルの使い方などは習っていましたが、いざパソコンをもって操作してみるとできていないことが多くありました。なので、もう一度基礎からやることでエクセルの当たり前の知識を思い出すことができつつ、新しい知識も学ぶことができたので、良かったと思います。個人情報の取り扱いなども改めて聞くと、ちょっとしたことで広まったり、誰かに乗っ取られたりするので、パスワードを難しいものにしたり、正しいサイトを使ったりと、個人情報の使い方を見直していきたいと思いました。データサイエンスの授業で当たり前のことなのですが、これからのつながる知識がたくさん学べたので、今後に活かしていきたいと思いました。

---

データサイエンスの授業は対面だったため、わからないところは、先生や周りの人に聞いて解決することができました。課題も、学習したことをしっかりと行い、提出するれば自分の力でできる課題だったと思います。しかし、自分はコンピューターの扱いには慣れていないため、何度も苦戦するところがありました。先生に聞いても、その後に一人でできるかはわからないところが多くありました。自分自身の力で、コンピューターを使いこなせるようにしたいと思います。

---

データの扱いは初心者だったので初めの一步から学べてよかった。

---

データの扱い方や特性がよくわかった

---

データの処理などについては今まであまり習ったことがなかったので、学べてよかった。

---

データの知識について得られるものは多かった。

---

データ処理について学ぶ機会があまりなかったのでありがたかった。

---

---

データ処理の方法を学ぶことができ、「情報学部だからこそ」の内容を学んでいる満足感を得られた。

---

とてもレベルの高い内容を扱うことが何度かあり、なかなかついていくことができなかった。最終課題の問題は、いくつかはあまりにも難しいと感じた。

---

とても為になった授業だった。自分は今までパソコンを使って何かをするという経験が微塵もなかったため、難しいことをやっているように感じ少し大変だったが、わかりやすい説明で何とか耐えられた。データ・サイエンスで学んだ知識を元に、これからたくさん使いこなせるように頑張りたい。

---

とても分かりやすかった。

---

どんどん授業が進んでいくため、一部でもつまずくと、そのまま置いて行かれてしまうことがありました。

---

なぜこの授業が必修なのかわからん。

---

パソコンが苦手な人と得意な人の差が大きかった。

---

パソコンが好きじゃないのでついていけていなかった。難しかった。

---

パソコンについてよく知れた

---

パソコンについて初めのころ不安があったが、この授業を通して使い方を学べて助かりました。

---

パソコンについて少しだけ詳しくなれて満足できる授業だった。

---

パソコンについて理解が浅はかだったので、データサイエンスを通してパソコンやソフトについて学ぶことができ良かった。

---

パソコンは大学生になってから使い始めたので難しかったですが、先生方が優しく教えてくださいました。

---

パワーポイントがわかりやすく、また周りの人と協力しながらできるので、授業についていけた。

---

まだ完全に使えるようになったわけではないが、入学時と比べてエクセルなどのコンピュータの機能を使えるようになったと実感した。

---

もう少し授業の速度を落としていただけるとありがたいです。

---

やや内容が難しいにもかかわらず授業の進行が速くて、ある程度進んだ後に「ここまででわからないところありますか」と聞かれても、序盤からほとんど置いていかれているから具体的にここが分からないですなどと発言できず、理解できずに終わることが多々ありました。難しいことなのかもしれませんが、もう少しゆっくりとこちらの進行度の一つずつ見ながら実施してくださるとよりありがたかったかなと個人的に感じました。

---

リンリン姫を通して情報について理解できてよかった

---

わかりやすい説明でより理解が深まった。これからもデータについての知識を身につけていきたい。

---

わかりやすかった

---

扱われる関数が多くて、覚えきれなかった。

---

一度補講になった回があったと思うのですが、その時に補講の代わりにオンデマンド配信で期限付きで動画と小テストが配信されました。自分はしっかり期限を守って受講したのを期限になって受講していない人が多いという理由で期限を延長したことは納得いきませんでした。言ってしまうと、文句みたいになって申し訳ないのですが、期限を守っている人からしたら良い思いはしないと思います。

---

演習のときに進みが少し早いと感じた。どうしてその操作をするのか、どんなときに使うのかを教えてください欲しいと思った。

---

何らかのことが原因でパソコンが止まってしまったときに授業についていけなかった。

課題が難しかった

課題に必要な技術を動画でまとめていただいて助かりました。

課題やレポート作成に必要なExcelの操作方法や活用の仕方が学べてよかった。もっと様々な機能を教えてもらいたかった。対面授業の出席を任意にするのではなく全員出席にして進みや理解度を同じにした方がいいと思う。

解説が丁寧でした。

解説は丁寧だったが、進行スピードが少し速かった。Excelはほとんど使ったことがなかったが、この授業である程度使えるようになったので良かった。

確認テストがあることで自分が自信がないところが分かりとても役に立ちました。

学生の様子をみて進度を遅くしてくれたりしたのはよかった。演習や問題で内容を確認できたのはよかったと思う。

基本的なエクセルの使用方法やデータの統計から、エクセルにまとめて、箱ひげ図やグラフを作っていく事が出来て学ぶことが多かった。また、エクセルの関数などの作業を短縮化することが出来ることを学ぶことによって、よりエクセルについて知ることが出来た。また、授業内で学ぶことが多くあったので、充実した時間になった。

基本的に対面ではなくオンラインで授業をしたほうが良いと思う。

期末の課題が想像以上に難しかった。

期末レポートの内容が発展的で難しかった。

教員と生徒間の意思疎通がもっと必要であると感じた。

教員の説明はとても分かりやすかったが、自分たちも操作しなければならないのでついていけないことが時々あった。

教材が、それを見れば操作できるくらい詳細に作られていたら課題で困らないと思った。

教授の説明が省略させられすぎていることと、わからなかったら周りの人に聞くというやや押しつけのよう感じさせられたことがあったので、もっと寄り添ってほしいと感じた。

講義と演習が混じっていて自分がその日の授業を理解してるかわかるので良かった。

講義の進行速度が速くついていくのに必死な生徒が多かった印象でした。授業内容は適切で、将来にも生きる事を学べて貴重な時間でした。ありがとうございました。

講義はほぼ動画やスライドを見て問題に答えるだけでしたが、オンライン授業などの形式で実際のデータ処理の方法などをもっと多く体験できたら良かったと思いました

講師の説明スピードと実演スピードが速すぎて、理解しにくかった。

高校の時よりも深い勉強をすることができて良かったです。

今の時代に合った授業が出来ていて良いと感じた。

今までデータ処理をやったことがなかったのですが、授業を受けてエクセルの操作方法や、インターネットの仕組みなどを学ぶことができ、将来の役に立つと思いました。

今までパソコンを扱う機会があまりなかったため先生ができて当然のようにやっていた操作がわからない時がよくあった。

最終課題が私にはとても難しく感じられた。

授業出席に関する連絡がわかりづらかったので、もっと簡潔に伝えてもらいたい。

最終課題が大変でした。

最終課題での取り組みの様子から、高校等でExcelをあまり習っていない学生にとっては難易度の高い授業だったのではないかと感じた。

---

最終課題のエクセル操作が難しかった。

---

最終課題の時に今まで教わった知識を総動員して取り組まなければいけなかったのが、難しかった。

---

最終課題の説明に関しては、Zoomでもよかったと思う。

---

最終課題の難易度が授業の難易度にあってなくて戸惑いました。解説動画がなかったら解けなかったと思います。

---

最終課題はもう少し前に告知してくれると少しずつ進められので助かります。

---

最初の方の回は演習もあったが、後半は説明がほとんどだったため、オンライン授業でも実施できるのではないかと思った。

---

細かな作業方法が分かりやすかった。

---

指示されたことが終わっていない段階で次に進んでしまったので、授業についていくのが大変だった。パソコンに何かしらのエラーが出ると授業についていけなくなるので、学生の進捗状況をこまめに確認しながら進めるといいと思う。最終課題などで、エクセルの使い方などをある程度理解できたので良かった。

---

私の感想として、PCがあればどこでも学べるというんがこの授業のいい点だと感じました。PDFもわかりやすかったので理解しやすかったです。

---

私は、パソコンの扱いに慣れていなかったのが、この授業を通してパソコン操作に少しだけ慣れていくことができました。この授業では主にEXCELの操作について学びました。今後に生かせる良い経験ができました。

---

私はデータサイエンスの授業を受けるまでExcelを扱ったことがなかったのが不安でしたが丁寧なスライドのおかげでなんとなくですが理解することができて良かったです。ですが課題が難しかったのでとても大変でした。

---

私は今までコンピュータの使い方があまり分かっていなかったが、この授業を通して以前よりも操作の仕方やそれに関する知識を身につけることができたと思う。e-learningの動画も勉強になったので、今後データ処理などをするときには、そこで学んだことを役立てられるようにしたいと思った。

---

資料を見て重要なポイントだと思った箇所の説明がとても簡素なものがあって、説明の時間を多めにとったほうが良いと感じました。

---

事前にデータで配布された資料を説明するだけだったので、他の科目に比べて対面講義である必要を感じなかった。

---

事前動画を見て、それで講義に行くか行かないか判断できる仕組みはとても良いと思いました。

---

自分が文系の人間なので、データサイエンスの授業が少し心配でしたが、分かりやすいスライドと動画と説明によって、講義内容を理解することが出来た。Excelは将来使う機会が多いと思うので、学べてよかった。

---

自分はexcelなどを使ってこなかったのが、今回の授業である程度のデータの処理の仕方を学べてよかった。一方で、本当に何を言っているのかわからないこともあったので、授業が終わったのちにも、実際に試してみることで覚えていきたい。

---

自分はデータ分野が苦手なので、エクセルなど予習すれば良かったと思った。

---

質問1つ1つに、親切に正確に答えてくれて嬉しい。この授業を受けて、EXCELに関する技術が向上させることができた。

---

質問すると丁寧に答えてくださり、とても質問しやすかったです。

---

質問の時間を設けてくれるが多かったのがわからないところを聞いた。

---

---

実際に、パソコンを動かすことで知識を定着させることができました。

---

社会に出ても必要とされるエクセルの使い方などを学ぶことが出来たので、非常に有用な講義でした。

---

受けた教科の中で、唯一専門科目っぽくて、受けがいがあった。楽しかった。

---

授業スピードが早すぎるため、解説に追いつけず、授業時間内に理解できないことが多かった。そのため、もう少し授業スピードを落として、コンピュータの操作が苦手な人のことを配慮した授業にしてもらいたい。

---

授業でうまく理解できないところはあったが、課題や授業内容のレベルはとてもちょうどよかった。

---

授業での説明がとても分かりやすく、Excelの操作も身につけられたのでよかった。

---

授業のペースが速いと感じた

---

授業のペースが速く、聞き逃してしまったところもあり、もう少しペースを遅くして欲しかったです。

---

授業の進みが早くついていけないことが多々あった。

---

今までパソコンを使ってこなかったため、少しずつエクセルの使い方を身につけることができて良かった。

---

授業の進みが早すぎてついていけなかった。

---

授業の進むスピードが早くてついていけないことがあった。エクセルの基本的な操作やデータサイエンスについて学ぶことができたので良かった。

---

授業の進行がはやく、ついていけない事もあったので、もう少しゆっくり説明して欲しいです。

---

授業の進度が早く追いつかないことがあった。たくさんの技術が学べたと感じる。

---

授業終わりに質問に丁寧に答えてくださって、課題がやりやすかった。

---

授業速度が早いと感じました。後半は授業に置いて行かれ、授業後に先生のところへ行き教わる日々でした。しかしエクセルがかなり使えるようになり、さっそくバイトで役立っています。先生が日本人ではないため仕方がないのですが、授業が聞きづらいと感じ、指示が理解しにくかったです。しかし、スキルアップは図れたためこの授業を受けていてよかったと思いました。ありがとうございました。

---

授業内、また”e-learning“内であった説明は、要点を押さえた説明がなされていてわかりやすかったと感じた。

---

ただ、授業で行われた演習が少ないと感じた。授業内でより多くの演習を取り入れることで、理解の促進に繋がると考えている。

---

授業内でエクセルの使い方を教えていただきましたが、解説のスピードが速くあまり理解できませんでした。グループ活動でお互いに内容の理解度確認や教え合いを、日々の授業で取り入れた方が良いと思います。

---

授業内で分析に必要な知識は学べたが、使い方はあまり学べなかったと感じた。

---

授業内に学べる内容だけではできないような課題も多く、授業が苦手だという学生が周りに多かったと思う。

---

出席課題として出されるウェブ課題が、スライドを見てもわからない問題があり、難しいと感じた。しかし、何度もウェブ課題に挑戦できるのでその点がよかった。

---

将来役に立つことを学べて良い時間になりました。

---

---

小テストの問題に不備があることが何回もあったため、改善されるといいと思う。また、最終課題の対面での説明のスピードがとても速く、理解が難しかった。LMSにアップされた解説動画を視聴することで最終課題のやり方を理解することができたが、対面でももう少しわかりやすくレクチャーがあるといいと思った。

---

小学校の時から、インターネットなどに苦手意識を持っていたが、担当していただいていた先生のユーモアがたくさん授業を受けて、少し苦手な気持ちが軽くなったと考える。

---

少し難しい課題もあったが、説明が具体的で分かりやすかったのでこなすことができた。

---

少々オンラインでの授業が多かったように感じた。

---

少々進度が早かったような気がする。エクセルの実習は理解するのに苦しむことがあった。講義ではネットリテラシー等を学ぶことで安全にネットを使うことができるようになったと思う。

---

進行がはやくついていけない時がある

---

説明がところどころ分かりづらい時があった。

---

説明が早く、理解が追いつかなかった。若者といっても、小中高でパソコンについての授業をあまり受けていないので、パソコン慣れをしておらず授業の早さについていけなかった。もう少しゆっくりと大事なことだけ身につけられるようにしてほしい。授業でやった内容が分かりやすくまとめられた動画をLMSに載せるなどで後から説明が見れるようにしてほしい。

---

先生がとても親身になって教えてくれて有難かったです。

---

先生が講義にいらっしゃらない講義日はあらかじめ連絡してほしいです。

---

先生が日本の方ではなかったことが理由になってしまうが、説明を追うことが大変だった。説明が分かりずらかった。群馬大学が情報教育に力をいれるなら、生徒が分かりやすい講義にしてほしいと思ってしまった。内容自体はとてもためになるもので自分としてもまんぞくしている。

---

先生が日本の方ではなかったので説明が分からないところが多くて戸惑った。初回の授業までの間に、マウスがあったほうがいいなどの事前に準備するものの情報を伝えてもらえるとありがたい。

---

先生が面白かった。授業がとても楽しかった。

---

先生が優しく、楽しく勉強できた

---

先生によっては、かなり難しく感じる操作もどんどん進んでいったので、学生のできている具合を確認しながら進めてほしい。

---

先生のパソコンのスペックアップが必要だと思う。授業の進行の妨げになっている。データサイエンスの授業こそパソコンのスペックが必要なのではないか。

---

先生の進みが早くてついていけない人が多かった。

---

先生の説明で分かりづらい部分があったので理解するのが難しいことがあった。また、スクリーンが遠いので見づらかった。

---

先生の日本語を聞き取るのが難しかったです。

---

先生方の指導はとても分かりやすく、早く理解することができました。

---

専門的なことも学ぶことができて良かったです。

---

前期の間、ありがとうございました。

---



---

前半では、コンピューターやインターネットの仕組みについて学んだ。当たり前のように使ってきた両者であったが、どのような仕組みで動いているのかは全く分からずに使っていた。今回の授業ではその仕組みについて講義をしていただいたが、内容が難しく追いつくので精一杯であった。かなり複雑な形でこのネット社会が出来上がっていることが分かった。またデータの保管方法について、情報漏洩やウイルス攻撃を防ぐために様々な対策をしていることを学んだ。仕事にデータを使うときには個人情報扱っているという意識を持って、慎重にならなければならないと感じた。

後半ではe-learning形式でデータの扱い方について実践的に学んだ。この形式は自分の好きな時間に講義を聴くことができ、演習もすることができたので良いものだと感じた。授業内容では、これまでのデータの扱い方が回り道をしているということがよく分かり、細かなところも含めて作業を簡単にすることができた。最終課題を通じて様々なデータの扱い方を復習することができた。これからはデータを多角的に見ていくということに今回学んだことを生かしていきたいと感じた。

---

前半の授業が対面である必要性がわからなかった。

---

対面で講義を行うと言われたので、対面で講義を受けに行ったが、実際には自分で動画や資料を見て演習をするという形式だったので対面である必要性をあまり感じなかった。

---

対面授業のとき、内容を理解していない学生が多く、教員の一方的な授業になっていたことが多かった。

---

対面授業の際の先生の説明のスピードが少し速かったです。

---

対面授業の際は、先生から直接パソコンの指導を受けられるため、分からないことは質問することができ、とても良かったと思います。また、対面授業に出席しない場合でも、録画の講義を視聴できるため、しっかりと学ぶことができ、とても良い点だと思います。毎回の課題もありますが、パソコンに詳しくなかったため、とても勉強になっています。

---

大学に入学するまでは、自分のコンピュータを持ったことがありませんでした。それゆえパワーポイントやエクセルなどのソフトを使えるようになるには時間がかかりました。今回のデータ・サイエンスの授業では、ソフトウェアのみならず、コンピュータの仕組みそのものについての説明もあったので、とても興味深かったです。

---

丁寧に説明してくださり、パソコンについて全く知らなかったのですが、多くのことを学べました。

---

途中から講義動画を見て問題を解く形式になったのが良かったと思う。

---

途中から出席は自由になったり、自由度が高く良かった。

---

統計やexcelを扱う上で扱い方、注意点、適切な活用方法について理解が深められたので良かったです。

---

統計学に関する基礎的な部分について、時間をかけて解説していただいたため、内容はとても理解がしやすいものだった。また、図表の作成方法やエクセルの関数についてもわかりやすいものとなっていた。一方、エクセルの学習内容に関しては基礎的な部分のみで、正直退屈である授業も存在したため、もう少し踏み込んだ内容を学ばせてもよいのではないかと感じた。

---

動画や授業での説明は分かりやすかった。

---

動画教材なども非常にわかりやすく、充実した授業であった。

---

動画内で扱われていたパワーポイントが資料としてアップロードされていたので、わざわざ動画を見るメリットが無いと感じた。それなら、ちゃんと講義として先生の解説などを基に授業してほしいと思った。

---

特に問題ないが、強いて言うなら小テストなどの結果を後からでも見返せると安心できる。

---

---

突き詰めると奥が深い分野だが、専門的になりすぎない範囲での講義内容であり、理解がしやすかった

---

内容が少し難解であったように感じた。

---

内容が難しいし、スピードが早いので、理解出来ずに進んでしまいました。

---

内容を詰め込んでいる印象であり、人によってレベルの違いが大きいため、物足りない人と全く理解できない人の差が大きくなりすぎていると感じた。

---

難しいことが多かったですが、エクセルの使い方などを学べて良かったです。

---

難しいと感じた点も多かったが、手順に沿えば意外とできるようになるのだと感じたい。

---

難しいと感じる部分が多かったがなんとか最後までやり抜くことができてよかった。

---

二つの教室で異なる教員が教えるのはあまり適切でないと思う。

---

入学時点では、エクセルは使い方が全くわからなかったもので、一から説明していただき、助かりました。

---

熱で受けられなかった授業があるのでそれが受けられなくて少し残念でした

---

非常にわかりやすい授業でした。

---

必修で1-2限にあると起きるのがしんどいので、できれば5-6限にしてほしかった。来年以降の受講者がどう思うかは分からないが。

---

本授業を通して、コンピュータースキルを身につけることができた。高校生のとき、情報という授業で、パソコンの操作方法について学んでいたが、大学の授業ではそこから発展して、より高度なことを学ぶことができた。非常に役立つ授業だったと思う。

---

毎回、コメントに対して丁寧に回答していたことから、学生の意見にも耳を傾けていることがわかった。そのため、非常に受講しやすい講義であった。

---

毎回の確認テストでしっかりと理解を深めることが出来たので良かった。具体的にどのような場面で利用されるのかについてもっと説明があるとよかった

---

毎回課題が難しかったが何度も解き直して計算し直してなんとか毎回頑張った。エクセルでの計算の仕方やパソコンのシステムについて学べたので良かった。これから生かして行けたら良いなと思った。

---

毎回小テストを受ければ出席になる点が良かったです。

---

面白いものもありましたが、エクセルの使い方などは正直いざ使う時になったら自分で調べてやることができると感じられました。

---

役に立つ授業でした。

---

良い授業だった。

---

良かった。

---

良かったです。

---

倫々姫を通じて楽しく学べた。

---

話すのが早く理解できないことが多々あった。

---

## 7.1.4 令和4年度 前期授業評価「データ・サイエンス」(オンデマンド) 集計表

区分	年度	対象者数	提出者数	回収率 (%)
医学部保健学科	2022	160	131	81.9
	2021	(162)	(103)	(63.6)

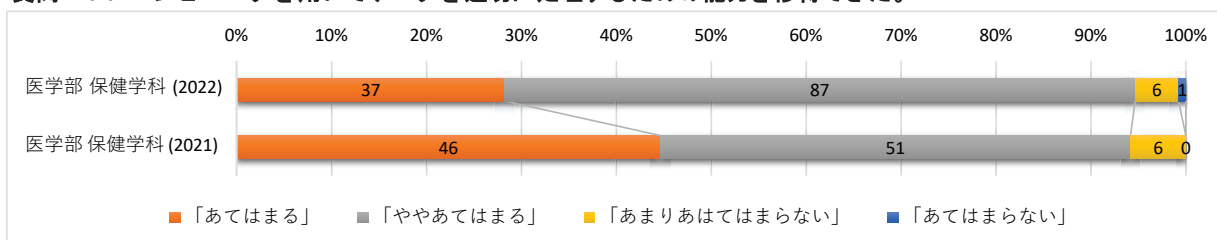
※ ( )は昨年度の結果

※ 保健学科のデータ・サイエンスは、昨年度まで後期開講だったが、今年度から前期オンデマンド講義に移行した。

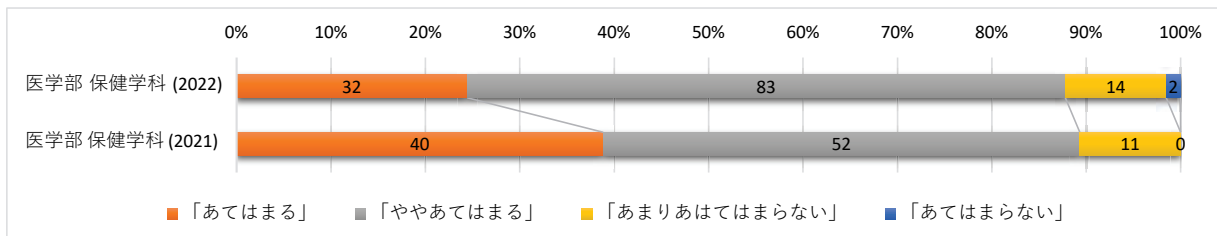
※ 評価基準 1「あてはまる」2「ややあてはまる」3「あまりあてはまらない」4「あてはまらない」

あなたが本年度受講した「データ・サイエンス」の授業についてお尋ねします。

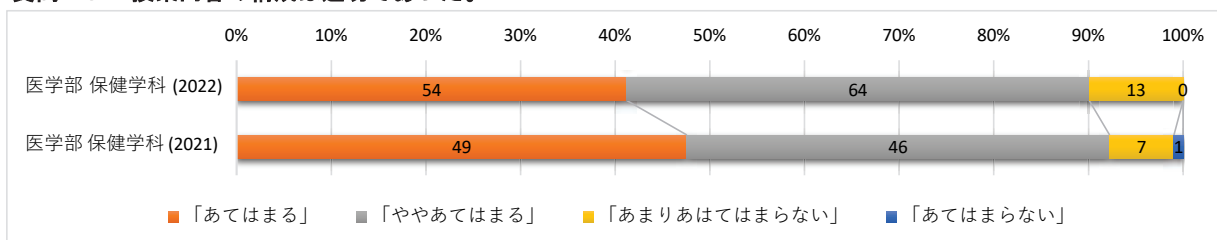
## 質問 1. コンピュータを用いてデータを適切に処理するための能力を修得できた。



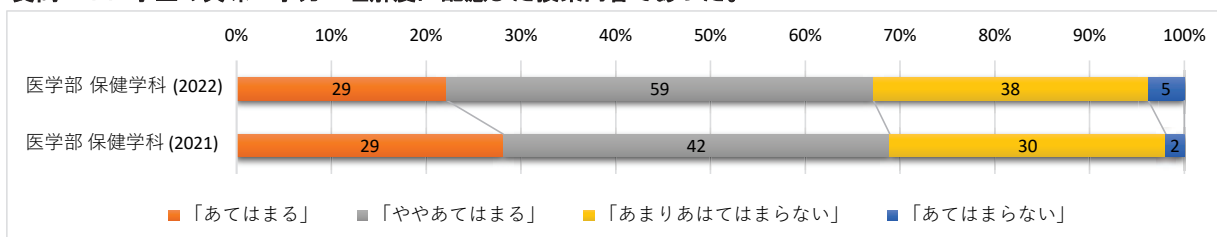
## 質問 2. データの持つ性質について統計量を用いて要約できる能力を修得できた。



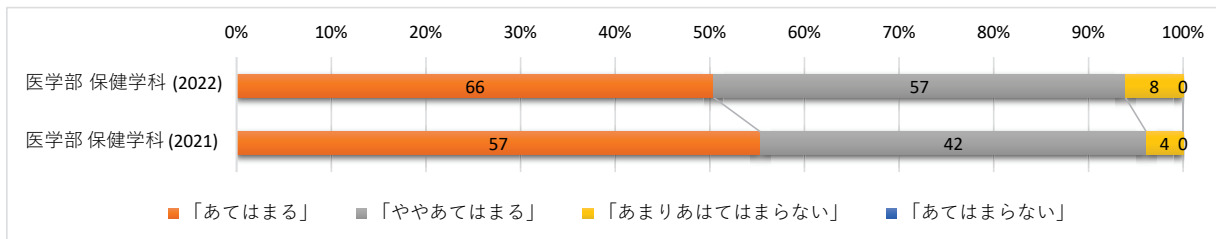
## 質問 3. 授業内容の構成は適切であった。



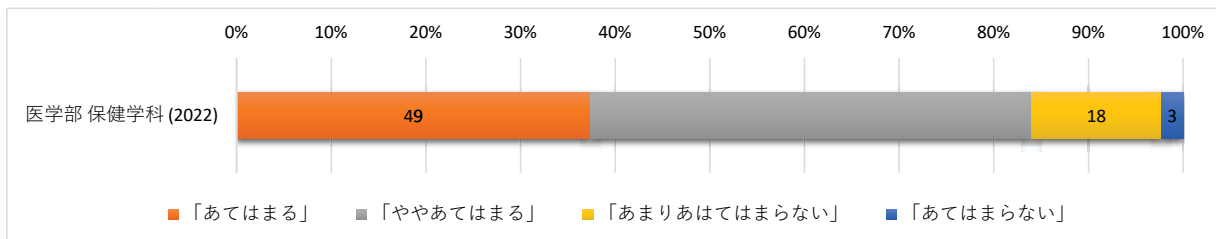
## 質問 4. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。



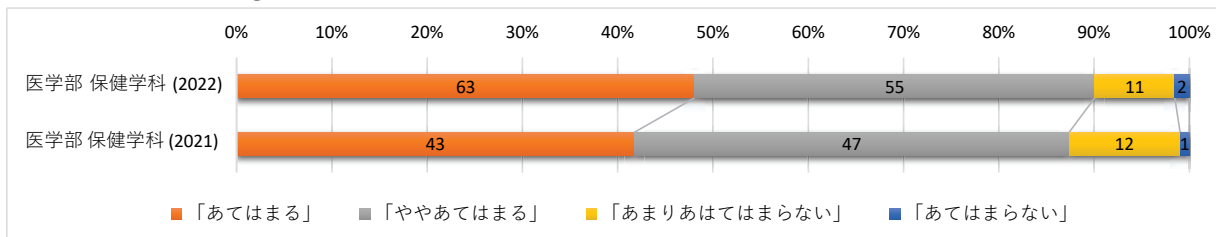
## 質問 5. シラバスの記述は、授業の進行に沿った適切なものであった。



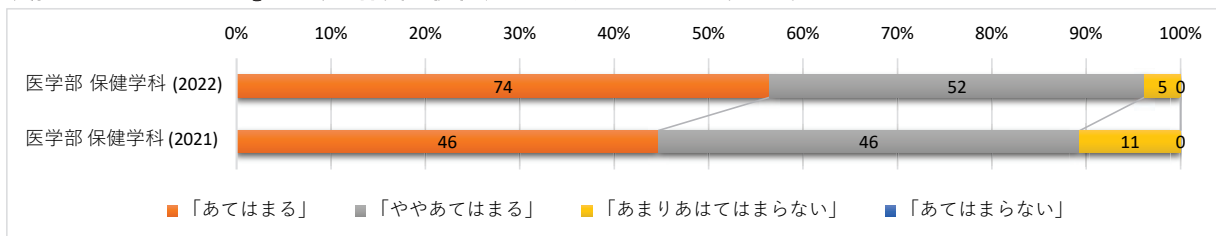
## 質問 6. 教員の教え方のサポート体制は十分なものであった。



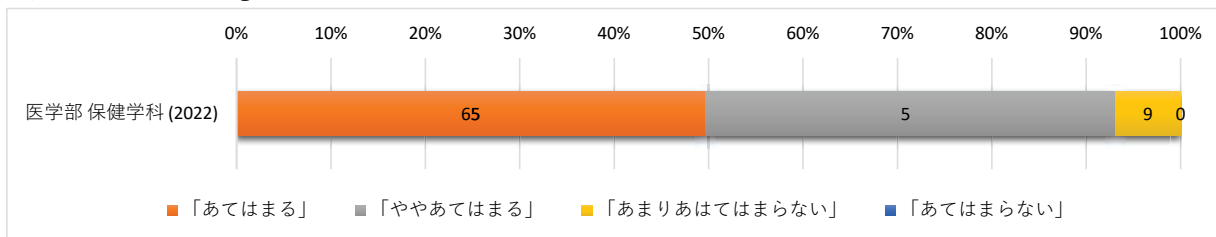
## 質問 7. e-learningでの動画内容はよく練られていて分かりやすかった。



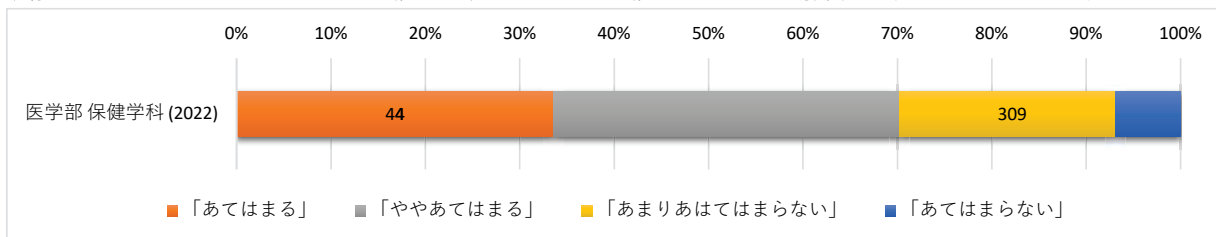
## 質問 8. e-learningでの動画品質は視聴するのに適切なものであった。



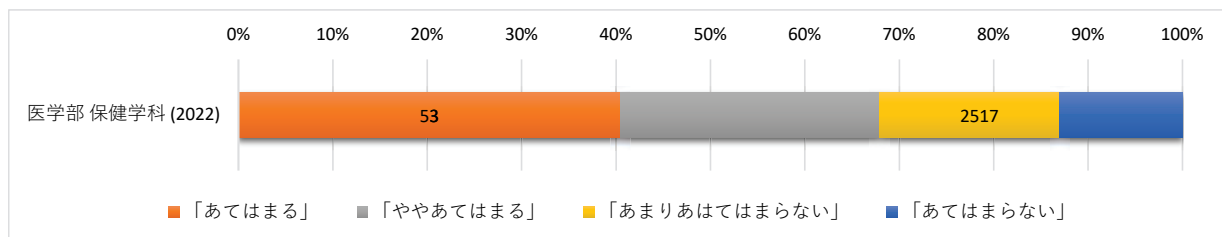
## 質問 9. e-learningでのWeb小テストは内容を理解するために適切なものであった。



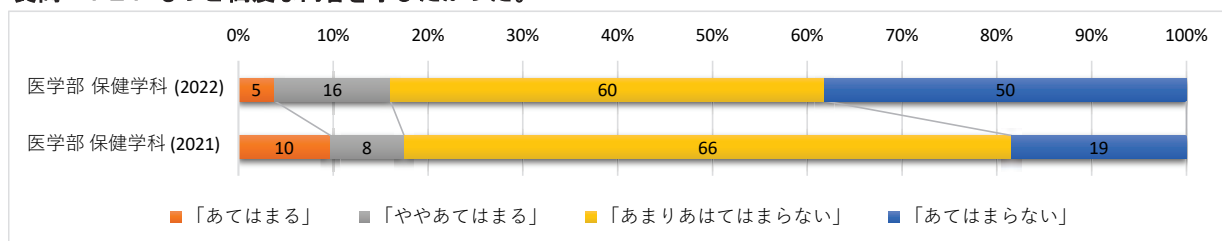
## 質問 10. オンデマンド形式での授業は、リアルタイム授業と比べて理解度の不足は感じなかった。



質問 11. オンデマンド形式での授業は、リアルタイムでの授業と比べてスケジュール管理の難しさは感じなかった。



質問 12. もっと高度な内容を学びたかった。



**質問13. データ・サイエンスの授業に関して、気付いた点、改善すべき点、オンデマンド授業に関する感想等を自由に書いてください。**

エクセルでの計算や情報の整理の仕方など社会に出て使う技術を学ぶことができてよかったと思いました。

オンデマンド授業であっても、対面の授業と同じように習慣として身につけていたので難しさや大変さは感じなかったです。

分からないことがある時にはメールで丁寧に対応してもらえたので、安心しました。

エクセルの使い方など、将来において役に立つことを学べたとの実感はあります。

一方でコンピューターの説明などは講義を通して難しく理解するのが大変でした。

エクセルの使用すら危うかった自分が、基本的な動作を行うことができるようになり、多少の達成感を得ています。楽しい授業をありがとうございました。

オンデマンドだと自分の良いタイミングで授業を受けることができたので良かった。

オンデマンドだと受講するのをわすれてしまうことが一回あった。しかし自分のペースで好きな時にできるのはとても良かった。

オンデマンドの授業は、自分のタイミングでいつでも受けられるという点が良かったと思う。

オンデマンドの授業は講義が機械音声だったこともあり、その講義における重要な点が分かりにくいように感じた。しかし、自分の予定に合わせて好きな時に受講できるシステムは自分に合っているように感じたし、小テストの回答期限が2週間あったので、解き忘れてしまうこともなかった。また、講義動画に合わせて実践動画もあったため、難しい内容を確認することができて良かった。

オンデマンド授業であったため、空き時間に視聴することができたので良かったです。

オンデマンド授業ではやり忘れが多かったことや、わからない部分を直接聞いたり詳しい説明がなかったりそこからやりづらい部分がありました。

オンデマンド授業のため、授業に対するやる気は対面よりはそがれてしまったかもしれないが、高校のときのパソコンの授業ときくらいの知識は取り戻せたと思う。最終課題の動画の内容の一部わかりづらい部分があった。

オンデマンド授業を初めて受けたので新鮮だった。自分の好きな時間に受けられるところはとてもありがたかったが、忘れてしまうこともあったので少し怖かった。動画が残るので何回も見直すことが出来、パソコン操作が苦手な私にとってオンデマンド授業はあっているなと感じた。

オンデマンド方式で、自分がやりたいときに動画視聴やテストの受験がおこなえるのは良かった。しかし、計画にずれが生じて受験可能期間が変更になったときの周知はもう少し完璧におこなってほしいように感じた。また、小テストは途中からどこが間違っているのかわからないような仕様になっていたのは改善してほしい。

ショートカットキーを覚えられたのが良かった。もっと知ることが出来たら嬉しい。

スケジュールもきつくなり、理解してから、テストができるというものだったので理解が深まると思いました。オンデマンド授業は最初は不安があったのですが、慣れてくるととてもやりやすく、自分のペースで考えながら、実行しながらできるのでとてもやりやすかったです。また、解説動画も丁寧に分かりやすかったです。

---

データサイエンスの授業では、データを処理する力がついて、ちょっとしたExcelの使い方やコマンドの使い方を知ることができて、とてもためになった。これから実習とかをしていくうえで生かしていこうと思った。また、オンデマンド授業により、自分のスケジュール管理能力の低さを確認することができた。これから気を付けていこうと思った。

---

データサイエンスの内容は、あまりパソコンについて詳しくなかった私にとっては難しかったですが、なんとかついていけるくらいの難易度でした。映像を何度も確認して小テストを解くことで理解が深まったことが手に取るようにわかりました。

---

データの処理などの能力が身に付いた。

---

パソコンの使い方が分からなく実際に質問したいことが沢山あったので、この授業はオンデマンドではなした方が良いと思う。

---

パワーポイントで説明されていないことが小テストに出ていたの、理解できないまま小テストを受けていた。

---

演習動画がとても理解しやすかったです。ありがとうございました。

---

演習動画の音質が悪い時があったため、改善してほしい。また、専門的な言葉が多く、具体例を挙げて教えて欲しかった。

---

音声が棒読みで何回聞いても頭に入らないことがあって困りました。

---

課題のupが遅いと思いました。

---

回によって、少し内容が難しく、動画の説明だけでは理解しきれないこともあった。PCの操作画面が写った先生方による説明動画が分かりやすかった。

---

語句の意味など動画では分かりづらい部分があった。

---

高校の情報の授業ではやらなかったような内容がたくさんあった。今まで知らなかった便利な機能についてだったり、ネットに関する細かい情報まで知ることができたので良かった。オンデマンドに多少の不安はあったが、しっかり自分で計画を立てながら、自分のペースで進められたので良かった。分からない部分は、繰り返し動画を見たり、問題を解いたりすることができたのでオンデマンドの良さを知れた。

---

今まであまりパソコンを扱う機会がなく、Excelの使い方についての授業はとてもありがたかった。また、最近はネット上での作業が多く、たくさんの危険がある。その危険に自分がまきこまれないようにする対策として倫倫姫の動画は問題形式の構造になっていて理解しやすかった。また、Excelの使い方もオンデマンドではあったが、自分の時間のある時に時間をかけて理解することが出来たり、動画を巻き戻して分からないところの理解を深めることが出来たので非常に良かった。これから、パソコンが使えないと非常に不便になるし、苦勞することがたくさんあると思うので、この授業を受けて以前よりもパソコンやネットの仕組みについての理解を深めることが出来て良かったと考える。この授業で得た知識を今後に生かしていきたい。

---

今まで授業等で学ばなかったパソコンの使い方などを学べる機会ができてとてもよかったです。エクセルは、数値を記録するだけのものというイメージでいたのですが、様々な数式を用いて計算することができることを知り、感銘を受けました。この授業を通して、パソコンの使い方を習得していければいいなと思っています。

---

最終課題をすることで本当に統計の技術がついたなと感じます。

---

私はパソコンを使って作業することに対して苦手意識を持っていましたが、データサイエンスの授業を通して、データを取り扱うことの楽しさを感じることができました。オンデマンド授業は後でも見返すことができるので、理解するために何度も見返せるのがよいと思いました。

---

---

私は保健学科看護学専攻に所属しているため、理工学部や情報学部のようにエクセルを用いたデータの読み取りや作成、管理をする機会は少ない。しかし、IT技術が進歩する現代において、知っていて損はないむしろ利用することができる知識をたくさん得ることができた。また、オンデマンドだからこそ時間に融通が効いたため、専門科目や他の教養科目などの授業や課題と並行して効率よく進めることができた。

---

資料に書いてないことがテストに出ることがあった。

---

授業を通して、データの適切な扱い方やエクセルの機能などを学べてよかった。

---

小テストでは、講義内容を踏み込んだ問題が多く出題され、点数を取るのに苦戦しました。小テストの問題で初めて知るような内容もあったように感じます。講義内容を、もっとわかりやすく応用まで含んだものにしたうえで、小テストは講義内容を確認できる程度に留めた出題にしていただきたいです。

---

小テストでは、単語の意味問題だけでなくExcelを使った演習もあり、実践に活かせる問題もあってよかった。

---

小テストの内容と動画の内容が一致していない回があったので一致させてほしいです。

---

大学でプレゼンテーションをする際などに活かせるようなスキルを身に付けられたので満足しています。

---

特になし

---

難しかった。

---

分からなかった部分や聞き逃した部分を気軽に巻き戻して確認できる点は良かった。

---

期限を何度か過ぎてしまった

---



7.1.5 表1 プレイメントテスト結果推移

学部	年度	語い	文法	リーディング	リスニング	総合
医学部医学科	2022	129	126	264	225	743
	2019	134.1	134.0	267.4	216.8	752.4
	2018	133.2	135.3	261.6	215.2	745.4
医学部保健学科	2022	108	105	220	191	624
	2019	113.8	112.9	205.6	183.8	616.1
	2018	114.7	114.8	203.7	184.1	617.3
社会情報学部	2022	106	103	216	183	608
	2019	108.9	111.0	194.9	180.5	595.3
	2018	112.2	109.8	196.5	173.9	592.4
教育学部	2022	102	99	204	179	583
	2019	106.9	107.7	192.9	181.0	588.5
	2018	108.3	107.6	187.1	175.8	578.9
理工学部	2022	102	101	199	175	577
	2019	105.9	107.7	185.3	171.9	570.8
	2018	104.9	105.8	177.1	166.3	554.1

## 7.1.6 表2 TOEIC-IP 結果

## 2022年度入学生

	Listening	Reading	Total
2023.2	260.6	203.6	464.3

## 2021年度入学生

	Listening	Reading	Total
2021.4	256.0	203.6	460.1
2022.2	286.6	234.4	520.9
2023.2	258.3	194.5	452.8

(英語102 平均) 学部	Listeningスコア	Readingスコア	Totalスコア	受験者数
共同教育学部	236.8	181.4	418.2	198 留学生除く
共同教育 学校教育 英語	284.1	249.7	533.8	16
共同教育 学校教育 音楽	218.2	155.7	373.9	14
共同教育 学校教育 家政	225.8	172.9	398.8	12
共同教育 学校教育 技術	230.6	180	410.6	8
共同教育 学校教育 教育心理	231.7	190.8	422.5	6
共同教育 学校教育 教育専攻	288.3	206.7	495	6
共同教育 学校教育 国語	235.5	183.5	419	20
共同教育 学校教育 社会	245.5	208.9	454.3	22
共同教育 学校教育 数学	260.2	199.1	459.3	23
共同教育 学校教育 特別支援教育	217.8	151.9	369.7	16
共同教育 学校教育 美術	198.3	122.9	321.3	12
共同教育 学校教育 保健体育	233.9	161.6	395.5	19
共同教育 学校教育 理科	217.1	167.3	384.4	24
医学部	314.6	279.4	594	107
保健学科	270	204.4	474.4	158
医 保健学 看護学	273.1	204	477.1	78
医 保健学 検査技術科学	283.5	227.8	511.3	41
医 保健学 作業療法学	261.3	167.9	429.2	19
医 保健学 理学療法学	238.3	192.8	431	20
情報学部	256.6	205.4	462	164
理工学部	255.3	193.1	448.4	473 留学生・重複学生除く
理工 物質・環境	253.1	194.8	447.9	287
理工 電子・機械	258.7	190.5	449.1	186

(英語202 平均) 学部	Listeningスコア	Readingスコア	Totalスコア	受験者数
共同教育学部(2年生)	239	177.7	416.7	196
共同教育 学校教育 英語	333.6	283.9	617.5	18
共同教育 学校教育 音楽	207.3	145	352.3	13
共同教育 学校教育 家政	238.8	163.3	402.1	12
共同教育 学校教育 技術	218.3	165	383.3	9
共同教育 学校教育 教育心理	269	180	449	5
共同教育 学校教育 教育専攻	193.3	148.3	341.7	6
共同教育 学校教育 国語	253.6	189.5	443.1	21
共同教育 学校教育 社会	248.1	195.2	443.3	21
共同教育 学校教育 数学	259.3	197.5	456.8	22
共同教育 学校教育 特別支援教育	213	173	386	15
共同教育 学校教育 美術	192.9	130.8	323.8	12
共同教育 学校教育 保健体育	194.4	118.3	312.8	18
共同教育 学校教育 理科	231.7	161.7	393.3	24
情報学部(2年生)	277.6	209.3	486.9	172 留学生除く
理工学部(2年生)	254.4	191.2	445.6	451 留学生除く
理工 物質・環境	254.6	189.4	444.9	258
理工 電子・機械	254.1	193.7	447.8	193

## 7.1.7 表3 Can-do Statement

## 1. Can-do Statement (1,142名)

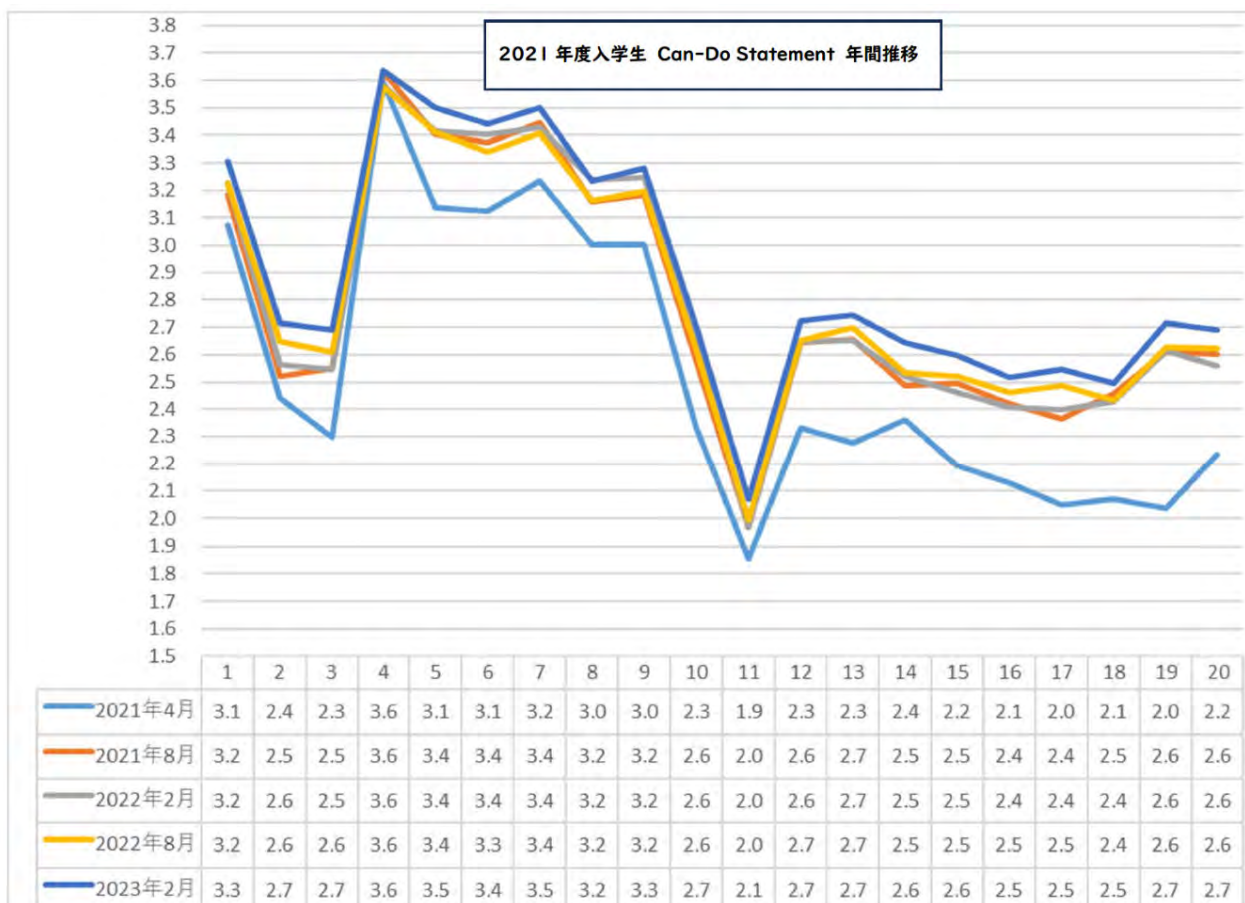
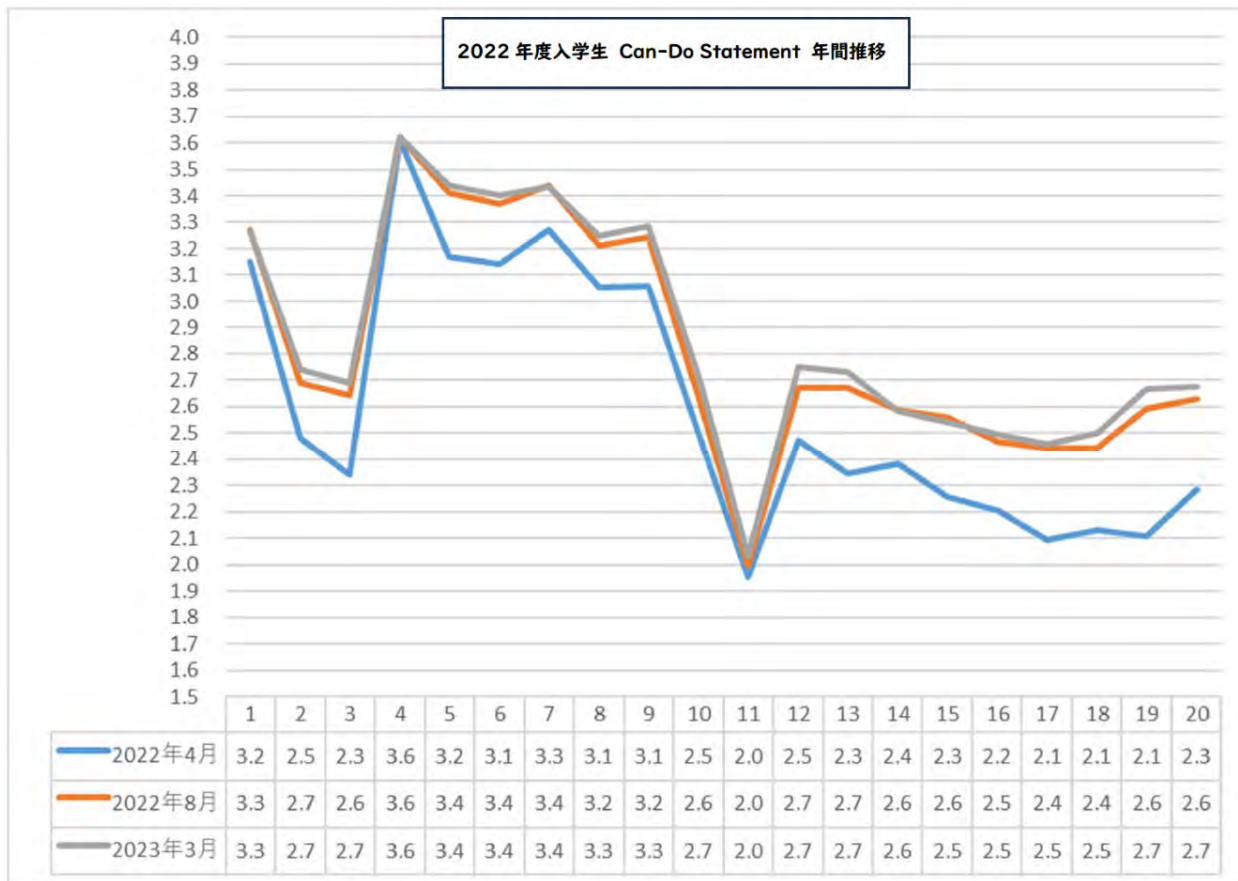
## Learning Attitudes

- I can participate actively in English lessons. 英語の授業へ積極的に参加できる。
  - I can cooperate with my classmates using only English. 英語だけを使って、クラスメイトと協力できる。
  - I can participate actively in English discussions. 英語で議論に積極的に参加できる。
  - I can appreciate and accept the opinions of other people. 他者の意見を尊重し、受け入れることができる。
  - I can understand and take responsibility for my roles in tasks and activities. 活動の中で、それぞれが果たすべき役割を理解し、自らの行動に移すことができる。
- Problem-Solving Skills
- I can discuss and identify existing problems about a topic. あるテーマに関して話し合い、問題・課題を見つけることができる。
  - I can work actively with others to make a plan for problem-solving tasks. 問題解決に向けての過程を他者と協働し、計画することができる。
  - I can analyze data from a variety of (on-line and paper-based) sources. 様々な文献から得たデータを分析できる。
  - I can make recommendations based on data. データに基づき、解決策を推奨できる。

## English Skills

- I can read English quickly and understand the content. 英語を素早く読み、内容を理解できる。
- I can read approximately ... words per minute. 私は1分間に...語読むことができる。①100語以下 ②150語程度 ③200語程度 ④250語以上
- I can take useful notes from written and spoken English resources. 英語で話されたり、書かれた内容から重要な情報を書き留めることができる。
- I can organize my ideas well for a particular audience in written English. 英語で自分の考えを構成し、読み手を意識しながら書くことができる。
- I can ask and answer questions in an English conversation. 英会話において質問をしたり答えたりできる。
- I can discuss and explain life-related topics in English. 英語で自分の身近なことを議論したり説明したりできる。
- I can answer questions in English and give additional information when appropriate. 状況に応じて情報を補足し、適切に英語で答えることができる。
- I can share my ideas and give my opinion confidently in English. 自分の考えを共有し、英語で自信を持って意見を述べられる。
- I can think critically and express my own opinions regarding social and cultural issues in English. 社会的・文化的な事柄に関して、英語で批判的かつ論理的に考え、英語で意見を述べることができる。
- I can present a specific topic confidently in English (e.g., Poster, PowerPoint, Video). 英語であるテーマについて自信を持って発表できる。
- I can listen, understand, and give my opinions about an English presentation. 他者の英語による発表を聞いて、内容を理解し、英語で意見を述べることができる。

7.1.8 図1 Can-do Statement 令和3年度、4年度の変化



## 7.1.9 表4 英語101、102 ルーブリック

Evaluation item	Percentage	Evaluation method	S (Excellent)	A (Very good)	B (Good)	C (Fair)	D (Poor)
			Goals are fully achieved with excellent results	Goals have been achieved	Goals have almost been achieved	Minimum amount of goals has been achieved	Goals have not been achieved
Knowledge/Skill English Proficiency	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>Paper test (ENG 101: 20%)</li> <li>TOEIC (ENG 102: 20%)</li> </ul>	<p>Can communicate effectively using a wide range of vocabulary and the correct use of grammar in any situation.</p> <p>Can fully understand and adequately express topics related to own and other areas of study.</p>	<p>Can understand vocabulary and grammar correctly and communicate in most situations.</p> <p>Can usually understand conversations, respond quickly, and deal with topics in specific fields.</p>	<p>Can meet the needs of everyday life and communicate with a basic knowledge of vocabulary and grammar, and a limited level of expressiveness within a limited range.</p> <p>Can understand the main points of an ordinary conversation, and there is no problem to respond.</p>	<p>Can communicate at a minimum level within a normal conversation although there are times where knowledge of vocabulary and grammar are insufficient.</p> <p>Can understand simple conversations and can respond to familiar topics if spoken slowly and simpler words are used.</p>	<p>Cannot communicate well as it is only possible to understand some words – spoken and written.</p> <p>Cannot understand the meaning of a simple conversation even if spoken slowly.</p>
Thinking/Judgment/Expression Problem-Solving Ability	50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>Report 25%</li> <li>Presentation 25%</li> </ul>	<p>Can think more deeply about current issues through discussion and collaboration with others and can propose solutions and express them in the most appropriate way.</p> <p>Can think of new questions and share them with others.</p>	<p>Can think more deeply about current issues through discussion and collaboration with others and can propose solutions and share them with others in an appropriate way.</p>	<p>Can think deeply about current issues through discussion and collaboration with others and can propose more than one solution.</p>	<p>Can think about current issues through discussion and collaboration with others and can propose one solution.</p>	<p>Can think about current issues through discussion and collaboration with others but cannot come up with any solutions.</p>
Attitude and Ability to Learn Autonomously	30%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ER 20%</li> <li>Final Reflection 10%</li> </ul>	<p>Can set goals, manage oneself, and learn English actively.</p> <p>Can self-evaluate the achievement level of goals, set the next goal clearly, and take action immediately.</p>	<p>Can set goals, manage oneself, learn English.</p> <p>Can self-evaluate the achievement level of goals and set the next goal.</p>	<p>Can set goals, take a positive approach to learning English, and self-evaluate the achievement level of goals.</p>	<p>Can learn English toward a set goal and check the achievement level of the goal.</p>	<p>Cannot self-evaluate as learning English is approached without setting goals.</p>

## 7.1.10 図2 課題テスト結果推移

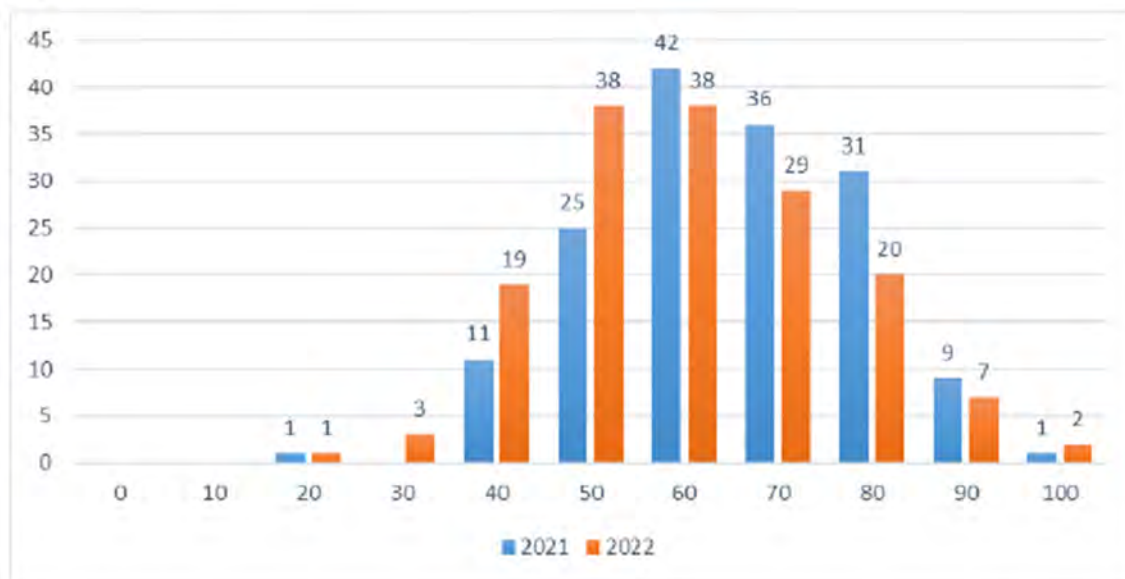
・2022年4月22日実施

・167名受験(3名欠席)

平均点(100点満点)

	2021年度(156名受験)	2022年度(157名受験)
全体	69	64
物質・環境類	68	63
電子・機械類	69	65

分布



## 7.1.11 資料 3.1.1：令和4年度入学料免除

## 令和4年度入学料免除実施状況

		免除申請者数（人）			免除許可者数（人）			
		4月入学	10月入学	合計	判定	4月入学	10月入学	合計
共同教育学部		15	0	15	全額免除	4	0	
					2/3額免除	4	0	
					1/3額免除	5	0	
情報学部		19	0	19	全額免除	9	0	
					2/3額免除	4	0	
					1/3額免除	6	0	
社会情報学部		4	0	4	全額免除	1	0	
					2/3額免除	2	0	
					1/3額免除	0	0	
医学部	医学科	9	0	9	全額免除	3	0	
					2/3額免除	6	0	
					1/3額免除	0	0	
	保健学科	13	0	13	全額免除	7	0	
	2/3額免除				5	0		
	1/3額免除				1	0		
理工学部		53	0	53	全額免除	25	0	5
					2/3額免除	16	0	6
					1/3額免除	8	0	
学部の計		113	0	113	全額免除	49	0	9
					2/3額免除	37	0	7
					1/3額免除	20	0	0
教育学研究科 （専門職学位課程）		0	0		全額免除	0	0	
社会情報学研究科 （修士課程）		6	1	7	全額免除	6	1	
					半額免除	0	0	
医学系研究科 （修士課程）		1	0	1	全額免除	1	0	
					半額免除	0	0	
保健学研究科 （博士前期課程）		9	0	9	全額免除	7	0	
					半額免除	0	0	
理工学府 （博士前期課程）		69	11	80	全額免除	60	10	70
					半額免除	0	0	
大学院修士課程の計		85	12	97	全額免除	74	11	85
					半額免除	0	0	
医学系研究科 （博士課程）		2	2	4	全額免除	1	2	
					半額免除	0	0	
保健学研究科 （博士後期課程）		1	0	1	全額免除	1	0	
					半額免除	0	0	
理工学府 （博士後期課程）		2	1	3	全額免除	2	1	
					半額免除	0	0	
大学院博士課程の計		5	3	8	全額免除	4	3	
					半額免除	0	0	
特別支援教育特別専攻科		0	0	0	全額免除	0	0	
					半額免除	0	0	
合		203	15	218	全額免除	127	14	141
					2/3額免除	37	0	7
					半額免除	0	0	
					1/3額免除	20	0	0

## 7.1.12 資料 3.1.2：令和4年度入学料徴収猶予実施状況

## 令和4年度入学料徴収猶予実施状況

		猶予申請者数（人）			猶予許可者数（人）			
		4月入学	10月入学	合計	判定	4月入学	10月入学	合計
共同教育学部		0	0	0	許可	0	0	0
情報学部		0	0	0	許可	0	0	0
社会情報学部		0	0	0	許可	0	0	
医学部	医学科	0	0	0	許可	0	0	
	保健学科	1	0	1	許可	0	0	0
理工学部		3	0	3	許可	3	0	
学部の計		4	0	4	許可	3	0	
教育学研究科 （専門職学位課程）		0	0	0	許可	0	0	0
社会情報学研究科 （修士課程）		0	0	0	許可	0	0	0
医学系研究科 （修士課程）		0	0	0	許可	0	0	
保健学研究科 （博士前期課程）		0	0	0	許可	0	0	
理工学府 （博士前期課程）		0	0	0	許可	0	0	
大学院修士課程の計		0	0	0	許可	0	0	
医学系研究科 （博士課程）		0	0	0	許可	0	0	
保健学研究科 （博士後期課程）		0	0	0	許可	0	0	
理工学府 （博士後期課程）		0	0	0	許可	0	0	
大学院博士課程の計		0	0	0	許可	0	0	
特別支援教育特別専攻科		0	0	0	許可	0	0	
合		4	0	4	許可	3	0	

## 7.1.13 資料 3.2.1：令和4年度授業料免除

	免除申請者数 (人)			免除許可者数 (人)				
	前期	後期	合計(延べ人数)	判定	前期	後期	合計(延べ人数)	
共同教育学部	72	69	141	全額免除	34	35	69	
				2/3額免除	17	20	37	
				半額免除	0	0	0	
				1/3額免除	15	7	22	
教育学部	30	32	62	全額免除	18	18	36	
				2/3額免除	8	5	13	
				半額免除	2	4	6	
				1/3額免除	2	2	4	
情報学部	46	47	93	全額免除	21	23	44	
				2/3額免除	15	16	31	
				半額免除	0	0	0	
				1/3額免除	7	8	15	
社会情報学部	24	25	49	全額免除	13	14	27	
				2/3額免除	6	6	12	
				半額免除	0	1	1	
				1/3額免除	5	1	6	
医学部	医学科	43	41	84	全額免除	20	23	43
					2/3額免除	10	7	17
					半額免除	4	4	8
					1/3額免除	3	5	8
医学部	保健学科	80	77	157	全額免除	36	36	72
					2/3額免除	21	25	46
					半額免除	3	2	5
					1/3額免除	13	10	23
理工学部 総合理工学科(夜間主)除く		214	213	427	全額免除	109	110	219
					2/3額免除	54	55	109
					半額免除	5	7	12
					1/3額免除	25	22	47
学部(昼間)の計		509	504	1,013	全額免除	251	259	510
					2/3額免除	131	134	265
					半額免除	14	18	32
					1/3額免除	70	55	125
学部(夜間主) 理工学部総合理工学 科		7	5	12	全額免除	4	1	5
					2/3額免除	1	3	4
					半額免除	0	0	0
					1/3額免除	0	1	1
教育学研究科 (修士課程)		0	0	0	全額免除	0	0	0
					半額免除	0	0	0
教育学研究科 (専門職学位課程)		0	0	0	全額免除	0	0	0
					半額免除	0	0	0
社会情報学研究科 (修士課程)		12	15	27	全額免除	11	12	23
					半額免除	1	3	4
医学系研究科 (修士課程)		7	4	11	全額免除	6	2	8
					半額免除	0	1	1
保健学研究科 (博士前期課程)		12	10	22	全額免除	10	7	17
					半額免除	0	1	1
理工学府 (博士前期課程)		158	153	311	全額免除	104	100	204
					半額免除	40	41	81
大学院修士課程の計		189	182	371	全額免除	131	121	252
					半額免除	41	46	87
医学系研究科 (博士課程)		24	22	46	全額免除	18	18	36
					半額免除	4	3	7
保健学研究科 (博士後期課程)		10	11	21	全額免除	6	3	9
					半額免除	4	8	12
理工学府 (博士後期課程)		33	28	61	全額免除	25	21	46
					半額免除	4	7	11
大学院博士課程の計		67	61	128	全額免除	49	42	91
					半額免除	12	18	30
特別支援教育特別専攻科		0	0	0	全額免除	0	0	0
					半額免除	0	0	0
合		772	752	1,524	全額免除	435	423	858
					2/3額免除	132	137	269
					半額免除	67	82	149
					1/3額免除	70	56	126

## 7.1.14

## 資料 3.2.2：令和4年度授業料徴収猶予実施状況

		猶予申請者数（人）			猶予許可者数（人）			
		前期	後期	合計(延べ人数)	判定	前期	後期	合計(延べ人数)
共同教育学部		0	0	0	許可	0	0	0
共同教育学部		0	0	0	許可	0	0	0
情報学部		0	0	0	許可	0	0	0
社会情報学部		0	0	0	許可	0	0	0
医学部	医学科	0	0	0	許可	0	0	0
	保健学科	0	0	0	許可	0	0	0
理工学部 総合理工学科(夜間主)除く		0	0	0	許可	0	0	0
学部(昼間)の計		0	0	0	許可	0	0	0
総合理工学科(夜間主)		0	0	0	許可	0	0	0
教育学研究科 (修士課程)		0	0	0	許可	0	0	0
教育学研究科 (専門職学位課程)		0	0	0	許可	0	0	0
社会情報学研究科 (修士課程)		0	0	0	許可	0	0	0
医学系研究科 (修士課程)		0	0	0	許可	0	0	0
保健学研究科 (博士前期課程)		0	0	0	許可	0	0	0
理工学府 (博士前期課程)		0	0	0	許可	0	0	0
大学院修士課程の計		0	0	0	許可	0	0	0
医学系研究科 (博士課程)		0	0	0	許可	0	0	0
保健学研究科 (博士後期課程)		0	0	0	許可	0	0	0
理工学府 (博士後期課程)		0	0	0	許可	0	0	0
大学院博士課程の計		0	0	0	許可	0	0	0
特別支援教育特別専攻科		0	0	0	許可	0	0	0
合		0	0	0	許可	0	0	0





## 7.1.16 資料 3.6.1：令和4年度学部1～3年次生欠席状況調査一覧（後期）

## 令和4年度 学部1～3年次生欠席状況調査一覧（後期）

	共同教育学部	情報学部	医学部			理工学部 (工学部)	合計
			医学科	保健学科	計		
1年生 対象者数	名 203	名 170	名 122	165	287	名 504	名 1,164
欠席者数	4	9	3			12	28
	2.0%	5.3%	2.5%	0.0%	1.0%	2.4%	2.4%
2年生 対象者数	200	182	138	160	298	506	1,186
欠席者数	2	4	0			3	9
	1.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.8%
3年生 対象者数	203	122	131	166	297	609	1,231
欠席者数	5	1	1			5	12
	2.5%	0.8%	0.8%	0.0%	0.3%	0.8%	1.0%
合計 対象者数	606	474	391	491	882	1,619	3,581
欠席者数	11	14	4			20	49
	1.8%	3.0%	1.0%	0.0%	0.5%	1.2%	1.4%

※ 学生数は、令和4年11月1日現在

※ 欠席者数下段は、欠席率

### 7.1.17 資料 3.8.1： 令和4年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数

資料3.8.1 令和4年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数

学部(人) (令和5年3月1日現在)

学部名		1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他(研究生等)	計
共同教育学部		194	193	194					581
教育学部				13	217				230
情報学部		156	177						333
社会情報学部				119	97				216
医学部	医学科	143	124	116	112	126			621
	保健学科	168	151	160	145				624
	計	311	275	276	257	126	0	0	1,245
理工学部 工学部	昼間コース	548	495	539	475				2,057
	夜間主コース								0
	計	548	495	539	475	0	0	0	2,057
合計		1,209	1,140	1,141	1,046	126	0	0	4,662

大学院・専攻科(人) (令和5年3月1日現在)

研究科名		1年	2年	3年	4年	その他(研究生等)	計
教育学研究科		1					1
大学院教育学研究科(専門職学位課程)		18	17				35
社会情報学研究科		17	6				23
医学研究科	修士課程	10	8				18
	博士課程	24	15	58	11		108
保健学研究科	博士前期課程	37	20				57
	博士後期課程	9	5				15
計		80	48	59	11	0	198
理工学府 工学研究科	博士前期課程	325	287				612
	博士後期課程	15	25	8			48
	計	340	312	8	0	0	660
特別支援教育特別専攻科		4					4
合計		460	383	67	11	0	921

### 7.1.18 資料 3.8.2：令和4年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数

令和4年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数  
(件)

	学部	学生教育研究災害傷害保険					合計	学研災付帯賠償責任保険	総計
		正課中	学校行事中	通学中	課外活動中	その他			
荒牧地区	教育・共同教育・社会情報・情報	7	2				15	0	15
昭和地区	医学	1	0					0	3
桐生地区	理工	5	0					1	8
太田地区	理工(生産システム)	0	0					0	0
合計		13	2				25	1	26

### 7.1.19 資料 3.9.1：令和4年度通学証明書発行枚数，学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由

令和4年度通学証明書発行枚数

(枚)

荒牧地区		昭和地区		桐生地区		太田地区		合計
電車	バス	電車	バス	電車	バス	電車	バス	
520	361	100	50	153	3			1,187

令和4年度学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由

(枚)

	正課	帰省	就職	課外活動	見学	旅行	その他 傷病・治療	計
荒牧地区	31	1,379	555	129	365	197	1	2,657
昭和地区	261	5,109	869	607	963	379	30	8,218
桐生地区	142	2,067	751	86	154	53	7	3,260
太田地区	5	7				2		14
合計	439	8,562	2,175	822	1,482	631	38	14,149

## 7.1.20 資料 3.13.1 : 令和4年度 クラブ・サークル一覧

令和4年度 クラブ・サークル一覧

整理番号	クラブ・サークル名	主な活動(所属)地域				区分	整理番号	クラブ・サークル名	主な活動(所属)地域				区分
		荒牧	昭和	桐生	太田				荒牧	昭和	桐生	太田	
1	荒牧クラブ・サークル協議会	○					96	群馬大学BBS会	○	○	○		文化部
2	荒牧祭実行委員会	○					97	R. F. C(スノーボード)	○	○	○		運動部
3	生協学生委員会	○	○	○			98	合気道部	○	○	○		運動部
4	文化部会(昭和地区)	○	○				99	アルティメット部	○				運動部
5	運動部会(昭和地区)	○	○				100	アメリカンフットボール部	○		○		運動部
6	荒牧ジャズ研究会	○				文化部	101	医学部サイクリング部 医輪(いちやり)	○	○			運動部
7	アドバンス[Advance]ボランティア子供向けイベント	○				文化部	102	医学部★ダンスサークル	○		○		運動部
8	E. S. S(English Speaking Society)	○				文化部	103	Et's(バスケットボール)	○		○		運動部
9	囲碁・将棋部	○				文化部	104	エスケープ(様式テニス)	○				運動部
10	泉の会(知的障害の子供と遊ぶ会)	○				文化部	105	学生フォーミュラチーム	○		○	○	運動部
11	ELMO(遊びのプログラム)	○	○			文化部	106	空手道部	○		○		運動部
12	映画研究会	○	○	○		文化部	107	環境プロセススポーツ同好会	○		○		運動部
13	SRC(献血)	○	○	○		文化部	108	弓道部(全学)	○		○		運動部
14	E <sup>∞</sup> egg[えっぐ]医療や社会について学ぶ	○				文化部	109	弓道部(医学部)	○		○		運動部
15	エレトーン部	○				文化部	110	弓道部(保健学科)	○		○		運動部
16	演劇部テアトル・ヒューム	○				文化部	111	CRAFT(フットサル)	○				運動部
17	音楽研究会	○		○		文化部	112	群馬の希望(サッカー・フットサル)	○				運動部
18	カル旅研究会(かるた)	○				文化部	113	剣道部(全学)	○	○	○		運動部
19	かるた会	○		○		文化部	114	剣道部(医学部)	○	○	○		運動部
20	合唱サークル Pico	○		○		文化部	115	Get's(サッカー)	○	○	○		運動部
21	学生団体ink	○	○	○		文化部	116	様式テニス部(全学)	○		○		運動部
22	きょうだいの会ばざる	○				文化部	117	様式テニス部(医学部)女	○		○		運動部
23	気象天文研究会	○	○	○		文化部	118	様式テニス部(医学部)男	○		○		運動部
24	競技麻雀部	○	○	○		文化部	119	様式野球部	○		○		運動部
25	医学部競技麻雀部	○				文化部	120	古武術部	○				運動部
26	教育学部八木節研究会	○				文化部	121	ゴルフ部(医学部)	○		○		運動部
27	群馬おきりこみ合唱団	○				文化部	122	サイクリング部	○				運動部
28	群馬大学BBS会(ボランティア・少年少女の悩み)	○	○	○		文化部	123	サッカー部(全学)	○				運動部
29	群馬大学AI, IOT研究会	○				文化部	124	サッカー部(医学部)	○		○		運動部
30	群馬大学外科学部サークル	○		○		文化部	125	サイバールゲーム部	○		○		運動部
31	教育サークル・青竹(ボランティア・児童教育研究)	○				文化部	126	少林寺拳法部	○				運動部
32	Guit's(アコースティックギター)	○	○			文化部	127	自動車部	○		○	○	運動部
33	クラシックギター部	○		○		文化部	128	柔道部(荒牧)	○	○	○		運動部
34	グリークラブ	○		○		文化部	129	柔道部(理工学)	○		○		運動部
35	折紙研究会"Origin"	○	○	○		文化部	130	柔道部(医学)	○				運動部
36	医学部軽音楽部	○	○			文化部	131	準硬式野球部	○				運動部
37	国際医療ボランティアの会(FORS)	○		○		文化部	132	準硬式野球部(医学部)	○				運動部
38	Beyond(ボランティア留学生と交流)	○				文化部	133	水泳部	○		○		運動部
39	混声合唱団	○		○		文化部	134	スキー部(全学)	○	○	○		運動部
40	茶道部	○				文化部	135	スキー部(医学部)	○	○	○		運動部
41	写真部(荒牧)	○				文化部	136	Seven Stars(フットサル)	○				運動部
42	写真部(昭和)	○		○		文化部	137	Rough'ソフトテニスサークル	○		○		運動部
43	写真部(桐生)	○		○		文化部	138	ソフトテニス部(全学)	○		○		運動部
44	手話サークル でんでんむし	○				文化部	139	ソフトテニス部(医学部)	○				運動部
45	医学部手話サークル でんでんむし	○		○		文化部	140	体操部	○		○		運動部
46	書道部	○				文化部	141	卓球部(全学)	○		○		運動部
47	進化するサルのだれでもわかる科学教室	○				文化部	142	卓球部(医学部)	○		○		運動部
48	0から始めるゲーム制作会	○				文化部	143	ダンス部	○				運動部
49	聖書研究会	○		○		文化部	144	ツバサFCコーチングスタッフ	○				運動部
50	GA研究会(アニメ・ゲーム研究会)	○				文化部	145	軟式野球サークル アウวิล	○	○	○		運動部
51	GMA(中学生のネット見守り活動サークル)	○				文化部	146	ハンドボール部	○				運動部
52	G. K. オールスターズ	○		○		文化部	147	馬術部	○	○	○		運動部
53	吹奏楽団	○	○	○		文化部	148	バスケットボール研究会	○				運動部
54	たんぼぼ(自閉症見ふれあい支援)	○				文化部	149	バスケットボール部(全学)	○				運動部
55	地域活性化団体 enerGy	○				文化部	150	バスケットボール部(医学部)	○		○		運動部
56	哲学の森	○		○		文化部	151	バスケットボール部(理工学部)	○		○		運動部
57	天文部	○		○		文化部	152	女子バスケットボール部(医学部)	○		○		運動部
58	電子計算機研究会 IGGG	○				文化部	153	バドミントン部(全学)	○		○		運動部
59	TRPG研究会(テーブルゲーム研究会)	○		△		文化部	154	バドミントン部(医学部)男子	○		○		運動部
60	東洋医学研究会	○		○		文化部	155	バドミントン部(医学部)女子	○		○		運動部
61	読書同好会	○		○		文化部	156	バレーボール部(全学)男子女子	○		○		運動部
62	AAA☆KIDS(トリプルエーキッズ)ボランティア小児喘息	○				文化部	157	バレーボール部(医学部)	○		○		運動部
63	ド学連(MD-PhD勉強会)	○				文化部	158	バレーボール部(保健学科)	○		○		運動部
64	ボードゲーム倶楽部	○	○	○		文化部	159	B-STYLE(ダンス)	○		○		運動部
65	Pastel Plan	○				文化部	160	Vit'z(ダブルダッチ)	○		○		運動部
66	美術愛好会	○				文化部	161	ファーストブレイク(バスケットボールサークル)	○				運動部
67	ピリヤード部	○				文化部	162	フリースタイル・フットボールサークル	○				運動部
68	ピアノ部	○				文化部	163	V. B. C. 桐生(バレーボール)	○		○		運動部
69	PCDC(多文化交流)	○		○	○	文化部	164	フィールドホッケー部	○				運動部
70	ファンタスティック手芸部	○				文化部	165	フットサル部	○		○		運動部
71	フィルハーモニックオーケストラ部	○		○		文化部	166	フットサルサークル	○				運動部
72	フオーク・ロック愛好会	○				文化部	167	ボウリングサークル El Bolos	○		○		運動部
73	Fore-Bridge Orchestra(ビッグバンドジャズ)	○		○		文化部	168	borderless(卓球サークル)	○				運動部
74	FLOW Orchestra	○		○		文化部	169	メモリアルテニス部	○				運動部
75	Voice Cream(アカペラサークル)	○	○	○		文化部	170	ラグビー部(全学)	○		○		運動部
76	漫画研究部	○		○		文化部	171	ラグビー部(医学部)	○				運動部
77	マンドリン・ソサエティ	○		○		文化部	172	陸上競技部(全学)	○		○		運動部
78	前橋文学会	○		○		文化部	173	陸上競技部(医学部)	○				運動部
79	民間伝承研究会	○				文化部	174	Let's Met's	○		○		運動部
80	メサイア管弦楽団・合唱団	○				文化部	175	ONE WAY(バレーボール)	○				運動部
81	モダンジャズ研究会(医学部)	○		○		文化部	176	RUSH(フットサル)	○				運動部
82	モダンジャズ研究会(理工学部)	○		○		文化部	177	ワンダーフォーゲル部	○		○		運動部
83	野外教育研究会	○	○	○		文化部	178	Gunma University Motorcycle Club(旧バイク部)	○		○		運動部
84	八木節同好会	○				文化部	179	野外活動サークル	○				運動部
85	野草を食べる会	○		○		文化部	180	アーチェリーサークル	○	○	○		運動部
86	夢のわたらせなないろ号	○	○			文化部	181	オリエンテーリング部	○			△	運動部
87	落語・コント研究会	○		○		文化部							
88	ラジオ同好会	○		○		文化部							
89	レストアサークル(機械分解修理)	○		○		文化部							
90	LAMP(イベント企画団体)	○				文化部							
91	ロボット研究会	△		○		文化部							
92	LEADS(小児糖尿病)	○		○		文化部							
93	YMCAクラブ(子供たちと交流)	○	○	○		文化部							
94	情報メカトロニクス研究会	○		○		文化部							
95	映画部(MEMENTO)	○	○			文化部							

## 7.1.21 資料 3.14.1：令和4年度 進路状況及び主な就職先

## 令和4年度学部卒業生の進路状況(9月卒業を含む)【確定】

上段：R3卒  
下段：R4卒

区分 学部	卒業 年 度	卒業 者 数 (A)	進学者数						計 (B)	就職者数										計 (C)	就 職 活 動 中 (D)	そ の 他 (D)	就職率 (E) $E=C/(A-B-D)$ $\times 100$
			大 学 院 ・ 専 攻 科	他 大 学 学 部 等	研 究 生 等	各 種 専 修 学 校 等	留 学	業種別内訳															
								教 員						医 療 機 関	企 業 等	公 務 員 等	自 営 業						
								幼		小	中	高	特別 支援					その他					
教育学部	R3	230	13	2		2	1	18	2	62	53	8	13	2		38	28		206	6		97.2	
	R4	225	15			2		17	1	79	37	17	9	1		37	15		196	12		94.2	
社会情報学部	R3	123	2	1			1	4								91	19	3	113	5	1	95.8	
	R4	114	1					1								78	21	1	100	8	5	92.6	
医学部	医学科	R3	108												106		1		107		1	100.0	
		R4	130	1					1						119				119		10	100.0	
	保健学科	R3	155	21					21						115	2	12		129	1	4	99.2	
		R4	158	19					19						120	2	12		134	1	4	99.3	
理工学部	R3	533	340		3			343				1			154	24	1	180	6	4	96.8		
	R4	525	339	2	6			347				1	1		131	33		166	3	9	98.2		
計	R3	1149	376	3	3	3	1	386	2	62	53	9	13	2	221	285	84	4	735	18	10	97.6	
	R4	1152	375	2	6	2		385	1	79	37	18	9	2	239	248	81	1	715	24	28	96.8	

令和4年度学部卒業生の進路状況(9月卒業を含む)【確定】

## その他内訳

区分 学部	帰国 (留学生)	家事従事	各種試験準備						未定	左記以外	不明	計 (D)
			教員採用	国家資格	公務員	他学部	大学院	資格取得				
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会情報学部	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0
医学部	医学科	0	0	0	7	0	0	0	0	3	0	0
	保健学科	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0
理工学部	7	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
合 計	7	1	0	9	1	1	1	1	7	0	0	28

## 令和4年度大学院修了生の進路状況(既修了生を含む) 【確定】

上段：R3卒  
下段：R4卒

区分 研究科	修了年度	修了者数 (A)	進学者数						計 (B)	就職者数										計 (C)	就職活動中 (D)	その他 (E) $E=C/(A-B-D) \times 100$
			大学院・専攻科	他大学学部等	研究生等	各種専修学校等	留学	業種別内訳														
								教員						医療機関	企業等	公務員等	自営業					
								幼		小	中	高	特別支援					その他				
教育学研究科	修士課程・専門職学位課程	R3	20	2				2	8	4							1		18		100.0	
	R4	20							7	7	3	2	1					20		100.0		
社会情報学研究科	修士課程	R3	3													2		2	1	100.0		
		R4	11								1					5	1	7	4	100.0		
医学系研究科	修士課程	生命医科学専攻	R3	6	2			2							3	1			4		100.0	
		R4	9	6			6								2			2	1	100.0		
	博士課程	医科学専攻	R3	49	1			1				2	45				1		48		100.0	
			R4	49								4	38	3					45	2	2	95.7
保健学研究科	博士前期課程	保健学専攻	R3	38	6			6			1	18	9	2				30	2	100.0		
			R4	35	3			3			3	23	6					32		100.0		
	博士後期課程	保健学専攻	R3	9							7	2						9		100.0		
			R4	11							5	5						10	1	100.0		
理工学府	博士前期課程		R3	329	8			8							305	7		312	3	6	99.0	
			R4	321	12			12								302	3		305	4	100.0	
	博士後期課程		R3	12											8	1		9	2	1	81.8	
			R4	15								7				7			14	1	100.0	
計			R3	466	19			19	8	4		11	68	325	11	1		432	5	10	98.9	
			R4	471	21			21	7	7	4	2	20	66	325	4		435	2	13	99.5	

## 令和4年度大学院修了生の進路状況(既修了生を含む) 【確定】

## その他内訳

学部	区分	帰国 (留学生)	家事従事	各種試験準備					未定	左記以外	不明	計 (D)
				教員採用	国家資格	公務員	他学部	大学院				
教育学研究科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会情報学研究科		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
医学系研究科	修士 生命医科学	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	博士 医科学	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
保健学研究科	博士前期 保健学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	博士後期 保健学	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
理工学府	博士前期	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	博士後期	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計		11	1	0	0	0	0	1	0	0	0	13

令和4年度専攻科修了生の進路状況【確定】

上段：R3卒  
下段：R4卒

区分 専攻科	修了年度	修了者数 (A)	進学者数						就職者数							就職活動中 (D)	その他 (E)	就職率 (E) E=C/(A-B-D) ×100				
			大学院・専攻	他大学学部等	研究生等	各種専修学校	留学校	計 (B)	業種別内訳										計 (C)			
									教員						医療機関					一般企業	公務員	自営業
									幼	小	中	高	特別支援	その他								
特別支援教育特別専攻科	R3	11							2	2		6				1	11		100.0			
	R4	5						2			3						5		100.0			

令和4年度 学部卒業生の就職先

青字は本社が群馬県内に所在

【教育学部】

■教育

〈幼稚園・認定こども園〉  
(学)山口学園

〈小学校〉

前橋市 高崎市 桐生市 伊勢崎市 太田市 沼田市 館林市 渋川市 富岡市 安中市 みどり市 榛東村 吉岡町 甘楽町 嬬恋村 玉村町  
大泉町 群馬大学共同教育学部附属小学校  
北海道(札幌市) 山形県(山形市) 福島県(いわき市) 茨城県 栃木県(佐野市) 埼玉県(さいたま市 久喜市 熊谷市 坂戸市) 東京都(江東区 東久留米市) 新潟県(十日町市 新発田市) 愛知県 香川県

〈中学校・中等教育学校〉

前橋市 高崎市 桐生市 太田市 沼田市 館林市 渋川市 藤岡市 富岡市 下仁田町 昭和村 玉村町 群馬大学共同教育学部附属中学校  
茨城県(神栖市) 栃木県 埼玉県(本庄市) 長野県

〈特別支援学校〉

県立二葉 県立あさひ 県立桐生 県立太田 県立伊勢崎 都立花畑学園 山梨県立聾学校 富山県立しらとり

〈高等学校〉

県立桐生 県立伊勢崎 県立伊勢崎商業 県立渋川青翠 県立藤岡北 県立富岡 県立吾妻中央 県立大泉 前橋育英 東京農業大学第二 明和県央高等学校  
桐生第一 新島学園中学校・高等学校 北海道((私)北嶺中・高等学校) 兵庫県(県立明石南)

■公務

群馬県  
伊勢崎市  
渋川市  
関東信越国税局 (国家公務員)  
日本年金機構  
国立大学法人信州大学

群馬県警察  
太田市  
藤岡市  
上里町役場  
神奈川県  
陸上自衛隊幹部候補生

前橋市  
館林市  
富岡市  
東京都北区  
(独)情報処理推進機構

■企業・法人等

(株)うすい  
(株)ワンセルフ  
鐘の鳴丘少年の家  
(株)プラスヴォイス  
(株)ディアーズブレイン  
(株)不二ビューティ  
小学館集英社プロダクション  
全国大学生生活協同組合連合会  
(株)アイティフォー  
(株)マリオクリエイティブ  
(株)AIR  
(株)公文教育研究会

(株)ソレイユ  
(株)群馬銀行  
生活協同組合コープぐんま  
(株)ビジョナリーホールディング  
(株)タネトネ  
スマートキッズ(株)  
(株)くすりの窓口  
(株)フィル・カンパニー  
(株)銀座コージーコーナー  
シンプレクス・ホールディングス(株)  
(株)ロビン・インターナショナル

(株)ナブアシスト  
(株)手紙社  
東邦工業(株)  
アデコ(株)  
三井住友トラスト不動産(株)  
東京都国民健康保険団体連合会  
(株)守谷商会  
JFE商事(株)  
大東建託リーシング(株)  
(株)IGA  
(株)オープンハウスグループ



## 【社会情報学部】

## ■公務

群馬県  
太田市  
佐野市  
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構  
神奈川県  
鹿児島県

前橋市  
安中市  
関東信越国税局  
世田谷区  
富士市

高崎市  
みどり市  
財務省関東財務局  
文部科学省  
京都府警察

## ■企業・法人等

(株)GMタイセー  
(株)クライム  
(株)トヨナガ  
(株)ベシア  
(株)ベシアソリューションズ  
(株)ホンダカーズ群馬  
足利小山信用金庫  
(株)DNP情報システム  
(株)DYM  
(株)GSI  
(株)ケー・イー・エルテクニカルサービス  
(株)コミュニケーションデザイン  
(株)さなる  
(株)マイナビ  
(株)ワンゴジュウゴ  
JA三井リース(株)  
SBS東芝ロジスティクス(株)  
パナソニックコネク(株)  
東京海上日動火災保険(株)  
日親電機(株)  
柳田国際法律事務所  
日本発条(株)  
ながの農業協同組合  
アドバンス・ロジスティクス・ソリューションズ(株)  
日本食研ホールディングス(株)

(株)両毛システムズ  
(株)両毛システムズ  
しげる工業(株)  
ニプロ医工(株)  
群栄化学工業(株)  
群馬セキスイハイム(株)  
(株)カインズ  
(株)LITALICO  
(株)NIコンサルティング  
(株)ROLL2  
(株)シー・エス・エス  
(株)システム情報  
(株)チャーム・ケア・コーポレーション  
(株)池田硝子工業所  
(株)日本経済広告社  
UTエイム(株)  
インフォテック山梨(株)  
ブリヂストンソフトウェア(株)  
東日本旅客鉄道(株)  
郵船ロジスティクス(株)  
(株)ハイマックス  
双峰通信工業(株)  
岡谷酸素(株)  
(株)船井総合研究所  
TOTOプラテクノ(株)

(株)群馬銀行  
(株)東和銀行  
(株)日東システムテクノロジーズ  
鹿島エレクトロニクス(株)  
高崎信用金庫  
関彰商事(株)  
ケイアイスター不動産(株)  
(株)SPGホールマン  
(株)アシスト  
(株)エフイーティーブイ  
(株)ニチベイ  
(株)パソナ  
(株)ホロンシステム  
(株)大塚商会  
AMBL(株)  
エーアイテクノロジー(株)  
デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株)  
太陽誘電(株)  
東洋水産(株)  
全国労働者共済生活協同組合連合会  
Tianma Japan(株)  
(株)八十二銀行  
(株)ヴィッツ  
アンダーツリー(株)

## 【医学部 医学科】

## ■医療・福祉業

JCHO群馬中央病院  
伊勢崎市民病院  
公立館林厚生病院  
桐生厚生総合病院  
日高病院  
さいたま赤十字病院  
医療法人徳洲会羽生総合病院  
埼玉メディカルセンター  
埼玉医科大学  
埼玉医科大学国際医療センター  
埼玉県済生会加須病院  
自治医科大学附属さいたま医療センター  
深谷赤十字病院  
草加市立病院  
独立行政法人国立病院機構埼玉病院  
日本赤十字社  
獨協医学大学埼玉医療センター  
水戸済生会総合病院  
獨協医科大学病院  
(独)関東労災病院  
手稲溪仁会病院  
南長野医療センター篠ノ井総合病院  
みなと医療生活協同組合 協立総合病院  
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院  
JCHO吉医療センター

群馬県済生会前橋病院  
公立藤岡総合病院  
公立富岡総合病院  
高崎総合医療センター  
群馬大学医学部附属病院  
杏林大学医学部附属病院  
荏原病院  
関東中央病院  
国際医療福祉大学三田病院  
国立研究開発法人国立国際医療研究センター  
国立病院機構 東京医療センター  
昭和大学病院  
東京都立豊島病院  
東京都立多摩南部地域病院  
東京医科歯科大学医学部附属病院  
東京医科大学八王子医療センター  
東京女子医科大学附属足立医療センター  
東京都立駒込病院  
東京都立広尾病院  
佐渡総合病院  
佐久総合病院  
国際医療福祉大学 熱海病院  
国家公務員共済組合連合会 名城病院  
箕面市立病院  
飯塚病院

※病院名は通称で表記

渋川医療センター  
前橋赤十字病院  
太田記念病院  
利根中央病院  
  
東京都立墨東病院  
立川相互病院  
練馬総合病院  
国保旭中央病院  
順天堂大学医学部附属浦安病院  
小張総合病院  
成田赤十字病院  
総合病院国保旭中央病院  
横浜市立大学附属病院  
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院  
神奈川県済生会横浜市南部病院  
川崎協同病院  
川崎市立井田病院  
足柄上病院  
柏崎総合医療センター  
(医)慈泉会 相澤病院  
浜松医療センター  
(独)国立病院機構名古屋医療センター  
日本赤十字社高松赤十字病院

## 【医学部 保健学科】

## ■公務

群馬県  
館林市  
埼玉県  
新潟県

高崎市  
みどり市  
さいたま市  
新潟市

太田市  
茨城県  
東京都

## ■医療・福祉業

※病院名は通称で表記

JCHO群馬中央病院  
内田病院  
伊勢崎佐波医師会病院  
美原記念病院  
群馬リハビリテーション病院  
石井病院  
群馬大学医学部附属病院  
クエストリウマチ・膠原病内科クリニック  
上尾中央総合病院  
深谷赤十字病院  
八潮中央総合病院  
津田沼中央総合病院  
順天堂大学医学部附属順天堂医院  
東京医科歯科大学病院  
(医)充会  
横浜市立大学附属市民総合医療センター  
横浜市立大学附属病院  
八戸市立市民病院  
仙台市医療センター 仙台オープン病院  
長野県立病院機構  
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター  
井戸田整形外科名駅スポーツクリニック  
順心病院

前橋赤十字病院  
黒沢病院  
伊勢崎福島病院  
榛名荘病院  
剣持整形外科  
群馬県健康づくり財団  
筑波記念病院  
自治医科大学附属病院  
自治医科大学附属さいたま医療センター  
(医)久喜すずのき病院  
熊谷総合病院  
柏たなか病院  
慶應義塾大学病院  
虎の門病院  
(医)横浜平成会  
桜ヶ丘中央病院  
湘南鎌倉総合病院  
山形大学医学部附属病院  
静岡県立静岡がんセンター  
JA長野厚生連佐久総合病院グループ  
(医)立川メディカルセンター  
半田市医師会健康管理センター

日高病院  
伊勢崎市民病院  
老年病研究所附属病院  
東前橋整形外科病院  
沼田脳神経外科循環器科病院  
(医)山育会日新病院  
筑波大学附属病院  
足利赤十字病院  
北里研究所北里大学メディカルセンター  
獨協医科大学埼玉医療センター  
国立がん研究センター東病院  
柏厚生総合病院  
武蔵村山病院  
明理会中央総合病院  
横須賀共済病院  
日本鋼管病院  
北里大学病院  
(公財)磐城済世会松村総合病院  
信州大学医学部附属病院  
富山県リハビリテーション病院  
(独)国立病院機構東海北陸グループ  
新宇都宮リハビリテーション病院

## ■企業・法人等

Brand New合同会社  
シミックヘルスケア・インスティテュート(株)

宗教法人世界平和統一家庭連合  
(株)アルブ

(社福)多摩市社会福祉協議会

## 【理工学部 化学・生物化学科】

## ■教育

〈高等学校〉  
桐生第一高等学校 宇都宮短期大学附属高等学校

## ■公務

群馬県  
桐生市  
熊谷市

群馬県警察  
富岡市  
所沢市

高崎市  
栃木県  
静岡労働局

## ■企業・法人等

群栄化学工業(株)  
(株)原田  
(株)山田製作所  
村櫻石灰工業(株)  
井上スパイス工業(株)  
(株)JACリクルートメント  
(株)アイエスエフネット  
(株)オプサス  
(株)ビーネックスパートナーズ  
デュボン(株)  
WDB(株)  
地方職員共済組合団体共済部  
山本食品工業(株)  
(株)陽進堂

(株)オープンハウス  
(株)キンセイ産業  
(株)東和銀行  
(株)ハーベス  
彩資生(株)  
(株)サンブラネット  
(株)ジェクトワン  
(株)ネオキャリア  
東京海上日動火災保険(株)  
東京機材工業(株)  
伯東(株)  
(株)アップガレージ  
CKCネットワーク(株)

(株)ヨコオ  
(株)環境技研  
(株)深井製作所  
(株)ヤオコー  
(株)ミキモト  
(株)ワールドドインテック  
(株)幻冬舎  
(株)桃屋  
千住金属工業(株)  
日本クッカー(株)  
白十字(株)  
(株)クスリのアオキ  
ローム・ワコー・エレクトロニクス・マレーシア

## 【理工学部 機械知能システム理工学科】

## ■公務

群馬県警察 文部科学省

## ■企業・法人等

(株)キーテクノロジー 北海道旅客鉄道(株) (株)明電舎 オリエンタル白石(株) 東京エレクトロン(株) 新光電気工業(株) (株)ブリッジエンジニアリング	(株)SUBARU (株)アドバンテスト SUBARUテクノ(株) キオクシアシステムズ(株) (株)アマダ (株)アクティブ 川崎重工業ベニックスソリューション(株)	(株)SBI新生銀行 (株)メイテック WDB工学(株) 都築電気(株) シーケー金属(株) (株)ソルト
---	--	--

## 【理工学部 環境創生理工学科】

## ■公務

群馬県 栃木県 経済産業省	高崎市 足利市 宮城県	熊谷市 東京都 静岡県
---------------------	-------------------	-------------------

## ■企業・法人等

(株)マンナンライフ サンデン(株) 岩瀬産業(株) (株)フマキラー JNC(株) 日本水工設計(株) 日本空調システム(株)	(株)両毛システムズ 沖電気工業(株) ニプロ医工(株) (株)リンクス キオクシア(株) 裕幸計装(株) 東北緑化環境保全(株)	アイ・オーエスシステムインテグレーション(株) 佐田建設(株) (株)コスメディア (株)日立プラントコンストラクション 鹿島建設(株) 中日本高速道路(株) (株)神鋼環境ソリューション
--	---	--

## 【理工学部 電子情報理工学科】

## ■公務

群馬県 足利市	館林市 所沢市	下妻市 防衛省
------------	------------	------------

## ■企業・法人等

(株)OKIアイディエス (株)OPENER マクロ(株) マックス(株) (公社)産業安全技術協会 (株)OSK (株)SHIFT (株)SRA (株)パナR&D (株)ホロンシステム (株)メイテック 北陸電力(株) 八十二システム開発(株)	(株)ナブアシスト (株)ヨコオ 太陽誘電(株) (株)日立ソリューションズ東日本 (株)AdvanCE Japan (株)アイ・エス・ビー (株)アイフォース (株)エーアイネットテクノロジー オリエンタル白石(株) マックス(株) ルネサスエレクトロニクス(株) (株)クスリのアオキ スズキ(株)	(株)高崎共同計算センター サンデン(株) 澤藤電気(株) (株)OKIソフトウェア (株)J-POWERハイテック (株)テクノプロ テクノプロ・エンジニアリング社 (株)ニトリ (株)ネクスコ東日本エンジニアリング 永山コンピューターサービス(株) 日本電気(株) 日本電設工業(株) 日置電機(株) (株)ソニック
---	---	--

## 【理工学部 総合理工学科】

## ■公務

吉岡町

## ■企業・法人等

(株)ヤマト 日興リカ(株)	(株)Modis 日本化成(株)	(株)システナ
-------------------	---------------------	---------

## 令和4年度 大学院修了生の就職先

青字は本社が群馬県内に所在

## 【教育学研究科】

## ■教育

〈小学校〉

太田市 沼田市 富岡市 甘楽町 群馬大学共同教育学部附属小学校

〈中学校〉

高崎市 桐生市 館林市 みどり市 榛東村 中之条町 県立中央中等 群馬大学共同教育学部附属中学校

〈高等学校〉

県立太田東 県立大間々

〈特別支援学校〉

県立前橋高等 県立沼田 県立盲学校

## 【社会情報学研究科】

## ■教育

利根沼田学校組合立利根商業高等学校

## ■公務

国土交通省北陸信越運輸局

## ■企業・法人等

太陽誘電(株) ライフネット生命保険(株) (株)CRI中央総研  
(株)エクスペレン コルゲート(中国)

## 【医学系研究科 修士課程 生命医学専攻】

## ■企業・法人等

エイツーヘルスケア(株) (株)新日本科学

## 【医学系研究科 博士課程 医科学専攻】

## ■教育

群馬大学大学院医学系研究科 共愛学園前橋国際大学短期大学部

## ■医療・福祉業

※病院名は通称で表記

群馬県立がんセンター 群馬県立精神医療センター 前橋赤十字病院  
高崎総合医療センター 公立藤岡総合病院 たんぼほクリニック  
群馬大学医学部附属病院 札幌禎心会病院 自治医科大学附属病院  
関東脳神経外科病院 国立がん研究センター東病院 杏林大学医学部付属病院  
富山大学医学部附属病院 Rutgers Robert Wood Johnson University Hospital

## ■企業・法人等

(株)新日本科学

## 【保健学研究科 博士前期課程 保健学専攻】

## ■教育

高崎健康福祉大学 群馬医療福祉大学 太田医療技術専門学校

## ■医療・福祉業

※病院名は通称で表記

群馬県立がんセンター 老年病研究所附属病院 美原記念病院  
上牧温泉病院 (医)石井会渋川伊香保分院 沼田脳神経外科循環器科病院  
せせらぎ病院 群馬大学医学部附属病院 榛名荘病院  
岩手医科大学附属病院 東北大学病院 済生会宇都宮病院  
埼玉県立病院機構 ウィメンズクリニックふじみ野 新松戸中央総合病院  
湘南鎌倉総合病院 (医)善仁会総合健診センターヘルチェック

## ■企業・法人等

(株)ビー・エム・エル GEヘルスケア・ジャパン(株) スタッフサービス・えんじにありんぐ  
ミナリスメディカル(株) キヤノンメディカルシステムズ(株) 東洋紡(株)

## 【保健学研究科 博士後期課程 保健学専攻】

## ■教育

群馬バース大学 群馬県立県民健康科学大学 群馬医療福祉大学  
新潟県立看護大学 名古屋市立大学 埼玉医科大学  
日本医科大学

## ■医療・福祉業

※病院名は通称で表記

老年病研究所附属病院 沼田脳神経外科循環器科病院 群馬大学医学部附属病院

## 【理工学府 博士前期課程 物質・生命工学教育プログラム】

## ■公務

北海道庁

## ■企業・法人等

(株)アイエムエス	(株)ファインテック	ぐんまみらい信用組合
サンヨー食品(株)	しげる工業(株)	群栄化学工業(株)
太陽誘電(株)	日本カーリット(株)	(株)サンブラネット
(株)テクノプロ	東日本三電線(株)	アキレス(株)
シミックCMO(株)	日本ジェネリック(株)	(株)シード
高田製薬(株)	新電元工業(株)	日本地工(株)
べんてる(株)	(株)MBM	アヅマ(株)
出光ファインコンポジット(株)	(株)シノテスト	(株)日立ハイシステム21
古河電気工業(株)	東京応化工業(株)	東芝インフラシステムズ(株)
日本ゼオン(株)	NOK(株)	(株)IDCフロンティア
(株)JCU	(株)カネカ	(株)ダルトン
(株)アドバンテスト	(株)グッドライフ	(株)マーケットエンタープライズ
(株)カトム	(株)ケアリッツ・テクノロジーズ	(株)ユボ・コーポレーション
(株)ワールドインテックR&D事業部	JR貨物(株)	NOK(株)
YKK(株)	いすゞ自動車(株)	ソニーグループ(株)
アキレス(株)	ウシオ電機(株)	テルモ(株)
アクセンチュア(株)	シミックCMO(株)	デンカ(株)
ニテラス(株)	ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ(株)	古河電気工業(株)
マックス(株)	王子ホールディングス(株)	三井化学(株)
ライオン(株)	沖電気工業(株)	三菱化学(株)
三菱総研DCS(株)	昭和産業(株)	大日精化工業(株)
三菱電機(株)	昭和電工(株)	東亜合成(株)
住友ベークライト(株)	信越化学工業(株)	凸版印刷(株)
日清紡(株)	日清紡マイクロデバイス(株)	日鉄ケミカル&マテリアル(株)
日本ケミコン(株)	日本化薬(株)	日本曹達(株)
小松マター(株)	日成ビルド工業(株)	テイカ製薬(株)
(株)イツミ	(株)デイリーはやしや	長野電子工業(株)
科研製薬(株)	ダイニック(株)	進工業(株)
(株)日新化学研究所	ニプロファーマ(株)	ユニチカ(株)
大日本塗料(株)	ウエスタンデジタル合同会社	(株)ノーリツ
三浦工業(株)		

## 【理工学府 博士前期課程 知能機械創製理工学教育プログラム】

## ■企業・法人等

(株)キーテクノロジー	(株)ベイシア 流通技術研究所	(株)ミツバ
(株)岡本工作機械製作所	(株)両毛システムズ	サンデン(株)
しげる工業(株)	マックス(株)	日立ジョンソンコントロールズ空調(株)
澤藤電機(株)	(株)東精エンジニアリング	(株)ナカニシ
(株)DNPエル・エル・アイ・デザイン	住友重機械工業(株)	(株)サンペイ
凸版印刷(株)	(株)NTTデータ・ビジネスインテグラル	(株)PKUTECK
(株)アドバンテスト	(株)やまびこ	(株)日立社会情報サービス
(株)メイテック	(株)小松製作所	(株)不二越
SMC(株)	アルプスアルパイン(株)	ソフトバンク(株)
TDK(株)	いなば食品(株)	ミネベアミツミ(株)
YKKAP(株)	キオクシア(株)	ルネサスエレクトロニクス(株)
(株)ヨコオ	山崎製パン(株)	東京エレクトロン(株)
吉野石膏(株)	川崎重工(株)	東芝デバイス&ストレージ(株)
三菱電機ビルソリューションズ(株)	太陽誘電(株)	東日本高速道路(株)
日東紡績(株)	日本軽金属(株)	日本精工(株)
富士電機(株)	本田技研工業(株)	矢崎総業(株)
(株)日産オートモーティブテクノロジー	dreaMTank(株)	ポッシュ(株)
(株)富士通エフサス	いすゞ自動車(株)	ローム(株)
三菱電機(株)	東芝エネルギーシステムズ(株)	(株)ブルボン
セイコーエプソン(株)	エンケイ(株)	スズキ(株)
プライムアースEVエナジー(株)	ヤマハ発動機(株)	(株)アドバンテスト
(株)マキタ	トヨタ自動車(株)	住友理工(株)
(株)ダイフク	NTN(株)	

## 【理工学府 博士前期課程 環境創生理工学教育プログラム】

## ■公務

みどり市

## ■企業・法人等

(株)ミツバ 太陽誘電ケミカルテクノロジー(株) JR東日本コンサルタンツ(株) デンカ(株) 鹿島建設(株) 清水建設(株) 日本ゼオン(株) 太平洋セメント(株) マクセル(株) パナソニック インダストリー(株) 日本コルマー(株) 住友理工(株)	サンノーバ(株) アイオン(株) いであ(株) 五洋建設(株) 昭和産業(株) 東日本旅客鉄道(株) 日本たばこ産業(株) (株)ニューフレアテクノロジー (株)いけうち ホシデン(株) 鳥栖キユーピー(株)	太陽誘電(株) (株)ニチレキ ショーボンド建設(株) 三菱ケミカルエンジニアリング(株) 信越化学工業(株) 日産化学(株) 日本工営(株) DJK(株) アドバンテック(株) 日東電工(株) (株)mizkan J plus Holdings
--	--	---

## 【理工学府 博士前期課程 電子情報・数理教育プログラム】

## ■公務

群馬県

## ■企業・法人等

(株)OKIソフトウェア (株)アドバンテック (株)両毛システムズ 太陽誘電(株) (株)タムロン (株)クレアビジョン (株)メイテック (株)内田洋行ITソリューションズ NECソリューションイノベータ(株) アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 エイブリック(株) 横河計測(株) 合同会社DMM.com 東芝テック(株) 東日本旅客鉄道(株) 富士通(株) ラピステクノロジー(株) ファナック(株) (株)NTTデータ東海 任天堂(株) マイクロンメモリジャパン(株)	(株)SUBARU (株)ジーシーシー ルネサスエレクトロニクス(株) 三和テック(株) サンケン電気(株) (株)テイクス (株)ラック (株)日立製作所 SONY(株) シャープセミコンダクターイノベーション(株) ベース(株) 三安ジャパンテクノロジー(株) 三菱電機(株) 凸版印刷(株) 日本ヒューレット・パッカード合同会社 理化学工業(株) 東芝エレベータ(株) セイコーエプソン(株) IPEX(株) パナソニック ホールディングス(株) 中航勘察设计研究院	(株)アドテックス (株)スバルITクリエーションズ 沖電気工業(株) 本田技研工業(株) (株)イー・ビジネス (株)テレビ朝日 (株)関電工 ENEOS(株) TDK㈱ ヤマハ発動機(株) 伊藤忠テクノソリューションズ(株) 東海旅客鉄道(株) 東京エレクトロン(株) 日本情報産業(株) 日本電設工業(株) ソニーセミコンダクタソリューションズ(株) 東芝デバイス&エンジニアリング(株) 浜松ホトニクス(株) 京セラ(株) プライムブラネット エナジー&ソリューションズ(株)
---	--	---

## 【理工学府 博士後期課程】

## ■教育

群馬大学高度人材育成センター	成蹊大学	National Institutes of Health (NIH) National Cancer Institute (NCI)
Thuyloi University	Udon Thani Rajabhat University	King Mongkut's University of Technology Thonburi
台州学院(中国浙江省)	揚州大学(中国)	

## ■企業・法人等

TDK(株) 積水化学工業(株)	(株)地層科学研究所	菊水ホールディングス(株)
---------------------	------------	---------------

## 令和4年度 専攻科修了生の就職先

青字は本社が群馬県内に所在

## 【特別支援教育特別専攻科】

## ■教育

〈小学校〉	
みなかみ町	
〈特別支援学校〉	
県立あさひ 高崎市立高崎 都立光明学園	

## 7.1.22 資料 4-1：2022 年度 学生募集広報まとめ

## 2022 年度 学生募集広報まとめ

アドミッションセンター

## 1. &lt;前提として&gt;

- ①アドミッションセンター（旧：広報本部学生受入部門）では 2020 年度から、過去 3 年の本学への志願者数（一般選抜＋特別選抜）に基づいた戦略的かつ具体的な学生募集広報の指針「**高校アプローチ戦略**」（別紙 1）を富山慶典副センター長、宮本俊一 AC（いずれも当時）を中心に策定し、全学としての説明会、模擬授業、高校訪問などを行ってきた。
- ②「**高校アプローチ戦略**」は毎年、年度初めの 4～5 月、最新の入試データをもとに更新・作成し、その年度の「**高校アプローチ戦略**」として活用、高校と本学の良好な関係構築を図り、文部科学省が進める高大接続改革を念頭に、よりよい学生の獲得を目指している。

## 2. &lt;2022 年度の学生募集広報活動について総括&gt;

## ◇大学説明会の大幅な増加

2022 年度の学生募集活動で顕著だったのが、大学説明会対応の大幅な増加である。前年度比 61 校増で 125 校となった。2022 年度は新型コロナウイルス感染症の発生から 4 年目という年であり、125 校のうちオンラインの大学説明会は 43 校と、非対面の説明会が学生募集広報の場でも定着しつつある。

初の取り組みとしては、ホームカミングデー（2022/11/27）において、アドミッションセンターと学生受入課共同で大学説明会と個別相談会を行ったことである。ホームカミングデーのイベントの中で最多の計 114 名を集め、高いニーズを示した。

## ◇アドミッションセンターが提供する模擬授業開設

2023 年 2 月からアドミッションセンターが実施する模擬授業を新たにスタートさせた。講師陣には本学の OB・OG も加え、文理合わせて 11 講座（2023 年 1 月時点）をそろえている。こうしたアドミッションセンターの模擬授業を積極的に行うことで、各学部の負担を減らすとともに、高校側のオフアールにできる限り迅速に対応したい。

## ◇高校への直接配信

2020 年度スタートの全学としての高校訪問や、大学説明会の実施などで本学と直接つながった高校教員の名簿は、2022 年度で約 200 名となった。オープンキャンパス実施のタイミングや学生募集要項公表といった情報はメールで直接送っている。この方法以外にも、アドミッションセンターでは全国の高校に一齐広報できる有料システム（高大コネクトサービス）を取り入れているため、各学部においても、広報したい案件があれば、いつでも連絡いただきたい。

## 3. &lt;具体的な施策&gt;

## 3-1. 主に高校生を対象

種別	開催日	実施内容・回数・参加者数等	実施者
大学説明会 （詳細別紙 2）	通年	延べ 125 校（うちオンライン 43 校） （2021 年度 64 校、2020 年度 51 校）	アドミッショ ンセンター 各学部
模擬授業 （詳細別紙 2）	通年	延べ 49 校（うちオンライン 12 校） （2021 年度 50 校、2020 年度 27 校）	アドミッショ ンセンター 各学部

種別	開催日	実施内容・回数・参加者数等	実施者
夢ナビ(夏期)	7月9日(土)、 10日(日)	・夢ナビライブ 2022Web in Summer ⇒学部教員による、夢ナビ講義 Video・講義 ライブ質問対応・研究室訪問(191名参加) ⇒学生広報大使によるオンラインセミナー (トークライブ)(147名参加)	学生受入課
全学オープン キャンパス GU' DAY2022 (オンライン)	7月20日(水) ～8月2日(火)	4907名(申込者) (2021年度4429名、2020年度2738名)	総務課
学生広報大使 トークライブ (夏期)	7月23日(土)、 24日(日)	GU' DAY2022のオンラインイベントとして学 部ごとに開催 264名(申込者)	総務課
学生広報大使 トークライブ (秋期)	10月10日 (月・祝)	入試目前の受験生をメインターゲットにし たオンラインイベントとして、キャンパスご とに開催 248名(申込者)	総務課
夢ナビ(秋期)	10月15日 (土)、16日 (日)	・夢ナビライブ 2022Web in Autumn ⇒学部教員による、夢ナビ講義 Video・講義 ライブ質問対応・研究室訪問(319名参加) ⇒学生広報大使によるオンラインセミナー (トークライブ)(87名参加)	学生受入課
オンライン個 別進学相談会	10月24日(月) ～10月28日 (金)	関東・北陸・中部・東海地方を中心に46名 参加 (2021年度45名)※2021年度から実施	アドミッショ ンセンター 学生受入課
(初)ホームカ ミングデー	11月27日(日)	・大学説明会(AC) ⇒高校生、保護者計90名参加 ・個別相談会(学生受入課) ⇒高校生、保護者計24名参加	アドミッショ ンセンター 学生受入課

※各学部のオープンキャンパスイベント

種別	開催日	実施内容・回数・参加者数等	実施者
GU' DAY2022 共同教育学部 イベント(WEB)	7月20日(水)、 24日(日)	Zoom 授業体験 (2講義のZoom授業体験 平均30名程の参 加)	共同教育学部
GU' DAY2022 共同教育学部 イベント(来校 型)	8月6日(土)、 7日(日)、18 日(木)	・美術専攻授業体験(※) ・数学専攻ワークショップ(※) ・英語専攻ワークショップ(※) ・音楽専攻演奏会 ・在学生とのフリートーク(※) 【コロナ感染拡大のため、(※)のイベント については、対面からオンライン方式に変更 して実施した。】	共同教育学部
GU' DAY2022 情報学部イベ ント(WEB)	8月1日(月)、 23日(火)	Zoom 授業体験 (2つのZoom授業体験 平均90名程の参加)	情報学部



種別	開催日	実施内容・回数・参加者数等	実施者
GU' DAY2022 医学部医学科 イベント(WEB)	7月22日 (金)・8月2 日(火)	Zoom 授業体験 (2つのZoom授業体験 平均103名程度の参 加)	医学部
GU' DAY2022 医学部医学科 イベント (来校型)	8月15日(月) ~19日(金)	・スキルラボセンター・シミュレータ体験& 研究室見学ツアー (申込者216名、参加者202名)	医学部
GU' DAY2022 医学部保健学 科イベント (WEB)	7月21日 (木)・25日 (月)・8月1 日(月)	Zoom 授業体験 (3つのZoom授業体験 平均41名程度の参 加)	医学部
GU' DAY2022 医学部保健学 科イベント (来校型)	8月9日(火)、 10日(水)	・キャンパスツアー ・Q&A (申込者537名、参加者488名)	医学部
GU' DAY2022 理工学部イベ ント(WEB)	7月30日(土)、 31日(日)	Zoom 授業体験 (4つのZoom授業体験 平均70名程の参加)	理工学部
GU' DAY2022 理工学部イベ ント(来校型)	8月27日(土)、 28日(日)	・キャンパスツアー ・実験教室 ・保護者説明会 ・電動バス外周ツアー (申込者528名、コロナ禍のため抽選の上269 名参加)	理工学部

## 3-2, 主に高校(教員)を対象

種別	開催日	内容	対応・実施者
高校訪問 (詳細別紙2)	通年	主に進路担当教員を対象、16校 (2021年度38校、2020年度67校) ※2021年度からACのみで実施	アドミッショ ンセンター
進学相談会	5月29日(日)	大学入試改革シンポジウム in 富山 高校向け進学相談会 富山県の高校1校参加	アドミッショ ンセンター 学生受入課
入試説明会	6月24日(金)	本学主催オンライン入試説明会 過去3年で志願実績のある高校約1200校に 周知し、79校参加 (2021年度74校、2020年度40校)	アドミッショ ンセンター 学生受入課
本学入試情報 公開	7月7日(火)	高校教員向け入試資料等を本学web公開 過去3年に志願実績のある高校約1200校へ 案内通知	アドミッショ ンセンター 学生受入課
入試説明会	8月16日(火)	東京・多摩地区高校向けオンライン入試説明 会 都立高校中心に39校参加	アドミッショ ンセンター
入試説明会	12月23日(金)	静岡向けオンライン入試説明会 静岡県の高校20校参加	アドミッショ ンセンター

## 3-3. 情報の発信、送付

実施日	内容	対象	対応
通年	オンライン入試説明会、オープンキャンパス、学生募集要項公表等の情報をメールで随時送信	高校訪問等の現場で名刺交換した高校教員約 180 名	アドミッションセンター
通年	オープンキャンパス、選抜要項公表、学生募集要項公表等の情報をメールで直接随時送信	6月24日のオンライン入試説明会に参加した高校 79 校	アドミッションセンター
通年	「高大コネクタサービス」で、オンライン入試説明会、オープンキャンパス、学生募集要項公表等の情報を随時配信	過去 3 年間で志願実績のある高校約 1200 校	アドミッションセンター
通年	オープンキャンパス、学生募集要項公表等の情報を理工学部公式 LINE で送信	理工学部公式 LINE 友達登録済 465 アカウント	理工学部
4 月	群馬大学案内 2023 の送付	過去 3 年で志願実績のある高校約 1200 校の進路担当教員	アドミッションセンター
7 月	オープンキャンパス GU' DAY2022 告知 DM	「スタディサプリ進路」登録者に向け、GU' DAY2022 の告知（配信範囲 関東エリア 1 都 6 県、高 1~3、男女、4 年生大学志望者） 偏差値帯で高校を選別し、約 7000 通配信	総務課
1 月	from ページ「入試直前激励号」チラシ同梱	首都圏エリア（東京、埼玉、神奈川、千葉）の高校 3 年生及び高卒生 86,000 名へ発送	理工学部
1 月	from ページ「入試直前激励号」広告掲載	全国の高校 3 年生及び高卒生を対象に、40 万部を発送	理工学部

## 3-4. 有料広告案件

実施日	媒体名	内容	規格・部数等	対応
4月1日～ (2021年度から契約更新)	JR 桐生駅電 照看板	理工学部改組紹介	JR 桐生駅に電照看板設置	理工学部
4月1日～ (2021年度から契約更新)	太田駅電照 看板	理工学部改組紹介	太田駅に電照看板設置	理工学部
7 月	生活情報誌 桐生みどり フリモ 7 月号	オープンキャンパス GU' DAY2022 告知 (理工学部イベント含む)	50,000 部発行 世帯カバー率 70%	理工学部

実施日	媒体名	内容	規格・部数等	対応
10月1日(金)	長野県民新聞別冊（「近隣県の大学特集」）	大学概要、SNS等の紹介	・発行部数4万部 ・長野県の全高校2、3年生に、高校を通して直接配布	アドミッションセンター

※大学説明会、模擬授業等の件数はデータブレイン「高校アプローチ管理」から集計（延べ数）

## 7.1.23 資料 4-2：2022 年度 高大連携まとめ

## 2022 年度 高大連携まとめ

アドミッションセンター

## 1. &lt;前提として&gt;

## 高大連携の考え方

## 1-1. 高大連携とは？

高大連携とは広義にとらえると「大学が高校との接点を有するすべての活動」であり、この場合は学生募集広報も含まれる。狭義にとらえる場合は、①「高校発の高大連携プログラムに大学として対応していくタイプ」、②「大学発の高大連携プログラムに高校側を応じさせていくタイプ」が考えられる。①には例えば「総合的な探究の時間」にかかわる高校からの要望に応えること、②には例えば総合型選抜につながる入試設計やアドミッションセンターが提供する模擬授業などが含まれる。

## 1-2. 本学の高大連携におけるスタンス

本学としてはマンパワーや予算などを勘案し、当面は狭義のスタンスで高大連携をとらえ、文部科学省や高校の動向を踏まえた上で柔軟に対応していきたい。

## 2. &lt;2022 年度の高大連携について総括&gt;

◇2021 年度に比べ、2022 年度は探究の時間に関する依頼が大幅に増加した。

(依頼高校数 5 校⇒9 校、大学教員インタビュー件数 19 件⇒39 件)

◇全学の方針や作業フローを策定したことで、対応がスムーズかつ効率的になった。

◇高校から依頼を受ける際にまず担当教諭と面談をするようにしたことで、高校の依頼を単に受けるだけでなく大学側の意見を伝える場を設けた。

## 3. &lt;具体的な施策&gt;

## 3-1. 高校からの依頼相談対応

日付	高校名	相談内容	対応者
7月14日	群馬県立太田高校	大学教員へのインタビューについて	富山、宮本、飯塚
7月15日	群馬県立富岡高校	中間報告会への大学教員派遣について	富山、宮本、飯塚
8月31日	明和県央高校	高校における探究活動の内容、次年度の協力について	富山、飯塚
2月2日	樹徳高校	模擬授業実施、大学教員へのインタビュー、学生及び教員の派遣について	富山、宮本、飯塚

## 3-2. 大学生の高校への派遣

総合的な探究の時間に本学の学生が参加し、高校生の探究活動に対する指導助言を行うもの。

高校名	内容	参加学生
群馬県立高崎北高校	授業（年4回）と中間報告会における生徒への指導助言	2名
群馬県立高崎女子高校	探究活動発表会での講評	鳥羽虹帆（共同教育3年） 清水もも花（理工3年）

## 3-3. 大学教員へのインタビュー

高校生が自身の探究活動について大学教員にインタビューを行うもの。（詳細は別紙1のとおり）

高校名	群馬県立太田高校、群馬県立高崎北高校、群馬県立高崎女子高校、 群馬県立中央中等教育学校、高崎経済大学附属高校、札幌開成中等教育学校	
依頼件数 (うち対応件数) ※詳細は別紙参照	共同教育	8 (6)
	情報	8 (8)
	医学	7 (5)
	保健	4 (3)
	理工	11 (11)
	次世代モビリティ	1 (1)

## 3-4. 大学教員の派遣

総合的な探究の時間（SSH含む）に本学の教員が参加し、高校生の探究活動に対する指導助言を行う。

高校名	実施内容	対応教員	学部等
市立太田高校	講義	荒木幹也、板橋英之、黒田真一	理工
群馬県立 太田工業高校	生徒の課題探究活動に対する アドバイス2件	茂木和弘	理工
群馬県立桐生高校	各種講義演習、探究テーマ についての指導助言、校内 発表会における指導講評等 13件	日置英彰（教）、 海野雅史、天谷賢児、天羽雅昭、石間経章、金井昌 信、高橋学、田中勇樹、中沢信明、野田玲治、茂木和 弘、本島邦之、山田功、山延健、弓仲康史、吉原利忠 （理）、 大澤研二（名誉教授・理）	教育 医学 理工
	群大桐高科学教育検討会	天羽雅昭、奥津哲夫、園山正史、松原雅昭（理）	
	SSH運営指導委員	村上正巳（医）	
群馬県立 桐生工業高校	専門学科講師による講義	山田功（理）	理工

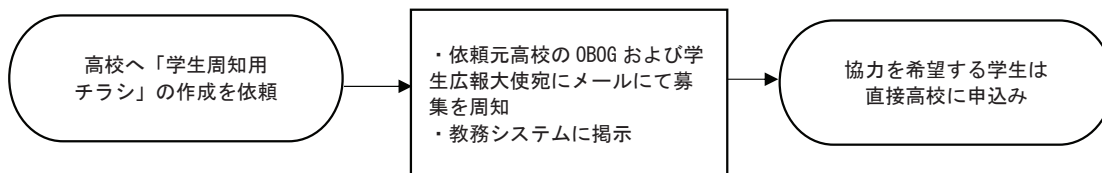
高校名	実施内容	対応教員	学部等
群馬県立高崎高校	専門講座 社会人講師授業 SSH 運営指導委員	片山佳代子（情）、青木悠樹（数）、中村賢治（数）、 徳江浩之（医） 板橋英之（理・AC）、栗原淳一（教・AC）	教育 情報 医 理工 数理 C AC
群馬県立高崎女子高校	探究活動発表会における指導講評	栗原淳一（教・AC）、弓仲康史（理）	教育 理工 AC
群馬県立中央中等教育学校	課題研究発表会での指導講評	杉山学（情）	情報
群馬県立富岡高校	探究活動発表会における指導講評 2 件	板橋英之（理・AC）、富山慶典（AC）、山田敏幸（教）、弓仲康史（理）、中沢信明（理）、田中勇樹（理）	教育 理工 AC
群馬県立前橋高校	講義、見学、交流会、探究活動発表会における指導講評 4 件 SSH 運営指導委員	板橋英之（理・AC）、天羽雅昭（理）、尾崎純一（理）、弓仲康史（理）、青木悠樹（数） 日置英彰（教）、鯉淵典之（医）、中村洋介（理）	教育 医 理工 数理 C AC
群馬県立前橋女子高校	探究活動発表会における指導講評、SSH 運営指導委員	太田直哉（情）、佐野史（教）	教育 情報

### 3-5. アドミッションセンターが提供する模擬授業

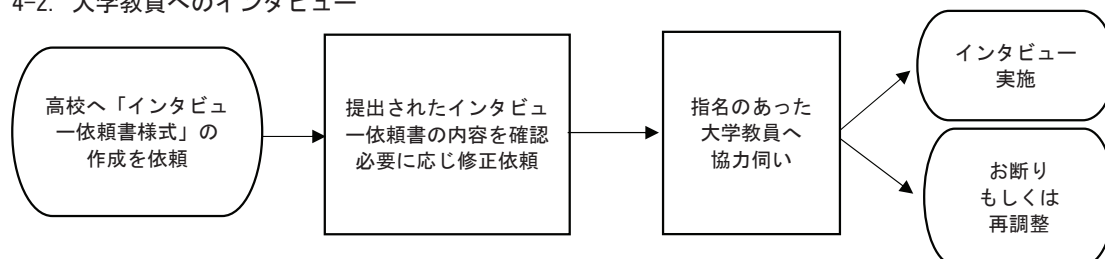
樹徳高校から「探究テーマを決めるための授業」の実施について相談があり、現在対応中。

## 4. <参考>（対応フローチャート）

### 4-1. 大学生の高校への派遣

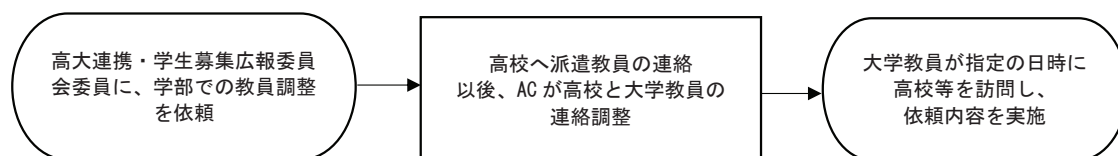


## 4-2. 大学教員へのインタビュー

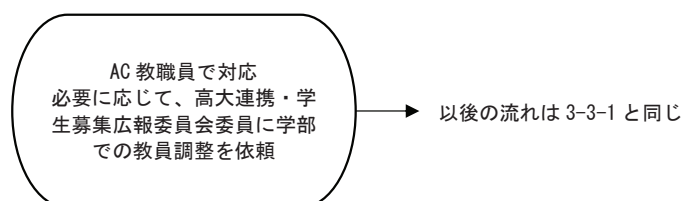


## 4-3. 大学教員の派遣

## 4-3-1. 専門性について希望がある場合



## 4-3-2. 専門性等について希望が無い場合



## 7.1.24 資料4-3:「夢ナビライブ2022Web in Summer」参加報告(アドミッションセンター・高大連携・学生募集広報委員会(令和4(2022)年9月13日開催)【資料5-1】)

### 「夢ナビライブ2022Web in Summer」参加報告

2022年9月

「夢ナビライブ2022Web in Summer」は2022年7月9日(土)・10日(日)の2日間、オンライン開催された(参加者実数55,842名)。

群馬大学は、7月9日(土)と7月10日(日)に「講義ライブ質問対応・研究室訪問」と7月9日(土)に「オンラインセミナー」の2つのイベントに参加した。

#### 1. 講義ライブ質問対応・研究室訪問

2名の教員が、Zoomミーティングスタイルで実施。『講義ライブ(夢ナビ講義Video)』(6月24日～7月10日オンデマンド配信)を視聴し学問に関心を高めた高校生が大学をより身近に感じるように、また、高校生からの質問に対応しながら、研究室を紹介した。

##### ●共同教育学部 大島みずき 准教授

【テーマ】子どもの視点で世界を捉えようー教育の中の発達心理学

【実施回数】3回(7月10日)

4時限目(12:30～13:00)、6時限目(14:10～14:40)、8時限目(15:50～16:20)

【参加者数】114名(詳細は別紙のとおり)

【参考】大島准教授の紹介ページ

<https://douga.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2022001485?back=>

##### ●医学部保健学科 田中浩二 准教授

【テーマ】高齢者の社会参加を支援する

【実施回数】3回(7月9日)

4時限目(12:30～13:00)、6時限目(14:10～14:40)、8時限目(15:50～16:20)

【参加者数】77名(詳細は別紙のとおり)

【参考】田中准教授の紹介ページ

<https://douga.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2022001586?back=>

#### 2. オンラインセミナー

4名の学生広報大使が、Zoomミーティングスタイルで「学生広報大使トークライブ」を実施。高校生からチャットで寄せられた質問に答えながら、大学生活のリアルな実態を伝えた。



【テーマ】 学生広報大使トークライブ「Youは何しにグンダイへ!？」

【実施回数】 2回 4時限目(12:30～13:00)、5時限目(13:20～13:50)

【出演学生】

情報学部 1名(2年)

医学部保健学科 1名(1年)

医学部保健学科 1名(2年)

医学部保健学科 1名(3年)

【参加者数】 147名(詳細は別紙のとおり)

## 7.1.25 資料4-4:「夢ナビライブ2022Web in Autumn」参加報告(アドミッションセンター・高大連携・学生募集広報委員会(令和4(2022)年11月16日開催)【資料4-1】)

### 「夢ナビライブ2022Web in Autumn」参加報告

2022年12月

「夢ナビライブ2022Web in Autumn」は2022年10月15日(土)・16日(日)の2日間、オンライン開催された(参加者実数40,708名)。

群馬大学は、10月15日(土)に「講義ライブ質問対応・研究室訪問」と10月16日(日)に「オンラインセミナー」の2つのイベントに参加した。

#### 1. 講義ライブ質問対応・研究室訪問

3名の教員が、Zoomミーティングスタイルで実施。『講義ライブ(夢ナビ講義Video)』(9月29日～10月25日オンデマンド配信)を視聴し学問に関心を高めた高校生が大学をより身近に感じるように、また、高校生からの質問に対応しながら、研究室を紹介した。

##### ●情報学部 高橋康博 准教授

【テーマ】現在の不可能を可能にする量子コンピュータ

【実施回数】3回(10月15日)

4時限目(12:30～13:00)、6時限目(14:10～14:40)、8時限目(15:50～16:20)

【参加者数】87名(詳細は別紙のとおり)

【参考】高橋准教授の紹介ページ

<https://dougayumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2022001753?back=>

##### ●医学部医学科 登坂雅彦 准教授

【テーマ】進化する脳神経外科学

【実施回数】3回(10月15日)

6時限目(14:10～14:40)、7時限目(15:00～15:30)、9時限目(16:40～17:10)

【参加者数】137名(詳細は別紙のとおり)

【参考】登坂准教授の紹介ページ

【参考】登坂准教授の紹介ページ  
<https://dougayumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2022001996?back=>

<https://dougayumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2022001996?back=>

##### ●理工学部 本島邦行 教授

##### ●理工学部 本島邦行 教授

【テーマ】電波を用いた地震予知への挑戦

【実施回数】3回(10月15日)

【実施時限目】3時限目(14:10～14:40)、8時限目(15:50～16:20)、9時限目(16:40～17:10)

6時限目(14:10～14:40)、8時限目(15:50～16:20)、9時限目(16:40～17:10)

【参加者数】95名（詳細は別紙のとおり）

【参考】本島教授の紹介ページ

<https://douga.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2022001752?back=>

## 2. オンラインセミナー

6名の学生広報大使が、Zoom ミーティングスタイルで「学生広報大使トークライブ」を実施。高校生からチャットで寄せられた質問に答えながら、大学生活のリアルな実態を伝えた。

【テーマ】学生広報大使トークライブ「Youは何しにグンダイへ!？」

【実施回数】2回 1時限目(10:00~10:30)、2時限目(10:50~11:20)

【出演学生】

- ・ 共同教育学部技術専攻 1名（1年）
- ・ 情報学部 1名（2年）
- ・ 医学部保健学科看護学専攻 2名（1年）
- ・ 理工学部物質・環境類 1名（1年）
- ・ 理工学部化学・生物化学科 1名（3年）

【参加者数】87名（詳細は別紙のとおり）

7.1.26

資料 5-1-1：令和4年度 荒牧・昭和地区学生定期健康診断日程表

令和4年度学生定期健康診断日程表（荒牧・昭和地区）

【在学生】 ※予約制(人数枠)

日数	月日	9:00~9:20 (35名)	9:20~9:40 (35名)	9:40~10:00 (35名)	10:00~10:20 (35名)	10:20~10:40 (35名)	10:40~11:00 (35名)	11:00~11:20 (35名)	11:20~11:40 (35名)	13:00~13:20 (35名)	13:20~13:40 (35名)	13:40~14:00 (35名)	14:00~14:20 (35名)	14:20~14:40 (35名)	14:40~15:00 (35名)	15:00~15:20 (35名)	15:20~15:40 (35名)	15:40~16:00 (35名)	16:00~16:20 (35名)	合計人数 2,380名
1	3/31(木)	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	595
2	4/1(金)	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	595
3	4/4(月)	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	595
4	4/5(火)	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	595

【新入生】

日数	月日	9:00~9:20 (35名)	9:20~9:40 (35名)	9:40~10:00 (35名)	10:00~10:20 (35名)	10:20~10:40 (35名)	10:40~11:00 (35名)	11:00~11:20 (35名)	11:20~11:40 (35名)	13:00~13:20 (35名)	13:20~13:40 (35名)	13:40~14:00 (35名)	14:00~14:20 (35名)	14:20~14:40 (35名)	14:40~15:00 (35名)	15:00~15:20 (35名)	15:20~15:40 (35名)	15:40~16:00 (35名)	16:00~16:20 (35名)	合計人数 1,260名	
1	4/6(水)	共同教育学部1年										情報学部1年		医学部医学科1年		医学部保健学科(看護)1年		610			
2	4/7(木)	医学部保健学科(検査)1年		医学部保健学科(理学)1年		理工学部(物質・環境類)1年		理工学部(物質・環境類)1年		理工学部(物質・環境類)1年		理工学部(電子・機械類)1年		社会学部3年次編入生		医学部医学科2年次編入		大学院(教育学)1年 大学院(医学系)1年 特別支援教育特別専攻科 大学院(保健学)1年 大学院(社会情報学)1年 外国人留学生(研究生、聴講生、交換留学生など)		650	

- 1) 健康診断項目: 身体計測(自己申告)、視力計測(自己申告)、血圧測定、尿検査、胸部X線撮影、内科診察(該当者のみ)。
- 2) 健康診断会場: 健康支援総合センター、基幹棟
- 3) 健康診断を受けないと健康診断書の発行はできません。

## 7.1.27

## 資料 5-1-2：令和4年度 桐生地区学生定期健康診断日程表

## 令和4年度学生定期健康診断（桐生地区）

## 【在校生】 ※予約制（人数枠）

日数	月日	9:00~9:20	9:20~9:40	9:40~10:00	10:00~10:20	10:20~10:40	10:40~11:00	11:00~11:20	11:20~11:40	13:00~13:20	13:20~13:40	13:40~14:00	14:00~14:20	14:20~14:40	14:40~15:00	15:00~15:20	15:20~15:40
1	3/28 (月)									35	35	35	35	35	35	35	35
2	3/29 (火)	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
3	3/30 (水)	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
4	3/31 (木)	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35

## 【新入生】

日数	月日	9:00~9:20	9:20~9:40	9:40~10:00	10:00~10:20	10:20~10:40	10:40~11:00	11:00~11:20	11:20~11:40	13:00~13:20	13:20~13:40	13:40~14:00	14:00~14:20	14:20~14:40	14:40~15:00
1	4/9 (土)									理工学部 3年次編入生 (35名)	理工学部 博士後期課程 1年 (35名)	理工学部 博士前期課程1年 (35名)	理工学部 博士前期課程1年 (35名)	理工学部 博士前期課程1年 (25名)	理工学部 博士前期課程1年 (25名)

- 1) 健康診断項目：既往歴，身体計測（自己申告），視力計測（自己申告），血圧測定，尿検査，胸部X線撮影，内科診察（該当者のみ）
- 2) 健康診断会場：大講義室（講義棟）
- 3) 健康診断を受けないと健康診断書の発行はできません。

## 7.1.28 資料 5-2-1：令和4年度 学生定期健康診断受検状況（荒牧・昭和地区）

	対象者数	血圧測定		尿検査		胸部X線撮影	
		受検者数	受検率	受検者数	受検率	受検者数	受検率
学部合計	3,344	2,941	87.9%	2,841	85.0%	2,932	87.7%
大学院等の合計	421	125	29.7%	121	28.7%	124	29.5%
<b>合計</b>	<b>3,765</b>	<b>3,066</b>	<b>81.4%</b>	<b>2,962</b>	<b>78.7%</b>	<b>3,056</b>	<b>81.2%</b>

対象者数は令和4年4月1日現在の学生数とし休学者は除いた。

受検率は小数点第二位を四捨五入

上記の他に、下記の20名が受検した。

教育学部特別聴講学生2名、社会情報学部研究生1名・特別聴講学生2名、医学部研究生1名  
理工学部14名【2年7名、4年3名、大学院理工学部1年1名、大学院理工学部2年3名】

今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、身体測定、視力測定は自己申告とした。

## &lt;学部学生&gt;

	対象者数	血圧測定		尿検査		胸部X線撮影			
		受検者数	受検率	受検者数	受検率	受検者数	受検率		
共同教育学部	1年	203	203	100%	201	99.0%	203	100%	
	2年	200	164	82.0%	155	77.5%	163	81.5%	
	3年	202	179	88.6%	171	84.7%	179	88.6%	
教育学部	4年	236	189	80.1%	177	75.0%	189	80.1%	
<b>合計</b>	<b>841</b>	<b>735</b>	<b>87.4%</b>	<b>704</b>	<b>83.7%</b>	<b>734</b>	<b>87.3%</b>		
情報学部	1年	171	167	97.7%	167	97.7%	165	96.5%	
	2年	182	138	75.8%	132	72.5%	138	75.8%	
社会情報学部	3年	120	91	75.8%	84	70.0%	91	75.8%	
	4年	128	95	74.2%	92	71.9%	95	74.2%	
<b>合計</b>	<b>601</b>	<b>491</b>	<b>81.7%</b>	<b>475</b>	<b>79.0%</b>	<b>489</b>	<b>81.4%</b>		
医学部	医学科	1年	122	117	95.9%	112	91.8%	117	95.9%
		2年	136	117	86.0%	112	82.4%	117	86.0%
		3年	127	94	74.0%	89	70.1%	94	74.0%
		4年	113	80	70.8%	71	62.8%	80	70.8%
		5年	128	120	93.8%	116	90.6%	118	92.2%
		6年	131	117	89.3%	108	82.4%	115	87.8%
	<b>合計</b>	<b>757</b>	<b>645</b>	<b>85.2%</b>	<b>608</b>	<b>80.3%</b>	<b>641</b>	<b>84.7%</b>	
	保健学科	1年	163	158	96.9%	158	96.9%	158	96.9%
		2年	159	142	89.3%	133	83.6%	142	89.3%
		3年	163	145	89.0%	140	85.9%	145	89.0%
4年		159	152	95.6%	150	94.3%	151	95.0%	
<b>合計</b>	<b>644</b>	<b>597</b>	<b>92.7%</b>	<b>581</b>	<b>90.2%</b>	<b>596</b>	<b>92.5%</b>		
<b>合計</b>	<b>1,401</b>	<b>1,242</b>	<b>88.7%</b>	<b>1,189</b>	<b>84.9%</b>	<b>1,237</b>	<b>88.3%</b>		
理工学部	1年	501	473	94.4%	473	94.4%	472	94.2%	
<b>学部合計</b>	<b>3,344</b>	<b>2,941</b>	<b>87.9%</b>	<b>2,841</b>	<b>85.0%</b>	<b>2,932</b>	<b>87.7%</b>		

## &lt;大学院学生&gt;

	対象者数	血圧測定		尿検査		胸部X線撮影				
		受検者数	受検率	受検者数	受検率	受検者数	受検率			
教育学研究科	1年	22	5	22.7%	5	22.7%	5	22.7%		
	2年	20	0	0%	0	0%	0	0%		
教育学部特別支援教育特別専攻科	6	3	50.0%	3	50.0%	3	50.0%			
<b>合計</b>	<b>48</b>	<b>8</b>	<b>16.7%</b>	<b>8</b>	<b>16.7%</b>	<b>8</b>	<b>16.7%</b>			
社会情報学研究科	修士課程	1年	16	12	75.0%	12	75%	12	75.0%	
		2年	15	6	40.0%	6	40.0%	5	33.3%	
	<b>合計</b>	<b>31</b>	<b>18</b>	<b>58.1%</b>	<b>18</b>	<b>58.1%</b>	<b>17</b>	<b>54.8%</b>		
医学研究科	修士課程	1年	11	9	81.8%	9	81.8%	9	81.8%	
		2年	9	6	66.7%	6	66.7%	6	66.7%	
		博士課程	1年	37	11	29.7%	9	24.3%	11	29.7%
			2年	34	8	23.5%	8	23.5%	8	23.5%
	3年		44	8	18.2%	8	18.2%	8	18.2%	
	4年		88	16	18.2%	15	17.0%	16	18.2%	
	<b>合計</b>	<b>223</b>	<b>58</b>	<b>26.0%</b>	<b>55</b>	<b>24.7%</b>	<b>58</b>	<b>26.0%</b>		
	保健学専攻	博士前期課程	1年	37	22	59.5%	21	56.8%	22	59.5%
			2年	49	15	30.6%	15	30.6%	15	30.6%
		博士後期課程	1年	11	2	18.2%	2	18.2%	2	18.2%
2年			8	1	12.5%	1	12.5%	1	12.5%	
3年			14	1	7.1%	1	7.1%	1	7.1%	
<b>合計</b>	<b>119</b>	<b>41</b>	<b>34.5%</b>	<b>40</b>	<b>33.6%</b>	<b>41</b>	<b>34.5%</b>			
<b>合計</b>	<b>342</b>	<b>99</b>	<b>28.9%</b>	<b>95</b>	<b>27.8%</b>	<b>99</b>	<b>28.9%</b>			
<b>大学院の合計</b>	<b>421</b>	<b>125</b>	<b>29.7%</b>	<b>121</b>	<b>28.7%</b>	<b>124</b>	<b>29.5%</b>			

## 7.1.29 資料 5-2-2：令和4年度 学生定期健康診断受検状況（桐生地区）

令和4年度 学生定期健康診断受検状況（桐生地区）

区 分		対象者数	血圧測定		尿検査		胸部X線撮影		
			受検者数	受検率	受検者数	受検率	受検者数	受検率	
理 工 学 部	2年	502	373	74.3%	359	71.5%	373	74.3%	
	3年	606	403	66.5%	384	63.4%	402	66.3%	
	4年	544	282	51.8%	268	49.3%	282	51.8%	
	合計	1,652	1,058	64.0%	1,011	61.2%	1,057	64.0%	
大 学 院 理 工 学 府	修 士 課 程	1年	349	265	75.9%	257	73.6%	264	75.6%
		2年	335	256	76.4%	254	75.8%	255	76.1%
		合計	684	521	76.2%	511	74.7%	519	75.9%
	博 士 課 程	1年	22	8	36.4%	8	36.4%	8	36.4%
		2年	20	7	35.0%	7	35.0%	7	35.0%
		3年	42	14	33.3%	14	33.3%	13	31.0%
		合計	84	29	34.5%	29	34.5%	28	33.3%
	大学院合計		768	550	71.6%	540	70.3%	547	71.2%
合 計		2,420	1,608	66.4%	1,551	64.1%	1,604	66.3%	

対象者数は令和4年4月1日現在の学生数とし休学者は除いた。

受検率は小数点第2位を四捨五入

上記の他に、理工学部1年生2名、研究生10名が受検した。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、身体測定、視力測定は自己申告とし、尿検査は外注で実施した。

## 7.1.30 資料 5-3：令和4年度 学生定期健康診断結果

## 令和4年度 学生定期健康診断結果

※新型コロナウイルス感染症の影響で、健診項目の身体測定と視力測定は自己申告、内科診察はこれまで異常を指摘されたことがある学生のみとした。

## (1)身体測定

	受検者数	結 果									
		やせ				正常				肥満	
		BMI 17.0以下		BMI 17.1～18.4		BMI 18.5～24.9		BMI 25.0～29.9		BMI 30.0以上	
人数	%	数	%	数	%	数	%	数	%		
共同教育・教育学部	743	15	2.0%	67	9.0%	571	76.9%	77	10.4%	13	1.7%
情報・社会情報学部	509	21	4.1%	50	9.8%	397	78.0%	33	6.5%	8	1.6%
医学部	1,341	22	1.6%	125	9.3%	1,089	81.2%	93	6.9%	12	0.9%
理工学部	473	18	3.8%	61	12.9%	359	75.9%	27	5.7%	8	1.7%
合 計	3,066	76	2.5%	303	9.9%	2,416	78.8%	230	7.5%	41	1.3%

## (2)血圧測定

## 1)一次検査

	受検者数	結 果			
		正常血圧		高血圧疑い	
		人数	%	数	%
共同教育・教育学部	743	735	98.9%	8	1.1%
情報・社会情報学部	509	505	99.2%	4	0.8%
医学部	1,341	1,336	99.6%	5	0.4%
理工学部	473	466	98.5%	7	1.5%
合 計	3,066	3,042	99.2%	24	0.8%

## 2)二次検査

	対象者数	結 果			
		正常血圧	経過観察	医療機関紹介	未受検
共同教育・教育学部	8	7			
情報・社会情報学部	4	3			
医学部	5	5			
理工学部	7	7			
合 計	24	22	0		

## (3)尿検査

## 1)一次検査

	受検者数	結 果		陽性項目内訳				
		陽性者数	%	蛋白	潜血	蛋白・潜血	潜血・糖	糖
共同教育・教育学部	712	14	2.0%	1	11	0		
情報・社会情報学部	493	9	1.8%	0				
医学部	1,284	28	2.2%	1	22	4		
理工学部	473	13	2.7%	1	11	0		
合 計	2,962	64	2.2%	3	53	4		

## 2)二次検査

	対象者数	結 果				医療機関紹介結果				備 考
		異常なし	蛋白陽性	潜血陽性	糖陽性	未受検	異常なし	経過観察	要治療	
共同教育・教育学部	14	11	0							糖尿病1名
情報・社会情報学部	9	8								
医学部	28	21	0							
理工学部	13	8								
合 計	64	48	0							

## (4)胸部X線間接撮影検査

	受検者数	要 精 査		医療機関紹介結果				
		人数	%	異常なし	経過観察	要治療	結果報告なし	備考
共同教育・教育学部	742	4	0.5%	0				脊柱側弯症4名
情報・社会情報学部	506	2	0.4%	0				脊柱側弯症2名
医学部	1,336	15	1.1%	2	7			脊柱側弯症12名
理工学部	472	2	0.4%	0				脊柱側弯症2名
合 計	3,056	23	0.8%	2	12	0	9	

## (5)内科診察

	受検者数	心雑音		医療機関紹介結果		
		人数	%	異常なし	経過観察	要治療
共同教育・教育学部	59	1	1.7%	1		
情報・社会情報学部	25	0	0%	0		
医学部	71	2	2.8%	1		
理工学部	11	0	0%	0		
合 計	166	3	1.8%	2	1	0



## 7.1.31 資料 5-4：令和4年度 精神保健調査結果

## 令和4年度 精神保健調査結果

## (1) 新入生の精神保健調査

昨年まで学生健康診断時に提出した「健康状態記録票」内の「メンタルヘルス質問票」を基に要面接者を抽出していたが、今年度よりオンラインでの回答とし、回答データを基に要面接者を抽出し、センター常勤医師が面接を行った。（対象学生は、各学部1年生とし、編入生（社会情報学部・医学部・理工学部）を含めた。）

	対象学生数	要 面 接		面接をうけた学生数	結 果						
		人数	%		随時の相談を推奨	カウンセリング継続	カウンセリング継続および学生支援センター紹介	学生支援センター紹介	医療機関紹介	カウンセリング継続および医療機関	通院中
共同教育学部	200	6	3.0%	1	1	0	0	0	0	0	
情報学部	190	1	0.5%	0	0	0	0	0	0	0	
医学部	281	3	1.1%	3	1	1	1	1	0	0	
理工学部	514	12	2.3%	3	1	0	0	0	2		
合 計	1,185	22	1.9%	7	3	1	1	1	2		

※これまでに精神科、心療内科、神経科に通院歴あり:56名(4.7%)

## (2) 在学生の精神保健調査

学生健康診断予約時に入力した「メンタルヘルス質問票」を基に要面接学生を抽出し、センター常勤医師が面接を行った。（対象学生は、質問票に入力した学生とした。）

	対象学生数	要 面 接		面接をうけた学生数	結 果						
		人数	%		随時の相談を推奨	カウンセリング継続	カウンセリング継続および学生支援センター紹介	学生支援センター紹介	医療機関紹介	カウンセリング継続および医療機関	通院中
共同教育・教育学部	586	22	3.8%	10	4	3	0	0	1	1	0
情報・社会情報学部	408	6(1)	1.5%	2	0	1	1	0	0	0	0
医学部	1,091	9	0.8%	3	0	0	1	1	0	0	1
理工学部	1,775	38(9)	2.1%	7	3	2	1	1	0	0	0
合 計	3,860	75(10)	1.9%	22	7	6	3	2	1	1	1

注：( )は、通院中またはカウンセリング中にて、面接を除外した学生数で内数

※これまでに精神科、心療内科、神経科に通院歴あり:319名(8.3%)

## (3) 追記

## 質問内容

平成29年度から、新入生用と在学生用の違いをなくし、33項目版に一本化して、抑うつ状態、気分変動、精神病像、食行動異常、生活支障度、相談希望、既往歴等をスクリーニングしている。

## 結果の分析

対象学生数は、新入生(1,185名;前年1,203名)、在学生(3,860名;前年3,892名)である。コロナ禍が進む中、一昨年からWEB上での問診票回答へと変更しており、一昨年は全学生数の2/3の回答率であったが、昨年、今年と若干、回答数が増えている。それでも従来の紙媒体のときと比べて回答率は低いため、今後はより積極的に回答を呼びかけていく予定である。要面接者(スクリーニング陽性者)の割合は、新入生は従来の1%台から昨年には3.9%と急増したが、今年度はほぼ例年並みの水準に戻りつつある(47名→22名)。在学生はあまり変わらず、2%前後で推移して来ている(81名→75名)。健診実施時点ではコロナ禍の先行きが不透明で、新入生と在学生ともにメンタルヘルス不調者が従前から比べてやや高止まり傾向となることが推察される。実際に面接を受けた者は、新入生は14名から7名と半減していたが、在学生は18名から22名と微増していた。一方、「これまでに精神科、心療内科、神経科に通院歴のあるもの」の人数は、新入生では56名(4.7%)と、昨年度一度減少していた(46名、3.8%)ものが再び増加に転じており、在学生については、通院歴のあるものは今年度は319名(8.3%)と、引き続きの増加傾向にある(昨年度は298名、7.7%)。数年前に比べると倍以上に増加してきており、このように年々、通院経験のある学生の学内比率が増加しているところから、学外の専門医療機関と連携しながら、学内におけるメンタルヘルス支援体制の拡充を進めていく必要性が今まで以上に高まっている。面接結果について、新入生・在学生ともに全員何らかの対応を必要としており、カウンセリング業務の維持あるいは拡充の必要性が、引き続き認められた。コロナ禍によりリモート面談が多かったという事情があるが、この数年の経過を見ても面接を受けたものの中で「問題なし」とされるものが減少して来たり、面談後の経過観察が必要と判断されるケースに加え、学生自らがカウンセリングを希望するケースも増えている。また、この数年、障害学生サポートルームと共同して支援にあたる学生への対応が増加している。今後もメンタルヘルス不調や発達障害などの治療を継続しながら修学をする学生へのサポート体制の強化も同時に必要となると考えられる。

コロナ禍の今後の動向は不明であるが、対面授業の実施や課外活動の条件付き再開など、本来の学生生活に戻っていくという文科省の方針の下、実際に学内で増加を続けているメンタルヘルス不調学生への現場対応のニーズが、さらに高まってくるのが予測される。

## 7.1.32 資料 5-5：令和4年度 新入生の「学校生活に関する困りごと調査」結果

## 令和4年度 新入生の「学校生活に関する困りごと調査」結果

何らかの困りごとを抱え、修学や生活面に支障が出ている学生を支援につなぐきっかけにするため、平成28年より、新入生(各学部新入生対象で、大学院入学生、特別支援教育特別専攻科、編入生は除く)のための「学校生活に関する困りごと調査」を実施している。実施時期は10月で、1年生全員が受講する講義内で周知し、結果の入力は、アンケート形式で調査を行なっている。結果から、困りごとの度合いを得点化し、一定の得点以上の学生に対して、面談希望の有無を確認した上で、センター講師(医師)が面談を担当し、必要に応じて外部医療機関やカウンセリングについて検討しつつ、担当教員や学生支援センターや障がい学生サポートルームの専門スタッフと連携し、学生の困りごとの解決に取り組みながら必要な支援の継続を目指している。特に「相談を希望する」「相談をすべきか困っている」に回答した学生全員に対して、早期に声をかけ、抱える問題の把握に努めている。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、オンライン授業に移行した時期から、配布して記入する調査形式から、Google Formを利用した形式を採用した。調査結果の概要は以下に示した通りである。オンラインによる調査に変更したことで、記入してその場で回収する調査に比べて、回答率は52.0%に低下しているため、今後は、回答率を上げるためにも、周知方法についての工夫が必要であると考えている。

	回答 学生数	要 面 接		面接をうけた 学生数	結 果				
		人数	%		問題なし	随時の相談を 推奨	カウンセリング 継続	学生支援センターで 継続対応 (障害学生サポートルーム紹介)	医療機 関 紹介
共同教育学部	76	6(1)	7.9%	2	0	1	1	0	0
情報学部	99	4	4.0%	2	0	0	1	0	1
医学部	166	6	3.6%	2	0	2	0	0	0
理工学部	262	19(1)	7.3%	9	0	5	3	1	0
合 計	603	35(2)	5.8%	15	0	8	5	1	1

※( )は、カウンセリング中または障害学生サポートルームにて継続対応のため、面接を除外した学生数で内数

## ※「新入生の精神保健調査」との関連

	「学校生活に関する 困りごと調査」 要面接者数	「新入生の精神保健調査」 においても 要面接と判断された学生 数
共同教育学部	6	0
社会情報学部	4	0
医学部	6	0
理工学部	19	3
合 計	35	3

## ※「学校生活に関する困りごとについて」の相談希望の有無別結果

	○を記入	面接を うけた 学生数	結 果				
			問題なし	随時の相談を 推奨	カウンセリング 継続	学生支援センターで 継続対応 (障害学生サポートルーム紹介)	医療機 関 紹介
相談希望あり	2	2	0	1	0	1	0
相談を迷っている	32(2)	12	0	7	4	0	1
相談希望なし	1	1	0	0	1	0	0

## ※「その他について」の相談の有無別結果

	○を記入	面接を うけた 学生数	結 果				
			問題なし	随時の相談を 推奨	カウンセリング 継続	学生支援センターで 継続対応 (障害学生サポートルーム紹介)	医療機 関 紹介
相談希望あり	3(1)	3	0	1	1	1	0
相談を迷っている	15	8	0	4	3	0	1
相談希望なし	17(1)	4	0	3	1	0	0

## 7.1.33 資料 5-6：令和4年度 学生特殊健康診断結果

令和4年度 学生特殊健康診断結果

特定化学物質及び有機溶剤を取り扱う学生を対象とする特殊健康診断を実施した。

実施日：令和4年12月7日（水）

実施場所：2号館 大学院講義室

対象者：リスク評価システムにおいてリスクレベル「ⅢS」以上と判断された大学院生/学部4年生

検査項目：尿検査、診察、血液検査等（取扱物質により指定）

検査結果：

受診者数	結 果		
	異常なし	要経過観察	要精密検査
84	82	2	0

## 7.1.34 資料5-7：令和4年度 外国人留学生特別健康診断結果

資料5-7

## 令和4年度 外国人留学生特別健康診断結果

例年秋入学時期に合わせて、検査を実施してきたが、平成31年4月に入学した学生で7月に感染性肺結核を発症し、入院加療が必要になった事案が発生したことから、入学後すぐに、胸部レントゲン検査を実施していく方針に決定した。また、令和2年度より新型コロナウイルス感染症予防の観点から、血液検査は実施せず、胸部レントゲン検査のみを実施している。

## 1. 受検状況

	対象者数	受検者	
		人数	%
共同教育・教育学部	11	11	100%
情報・社会情報学部	13	12	92.3%
医学部	13	13	100%
理工学部	53	40	75.5%
合計	90	76	84.4%

対象者：前年度の留学生健診以降に入学し、4月の学生定期健康診断(胸部レントゲン検査)を受検していない外国人留学生

## 2. 胸部レントゲン検査結果

	受検者数	異常なし		要精検		医療機関紹介結果		
		人数	%	数	%	正常	肺結核として治療	経過観察
共同教育・教育学部	11	10	90.9%	1	9.1%	0	1	
情報・社会情報学部	12	12	100%	0	0%	0	0	
医学部	13	13	100%	0	0%	0	0	
理工学部	40	40	100%	0	0%	0	0	
合計	76	75	98.7%	1	1.3%	0	0	

## 3. メンタルヘルス質問票による精神保健調査

	受検者数	問題なし		要面接者数		面談結果			
		人数	%	数	%	問題なし	随時の相談を推奨	継続カウンセリング	医療機関紹介
教育学部	11	8	72.7%	3	27.3%	0	3		
社会情報学部	12	10	83.3%	2	16.7%	0	2		
医学部	13	11	84.6%	2	15.4%	0	2		
理工学部	40	40	100%	0	0%	0	0		
合計	76	69	90.8%	7	9.2%	0	7		

## 7.1.35 資料 5-8：令和4年度 健康支援総合センター利用状況

## 令和4年度健康支援総合センターの利用状況について

利用人数(学生・教職員)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧キャンパス	共同教育・教育学部	14	29	22	17	7	9	23	24	23	16	14	14	212
	情報・社会情報学部	7	14	20	11	6		10	9		13	3		110
	医学部	4	4											26
	理工学部	7	16	11	5				10	8				82
昭和キャンパス	医学部	13	18	21	16	16	15	15	16	8	13	15	11	177
桐生・太田キャンパス	理工学部	32	29	41	25	19	35	29	29	30	24	30	21	344
<b>学 生 合 計</b>		<b>77</b>	<b>110</b>	<b>116</b>	<b>76</b>	<b>53</b>	<b>70</b>	<b>87</b>	<b>90</b>	<b>79</b>	<b>72</b>	<b>64</b>	<b>57</b>	<b>951</b>
教 職 員		22	25	25	30	23	38	28	29	24	27	32	27	330
<b>合 計</b>		<b>99</b>	<b>135</b>	<b>141</b>	<b>106</b>	<b>76</b>	<b>108</b>	<b>115</b>	<b>119</b>	<b>103</b>	<b>99</b>	<b>96</b>	<b>84</b>	<b>1,281</b>

利用件数(学生)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	4	19	16	10	3		15	5	13	7			97
こころの健康相談	70	91	101	66	49	68	72	85	65	65	61	57	850
健康診断書発行	3	0											5
<b>合 計</b>	<b>77</b>	<b>110</b>	<b>117</b>	<b>76</b>	<b>53</b>	<b>70</b>	<b>87</b>	<b>90</b>	<b>79</b>	<b>72</b>	<b>64</b>	<b>57</b>	<b>952</b>

利用件数(教職員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	0	2											8
こころの健康相談	22	23	25	29	23	38	28	27	22	27	32	26	322
健康診断書発行	0	0											0
<b>合 計</b>	<b>22</b>	<b>25</b>	<b>25</b>	<b>30</b>	<b>23</b>	<b>38</b>	<b>28</b>	<b>29</b>	<b>24</b>	<b>27</b>	<b>32</b>	<b>27</b>	<b>330</b>

## 7.1.36 資料 5-9：令和4年度 健康相談の対応内容

## 令和4年度 からだの健康相談・こころの健康相談の対応内容

## 【学生】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
からだの健康相談	相談のみ（助言・指導）	1	2					6	2			0	0	29	
	管理栄養士による栄養相談	0	0					0	0			0	0	0	
	外傷処置	1	7					3	1			0	0	23	
	検査	0	0					0	0			0	0	0	
	投薬	0	12	7				4	0			0	0	30	
	休養ベッド使用	1	2					1	2			0	0	9	
	健康・保健用器具貸し出し	0	2					1	0			0	0	4	
	医療機関紹介	1	4					3	0			3	0	28	
	救急転送	0	0					0	0			0	0	3	
こころの健康相談	医師	メンタルヘルス相談	32	41	42	26	14	25	31	28	22	21	27	26	335
		カウンセラー紹介	4	7				10	5	8			1	4	54
		障害学生サポートルーム紹介	0	0					0	0			1	0	3
		医療機関紹介	1	1					1	0			0	1	7
	カウンセラー	カウンセリング	38	50	59	40	35	43	41	57	43	44	34	31	515
		センター医師紹介	1	0					0	0			0	0	1
		医療機関紹介	0	0					0	0			0	0	0
合計		80	128	126	84	59	81	96	98	87	74	66	62	1,041	

## 【教職員】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
健康相談	相談のみ（助言・指導）	0	0					0	1			0	0	1	
	管理栄養士による栄養相談	0	0					0	0			0	0	0	
	外傷処置	0	0					0	1			0	0	2	
	検査	0	0					0	0			0	0	0	
	投薬	0	0					0	0			0	0	2	
	休養ベッド使用	0	1					0	0			0	1	2	
	健康・保健用器具貸し出し	0	0					0	0			0	0	0	
	医療機関紹介	0	1					0	0			0	0	1	
	救急転送	0	0					0	0			0	0	0	
こころの健康相談	医師	メンタルヘルス相談	15	13	15	16	16	20	14	14	12	17	21	14	187
		カウンセラー紹介	0	0						0	0		0	0	2
		障害学生サポートルーム紹介	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		医療機関紹介	0	0					1	0			0	0	2
	カウンセラー	カウンセリング	7	10	10	13	7	18	14	13	10	10	11	12	135
		センター医師紹介	0	0					0	0			0	0	2
	医療機関紹介	0	0					0	0			0	0	0	
合計		22	25	27	30	24	38	29	29	24	29	32	27	336	

## 7.1.37 資料 5-10：令和4年度 こころの健康相談者数

## 令和4年度 こころの健康相談者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧キャンパス	共同教育・教育学部	11	20	21	16	6	8	15	24	12	14	12	14	173
	情報・社会情報学部	7	12	12	7			6	7		11	3	7	86
	医学部	3	4					4	2			0	1	23
	理工学部	6	8					3	8			2	3	57
昭和キャンパス	医学部	11	18	19	16	15	15	15	15	8	13	14	11	170
桐生・太田キャンパス	理工学部	32	29	40	24	19	35	29	29	29	24	30	21	341
学 生 合 計		70	91	101	66	49	68	72	85	65	65	61	57	850
教 職 員		22	23	25	29	23	38	28	27	22	27	32	26	322
合 計		92	114	126	95	72	106	100	112	87	92	93	83	1,172

## 令和4年度 こころの健康相談内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理性格	28	37	47	35	17	32	25	38	32	30	22	30	373
対人関係	3	2	0	0			3	2			5	1	17
心体の不調	42	49	54	35	33	35	44	47	35	34	38	27	473
修学	12	13	10	11	12	16	24	19	13	17	16	7	170
その他	13	21	21	11	14	16	7	13	11	9	10	11	157
合 計	98	122	132	92	76	100	103	119	91	90	91	76	1,190

1回の相談につき、相談内容が複数の場合があり。

スタッフカウンセリングについては相談内容を確認していないため除外

## 7.1.38 資料 5-11：令和4年度 公認心理師による心理カウンセリング報告

## 令和4年度 公認心理師（非常勤）による心理カウンセリング報告

## 1. 学生

## カウンセリング人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧地区	25	33	34	25	25	28	28	36	25	25	25	23	332
桐生地区	2	1											23
合計	27	34	36	27	26	30	30	40	28	26	26	25	355

## カウンセリング回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧地区	38	50	59	40	35	43	41	57	43	44	34	31	515
桐生地区	2	3						12	7				54
合計	40	53	67	48	38	45	46	69	50	45	35	33	569

## カウンセリング動機内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理性格	21	26	40	31	17	28	22	37	31	25	20	22	320
対人関係	0	0											18
心体の不調	10	17	12	9	15	11	17	18	13	11	7	2	142
修学	9	11	9				17	17	11	9			121
その他	13	17	19	8				13	7			10	123
合計	53	71	83	58	49	57	63	89	65	53	44	39	724

カウンセリング動機内訳は複数の場合あり

## 2. カウンセラー配置状況

	荒牧地区		桐生地区	
	面接時間	カウンセラー	面接時間	カウンセラー
月曜日	10:00-17:00	内山 知子		
火曜日	10:00~15:00	内山 知子	(9:00~12:00)	(酒井 晃洋※)
水曜日	10:00~15:00	内山 知子	12:00~16:00	諸星 聡美
木曜日	12:00~17:00	金子 美咲		
金曜日	12:00~17:00	金子 美咲	13:00-17:00 【隔週】	川合 利恵

※キャンパスソーシャル・ケースワーカー：業務内容にカウンセリング業務も追加



## 7.1.39 資料 5-12：令和4年度 疾病領域別利用者数

## 令和4年度 疾病領域別利用者数

## 【学生】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	循環器系	0	0					0	0			0	0	0
	呼吸器系	0	0					0	0			0	0	5
	消化器系	0	0					0	3			0	0	8
	腎臓系	0	0					0	0			0	0	0
	内分泌・代謝系	0	0					0	0			0	0	0
	その他	1	3					5	2			0	0	28
精神科	70	91	101	66	49	68	72	85	65	65	61	57	850	
外科・整形外科	1	12	6					8	0			0	0	40
脳神経外科	0	0						0	0			0	0	0
泌尿器科	0	0						0	0			0	0	0
耳鼻咽喉科	0	1						1	0			0	0	3
眼科	0	1						0	0			0	0	2
皮膚科	1	1						0	0			2	0	6
歯科・口腔外科	0	0						0	0			1	0	1
産婦人科	1	1						1	0			0	0	4
合計		74	110	117	76	52	70	87	90	78	72	64	57	947

## 【教職員】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	循環器系	0	0					0	0			0	0	0
	呼吸器系	0	0					0	0			0	0	0
	消化器系	0	0					0	0			0	0	0
	腎臓系	0	0					0	0			0	0	0
	内分泌・代謝系	0	0				0	0	0			0	0	0
	その他	0	2					0	0			0	0	3
精神科	22	23	25	29	23	38	28	27	22	27	32	26	322	
外科・整形外科	0	0						0	2			0	0	3
脳神経外科	0	0						0	0			0	0	0
泌尿器科	0	0						0	0			0	0	0
耳鼻咽喉科	0	0						0	0			0	0	0
眼科	0	0						0	0			0	0	0
皮膚科	0	0						0	0			0	0	1
歯科・口腔外科	0	0						0	0			0	0	0
産婦人科	0	0						0	0			0	1	1
合計		22	25	25	30	23	38	28	29	24	27	32	27	330

## 7.1.40 資料 5-13：令和4年度 診療科別医療機関紹介件数

## 令和4年度 診療科別医療機関紹介件数

## 【学生】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	0	0					0	0			0	0	0
	呼吸器系	0	0					0	0			0	0	0
	消化器系	0	0					0	0			0	0	2
	腎臓系	0	0					0	0			0	0	0
	内分泌・代謝系	0	0			0	0	0	0			0	0	0
	その他	0	0					1	0			0	0	6
精神科		1	1					1	0			0	1	7
外科・整形外科		0	3					2	0			0	0	11
脳神経外科		0	0					0	0			0	0	0
泌尿器科		0	0					0	0			0	0	0
耳鼻咽喉科		0	0					0	0			0	0	1
眼科		0	0					0	0			0	0	1
皮膚科		0	1					0	0			2	0	5
歯科・口腔外科		0	0					0	0			1	0	1
産婦人科		1	0					0	0			0	0	1
合計		2	5	5	6	2	2	4	0	3	2	3	1	35

## 【教職員】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	0	0					0	0			0	0	0
	呼吸器系	0	0					0	0			0	0	0
	消化器系	0	0					0	0			0	0	0
	腎臓系	0	0					0	0			0	0	0
	内分泌・代謝系	0	0			0	0	0	0			0	0	0
	その他	0	1					0	0			0	0	1
精神科		0	0					1	0			0	0	2
外科・整形外科		0	0					0	0			0	0	0
脳神経外科		0	0					0	0			0	0	0
泌尿器科		0	0					0	0			0	0	0
耳鼻咽喉科		0	0					0	0			0	0	0
眼科		0	0					0	0			0	0	0
皮膚科		0	0					0	0			0	0	0
歯科・口腔外科		0	0					0	0			0	0	0
産婦人科		0	0					0	0			0	0	0
合計		0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3

## 7.1.41 資料 5-14：令和4年度 薬剤別処方日数

## 令和4年度 薬剤別処方日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
抗 生 剤	0	0					0	0			0	0	0
解熱・消炎・鎮痛剤	0	0					0	0			0	0	3
感 冒 剤	0	0					0	0			0	0	0
鎮咳剤	0	0					0	0			0	0	0
去痰剤	0	0					0	0			0	0	0
漢方剤	0	0					0	0			0	0	0
健胃剤・抗潰瘍剤	0	0					0	0			0	0	0
整 腸 剤	0	0					0	0			0	0	0
鎮 吐 剤	0	0					0	0			0	0	0
抗アレルギー剤	0	0					0	0			0	0	0
※含嗽剤	0	0					0	0			0	0	0
※口腔内塗布剤	0	0					0	0			0	0	0
※外用副腎皮質ホルモン剤	0	0					0	0			0	0	1
※外用抗生剤	0	5					1	0			0	0	13
※外用抗ウイルス剤	0	0					0	0			0	0	0
※外用保湿剤	0	0					0	0			0	0	1
※外用消炎剤	0	5					3	0			0	0	13
※広範囲抗菌点眼剤	0	1					0	0			0	0	1
※抗炎症点眼剤	0	0					0	0			0	0	0
※人工涙液型点眼剤	0	0					0	0			0	0	0
※経口補水液	0	2					0	0			0	0	4
<b>合 計</b>	<b>0</b>	<b>13</b>	<b>7</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>9</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>36</b>

※の薬剤については、処方日数ではなく、個装単位とした。

## 7.1.42 資料 5-15：令和4年度 桐生地区・保健室利用状況

## 令和4年度 理工学部保健室(桐生地区)利用状況

## 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学部生	87	104	49	139	146	68	38	106	103	104	14	17	975
大学院生	31	15	14	42	44	20	10	34	40	39	3	7	299
学生合計	118	119	63	181	190	88	48	140	143	143	17	24	1274
教職員	12	6	11	25	18	10	9	12	14	3			129
合計	130	125	74	206	208	98	57	152	157	146	20	30	1403

## 利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	116	111	48	186	204	91	44	129	131	126	17	24	1,227
こころの健康相談	2	3						13	8				56
健康診断書発行	0	0											
キャンパスソーシャル・ケースワーカー関係	0	1											21
学生教育研究災害傷害保険関係	12	10	16	12	0					17	1		96
合計	130	125	74	206	208	98	57	152	157	146	20	30	1,403

※「こころの健康相談」は、桐生キャンパスにおいて対面で実施した数を集計

## 利用内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	相談のみ(助言・指導)	82	84	35	183	204	81	35	117	123	121	13	21	1,099
	外傷処置	10	20	5										52
	検査	16	0											26
	休養ベッド使用	4	5											26
	保健用器具貸し出し	0	0											
	医療機関紹介	3	2											18
	救急転送	1	0											
こころの健康相談	医師	0	0											
	カウンセラー	2	3						13	8				56
合計		118	114	56	194	207	93	49	142	139	127	18	26	1,283

※「こころの健康相談」は、桐生キャンパスにおいて対面で実施した数を集計

## 7.1.43 資料 5-16：令和4年度 昭和地区・学生健康相談室利用状況

## 令和4年度 昭和地区・学生健康相談室利用状況

## 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医学科	8	4										18	68
保健学科	15	10	10	8									70
大学院	0	0											
学生合計	23	14	16	10	6	10	6	11	8			25	139
教職員	0	1											
合計	23	15	16	10	7	10	6	11	8			26	142

## 利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康相談	1	3											12
外傷処置	1	3											
ペット休養	3	4											15
予防接種相談	18	5	10	9								23	105
医療機関紹介	0	0											
合計	23	15	16	11	6	10	6	11	8			26	142

## 1. 「予防接種・感染症検査証明書」業務

医学部については、入学前に医療機関を受診し必要な検査とワクチン接種を受け、「予防接種・感染症検査結果証明書」を入学時に提出することを義務としている。項目はB型肝炎、結核、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎の6項目である。B型肝炎、結核は検査結果、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎の4種の感染症については予防接種歴から必要に応じて追加ワクチン接種、抗体検査を行うことになっている。令和元年度までは入学後すぐに全員と面談し、証明書を受領、内容の確認とデータの管理を行っていた。内容の複雑さから証明書の不備が非常に多く、提出書類に不備・不足等がある学生に対して適切に検査やワクチン接種が受けられるよう指導を行ったり、引越し等の事情からスムーズに受診が進まない学生には、速やかに受診し証明書を提出できるよう、アドバイスを行ってきた。しかしながら、令和2年1月に発生した新型コロナウイルス流行により対面による受領、面談が困難になった。そのため、令和2年度から連絡・提出方法等を検討し、提出はLMSを行う方法とし、確認作業を進めた。連絡は基本的にメール又は電話で行い、相談を受けた。内容、状況によって必要だと判断した場合は対面での確認作業や相談も行った。令和4年度も同様の方法で実施した。

## 2. B型肝炎ワクチン接種について

B型肝炎ワクチン接種については、令和元年度まで集団接種で行ってきた。新型コロナウイルス流行により令和2年度は実施できなかった。集団接種再開は困難と判断され、令和3年度から掛かりつけ医療機関で個人でワクチン接種と抗体検査を受け、大学に証明書提出する方法に変更した。提出方法は「予防接種・感染症検査結果証明書」と同様、LMSに提出する方法とし、必要時アドバイス等サポートを行った。令和3年度～令和4年度に掛け、多くの学生がワクチン接種を進め、完了させた。完了とならなかった学生に対しては年度末に連絡を取り状況を確認、令和5年度の早い段階で完了できるよう、サポートを継続することになった。

【参考資料：B型肝炎ワクチン接種状況（令和5年5月23日集計）】

学科	入学年度	完了	未完了	ワクチン不要	ワクチン不可
医学科	令和2年度入学者 (127名)	96	19	12	0
	令和3年度入学者 (123名)	104	6	13	0
	令和4年度入学者 (123名)	91	14	16	0
保健学科	令和2年度入学者 (162名)	156	3	3	0
	令和3年度入学者 (160名)	152	6	1	1
	令和4年度入学者 (161名)	151	8	3	0

## 3. カウンセリング対応

カウンセリングをZOOMで実施する際、授業の合間や終了直後に受ける希望がある学生から依頼を受け、昭和キャンパス内でカウンセリングを受けることができるよう、個室の確保を行った。当日は必要に応じて、部屋の管理、ネットワークの確認などを行い、スムーズにカウンセリングが受けられるように配慮した。

## 対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対応件数	4	4						10	0				37
合計	4	4						10	0				37

## 4. その他の業務

月	内 容
4月	学生定期健康診断再検査
4～3月	新入生「予防接種・感染症検査結果証明書」に関する相談業務 証明書内容確認、データ整理作業
4～3月	「B型肝炎ワクチン接種」に関する相談業務、証明書内容確認、データ整理作業、ワクチン接種スケジュールの確認
10月	留学生検診

## 7.1.44 資料 5-17：令和4年度 キャンパスソーシャル・ケースワーカー業務について

## 令和4年度キャンパスソーシャル・ケースワーカー業務について

学生が修学から離脱することを防止し、円滑な学生生活がおこなえるようにすることを目的とし、臨床心理士の資格を有するキャンパスソーシャルケースワーカーを配置した。教職員からの依頼に応じて、健康支援総合センターの医師や保護者とも連携して業務を行っている。

実施キャンパス	学 部	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧・昭和地区	共同教育学部	0	0											
	情報学部	0	0											
	医学部	0	0											
	理工学部	0	0											
桐生地区	共同教育学部	0	0											
	情報学部	0	0											
	医学部	0	0											
	理工学部	0	1											15
合 計		0	1											18

## ※対象学生の例

- ①欠席調査結果における面接対象者であり、教職員からの頻繁な連絡にも関わらず連絡が不能である状態
- ②欠席調査結果における面接対象者ではないが、教職員からの頻繁な連絡にも関わらず連絡が不能である状態
- ③無届けで長期に授業等を欠席している状態

## ※業務内容の例

- ①当該学生に対しメール及び電話、郵送などにより、担当教官等に連絡を取るよう促すこと
- ②当該学生に対し、大学での支援体制(障害学生サポートルーム、学習支援、キャリアサポートなど)を説明し、利用を勧める
- ③メンタルヘルスに問題を抱えている可能性がある学生に対しては、健康支援総合センターの受診を促す

## 7.1.45 資料 6-1：教学 IR レター vol.5



## はじめに

大学教育・学生支援機構教育改革推進室では、各学部・学科による主体的な教育改革を支援するための IR (Institutional Research) 活動を進めています。

今回は2019年度末から実施している「全学学習ふりかえりアンケート調査」の結果の一部を紹介します。この調査は全学の最終学年を除く学部生を対象として、毎年度末にその年度の学生生活についてお尋ねするものです。授業やその担当教員を評価するものではありません。回答する学部生本人の省察を促すことを目的の一つとしています。

## 1. 授業や勉強の様子

授業や勉強の様子に関して、図1は「授業の予習や復習をした」という設問へ、図2は「興味をもったことについて自主的に勉強した」という設問へ、それぞれ「とてもあてはまる」と「まああてはまる」と回答した割合の合計についての推移を示したものです(この図を含めて以下のすべての図では留年生や途中学年からの編入生のデータを除いています)。

一般的に、これらの割合は上級生になるにつれて高くなります。たとえば、図1における19年度入学者の場合、19年度末調査で約68%、20年度末調査で約79%、21年度末調査で約86%です。

それに加えて、図1、図2ともに20年度末調査、21年度末調査では2、3年生だけではなく、1年生の回答においても「とてもあてはまる」と「まああてはまる」と回答した割合の合計が高いことが特徴的です。図2の19年度末調査ではどの年度の入学者も3割前後であった割合

が20年度末調査では8割前後になっています。必ずしも直接的な因果関係を示すことはできませんが、20年度から新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行へ対応するためにオンライン授業を導入したことによって、学生の学習の取り組み方が変容した可能性があります。

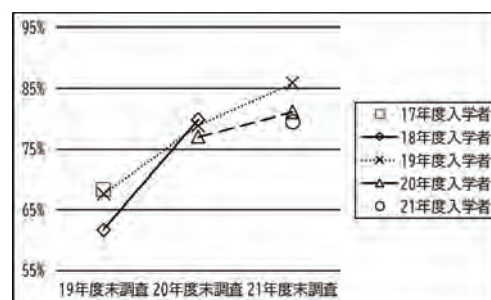


図1 「授業の予習や復習をした」という設問に対して「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合の推移

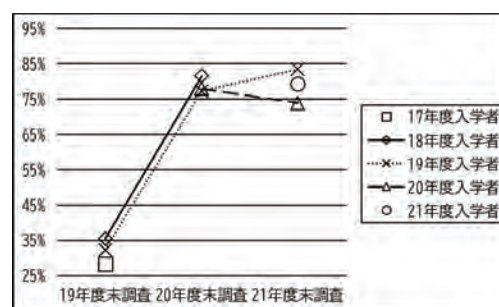


図2 「興味をもったことについて自主的に勉強した」という設問に対して「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合の推移

## 2. 普段の生活

図3は普段に生活に関して、「勉強について相談できる友だちや先輩がいた」という設問に対して「とてもあてはまる」と「まああてはまる」と回答した割合の合計についての推移を示したものです。

20年度末調査において、その年度の入学者であった1年生の回答が約59%でした。キャンパスに来る機会が少なかったことによって、友だちや先輩とつながることが容易ではなかったと考えられます。対面形式の授業が増えた2年生になって回答した21年度末調査では約80%まで上がっています。

また、21年度末調査でのその年度の入学者であった1年生は約81%が勉強について相談できる友だちや先輩がいたと回答しています。19年度末調査でのその年度の入学者であった1年生の回答は約89%でしたので、オンライン授業導入以前の水準へ概ね回復したといえます。

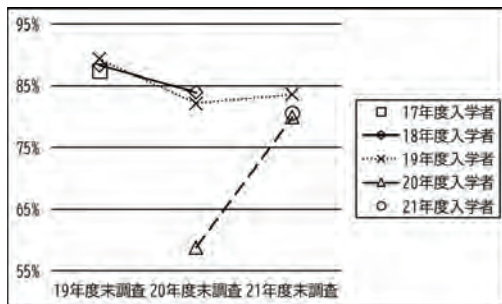


図3 「勉強について相談できる友だちや先輩がいた」という設問に対して「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合の推移

## 3. 大学での学び方についての考え

大学での学び方についての考えとして、図4は「あまり興味がなくとも、単位を楽にとれる授業がよい」と「単位をとるのが難しくても、自分の興味のある授業がよい」のうち後者を選択した割合の推移、図5は「自分のレベルに合った授業をしてほしい」と「授業は難しくてもチャレンジなほうがよい」のうち後者を選択した割合の推移を示したものです。

学年が進むにつれて、「単位をとるのが難しくても、自分の興味のある授業がよい」の割合が高くなっていて、このことは他大学における同様の調査結果とも合致します。他方で、19年度入学者の場合、「授業は難しくてもチャレンジなほうがよい」とする回答の割合は2年生時点での20年度末調査のほうが1年生時点の19年度末調査よりも低くなっています。オンライン授業においては単位取得に対して慎重な姿勢になる場合もありそうです。

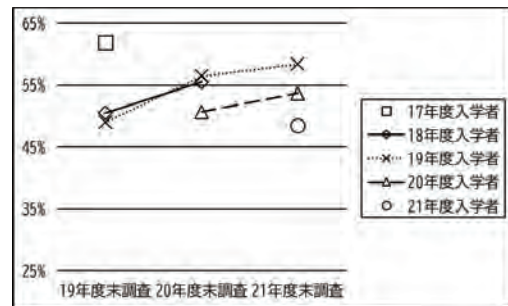


図4 「単位をとるのが難しくても、自分の興味のある授業がよい」と回答した割合の推移

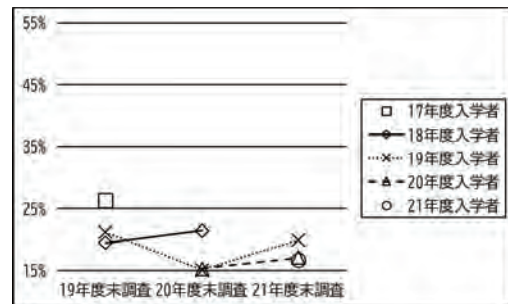


図5 「授業は難しくてもチャレンジなほうがよい」と回答した割合の推移

## おわりに

大学教育・学生支援機構教育改革推進室では、以上のデータなどについての詳細な分析、学部・学科毎の分析、教育改善や授業コンサルテーションのご要望を承っております。お気軽にご連絡ください。



7.1.46

資料6-2：群馬大学全学学習ふりかえりアンケート調査集計表

学習ふりかえりアンケート  
【全学(医学科4年生、5年生を除く)】  
2022年度末実施

Table with 5 columns: 回答者学部・学科, 共同教育学部, 情報学部, 医学部医学科, 理学部健康 学科, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

(特設) 設問02 学科・専攻・コース  
(特設) 設問03 入学生年度(または編入年度)  
(特設) 設問04 学年

設問05 授業や勉強の様子 A 授業に真面目に出席した  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問06 授業や勉強の様子 B 授業の予習や復習をした  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問07 授業や勉強の様子 C 授業で出された宿題や課題はきちんとやった  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問08 授業や勉強の様子 D グループワークやディスカッションに積極的に参加した  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問09 授業や勉強の様子 E 計画を立てて勉強した  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問10 授業や勉強の様子 F 興味をもったことについて自主的に勉強した  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問11 授業や勉強の様子 G 進路や将来について積極的に考えた  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

2021年度末実施

Table with 5 columns: 回答者学部・学科, 共同教育学部, 情報学部, 医学部医学科, 理学部健康 学科, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問05 授業や勉強の様子 A 授業に真面目に出席した  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問06 授業や勉強の様子 B 授業の予習や復習をした  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問07 授業や勉強の様子 C 授業で出された宿題や課題はきちんとやった  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問08 授業や勉強の様子 D グループワークやディスカッションに積極的に参加した  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問09 授業や勉強の様子 E 計画を立てて勉強した  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問10 授業や勉強の様子 F 興味をもったことについて自主的に勉強した  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問11 授業や勉強の様子 G 進路や将来について積極的に考えた  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

2020年度末実施

Table with 5 columns: 共同教育学部, 情報学部, 医学部医学科, 理学部健康 学科, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問05 授業や勉強の様子 A 授業に真面目に出席した  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問06 授業や勉強の様子 B 授業の予習や復習をした  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問07 授業や勉強の様子 C 授業で出された宿題や課題はきちんとやった  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問08 授業や勉強の様子 D グループワークやディスカッションに積極的に参加した  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問09 授業や勉強の様子 E 計画を立てて勉強した  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問10 授業や勉強の様子 F 興味をもったことについて自主的に勉強した  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問11 授業や勉強の様子 G 進路や将来について積極的に考えた  
Table with 5 columns: 学年, とても, まあ, あまり, まったく, 合計. Rows for 1年生, 2年生, 3年生, 合計.

設問12 どの態度身についてか、A人と働きながらの姿を進める

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	44.2%	47.7%	4.8%	1.3%	100.0%	686
2年生	43.2%	49.6%	6.3%	0.8%	100.0%	474
3年生	43.6%	46.3%	9.7%	0.4%	100.0%	257
合計	43.8%	47.0%	6.2%	1.0%	100.0%	1417

設問13 どの態度身についてか、B自ら発願に立って行動し、グループをまとめる

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	16.3%	45.6%	32.7%	5.4%	100.0%	686
2年生	17.2%	49.2%	31.1%	2.5%	100.0%	476
3年生	16.0%	44.1%	37.1%	2.7%	100.0%	256
合計	16.6%	46.5%	32.9%	3.9%	100.0%	1418

設問14 どの態度身についてか、C異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	31.5%	56.6%	10.6%	1.3%	100.0%	680
2年生	28.9%	60.2%	9.9%	1.0%	100.0%	477
3年生	28.0%	57.6%	13.2%	1.2%	100.0%	257
合計	30.0%	58.0%	10.8%	1.2%	100.0%	1414

設問15 どの態度身についてか、D自分の知識や考えを文章で論理的に書く

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	32.6%	56.3%	9.4%	1.8%	100.0%	684
2年生	29.1%	59.1%	11.1%	0.6%	100.0%	477
3年生	28.8%	55.6%	14.4%	1.2%	100.0%	257
合計	30.7%	57.1%	10.9%	1.3%	100.0%	1418

設問16 どの態度身についてか、E自分で目標を設定し、計画的に行動する

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	22.7%	55.0%	18.8%	3.5%	100.0%	682
2年生	22.0%	55.6%	21.2%	1.3%	100.0%	477
3年生	26.8%	48.2%	22.2%	2.7%	100.0%	257
合計	23.2%	54.0%	20.2%	2.6%	100.0%	1416

設問17 どの態度身についてか、Fものごを批判的・多面的に考える

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	30.2%	58.0%	11.4%	0.4%	100.0%	685
2年生	31.5%	54.0%	13.9%	0.6%	100.0%	476
3年生	29.2%	58.0%	11.7%	1.2%	100.0%	257
合計	30.5%	56.6%	12.3%	0.6%	100.0%	1418

設問18 どの態度身についてか、G現状を分析し、問題点や課題を提示する

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	30.6%	57.8%	8.8%	0.7%	100.0%	682
2年生	29.5%	57.4%	10.7%	0.4%	100.0%	475
3年生	31.6%	57.4%	9.0%	2.0%	100.0%	256
合計	30.4%	57.2%	9.5%	0.8%	100.0%	1413

設問19 どの態度身についてか、H筋道を立てて論理的に問題を解決する

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	27.0%	57.8%	11.5%	1.6%	100.0%	684
2年生	24.4%	62.2%	12.8%	0.6%	100.0%	476
3年生	27.6%	58.4%	13.2%	0.8%	100.0%	257
合計	26.3%	60.3%	12.3%	1.1%	100.0%	1417

設問20 どの態度身についてか、I團隊的な視野を身につける

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	19.4%	48.4%	27.8%	4.4%	100.0%	686
2年生	14.7%	35.0%	42.6%	7.8%	100.0%	477
3年生	13.3%	30.5%	45.7%	10.5%	100.0%	256
合計	16.7%	40.7%	36.0%	6.6%	100.0%	1419

設問21 どの態度身についてか、Jなにごにも粘り強く取り組む姿勢をもつ

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	30.4%	52.6%	14.9%	2.0%	100.0%	684
2年生	29.6%	55.5%	14.1%	0.8%	100.0%	476
3年生	36.2%	49.8%	12.1%	1.9%	100.0%	257
合計	31.2%	53.1%	14.1%	1.6%	100.0%	1417

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	44.3%	47.7%	7.1%	0.9%	100.0%	763
2年生	35.8%	53.7%	9.6%	0.9%	100.0%	469
3年生	39.9%	46.4%	13.0%	0.7%	100.0%	276
合計	40.8%	49.3%	9.0%	0.9%	100.0%	1508

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	16.1%	49.4%	30.9%	3.5%	100.0%	763
2年生	13.0%	45.2%	36.7%	5.1%	100.0%	471
3年生	14.9%	39.5%	36.6%	4.0%	100.0%	276
合計	15.8%	46.3%	33.8%	4.1%	100.0%	1510

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	32.9%	55.6%	10.9%	0.5%	100.0%	762
2年生	21.7%	64.0%	12.2%	2.1%	100.0%	469
3年生	31.3%	50.2%	17.5%	1.1%	100.0%	275
合計	29.2%	57.2%	12.5%	1.1%	100.0%	1506

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	33.5%	55.8%	9.9%	0.8%	100.0%	761
2年生	25.3%	61.7%	11.9%	1.1%	100.0%	470
3年生	30.4%	60.5%	8.7%	0.4%	100.0%	276
合計	30.4%	58.5%	10.3%	0.8%	100.0%	1507

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	24.0%	55.8%	18.4%	1.8%	100.0%	762
2年生	20.4%	55.5%	21.7%	2.3%	100.0%	470
3年生	29.1%	50.9%	19.3%	0.7%	100.0%	275
合計	23.8%	54.8%	19.6%	1.8%	100.0%	1507

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	32.6%	55.7%	11.4%	0.3%	100.0%	761
2年生	22.6%	62.4%	13.5%	1.5%	100.0%	468
3年生	31.9%	52.9%	15.2%	0.0%	100.0%	276
合計	29.4%	57.3%	12.8%	0.6%	100.0%	1505

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	31.8%	59.5%	8.3%	0.4%	100.0%	761
2年生	23.2%	64.0%	10.9%	1.9%	100.0%	469
3年生	31.3%	61.8%	6.9%	0.0%	100.0%	275
合計	29.0%	61.3%	8.8%	0.8%	100.0%	1505

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	25.5%	60.7%	12.8%	1.1%	100.0%	760
2年生	18.5%	65.5%	14.7%	1.3%	100.0%	470
3年生	26.5%	61.5%	11.6%	0.4%	100.0%	275
合計	23.5%	62.3%	13.2%	1.0%	100.0%	1505

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	18.5%	46.4%	30.8%	4.3%	100.0%	763
2年生	11.7%	37.4%	42.8%	8.1%	100.0%	470
3年生	12.4%	35.3%	39.6%	12.7%	100.0%	275
合計	15.3%	41.6%	36.1%	7.0%	100.0%	1508

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	29.0%	53.4%	15.6%	2.0%	100.0%	761
2年生	28.2%	54.9%	14.3%	2.6%	100.0%	468
3年生	41.2%	45.6%	12.8%	0.4%	100.0%	274
合計	31.0%	52.4%	14.7%	1.9%	100.0%	1503

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
26.1%	51.0%	20.0%	3.0%	100.0%	806
30.3%	45.2%	19.4%	5.1%	100.0%	356
28.1%	48.5%	19.6%	3.8%	100.0%	1587

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
10.4%	38.1%	43.9%	7.5%	100.0%	808
13.3%	40.7%	37.9%	8.0%	100.0%	427
13.8%	43.3%	39.0%	3.9%	100.0%	356
11.9%	40.0%	41.2%	6.9%	100.0%	1591

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
20.7%	60.7%	16.7%	1.9%	100.0%	806
23.7%	56.4%	15.5%	4.2%	100.0%	426
20.3%	57.1%	20.3%	2.3%	100.0%	354
21.4%	58.8%	17.2%	2.6%	100.0%	1586

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
27.4%	61.2%	10.2%	1.2%	100.0%	806
28.8%	56.4%	12.6%	2.1%	100.0%	427
29.0%	56.3%	13.8%	0.8%	100.0%	355
28.1%	58.8%	11.6%	1.4%	100.0%	1588

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
17.8%	57.6%	22.0%	2.6%	100.0%	805
22.0%	51.5%	22.0%	4.4%	100.0%	427
23.0%	57.9%	18.0%	1.1%	100.0%	356
20.1%	56.0%	21.1%	2.8%	100.0%	1588

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
23.9%	62.1%	13.3%	0.7%	100.0%	805
21.4%	62.9%	14.3%	1.4%	100.0%	426
25.7%	57.9%	16.1%	0.3%	100.0%	354
23.6%	61.4%	14.2%	0.8%	100.0%	1585

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
22.2%	65.3%	11.8%	0.6%	100.0%	805
25.6%	60.1%	12.7%	1.6%	100.0%	426
27.1%	61.0%	11.7%	0.3%	100.0%	351
24.2%	63.0%	12.0%	0.8%	100.0%	1582

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
19.1%	65.0%	14.9%	1.0%	100.0%	806
22.7%	61.4%	14.1%	1.9%	100.0%	427
24.5%	61.1%	14.4%	0.0%	100.0%	355
21.3%	63.2%	14.5%	1.0%	100.0%	1588

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
13.1%	40.5%	38.9%	7.5%	100.0%	808
10.1%	28.7%	43.3%	17.9%	100.0%	425
11.3%	32.5%	44.4%	11.9%	100.0%	354
11.9%	35.5%	41.3%	11.3%	100.0%	1587

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
23.1%	56.9%	17.5%	2.5%	100.0%	806
28.7%	55.1%	15.8%	3.1%	100.0%	425
28.7%	56.7%	14.0%	0.6%	100.0%	356
25.1%	56.4%	16.3%	2.2%	100.0%	1587



設問31 普段の生活 C(気配)に相成り得る教員がいた

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	9.9%	23.6%	39.1%	27.3%	100.0%	685
2年生	11.9%	30.4%	37.7%	19.9%	100.0%	477
3年生	13.7%	31.9%	38.3%	16.1%	100.0%	256
合計	11.3%	28.5%	38.5%	21.7%	100.0%	1418

設問32 普段の生活 D(授業に興味・関心)がもてなかった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	6.7%	28.5%	48.9%	15.9%	100.0%	685
2年生	8.0%	30.3%	47.3%	14.5%	100.0%	476
3年生	7.0%	23.0%	49.2%	20.7%	100.0%	256
合計	7.2%	28.1%	48.4%	16.3%	100.0%	1417

設問33 普段の生活 E(授業が面白くて)いていけないと感じた

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	8.2%	38.8%	43.6%	9.5%	100.0%	686
2年生	6.5%	41.9%	42.8%	8.8%	100.0%	477
3年生	2.4%	25.1%	54.5%	18.0%	100.0%	255
合計	6.6%	37.4%	45.3%	10.8%	100.0%	1418

設問34 普段の生活 F(大学の中に自分の居場所がない)と感じた

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.4%	11.5%	45.7%	38.4%	100.0%	685
2年生	2.1%	13.8%	47.8%	36.3%	100.0%	477
3年生	3.1%	12.5%	46.9%	37.5%	100.0%	256
合計	3.4%	12.5%	46.6%	37.5%	100.0%	1418

設問35 普段の生活 G(だたとの関係)で困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	3.5%	15.0%	38.0%	43.4%	100.0%	686
2年生	2.5%	13.7%	43.7%	40.1%	100.0%	476
3年生	2.3%	11.3%	42.6%	43.8%	100.0%	256
合計	3.0%	13.9%	40.8%	42.4%	100.0%	1418

設問36 普段の生活 H(教員との関係)で困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	2.2%	10.7%	34.6%	52.6%	100.0%	685
2年生	1.9%	8.2%	41.3%	48.6%	100.0%	477
3年生	2.0%	5.9%	39.5%	52.7%	100.0%	256
合計	2.0%	9.0%	37.7%	51.3%	100.0%	1418

設問37 普段の生活 I(アルバイト)で困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	3.2%	15.4%	25.7%	55.7%	100.0%	684
2年生	2.5%	12.4%	33.6%	51.5%	100.0%	476
3年生	2.8%	15.9%	27.8%	53.6%	100.0%	252
合計	2.9%	14.4%	28.8%	53.9%	100.0%	1412

設問38 普段の生活 J(体が弱く)困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	6.0%	22.9%	29.6%	41.5%	100.0%	686
2年生	5.2%	24.9%	32.5%	37.3%	100.0%	477
3年生	6.7%	21.7%	35.8%	35.8%	100.0%	254
合計	5.9%	23.4%	31.7%	39.1%	100.0%	1417

設問39 普段の生活 K(生活習慣)が崩れて困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	11.1%	27.1%	31.7%	28.2%	100.0%	685
2年生	8.0%	35.7%	31.0%	25.3%	100.0%	474
3年生	9.4%	36.5%	30.6%	23.5%	100.0%	255
合計	9.8%	33.6%	31.3%	26.4%	100.0%	1414

設問40 大学での学び方について考えに近いものは

1. あまり意味がなくても、単位を落とさずに授業を受ける
2. 単位をとるが目的でも、自分の興味のある授業がいい

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	56.9%	43.1%	100.0%	686		
2年生	51.1%	48.9%	100.0%	476		
3年生	43.9%	56.1%	100.0%	255		
合計	52.6%	47.4%	100.0%	1417		

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	7.6%	25.4%	41.1%	25.9%	100.0%	761
2年生	8.1%	24.0%	45.4%	22.5%	100.0%	471
3年生	13.5%	37.9%	30.9%	18.2%	100.0%	275
合計	8.8%	27.1%	40.6%	23.4%	100.0%	1507

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	8.3%	30.4%	45.9%	15.4%	100.0%	760
2年生	10.0%	28.0%	51.2%	10.8%	100.0%	471
3年生	8.0%	22.5%	47.3%	22.2%	100.0%	275
合計	8.8%	28.2%	47.8%	15.2%	100.0%	1506

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	8.4%	36.9%	45.1%	9.6%	100.0%	762
2年生	9.8%	38.7%	44.0%	7.5%	100.0%	468
3年生	3.6%	28.0%	46.5%	21.8%	100.0%	275
合計	8.0%	35.8%	45.0%	11.2%	100.0%	1505

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.7%	18.2%	45.7%	31.4%	100.0%	762
2年生	6.2%	17.6%	50.7%	25.5%	100.0%	471
3年生	4.0%	10.1%	44.9%	40.9%	100.0%	276
合計	5.0%	16.6%	47.1%	31.3%	100.0%	1509

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.3%	16.4%	39.9%	39.3%	100.0%	760
2年生	4.2%	12.5%	45.2%	38.0%	100.0%	471
3年生	2.2%	14.2%	35.3%	48.4%	100.0%	275
合計	3.9%	14.8%	40.7%	40.6%	100.0%	1506

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	2.4%	9.1%	42.5%	46.1%	100.0%	760
2年生	2.3%	5.7%	44.6%	47.3%	100.0%	471
3年生	3.3%	6.2%	35.1%	55.4%	100.0%	276
合計	2.5%	7.5%	41.8%	48.2%	100.0%	1507

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.1%	14.9%	28.5%	52.5%	100.0%	758
2年生	3.6%	16.0%	29.3%	51.1%	100.0%	468
3年生	3.6%	13.4%	24.6%	58.3%	100.0%	276
合計	3.9%	15.0%	28.0%	53.1%	100.0%	1502

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	3.2%	17.7%	33.3%	45.8%	100.0%	759
2年生	6.6%	19.5%	35.5%	38.4%	100.0%	471
3年生	6.9%	13.8%	33.0%	46.4%	100.0%	276
合計	4.9%	17.5%	33.9%	43.6%	100.0%	1506

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	11.3%	33.4%	29.7%	25.5%	100.0%	760
2年生	14.0%	34.6%	31.8%	19.5%	100.0%	471
3年生	15.6%	32.2%	25.0%	27.2%	100.0%	276
合計	12.9%	33.6%	29.5%	24.0%	100.0%	1507

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	51.6%	48.4%	100.0%	761		
2年生	47.1%	52.9%	100.0%	471		
3年生	43.8%	56.2%	100.0%	276		
合計	48.8%	51.2%	100.0%	1508		

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
4.1%	18.6%	40.4%	36.9%	100.0%	807
8.0%	27.8%	38.4%	25.9%	100.0%	425
10.2%	29.9%	39.3%	20.6%	100.0%	354
6.5%	23.6%	39.6%	30.3%	100.0%	1586

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
7.5%	28.2%	51.2%	13.0%	100.0%	808
8.2%	32.3%	45.2%	14.3%	100.0%	427
4.2%	32.4%	48.2%	15.2%	100.0%	355
7.0%	30.3%	48.9%	13.8%	100.0%	1590

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
6.2%	36.9%	51.1%	5.8%	100.0%	808
7.0%	38.7%	45.8%	8.5%	100.0%	426
4.2%	27.8%	54.2%	13.8%	100.0%	356
6.0%	35.3%	50.4%	8.3%	100.0%	1587

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
9.2%	27.2%	45.8%	17.8%	100.0%	805
4.9%	13.3%	49.6%	32.1%	100.0%	427
4.2%	14.1%	45.9%	35.8%	100.0%	355
6.9%	20.5%	46.9%	25.6%	100.0%	1587

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
7.8%	20.3%	37.1%	34.7%	100.0%	806
1.4%	11.7%	36.6%	50.2%	100.0%	426
2.5%	8.7%	43.5%	45.2%	100.0%	356
4.9%	15.4%	38.4%	41.2%	100.0%	1588

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
4.3%	10.0%	43.2%	42.4%	100.0%	806
2.1%	7.7%	33.6%	56.6%	100.0%	426
3.4%	7.6%	38.5%	50.6%	100.0%	356
3.5%	8.9%	39.5%	48.0%	100.0%	1588

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
4.0%	13.5%	29.9%	52.6%	100.0%	806
3.0%	14.3%	28.8%	53.9%	100.0%	427
3.9%	12.4%	32.7%	51.0%	100.0%	355
3.7%	13.5%	30.2%	52.6%	100.0%	1588

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
4.8%	18.6%	33.6%	42.9%	100.0%	806
5.6%	15.5%	34.4%	44.5%	100.0%	427
3.7%	20.8%	36.9%	38.6%	100.0%	355
4.8%	18.3%	34.6%	42.4%	100.0%	1588

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
13.6%	38.4%	32.6%	18.4%	100.0%	808
17.2%	32.1%	29.8%	32.8%	100.0%	424
14.3%	34.3%	30.9%	20.5%	100.0%	356
14.7%	35.8%	30.7%	18.8%	100.0%	1588

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
49.5%	50.5%	100.0%	808		
44.5%	55.5%	100.0%	425		
46.3%	53.7%	100.0%	356		
47.5%	52.5%	100.0%	1589		

設問41 大学での学び方について考えに近いものB

1. 授業の履修や必要性を勘定してはしい
2. 授業の履修や必要性は自分で見出したい

学年	1	2	合計	n
1年生	54.6%	45.4%	100.0%	685
2年生	66.4%	33.6%	100.0%	476
3年生	58.6%	41.4%	100.0%	256
合計	59.3%	40.7%	100.0%	1417

設問42 大学での学び方について考えに近いものC

1. 授業の中で必要なことはすべて探ってほしい
2. 授業はききつけて後は自分で学びたい

学年	1	2	合計	n
1年生	81.4%	18.6%	100.0%	684
2年生	81.9%	18.1%	100.0%	475
3年生	82.7%	17.3%	100.0%	255
合計	81.8%	18.2%	100.0%	1414

設問43 大学での学び方について考えに近いものD

1. 自分のレベルに合った授業をしてほしい
2. 授業は難しくてもチャレンジをほがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	84.1%	15.9%	100.0%	685
2年生	83.6%	16.4%	100.0%	477
3年生	75.5%	24.5%	100.0%	253
合計	82.4%	17.6%	100.0%	1415

設問44 大学での学び方について考えに近いものE

1. 教員が知識・技術を教える講義形式の授業が多いほうがよい
2. 学生が自分で調べて探求する演習形式の授業が多いほうがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	80.3%	19.7%	100.0%	685
2年生	77.9%	22.1%	100.0%	476
3年生	83.2%	16.8%	100.0%	256
合計	80.0%	20.0%	100.0%	1417

設問45 大学での学び方について考えに近いものF

1. 大学での学習の方法は、大学の授業で指導をうけるほうがよい
2. 大学での学習の方法は、学生が自分で工夫するのがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	49.8%	50.2%	100.0%	683
2年生	52.8%	47.2%	100.0%	475
3年生	51.2%	48.8%	100.0%	256
合計	51.1%	48.9%	100.0%	1414

設問46 大学での学び方について考えに近いものG

1. 学生生活については、大学の教員が指導・支援するほうがよい
2. 学生生活については、学生の自主性に任せるほうがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	28.4%	71.6%	100.0%	686
2年生	32.4%	67.6%	100.0%	475
3年生	31.3%	68.8%	100.0%	256
合計	30.3%	69.7%	100.0%	1417

(備考) 設問47 今年学習したことの中で、最も有意義だったことその理由 (自由記述)

(備考) 設問48 今年学習している中で、直面した問題とその解決策 (自由記述)

(備考) 設問49 今年の学習を初めからやり直すとしたら、次回はどのように変えるか (自由記述)

(備考) 設問50 今年履修したかった授業科目や、以前履修したけれども再履修したかった授業科目 (自由記述)

設問51 身につけることにつながる経験 A 専門的学習・技能の修得

学年	とてもできた	まあできた	まあできなかった	まったくできなかった	合計	n
1年生	20.2%	62.2%	14.8%	2.8%	100.0%	677
2年生	26.2%	62.3%	10.4%	1.1%	100.0%	469
3年生	27.4%	65.5%	5.2%	2.0%	100.0%	252
合計	23.5%	62.8%	11.6%	2.1%	100.0%	1398

学年	1	2	合計	n
1年生	60.1%	39.9%	100.0%	762
2年生	60.6%	39.4%	100.0%	470
3年生	57.8%	42.2%	100.0%	275
合計	59.9%	40.1%	100.0%	1507

学年	1	2	合計	n
1年生	80.3%	19.7%	100.0%	761
2年生	80.7%	19.3%	100.0%	471
3年生	74.0%	26.0%	100.0%	276
合計	80.2%	19.8%	100.0%	1508

学年	1	2	合計	n
1年生	83.5%	16.5%	100.0%	759
2年生	83.0%	17.0%	100.0%	471
3年生	78.9%	21.1%	100.0%	275
合計	82.5%	17.5%	100.0%	1505

学年	1	2	合計	n
1年生	77.9%	22.1%	100.0%	761
2年生	84.5%	15.5%	100.0%	470
3年生	74.3%	25.7%	100.0%	276
合計	80.2%	19.8%	100.0%	1507

学年	1	2	合計	n
1年生	51.6%	48.4%	100.0%	759
2年生	50.0%	50.0%	100.0%	470
3年生	48.2%	51.8%	100.0%	274
合計	50.5%	49.5%	100.0%	1503

学年	1	2	合計	n
1年生	28.7%	71.3%	100.0%	763
2年生	30.1%	69.9%	100.0%	469
3年生	28.6%	71.4%	100.0%	276
合計	29.1%	70.9%	100.0%	1508

学年	とてもできた	まあできた	まあできなかった	まったくできなかった	合計	n
1年生	21.9%	65.0%	10.8%	1.7%	100.0%	758
2年生	21.5%	67.0%	10.7%	0.9%	100.0%	466
3年生	31.1%	62.3%	5.5%	1.1%	100.0%	273
合計	23.4%	65.4%	9.8%	1.3%	100.0%	1497

学年	1	2	合計	n
1年生	51.5%	48.5%	100.0%	806
2年生	60.4%	39.6%	100.0%	427
3年生	56.1%	43.9%	100.0%	355
合計	54.9%	45.1%	100.0%	1588

学年	1	2	合計	n
1年生	79.9%	20.1%	100.0%	807
2年生	83.3%	16.7%	100.0%	426
3年生	80.2%	19.8%	100.0%	353
合計	80.9%	19.1%	100.0%	1586

学年	1	2	合計	n
1年生	84.6%	15.4%	100.0%	807
2年生	84.7%	15.3%	100.0%	425
3年生	79.2%	20.8%	100.0%	355
合計	83.4%	16.6%	100.0%	1587

学年	1	2	合計	n
1年生	84.4%	15.6%	100.0%	806
2年生	83.8%	16.2%	100.0%	427
3年生	83.4%	16.6%	100.0%	356
合計	84.0%	16.0%	100.0%	1589

学年	1	2	合計	n
1年生	50.6%	49.4%	100.0%	806
2年生	47.3%	52.7%	100.0%	425
3年生	53.4%	46.6%	100.0%	354
合計	50.3%	49.7%	100.0%	1585

学年	1	2	合計	n
1年生	26.1%	73.9%	100.0%	805
2年生	23.6%	76.4%	100.0%	424
3年生	29.3%	70.7%	100.0%	355
合計	26.1%	73.9%	100.0%	1584

学年	とてもできた	まあできた	まあできなかった	まったくできなかった	合計	n
1年生	13.0%	68.4%	16.4%	2.2%	100.0%	801
2年生	22.7%	62.2%	12.8%	2.4%	100.0%	423
3年生	25.1%	61.7%	12.0%	1.1%	100.0%	350
合計	18.3%	65.2%	14.4%	2.0%	100.0%	1574

観開E2 身につけることにつながる経験 B 専門的知識・技能を職業の領域に活用

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	15.7%	54.9%	25.2%	4.2%	100.0%	683
2年生	16.0%	60.6%	20.6%	2.8%	100.0%	470
3年生	14.6%	62.6%	21.3%	1.6%	100.0%	254
合計	15.6%	58.2%	23.0%	3.3%	100.0%	1407

観開E3 身につけることにつながる経験 C 幅広い教養

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	26.5%	57.3%	12.3%	1.9%	100.0%	683
2年生	12.8%	56.0%	28.7%	2.6%	100.0%	470
3年生	13.9%	53.2%	27.4%	5.6%	100.0%	252
合計	19.6%	57.1%	20.5%	2.8%	100.0%	1405

観開E4 身につけることにつながる経験 D 多面的・総合的な判断

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	21.2%	63.5%	14.0%	1.3%	100.0%	680
2年生	15.5%	62.8%	19.4%	2.3%	100.0%	470
3年生	13.8%	61.8%	21.3%	3.1%	100.0%	254
合計	17.9%	63.0%	17.1%	2.0%	100.0%	1404

観開E5 身につけることにつながる経験 E 論理的思考力

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	24.3%	62.8%	11.6%	1.3%	100.0%	683
2年生	18.0%	67.7%	13.8%	0.4%	100.0%	471
3年生	20.9%	64.0%	13.8%	1.2%	100.0%	253
合計	21.6%	64.7%	12.7%	1.0%	100.0%	1407

観開E6 身につけることにつながる経験 F コミュニケーション能力

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	29.7%	52.9%	14.6%	2.8%	100.0%	684
2年生	25.9%	56.9%	15.1%	2.1%	100.0%	471
3年生	29.0%	50.2%	19.6%	1.2%	100.0%	255
合計	28.3%	53.8%	15.7%	2.3%	100.0%	1410

観開E7 身につけることにつながる経験 G 社会で生起する問題に対して取り進む意欲

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	21.6%	58.0%	18.3%	2.0%	100.0%	684
2年生	14.6%	56.3%	26.6%	2.6%	100.0%	467
3年生	15.3%	57.3%	25.9%	1.6%	100.0%	255
合計	18.1%	57.3%	22.4%	2.1%	100.0%	1406

観開E8 身につけることにつながる経験 H 豊かな人間性・広い視野・社会的価値観

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	20.4%	58.2%	19.2%	2.2%	100.0%	682
2年生	14.1%	58.4%	24.7%	2.8%	100.0%	469
3年生	13.3%	57.6%	24.7%	4.3%	100.0%	255
合計	17.0%	58.2%	22.0%	2.8%	100.0%	1406

観開E9 身につけることにつながる経験 I 国内外的な活躍

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	9.5%	30.6%	41.2%	18.7%	100.0%	684
2年生	5.3%	34.0%	41.5%	19.2%	100.0%	468
3年生	4.7%	29.1%	38.6%	27.6%	100.0%	254
合計	7.3%	31.4%	40.8%	20.5%	100.0%	1406

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	13.6%	60.9%	22.8%	2.8%	100.0%	759
2年生	12.6%	61.7%	23.3%	2.4%	100.0%	467
3年生	23.4%	60.2%	15.3%	1.1%	100.0%	274
合計	15.1%	61.0%	21.6%	2.3%	100.0%	1500

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	25.6%	60.6%	12.5%	1.2%	100.0%	757
2年生	9.4%	55.3%	31.6%	3.6%	100.0%	468
3年生	16.4%	51.6%	27.3%	4.7%	100.0%	275
合計	18.9%	57.3%	21.2%	2.6%	100.0%	1500

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	20.7%	65.1%	13.2%	1.1%	100.0%	759
2年生	11.1%	63.5%	23.2%	2.1%	100.0%	469
3年生	16.4%	57.3%	23.4%	2.9%	100.0%	274
合計	16.9%	63.2%	18.2%	1.7%	100.0%	1502

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	22.3%	64.0%	12.6%	1.1%	100.0%	761
2年生	15.8%	72.8%	10.3%	1.1%	100.0%	467
3年生	24.0%	66.5%	8.7%	0.7%	100.0%	275
合計	20.6%	67.2%	11.2%	1.0%	100.0%	1503

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	26.8%	50.9%	20.1%	2.2%	100.0%	761
2年生	19.2%	55.2%	22.4%	3.2%	100.0%	469
3年生	26.9%	49.8%	18.9%	4.4%	100.0%	275
合計	24.5%	52.0%	20.6%	2.9%	100.0%	1505

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	17.0%	61.1%	20.0%	2.0%	100.0%	761
2年生	10.7%	58.4%	27.5%	3.4%	100.0%	469
3年生	17.2%	52.9%	25.9%	4.0%	100.0%	274
合計	15.0%	58.8%	23.4%	2.8%	100.0%	1504

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	15.6%	62.7%	19.4%	2.2%	100.0%	757
2年生	8.8%	60.0%	27.8%	3.4%	100.0%	468
3年生	13.5%	55.5%	25.2%	5.8%	100.0%	274
合計	13.1%	60.6%	23.1%	3.3%	100.0%	1499

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	7.6%	24.2%	40.9%	22.2%	100.0%	760
2年生	4.3%	28.3%	43.0%	24.5%	100.0%	470
3年生	5.5%	29.1%	44.0%	21.5%	100.0%	275
合計	6.2%	28.9%	42.1%	22.8%	100.0%	1505

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
7.2%	52.0%	36.3%	4.5%	100.0%	802
12.0%	56.5%	27.5%	4.1%	100.0%	418
15.4%	59.3%	23.6%	1.7%	100.0%	351
10.3%	54.8%	31.1%	3.8%	100.0%	1571

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
18.7%	65.6%	13.8%	1.9%	100.0%	803
10.6%	49.2%	32.9%	7.3%	100.0%	423
12.3%	48.9%	33.7%	5.1%	100.0%	350
15.1%	57.5%	23.4%	4.1%	100.0%	1576

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
13.1%	65.8%	19.2%	2.0%	100.0%	804
9.2%	59.2%	28.1%	3.5%	100.0%	424
12.3%	58.4%	25.9%	3.4%	100.0%	351
11.8%	62.4%	23.1%	2.7%	100.0%	1577

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
14.8%	67.0%	14.4%	1.7%	100.0%	804
17.3%	65.4%	15.9%	1.4%	100.0%	422
17.7%	66.4%	13.4%	2.6%	100.0%	351
16.1%	67.5%	14.6%	1.8%	100.0%	1577

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
13.9%	48.1%	31.1%	7.0%	100.0%	801
14.4%	46.2%	29.7%	9.7%	100.0%	424
20.2%	43.3%	28.5%	8.0%	100.0%	351
15.4%	46.5%	30.1%	7.9%	100.0%	1576

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
11.8%	56.5%	28.1%	3.6%	100.0%	802
11.4%	53.3%	30.8%	4.5%	100.0%	422
13.1%	54.3%	29.7%	2.9%	100.0%	350
12.0%	55.1%	29.2%	3.7%	100.0%	1574

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
10.6%	57.6%	28.1%	3.7%	100.0%	805
8.5%	53.0%	30.7%	7.8%	100.0%	423
9.5%	51.1%	32.8%	6.6%	100.0%	348
9.8%	54.9%	29.8%	5.5%	100.0%	1576

とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
4.1%	19.8%	48.4%	27.7%	100.0%	805
2.8%	25.9%	40.1%	31.1%	100.0%	424
6.3%	28.0%	39.7%	26.0%	100.0%	350
4.2%	23.2%	44.3%	28.2%	100.0%	1579

## 7.1.47

## 資料 6-3：群馬大学全学卒業時アンケート調査集計表

群馬大学全学卒業時アンケート調査(2023年3月卒業生、2022年3月卒業生) 学部学科別集計表  
回収数：2023年3月卒業生500、2022年3月卒業生581

Q1 学部(省略)  
Q2 学科(省略)  
Q3 専攻(省略)  
Q4 入学年度(省略)

## Q5 卒業後の進路

	2023年3月卒業生				2022年3月卒業生				N/A	合計
	就職する 群馬県 (群馬県 外)	群馬大 学大 院に進学 する	他の大 学大 院に進学 する	その他	就職する 群馬県 (群馬県 外)	群馬大 学大 院に進学 する	他の大 学大 院に進学 する	その他		
医学科	12 60.0%	8 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 60.0%	40.0%	0 0.0%	0 0.0%	N/A	10 100.0%
保健学科	43 48.9%	34 38.6%	8 9.1%	0 0.0%	12 23	54.8%	6 2.4%	0 0.0%	0.0%	42 100.0%
教育	35 71.4%	7 14.3%	2 4.1%	0 0.0%	33 67.3%	22.4%	2 4.1%	0 0.0%	0.0%	49 100.0%
社会情報	23 43.4%	24 45.3%	0 0.0%	0 0.0%	41 49.4%	41.0%	2 2.4%	0 0.0%	0.0%	83 100.0%
理工	29 10.0%	53 18.3%	7 2.4%	9 3.1%	44 11.1%	23.9%	95 59.9%	13 3.3%	4 1.0%	397 100.0%
合計	142 28.5%	126 25.3%	10 40.1%	20 4.0%	136 23.4%	167 28.7%	248 42.7%	17 2.9%	10 0.5%	581 100.0%

## Q6 合格した群馬大学の入学試験

	2023年3月卒業生				2022年3月卒業生				N/A	合計
	推薦 試験	一般入 学試験 日程	社会 入試	編入 入試	推薦 試験	一般入 学試験 日程	社会 入試	編入 入試		
医学科	4 20.0%	13 65.0%	0 0.0%	3 0.0%	1 10.0%	70.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	10 100.0%
保健学科	36 40.9%	35 39.5%	17 19.3%	0 0.0%	88 31.0%	42.9%	9 21.4%	2 0.0%	4.8%	42 100.0%
教育	8 16.3%	34 69.4%	7 14.3%	0 0.0%	49 24.5%	57.1%	9 18.4%	0 0.0%	0.0%	49 100.0%
社会情報	12 22.6%	30 56.6%	2 3.8%	0 0.0%	53 18.1%	43.4%	11 13.3%	0 0.0%	0.0%	83 100.0%
理工	93 32.2%	152 52.6%	23 8.0%	0 0.0%	289 34.5%	46.3%	164 11.1%	0 0.3%	0.0%	397 100.0%
合計	153 30.7%	264 52.4%	49 9.8%	0 0.0%	178 30.6%	47.0%	273 12.6%	2 0.2%	6 0.3%	581 100.0%

## Q7 群馬大学の志望順位

	2023年3月卒業生				2022年3月卒業生				N/A	合計
	第1志望	第2志望	第3志望	以下	第1志望	第2志望	第3志望	以下		
医学科	17 85.0%	2 10.0%	1 5.0%	0 0.0%	9 90.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%	10 100.0%
保健学科	65 73.9%	12 13.6%	11 12.5%	0 0.0%	30 71.4%	9 21.4%	0 0.0%	42 8.2%	0.0%	42 100.0%
教育	35 71.4%	11 22.4%	3 6.1%	0 0.0%	49 71.4%	10 20.4%	4 8.2%	0 0.0%	0.0%	49 100.0%
社会情報	39 73.6%	11 20.5%	3 5.7%	0 0.0%	51 61.4%	21 25.3%	11 13.3%	0 0.3%	0.0%	83 100.0%
理工	177 61.2%	48 16.6%	62 21.5%	2 0.7%	289 61.5%	74 18.6%	78 19.6%	1 0.3%	0.0%	397 100.0%
合計	333 66.7%	84 16.8%	60 16.0%	2 0.4%	499 63.5%	159 19.8%	96 16.5%	15 0.2%	6 0.2%	581 100.0%

## Q8-1 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:興味のある学問分野があること

		2023年3月卒業生		2022年3月卒業生	
		該当する	合計	該当する	合計
医学科	度数	7	20	4	10
	%	35.0%	100.0%	40.0%	100.0%
保健学科	度数	49	88	23	42
	%	55.7%	100.0%	54.8%	100.0%
教育	度数	27	49	28	49
	%	55.1%	100.0%	57.1%	100.0%
社会情報	度数	36	53	50	83
	%	67.9%	100.0%	60.2%	100.0%
理工	度数	176	289	215	397
	%	60.9%	100.0%	54.2%	100.0%
合計	度数	295	499	320	581
	%	59.1%	100.0%	55.1%	100.0%

## Q8-2 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:資格や免許が取得できること

		2023年3月卒業生		2022年3月卒業生	
		該当する	合計	該当する	合計
医学科	度数	11	20	5	10
	%	55.0%	100.0%	50.0%	100.0%
保健学科	度数	63	88	34	42
	%	71.6%	100.0%	81.0%	100.0%
教育	度数	36	49	34	49
	%	73.5%	100.0%	69.4%	100.0%
社会情報	度数	0	53	2	83
	%	0.0%	100.0%	2.4%	100.0%
理工	度数	13	289	25	397
	%	4.5%	100.0%	6.3%	100.0%
合計	度数	123	499	100	581
	%	24.6%	100.0%	17.2%	100.0%

## Q8-3 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:将来就きたい職業につながる

		2023年3月卒業生		2022年3月卒業生	
		該当する	合計	該当する	合計
医学科	度数	11	20	3	10
	%	55.0%	100.0%	30.0%	100.0%
保健学科	度数	55	88	25	42
	%	62.5%	100.0%	59.5%	100.0%
教育	度数	31	49	29	49
	%	63.3%	100.0%	59.2%	100.0%
社会情報	度数	14	53	14	83
	%	26.4%	100.0%	16.9%	100.0%
理工	度数	61	289	70	397
	%	21.1%	100.0%	17.6%	100.0%
合計	度数	172	499	141	581
	%	34.5%	100.0%	24.3%	100.0%

## Q8-4 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:自分の学力と偏差値が合っていること

		2023年3月卒業生		2022年3月卒業生	
		該当する	合計	該当する	合計
医学科	度数	9	20	5	10
	%	45.0%	100.0%	50.0%	100.0%
保健学科	度数	38	88	22	42
	%	43.2%	100.0%	52.4%	100.0%
教育	度数	17	49	17	49
	%	34.7%	100.0%	34.7%	100.0%
社会情報	度数	18	53	34	83
	%	34.0%	100.0%	41.0%	100.0%
理工	度数	144	289	157	397
	%	49.8%	100.0%	39.5%	100.0%
合計	度数	226	499	235	581
	%	45.3%	100.0%	40.4%	100.0%



## Q8-5 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:就職の実績がよいこと

		2023年3月卒業生		2022年3月卒業生	
		該当する	合計	該当する	合計
医学科	度数	0	20	0	10
	%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	5	88	1	42
	%	5.7%	100.0%	2.4%	100.0%
教育	度数	3	49	6	49
	%	6.1%	100.0%	12.2%	100.0%
社会情報	度数	3	53	3	83
	%	5.7%	100.0%	3.6%	100.0%
理工	度数	34	289	41	397
	%	11.8%	100.0%	10.3%	100.0%
合計	度数	45	499	51	581
	%	9.0%	100.0%	8.8%	100.0%

## Q8-6 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:キャンパスの雰囲気がよいこと

		2023年3月卒業生		2022年3月卒業生	
		該当する	合計	該当する	合計
医学科	度数	1	20	0	10
	%	5.0%	100.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	10	88	4	42
	%	11.4%	100.0%	9.5%	100.0%
教育	度数	3	49	3	49
	%	6.1%	100.0%	6.1%	100.0%
社会情報	度数	6	53	5	83
	%	11.3%	100.0%	6.0%	100.0%
理工	度数	10	289	18	397
	%	3.5%	100.0%	4.5%	100.0%
合計	度数	30	499	30	581
	%	6.0%	100.0%	5.2%	100.0%

## Q8-7 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:親元を離れられること

		2023年3月卒業生		2022年3月卒業生	
		該当する	合計	該当する	合計
医学科	度数	1	20	0	10
	%	5.0%	100.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	12	88	2	42
	%	13.6%	100.0%	4.8%	100.0%
教育	度数	4	49	3	49
	%	8.2%	100.0%	6.1%	100.0%
社会情報	度数	4	53	9	83
	%	7.5%	100.0%	10.8%	100.0%
理工	度数	29	289	31	397
	%	10.0%	100.0%	7.8%	100.0%
合計	度数	50	499	45	581
	%	10.0%	100.0%	7.7%	100.0%

## Q8-8 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:経済的な負担が少ないこと

		2023年3月卒業生		2022年3月卒業生	
		該当する	合計	該当する	合計
医学科	度数	6	20	2	10
	%	30.0%	100.0%	20.0%	100.0%
保健学科	度数	38	88	23	42
	%	43.2%	100.0%	54.8%	100.0%
教育	度数	29	49	26	49
	%	59.2%	100.0%	53.1%	100.0%
社会情報	度数	29	53	44	83
	%	54.7%	100.0%	53.0%	100.0%
理工	度数	141	289	179	397
	%	48.8%	100.0%	45.1%	100.0%
合計	度数	243	499	274	581
	%	48.7%	100.0%	47.2%	100.0%

## Q8-9 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:親や学校の先生にすすめられたこと

		2023年3月卒業生		2022年3月卒業生	
		該当する	合計	該当する	合計
医学科	度数	1	20	0	10
	%	5.0%	100.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	16	88	7	42
	%	18.2%	100.0%	16.7%	100.0%
教育	度数	7	49	11	49
	%	14.3%	100.0%	22.4%	100.0%
社会情報	度数	10	53	21	83
	%	18.9%	100.0%	25.3%	100.0%
理工	度数	56	289	108	397
	%	19.4%	100.0%	27.2%	100.0%
合計	度数	90	499	147	581
	%	18.0%	100.0%	25.3%	100.0%

## Q8-10 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:その他

		2023年3月卒業生		2022年3月卒業生	
		該当する	合計	該当する	合計
医学科	度数	2	20	0	10
	%	10.0%	100.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	4	88	4	42
	%	4.5%	100.0%	9.5%	100.0%
教育	度数	3	49	3	49
	%	6.1%	100.0%	6.1%	100.0%
社会情報	度数	2	53	6	83
	%	3.8%	100.0%	7.2%	100.0%
理工	度数	20	289	19	397
	%	6.9%	100.0%	4.8%	100.0%
合計	度数	31	499	32	581
	%	6.2%	100.0%	5.5%	100.0%

## Q09 入学(編入)時、教育ポリシーについて知っていたか

	2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
	とても知っていた	まあ知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	N/A	合計	とても知っていた	まあ知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	N/A	合計
医学科	1	9	9	1	0	20	1	2	3	4	0	10
%	5.0%	45.0%	45.0%	5.0%	0.0%	100.0%	10.0%	20.0%	30.0%	40.0%	0.0%	100.0%
保健学科	10	36	26	16	0	88	3	16	19	4	0	42
%	11.4%	40.9%	29.5%	18.2%	0.0%	100.0%	7.1%	38.1%	45.2%	9.5%	0.0%	100.0%
教育	1	21	19	8	0	49	2	25	14	8	0	49
%	2.0%	42.9%	38.8%	16.3%	0.0%	100.0%	4.1%	51.0%	28.6%	16.3%	0.0%	100.0%
社会情報	6	20	19	8	0	53	10	32	25	16	0	83
%	11.3%	37.7%	35.8%	15.1%	0.0%	100.0%	12.0%	38.6%	30.1%	19.3%	0.0%	100.0%
理工	18	104	108	55	4	289	28	166	122	78	3	397
%	6.2%	36.0%	37.4%	19.0%	1.4%	100.0%	7.1%	41.8%	30.7%	19.6%	0.8%	100.0%
合計	36	190	181	88	4	499	44	241	183	110	3	581
%	7.2%	38.1%	36.3%	17.6%	0.8%	100.0%	7.6%	41.5%	31.5%	18.9%	0.5%	100.0%

## Q10 入学(編入)時、満足していたか

	2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
	とても満足して入学した	まあ満足して入学した	あまり満足して入学しなかった	まったく満足して入学しなかった	N/A	合計	とても満足して入学した	まあ満足して入学した	あまり満足して入学しなかった	まったく満足して入学しなかった	N/A	合計
医学科	9	11	0	0	0	20	5	3	1	1	0	10
%	45.0%	55.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	100.0%
保健学科	43	38	3	4	0	88	18	21	3	0	0	42
%	48.9%	43.2%	3.4%	4.5%	0.0%	100.0%	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	18	24	4	3	0	49	20	24	5	0	0	49
%	36.7%	49.0%	8.2%	6.1%	0.0%	100.0%	40.8%	49.0%	10.2%	0.0%	0.0%	100.0%
社会情報	27	20	3	3	0	53	30	46	6	1	0	83
%	50.9%	37.7%	5.7%	5.7%	0.0%	100.0%	36.1%	55.4%	7.2%	1.2%	0.0%	100.0%
理工	85	156	36	9	3	289	110	227	44	10	6	397
%	29.4%	54.0%	12.5%	3.1%	1.0%	100.0%	27.7%	57.2%	11.1%	2.5%	1.5%	100.0%
合計	182	249	46	19	3	499	183	321	59	12	6	581
%	36.5%	49.9%	9.2%	3.8%	0.6%	100.0%	31.5%	55.2%	10.2%	2.1%	1.0%	100.0%

## Q11 入学(編入)時、主体性はどうだったか

	2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
	自分から積極的にやっていた	与えられた興味を持ってやるほうだった	与えられた興味も、よほど興味がない	あてはまらない、わからない	N/A	合計	自分から積極的にやっていた	与えられた興味を持ってやるほうだった	与えられた興味も、よほど興味がない	あてはまらない、わからない	N/A	合計
医学科	6	9	2	3	0	20	3	6	0	1	0	10
%	30.0%	45.0%	10.0%	15.0%	0.0%	100.0%	30.0%	60.0%	0.0%	10.0%	0.0%	100.0%
保健学科	28	54	5	1	0	88	9	29	4	0	0	42
%	31.8%	61.4%	5.7%	1.1%	0.0%	100.0%	21.4%	69.0%	9.5%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	10	34	4	1	0	49	15	30	3	1	0	49
%	20.4%	69.4%	8.2%	2.0%	0.0%	100.0%	30.6%	61.2%	6.1%	2.0%	0.0%	100.0%
社会情報	20	29	3	1	0	53	29	41	11	2	0	83
%	37.7%	54.7%	5.7%	1.9%	0.0%	100.0%	34.9%	49.4%	13.3%	2.4%	0.0%	100.0%
理工	66	185	28	6	4	289	86	255	43	9	4	397
%	22.8%	64.0%	9.7%	2.1%	1.4%	100.0%	21.7%	64.2%	10.8%	2.3%	1.0%	100.0%
合計	130	311	42	12	4	499	142	361	61	13	4	581
%	26.1%	62.3%	8.4%	2.4%	0.8%	100.0%	24.4%	62.1%	10.5%	2.2%	0.7%	100.0%

## Q12 学習の様子:授業に真面目に出席した

		2023年3月卒業生					N/A	合計	2022年3月卒業生					N/A	合計
		とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない				とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない			
医学科	度数	9	7	4			20	3	3	4				10	
	%	45.0%	35.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.0%	30.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
保健学科	度数	58	29	1	0	0	88	24	16	2	0	0	42		
	%	65.9%	33.0%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	57.1%	38.1%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%		
教育	度数	20	25	4	0	0	49	25	21	3	0	0	49		
	%	40.8%	51.0%	8.2%	0.0%	0.0%	100.0%	51.0%	42.9%	6.1%	0.0%	0.0%	100.0%		
社会情報	度数	28	24	1	0	0	53	33	41	9	0	0	83		
	%	52.8%	45.3%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%	39.8%	49.4%	10.8%	0.0%	0.0%	100.0%		
理工	度数	147	124	14	1	3	289	169	193	29	6	0	397		
	%	50.9%	42.9%	4.8%	0.3%	1.0%	100.0%	42.6%	48.6%	7.3%	1.5%	0.0%	100.0%		
合計	度数	262	209	24	1	3	499	254	274	47	6	0	581		
	%	52.5%	41.9%	4.8%	0.2%	0.6%	100.0%	43.7%	47.2%	8.1%	1.0%	0.0%	100.0%		

## Q13 学習の様子:授業の予習や復習をした

		2023年3月卒業生					N/A	合計	2022年3月卒業生					N/A	合計
		とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない				とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない			
医学科	度数	5	5	9			20	2	4	2			10		
	%	25.0%	25.0%	45.0%	5.0%	0.0%	100.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%		
保健学科	度数	15	47	26	0	0	88	5	27	10	0	0	42		
	%	17.0%	53.4%	29.5%	0.0%	0.0%	100.0%	11.9%	64.3%	23.8%	0.0%	0.0%	100.0%		
教育	度数	6	28	10	4	1	49	7	26	12	4	0	49		
	%	12.2%	57.1%	20.4%	8.2%	2.0%	100.0%	14.3%	53.1%	24.5%	8.2%	0.0%	100.0%		
社会情報	度数	4	32	13	4	0	53	8	44	27	4	0	83		
	%	7.5%	60.4%	24.5%	7.5%	0.0%	100.0%	9.6%	53.0%	32.5%	4.8%	0.0%	100.0%		
理工	度数	32	168	78	10	1	289	47	211	120	18	1	397		
	%	11.1%	58.1%	27.0%	3.5%	0.3%	100.0%	11.8%	53.1%	30.2%	4.5%	0.3%	100.0%		
合計	度数	62	280	136	19	2	499	69	312	171	28	1	581		
	%	12.4%	56.1%	27.3%	3.8%	0.4%	100.0%	11.9%	53.7%	29.4%	4.8%	0.2%	100.0%		

## Q14 学習の様子:授業で出された宿題や課題はきちんとやった

		2023年3月卒業生					N/A	合計	2022年3月卒業生					N/A	合計
		とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない				とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない			
医学科	度数	8	10	2	0		20	5	4	0			10		
	%	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	40.0%	0.0%	10.0%	0.0%	100.0%		
保健学科	度数	65	22	1	0	0	88	31	10	1	0	0	42		
	%	73.9%	25.0%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	73.8%	23.8%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%		
教育	度数	22	22	5	0	0	49	35	12	2	0	0	49		
	%	44.9%	44.9%	10.2%	0.0%	0.0%	100.0%	71.4%	24.5%	4.1%	0.0%	0.0%	100.0%		
社会情報	度数	33	18	1	1	0	53	41	35	6	1	0	83		
	%	62.3%	34.0%	1.9%	1.9%	0.0%	100.0%	49.4%	42.2%	7.2%	1.2%	0.0%	100.0%		
理工	度数	180	98	9	1	1	289	234	145	17	1	0	397		
	%	62.3%	33.9%	3.1%	0.3%	0.3%	100.0%	58.9%	36.5%	4.3%	0.3%	0.0%	100.0%		
合計	度数	308	170	18	2	1	499	346	206	26	3	0	581		
	%	61.7%	34.1%	3.6%	0.4%	0.2%	100.0%	59.6%	35.5%	4.5%	0.5%	0.0%	100.0%		

## Q15 学習の様子:グループワークやディスカッションに、積極的に参加した

		2023年3月卒業生					N/A	合計	2022年3月卒業生					N/A	合計
		とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない				とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない			
医学科	度数	6	12	1	1		20	2	5	2			10		
	%	30.0%	60.0%	5.0%	5.0%	0.0%	100.0%	20.0%	50.0%	20.0%	10.0%	0.0%	100.0%		
保健学科	度数	34	49	5	0	0	88	17	24	1	0	0	42		
	%	38.6%	55.7%	5.7%	0.0%	0.0%	100.0%	40.5%	57.1%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%		
教育	度数	19	25	4	1	0	49	19	26	4	0	0	49		
	%	38.8%	51.0%	8.2%	2.0%	0.0%	100.0%	38.8%	53.1%	8.2%	0.0%	0.0%	100.0%		
社会情報	度数	14	33	6	0	0	53	23	50	8	2	0	83		
	%	26.4%	62.3%	11.3%	0.0%	0.0%	100.0%	27.7%	60.2%	9.6%	2.4%	0.0%	100.0%		
理工	度数	77	165	42	3	2	289	114	225	51	4	3	397		
	%	26.6%	57.1%	14.5%	1.0%	0.7%	100.0%	28.7%	56.7%	12.8%	1.0%	0.8%	100.0%		
合計	度数	150	284	58	5	2	499	175	330	66	7	3	581		
	%	30.1%	56.9%	11.6%	1.0%	0.4%	100.0%	30.1%	56.8%	11.4%	1.2%	0.5%	100.0%		

## Q16 学習の様子：計画を立てて勉強した

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生						
		とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない	N/A	合計	とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない	N/A	合計
医学科	度数	6	7	6			20	3	3	1			10
	%	30.0%	35.0%	30.0%	5.0%	0.0%	100.0%	30.0%	30.0%	10.0%	30.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	20	38	28	2	0	88	5	22	14	1	0	42
	%	22.7%	43.2%	31.8%	2.3%	0.0%	100.0%	11.9%	52.4%	33.3%	2.4%	0.0%	100.0%
教育	度数	5	23	13	8	0	49	9	22	13	5	0	49
	%	10.2%	46.9%	26.5%	16.3%	0.0%	100.0%	18.4%	44.9%	26.5%	10.2%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	7	26	16	4	0	53	11	41	25	6	0	83
	%	13.2%	49.1%	30.2%	7.5%	0.0%	100.0%	13.3%	49.4%	30.1%	7.2%	0.0%	100.0%
理工	度数	46	122	102	18	1	289	63	196	116	22	0	397
	%	15.9%	42.2%	35.3%	6.2%	0.3%	100.0%	15.9%	49.4%	29.2%	5.5%	0.0%	100.0%
合計	度数	84	216	165	33	1	499	91	284	169	37	0	581
	%	16.8%	43.3%	33.1%	6.6%	0.2%	100.0%	15.7%	48.9%	29.1%	6.4%	0.0%	100.0%

## Q17 学習の様子：興味をもったことについて自主的に勉強した

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生						
		とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない	N/A	合計	とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない	N/A	合計
医学科	度数	8	8	4			20	0	2	6			10
	%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	27	50	10	1	0	88	3	10	26	3	0	42
	%	30.7%	56.8%	11.4%	1.1%	0.0%	100.0%	7.1%	23.8%	61.9%	7.1%	0.0%	100.0%
教育	度数	19	22	7	1	0	49	3	10	32	4	0	49
	%	38.8%	44.9%	14.3%	2.0%	0.0%	100.0%	6.1%	20.4%	65.3%	8.2%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	19	28	5	1	0	53	7	16	49	11	0	83
	%	35.8%	52.8%	9.4%	1.9%	0.0%	100.0%	8.4%	19.3%	59.0%	13.3%	0.0%	100.0%
理工	度数	66	158	58	6	1	289	27	97	236	37	0	397
	%	22.8%	54.7%	20.1%	2.1%	0.3%	100.0%	6.8%	24.4%	59.4%	9.3%	0.0%	100.0%
合計	度数	139	266	84	9	1	499	40	135	349	57	0	581
	%	27.9%	53.3%	16.8%	1.8%	0.2%	100.0%	6.9%	23.2%	60.1%	9.8%	0.0%	100.0%

## Q18 学習の様子：進路や将来について積極的に考えた

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生						
		とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない	N/A	合計	とてもあ てはまる	まああて てはまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない	N/A	合計
医学科	度数	12	5	3	0		20	1	1	6			10
	%	60.0%	25.0%	15.0%	0.0%	0.0%	100.0%	10.0%	10.0%	60.0%	20.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	55	27	6	0	0	88	2	3	23	14	0	42
	%	62.5%	30.7%	6.8%	0.0%	0.0%	100.0%	4.8%	7.1%	54.8%	33.3%	0.0%	100.0%
教育	度数	24	19	3	2	1	49	3	5	19	22	0	49
	%	49.0%	38.8%	6.1%	4.1%	2.0%	100.0%	6.1%	10.2%	38.8%	44.9%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	22	22	6	3	0	53	5	21	37	20	0	83
	%	41.5%	41.5%	11.3%	5.7%	0.0%	100.0%	6.0%	25.3%	44.6%	24.1%	0.0%	100.0%
理工	度数	89	118	71	9	2	289	27	100	182	87	1	397
	%	30.8%	40.8%	24.6%	3.1%	0.7%	100.0%	6.8%	25.2%	45.8%	21.9%	0.3%	100.0%
合計	度数	202	191	89	14	3	499	38	130	267	145	1	581
	%	40.5%	38.3%	17.8%	2.8%	0.6%	100.0%	6.5%	22.4%	46.0%	25.0%	0.2%	100.0%

## Q19 力を入れたこと：大学の授業

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生						
		とても力 を入れた	まああて てはまる	あまり力 を入れた なかった	まったく 力を入れ なかった	N/A	合計	とても力 を入れた	まああて てはまる	あまり力 を入れた なかった	まったく 力を入れ なかった	N/A	合計
医学科	度数	7	8				20	3	3				10
	%	35.0%	40.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.0%	30.0%	30.0%	10.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	30	57	1	0	0	88	18	22	2	0	0	42
	%	34.1%	64.8%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	42.9%	52.4%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	度数	8	35	4			49	14	29	5			49
	%	16.3%	71.4%	8.2%	4.1%	0.0%	100.0%	28.6%	59.2%	10.2%	2.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	13	36	3	1	0	53	13	53	15	2	0	83
	%	24.5%	67.9%	5.7%	1.9%	0.0%	100.0%	15.7%	63.9%	18.1%	2.4%	0.0%	100.0%
理工	度数	73	178	32	3	3	289	79	266	47	5	0	397
	%	25.3%	61.6%	11.1%	1.0%	1.0%	100.0%	19.9%	67.0%	11.8%	1.3%	0.0%	100.0%
合計	度数	131	314	45	6	3	499	127	373	72	9	0	581
	%	26.3%	62.9%	9.0%	1.2%	0.6%	100.0%	21.9%	64.2%	12.4%	1.5%	0.0%	100.0%

## Q20 力を入れたこと:ゼミ、研究室活動

	2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計
医学科	4	5				20	3	2				10
%	20.0%	25.0%	40.0%	15.0%	0.0%	100.0%	30.0%	20.0%	10.0%	40.0%	0.0%	100.0%
保健学科	40	39	9	0	0	88	19	22	1	0	0	42
%	45.5%	44.3%	10.2%	0.0%	0.0%	100.0%	45.2%	52.4%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	26	21	2	0	0	49	21	23	5	0	0	49
%	53.1%	42.9%	4.1%	0.0%	0.0%	100.0%	42.9%	46.9%	10.2%	0.0%	0.0%	100.0%
社会情報	22	27	2	2	0	53	32	45	4	2	0	83
%	41.5%	50.9%	3.8%	3.8%	0.0%	100.0%	38.6%	54.2%	4.8%	2.4%	0.0%	100.0%
理工	151	112	19	6	1	289	176	196	21	1	3	397
%	52.2%	38.8%	6.6%	2.1%	0.3%	100.0%	44.3%	49.4%	5.3%	0.3%	0.8%	100.0%
合計	243	204	40	11	1	499	251	288	32	7	3	581
%	48.7%	40.9%	8.0%	2.2%	0.2%	100.0%	43.2%	49.6%	5.5%	1.2%	0.5%	100.0%

## Q21 力を入れたこと:卒業論文や卒業研究

	2023年3月卒業生							2022年3月卒業生						
	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	該当せず	N/A	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	該当せず	N/A	合計
医学科	2	1			14	0	20	1	1			80.0%	0.0%	100.0%
%	10.0%	5.0%	15.0%	0.0%	70.0%	0.0%	100.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	100.0%
保健学科	46	34	6	1	1.1%	0.0%	88	23	17	2	0	0.0%	0.0%	100.0%
%	52.3%	38.6%	6.8%	1.1%	1.1%	0.0%	100.0%	54.8%	40.5%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	29	19	1	0	0.0%	0.0%	49	25	18	5	1	0.0%	0.0%	100.0%
%	59.2%	38.8%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	51.0%	36.7%	10.2%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%
社会情報	25	22	2	1	5.7%	0.0%	53	33	39	9	2	0.0%	0.0%	100.0%
%	47.2%	41.5%	3.8%	1.9%	5.7%	0.0%	100.0%	39.8%	47.0%	10.8%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%
理工	166	99	13	4	2.1%	0.3%	289	193	175	21	0	5	0.8%	100.0%
%	57.4%	34.3%	4.5%	1.4%	2.1%	0.3%	100.0%	48.6%	44.1%	5.3%	0.0%	1.3%	0.8%	100.0%
合計	268	175	25	6	24	1	499	275	250	37	3	13	3	581
%	53.7%	35.1%	5.0%	1.2%	4.8%	0.2%	100.0%	47.3%	43.0%	6.4%	0.5%	2.2%	0.5%	100.0%

## Q22 力を入れたこと:授業以外の自主的な勉強(資格試験など)

	2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計
医学科	5	10	4			20	2	1				10
%	25.0%	50.0%	20.0%	5.0%	0.0%	100.0%	20.0%	10.0%	60.0%	10.0%	0.0%	100.0%
保健学科	24	49	12	3	0	88	7	21	11	3	0	42
%	27.3%	55.7%	13.6%	3.4%	0.0%	100.0%	16.7%	50.0%	26.2%	7.1%	0.0%	100.0%
教育	11	20	16	1	1	49	12	18	16	3	0	49
%	22.4%	40.8%	32.7%	2.0%	2.0%	100.0%	24.5%	36.7%	32.7%	6.1%	0.0%	100.0%
社会情報	12	20	16	5	0	53	10	32	29	11	1	83
%	22.6%	37.7%	30.2%	9.4%	0.0%	100.0%	12.0%	38.6%	34.9%	13.3%	1.2%	100.0%
理工	45	122	103	17	2	289	57	160	152	25	3	397
%	15.6%	42.2%	35.6%	5.9%	0.7%	100.0%	14.4%	40.3%	38.3%	6.3%	0.8%	100.0%
合計	97	221	151	27	3	499	88	232	214	43	4	581
%	19.4%	44.3%	30.3%	5.4%	0.6%	100.0%	15.1%	39.9%	36.8%	7.4%	0.7%	100.0%

## Q23 力を入れたこと:留学、海外研修・経験

	2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計
医学科	2	2	2	14	0	20	1	2				10
%	10.0%	10.0%	10.0%	70.0%	0.0%	100.0%	10.0%	20.0%	20.0%	50.0%	0.0%	100.0%
保健学科	5	8	28	47	0	88	4	2	12	24	0	42
%	5.7%	9.1%	31.8%	53.4%	0.0%	100.0%	9.5%	4.8%	28.6%	57.1%	0.0%	100.0%
教育	1	4	8	36	0	49	3	9	10	27	0	49
%	2.0%	8.2%	16.3%	73.5%	0.0%	100.0%	6.1%	18.4%	20.4%	55.1%	0.0%	100.0%
社会情報	3	4	6	40	0	53	5	9	15	54	0	83
%	5.7%	7.5%	11.3%	75.5%	0.0%	100.0%	6.0%	10.8%	18.1%	65.1%	0.0%	100.0%
理工	22	33	65	167	2	289	31	32	93	240	1	397
%	7.6%	11.4%	22.5%	57.8%	0.7%	100.0%	7.8%	8.1%	23.4%	60.5%	0.3%	100.0%
合計	33	51	109	304	2	499	44	54	132	350	1	581
%	6.6%	10.2%	21.8%	60.9%	0.4%	100.0%	7.6%	9.3%	22.7%	60.2%	0.2%	100.0%

## Q24 カを入れたこと:サークルや部活動

		2023年3月卒業生				N/A	合計	2022年3月卒業生				N/A	合計
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった			とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった		
医学科	度数	6	7	2	5	0	20	6	0	4	0	0	10
	%	30.0%	35.0%	10.0%	25.0%	0.0%	100.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	25	36	12	14	1	88	13	17	6	6	0	42
	%	28.4%	40.9%	13.6%	15.9%	1.1%	100.0%	31.0%	40.5%	14.3%	14.3%	0.0%	100.0%
教育	度数	12	7	11	18	1	49	15	10	12	12	0	49
	%	24.5%	14.3%	22.4%	36.7%	2.0%	100.0%	30.6%	20.4%	24.5%	24.5%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	13	7	12	21	0	53	22	18	12	31	0	83
	%	24.5%	13.2%	22.6%	39.6%	0.0%	100.0%	26.5%	21.7%	14.5%	37.3%	0.0%	100.0%
理工	度数	52	72	66	95	4	289	108	92	86	110	1	397
	%	18.0%	24.9%	22.8%	32.9%	1.4%	100.0%	27.2%	23.2%	21.7%	27.7%	0.3%	100.0%
合計	度数	108	129	103	153	6	499	164	137	120	159	1	581
	%	21.6%	25.9%	20.6%	30.7%	1.2%	100.0%	28.2%	23.6%	20.7%	27.4%	0.2%	100.0%

## Q25 カを入れたこと:アルバイト

		2023年3月卒業生				N/A	合計	2022年3月卒業生				N/A	合計
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった			とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった		
医学科	度数	3	8	3	6	0	20	3	4	1	2	0	10
	%	15.0%	40.0%	15.0%	30.0%	0.0%	100.0%	30.0%	40.0%	10.0%	20.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	36	31	19	2	0	88	11	22	7	2	0	42
	%	40.9%	35.2%	21.6%	2.3%	0.0%	100.0%	26.2%	52.4%	16.7%	4.8%	0.0%	100.0%
教育	度数	16	21	9	3	0	49	14	28	6	1	0	49
	%	32.7%	42.9%	18.4%	6.1%	0.0%	100.0%	28.6%	57.1%	12.2%	2.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	18	22	8	5	0	53	34	37	11	1	0	83
	%	34.0%	41.5%	15.1%	9.4%	0.0%	100.0%	41.0%	44.6%	13.3%	1.2%	0.0%	100.0%
理工	度数	80	110	59	37	3	289	103	167	70	57	0	397
	%	27.7%	38.1%	20.4%	12.8%	1.0%	100.0%	25.9%	42.1%	17.6%	14.4%	0.0%	100.0%
合計	度数	153	192	98	53	3	499	165	258	95	63	0	581
	%	30.7%	38.5%	19.6%	10.6%	0.6%	100.0%	28.4%	44.4%	16.4%	10.8%	0.0%	100.0%

## Q26 カを入れたこと:社会活動(NPO活動、ボランティアなど)

		2023年3月卒業生				N/A	合計	2022年3月卒業生				N/A	合計
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった			とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった		
医学科	度数	3	2	2	13	0	20	1	2	1	6	0	10
	%	15.0%	10.0%	10.0%	65.0%	0.0%	100.0%	10.0%	20.0%	10.0%	60.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	2	17	35	34	0	88	1	6	12	23	0	42
	%	2.3%	19.3%	39.8%	38.6%	0.0%	100.0%	2.4%	14.3%	28.6%	54.8%	0.0%	100.0%
教育	度数	2	10	16	21	0	49	11	10	17	11	0	49
	%	4.1%	20.4%	32.7%	42.9%	0.0%	100.0%	22.4%	20.4%	34.7%	22.4%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	3	8	10	32	0	53	3	16	20	44	0	83
	%	5.7%	15.1%	18.9%	60.4%	0.0%	100.0%	3.6%	19.3%	24.1%	53.0%	0.0%	100.0%
理工	度数	20	33	86	148	2	289	26	44	106	221	0	397
	%	6.9%	11.4%	29.8%	51.2%	0.7%	100.0%	6.5%	11.1%	26.7%	55.7%	0.0%	100.0%
合計	度数	30	70	149	248	2	499	42	78	156	305	0	581
	%	6.0%	14.0%	29.9%	49.7%	0.4%	100.0%	7.2%	13.4%	26.9%	52.5%	0.0%	100.0%

## Q27 カを入れたこと:就職活動

		2023年3月卒業生				N/A	合計	2022年3月卒業生				N/A	合計
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった			とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった		
医学科	度数	2	12	6	0	0	20	4	2	3	1	0	10
	%	10.0%	60.0%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%	40.0%	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	35	39	8	5	1	88	19	17	5	1	0	42
	%	39.8%	44.3%	9.1%	5.7%	1.1%	100.0%	45.2%	40.5%	11.9%	2.4%	0.0%	100.0%
教育	度数	12	28	5	4	0	49	19	20	7	3	0	49
	%	24.5%	57.1%	10.2%	8.2%	0.0%	100.0%	38.8%	40.8%	14.3%	6.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	19	25	8	1	0	53	26	33	18	6	0	83
	%	35.8%	47.2%	15.1%	1.9%	0.0%	100.0%	31.3%	39.8%	21.7%	7.2%	0.0%	100.0%
理工	度数	44	61	79	101	4	289	79	82	109	127	0	397
	%	15.2%	21.1%	27.3%	34.9%	1.4%	100.0%	19.9%	20.7%	27.5%	32.0%	0.0%	100.0%
合計	度数	112	165	106	111	5	499	147	154	142	138	0	581
	%	22.4%	33.1%	21.2%	22.2%	1.0%	100.0%	25.3%	26.5%	24.4%	23.8%	0.0%	100.0%

**Q28 カを入れたこと:インターンシップ、学外実習**

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生						
		とてもカを入れた	まあカを入れた	あまりカを入れた	まったくカを入れた	N/A	合計	とてもカを入れた	まあカを入れた	あまりカを入れた	まったくカを入れた	N/A	合計
医学科	度数	2	7				20	3	1				10
	%	10.0%	35.0%	15.0%	40.0%	0.0%	100.0%	30.0%	10.0%	10.0%	50.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	12	31	24	21	0	88	12	8	12	10	0	42
	%	13.6%	35.2%	27.3%	23.9%	0.0%	100.0%	28.6%	19.0%	28.6%	23.8%	0.0%	100.0%
教育	度数	12	9	8	20	0	49	13	16	9	11	0	49
	%	24.5%	18.4%	16.3%	40.8%	0.0%	100.0%	26.5%	32.7%	18.4%	22.4%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	11	18	10	14	0	53	11	28	19	25	0	83
	%	20.8%	34.0%	18.9%	26.4%	0.0%	100.0%	13.3%	33.7%	22.9%	30.1%	0.0%	100.0%
理工	度数	21	57	89	118	4	289	36	94	118	146	3	397
	%	7.3%	19.7%	30.8%	40.8%	1.4%	100.0%	9.1%	23.7%	29.7%	36.8%	0.8%	100.0%
合計	度数	58	122	134	181	4	499	75	147	159	197	3	581
	%	11.6%	24.4%	26.9%	36.3%	0.8%	100.0%	12.9%	25.3%	27.4%	33.9%	0.5%	100.0%

**Q29 印象に残る経験:相当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやりとげる厳しさがあった**

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生						
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	8	8	0			20	4	3	3	0	0	10
	%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%	40.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	27	49	10	1	1	88	21	15	4	2	0	42
	%	30.7%	55.7%	11.4%	1.1%	1.1%	100.0%	50.0%	35.7%	9.5%	4.8%	0.0%	100.0%
教育	度数	19	21	6	3	0	49	17	23	8	1	0	49
	%	38.8%	42.9%	12.2%	6.1%	0.0%	100.0%	34.7%	46.9%	16.3%	2.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	22	21	9	1	0	53	27	44	9	3	0	83
	%	41.5%	39.6%	17.0%	1.9%	0.0%	100.0%	32.5%	53.0%	10.8%	3.6%	0.0%	100.0%
理工	度数	126	139	19	4	1	289	147	204	41	5	0	397
	%	43.6%	48.1%	6.6%	1.4%	0.3%	100.0%	37.0%	51.4%	10.3%	1.3%	0.0%	100.0%
合計	度数	202	238	44	13	2	499	216	289	65	11	0	581
	%	40.5%	47.7%	8.8%	2.6%	0.4%	100.0%	37.2%	49.7%	11.2%	1.9%	0.0%	100.0%

**Q30 印象に残る経験:実社会との接点を感じることができた**

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生						
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	4	6	8			20	2	4	1			10
	%	20.0%	30.0%	40.0%	10.0%	0.0%	100.0%	20.0%	40.0%	10.0%	30.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	23	52	10	1	2	88	14	20	8	0	0	42
	%	26.1%	59.1%	11.4%	1.1%	2.3%	100.0%	33.3%	47.6%	19.0%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	度数	11	17	15	6	0	49	10	19	18	2	0	49
	%	22.4%	34.7%	30.6%	12.2%	0.0%	100.0%	20.4%	38.8%	36.7%	4.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	6	22	22	3	0	53	15	42	20	6	0	83
	%	11.3%	41.5%	41.5%	5.7%	0.0%	100.0%	18.1%	50.6%	24.1%	7.2%	0.0%	100.0%
理工	度数	56	128	80	24	1	289	50	189	134	23	1	397
	%	19.4%	44.3%	27.7%	8.3%	0.3%	100.0%	12.6%	47.6%	33.8%	5.8%	0.3%	100.0%
合計	度数	100	225	135	36	3	499	91	274	181	34	1	581
	%	20.0%	45.1%	27.1%	7.2%	0.6%	100.0%	15.7%	47.2%	31.2%	5.9%	0.2%	100.0%

**Q31 印象に残る経験:学問固有の物の見方や考え方に触れられた**

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生						
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	7	10	2	1	0	20	5	4	1	0	0	10
	%	35.0%	50.0%	10.0%	5.0%	0.0%	100.0%	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	40	38	7	1	2	88	20	17	5	0	0	42
	%	45.5%	43.2%	8.0%	1.1%	2.3%	100.0%	47.6%	40.5%	11.9%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	度数	18	25	4	2	0	49	16	20	11	2	0	49
	%	36.7%	51.0%	8.2%	4.1%	0.0%	100.0%	32.7%	40.8%	22.4%	4.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	20	25	7	1	0	53	24	47	9	2	1	83
	%	37.7%	47.2%	13.2%	1.9%	0.0%	100.0%	28.9%	56.6%	10.8%	2.4%	1.2%	100.0%
理工	度数	98	156	30	3	2	289	114	225	49	7	2	397
	%	33.9%	54.0%	10.4%	1.0%	0.7%	100.0%	28.7%	56.7%	12.3%	1.8%	0.5%	100.0%
合計	度数	183	254	50	8	4	499	179	313	75	11	3	581
	%	36.7%	50.9%	10.0%	1.6%	0.8%	100.0%	30.8%	53.9%	12.9%	1.9%	0.5%	100.0%



## Q32 印象に残る経験:大学の個性や特色をいかした教育を受けられた

		2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	4	12	3	1	0	20	3	2	3			10
	%	20.0%	60.0%	15.0%	5.0%	0.0%	100.0%	30.0%	20.0%	30.0%	20.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	26	50	9	2	1	88	13	25	4	0	0	42
	%	29.5%	56.8%	10.2%	2.3%	1.1%	100.0%	31.0%	59.5%	9.5%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	度数	11	25	11	2	0	49	13	24	7	5	0	49
	%	22.4%	51.0%	22.4%	4.1%	0.0%	100.0%	26.5%	49.0%	14.3%	10.2%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	16	23	12	2	0	53	16	49	15	3	0	83
	%	30.2%	43.4%	22.6%	3.8%	0.0%	100.0%	19.3%	59.0%	18.1%	3.6%	0.0%	100.0%
理工	度数	77	134	70	7	1	289	75	228	80	13	1	397
	%	26.6%	46.4%	24.2%	2.4%	0.3%	100.0%	18.9%	57.4%	20.2%	3.3%	0.3%	100.0%
合計	度数	134	244	105	14	2	499	120	328	109	23	1	581
	%	26.9%	48.9%	21.0%	2.8%	0.4%	100.0%	20.7%	56.5%	18.8%	4.0%	0.2%	100.0%

## Q33 印象に残る経験:自分の適性や将来への関心を知ることができた

		2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	6	12	2	0	0	20	5	3	1			10
	%	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	45	34	7	0	2	88	22	17	3	0	0	42
	%	51.1%	38.6%	8.0%	0.0%	2.3%	100.0%	52.4%	40.5%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	度数	23	18	6	2	0	49	17	21	8	3	0	49
	%	46.9%	36.7%	12.2%	4.1%	0.0%	100.0%	34.7%	42.9%	16.3%	6.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	13	32	6	2	0	53	21	42	14	5	1	83
	%	24.5%	60.4%	11.3%	3.8%	0.0%	100.0%	25.3%	50.6%	16.9%	6.0%	1.2%	100.0%
理工	度数	83	160	36	6	4	289	81	236	64	13	3	397
	%	28.7%	55.4%	12.5%	2.1%	1.4%	100.0%	20.4%	59.4%	16.1%	3.3%	0.8%	100.0%
合計	度数	170	256	57	10	6	499	146	319	90	22	4	581
	%	34.1%	51.3%	11.4%	2.0%	1.2%	100.0%	25.1%	54.9%	15.5%	3.8%	0.7%	100.0%

## Q34 印象に残る経験:学習について、相談のったり支援してくれる人がいた

		2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	3	6	7			20	3	2	2			10
	%	15.0%	30.0%	35.0%	20.0%	0.0%	100.0%	30.0%	20.0%	20.0%	30.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	34	38	11	4	1	88	22	17	3	0	0	42
	%	38.6%	43.2%	12.5%	4.5%	1.1%	100.0%	52.4%	40.5%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	度数	22	20	4	3	0	49	14	23	12	0	0	49
	%	44.9%	40.8%	8.2%	6.1%	0.0%	100.0%	28.6%	46.9%	24.5%	0.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	11	15	22	5	0	53	10	43	27	3	0	83
	%	20.8%	28.3%	41.5%	9.4%	0.0%	100.0%	12.0%	51.8%	32.5%	3.6%	0.0%	100.0%
理工	度数	85	134	48	20	2	289	103	186	80	26	2	397
	%	29.4%	46.4%	16.6%	6.9%	0.7%	100.0%	25.9%	46.9%	20.2%	6.5%	0.5%	100.0%
合計	度数	155	213	92	36	3	499	152	271	124	32	2	581
	%	31.1%	42.7%	18.4%	7.2%	0.6%	100.0%	26.2%	46.6%	21.3%	5.5%	0.3%	100.0%

## Q35 印象に残る経験:学習以外(進路、人間関係など)について、幅広く相談のったり支援してくれる人がいた

		2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	5	5	6			20	3	1	4			10
	%	25.0%	25.0%	30.0%	20.0%	0.0%	100.0%	30.0%	10.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	35	33	16	3	1	88	22	15	4	1	0	42
	%	39.8%	37.5%	18.2%	3.4%	1.1%	100.0%	52.4%	35.7%	9.5%	2.4%	0.0%	100.0%
教育	度数	18	15	12	4	0	49	13	16	18	2	0	49
	%	36.7%	30.6%	24.5%	8.2%	0.0%	100.0%	26.5%	32.7%	36.7%	4.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	13	19	15	6	0	53	13	31	33	5	1	83
	%	24.5%	35.8%	28.3%	11.3%	0.0%	100.0%	15.7%	37.3%	39.8%	6.0%	1.2%	100.0%
理工	度数	84	136	52	16	1	289	77	191	96	29	4	397
	%	29.1%	47.1%	18.0%	5.5%	0.3%	100.0%	19.4%	48.1%	24.2%	7.3%	1.0%	100.0%
合計	度数	155	208	101	33	2	499	128	254	155	39	5	581
	%	31.1%	41.7%	20.2%	6.6%	0.4%	100.0%	22.0%	43.7%	26.7%	6.7%	0.9%	100.0%

**Q36 印象に残る経験:教育に対して熱意のある教員がいた**

	2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数 6	13	1	0	0	20	2	7	1	0	0	10
	% 30.0%	65.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数 44	39	3	1	1	88	26	14	2	0	0	42
	% 50.0%	44.3%	3.4%	1.1%	1.1%	100.0%	61.9%	33.3%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	度数 20	26	2	1	0	49	19	24	6	0	0	49
	% 40.8%	53.1%	4.1%	2.0%	0.0%	100.0%	38.8%	49.0%	12.2%	0.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数 17	26	7	3	0	53	23	47	11	2	0	83
	% 32.1%	49.1%	13.2%	5.7%	0.0%	100.0%	27.7%	56.6%	13.3%	2.4%	0.0%	100.0%
理工	度数 105	140	35	7	2	289	123	213	48	12	1	397
	% 36.3%	48.4%	12.1%	2.4%	0.7%	100.0%	31.0%	53.7%	12.1%	3.0%	0.3%	100.0%
合計	度数 192	244	48	12	3	499	193	305	68	14	1	581
	% 38.5%	48.9%	9.6%	2.4%	0.6%	100.0%	33.2%	52.5%	11.7%	2.4%	0.2%	100.0%

**Q37 印象に残る経験:教員の指導に基づきながらも、自主性を尊重されて学習を進められた**

	2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数 4	14	1	1	0	20	4	4	1	0	0	10
	% 20.0%	70.0%	5.0%	5.0%	0.0%	100.0%	40.0%	40.0%	10.0%	10.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数 36	44	7	0	1	88	17	23	2	0	0	42
	% 40.9%	50.0%	8.0%	0.0%	1.1%	100.0%	40.5%	54.8%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	度数 21	20	6	1	1	49	14	30	5	0	0	49
	% 42.9%	40.8%	12.2%	2.0%	2.0%	100.0%	28.6%	61.2%	10.2%	0.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数 20	27	5	1	0	53	21	51	9	2	0	83
	% 37.7%	50.9%	9.4%	1.9%	0.0%	100.0%	25.3%	61.4%	10.8%	2.4%	0.0%	100.0%
理工	度数 86	154	43	5	1	289	97	222	65	9	4	397
	% 29.8%	53.3%	14.9%	1.7%	0.3%	100.0%	24.4%	55.9%	16.4%	2.3%	1.0%	100.0%
合計	度数 167	259	62	8	3	499	153	330	82	12	4	581
	% 33.5%	51.9%	12.4%	1.6%	0.6%	100.0%	26.3%	56.8%	14.1%	2.1%	0.7%	100.0%

**Q38 印象に残る経験:学習の態度や姿勢が不適切な場合、教員から指導された**

	2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数 2	6	6	0	0	20	1	3	3	0	0	10
	% 10.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%	10.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数 9	27	38	13	1	88	6	11	19	6	0	42
	% 10.2%	30.7%	43.2%	14.8%	1.1%	100.0%	14.3%	26.2%	45.2%	14.3%	0.0%	100.0%
教育	度数 9	13	14	11	2	49	6	10	24	9	0	49
	% 18.4%	26.5%	28.6%	22.4%	4.1%	100.0%	12.2%	20.4%	49.0%	18.4%	0.0%	100.0%
社会情報	度数 5	10	21	17	0	53	6	25	32	20	0	83
	% 9.4%	18.9%	39.6%	32.1%	0.0%	100.0%	7.2%	30.1%	38.6%	24.1%	0.0%	100.0%
理工	度数 42	115	88	43	1	289	49	147	127	73	1	397
	% 14.5%	39.8%	30.4%	14.9%	0.3%	100.0%	12.3%	37.0%	32.0%	18.4%	0.3%	100.0%
合計	度数 67	171	167	90	4	499	68	196	205	111	1	581
	% 13.4%	34.3%	33.5%	18.0%	0.8%	100.0%	11.7%	33.7%	35.3%	19.1%	0.2%	100.0%

**Q39 印象に残る経験:学習の成果を正当に評価された**

	2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数 4	14	2	0	0	20	3	4	2	0	0	10
	% 20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数 23	59	4	1	1	88	9	29	4	0	0	42
	% 26.1%	67.0%	4.5%	1.1%	1.1%	100.0%	21.4%	69.0%	9.5%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	度数 17	27	4	1	0	49	9	33	6	1	0	49
	% 34.7%	55.1%	8.2%	2.0%	0.0%	100.0%	18.4%	67.3%	12.2%	2.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数 13	35	4	1	0	53	15	58	6	4	0	83
	% 24.5%	66.0%	7.5%	1.9%	0.0%	100.0%	18.1%	69.9%	7.2%	4.8%	0.0%	100.0%
理工	度数 72	177	31	7	2	289	78	259	49	9	2	397
	% 24.9%	61.2%	10.7%	2.4%	0.7%	100.0%	19.6%	65.2%	12.3%	2.3%	0.5%	100.0%
合計	度数 129	312	45	10	3	499	114	383	67	15	2	581
	% 25.9%	62.5%	9.0%	2.0%	0.6%	100.0%	19.6%	65.9%	11.5%	2.6%	0.3%	100.0%

## Q40 印象に残る経験・貴重な友人をつくることができた

		2023年3月卒業生					N/A	合計	2022年3月卒業生					N/A	合計
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない				とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない			
医学科	度数	8	9		0	0	20	7	3	0			10		
	%	40.0%	45.0%	15.0%	0.0%	0.0%	100.0%	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
保健学科	度数	59	24	4	0	1	88	32	8	2	0	42			
	%	67.0%	27.3%	4.5%	0.0%	1.1%	100.0%	76.2%	19.0%	4.8%	0.0%	100.0%			
教育	度数	29	16	3	1	0	49	27	19	3	0	49			
	%	59.2%	32.7%	6.1%	2.0%	0.0%	100.0%	55.1%	38.8%	6.1%	0.0%	100.0%			
社会情報	度数	28	14	6	5	0	53	41	22	10	10	83			
	%	52.8%	26.4%	11.3%	9.4%	0.0%	100.0%	49.4%	26.5%	12.0%	12.0%	100.0%			
理工	度数	155	95	26	11	2	289	200	152	33	10	397			
	%	53.6%	32.9%	9.0%	3.8%	0.7%	100.0%	50.4%	38.3%	8.3%	2.5%	100.0%			
合計	度数	279	158	42	17	3	499	307	204	48	20	581			
	%	55.9%	31.7%	8.4%	3.4%	0.6%	100.0%	52.8%	35.1%	8.3%	3.4%	100.0%			

## Q41 教養教育科目の単位数(卒業要件)

		2023年3月卒業生					N/A	合計	2022年3月卒業生					N/A	合計
		多すぎる	ちょうどよい	少なすぎる					多すぎる	ちょうどよい	少なすぎる				
医学科	度数	4	16	0	0	0	20	2	8	0	0	10			
	%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
保健学科	度数	8	79	0	1	0	88	2	39	0	1	42			
	%	9.1%	89.8%	0.0%	1.1%	0.0%	100.0%	4.8%	92.9%	0.0%	2.4%	100.0%			
教育	度数	6	42	0	1	0	49	6	43	0	0	49			
	%	12.2%	85.7%	0.0%	2.0%	0.0%	100.0%	12.2%	87.8%	0.0%	0.0%	100.0%			
社会情報	度数	6	45	0	2	0	53	7	70	4	2	83			
	%	11.3%	84.9%	0.0%	3.8%	0.0%	100.0%	8.4%	84.3%	4.8%	2.4%	100.0%			
理工	度数	35	245	3	6	0	289	56	330	6	5	397			
	%	12.1%	84.8%	1.0%	2.1%	0.0%	100.0%	14.1%	83.1%	1.5%	1.3%	100.0%			
合計	度数	59	427	3	10	0	499	73	490	10	8	581			
	%	11.8%	85.6%	0.6%	2.0%	0.0%	100.0%	12.6%	84.3%	1.7%	1.4%	100.0%			

## Q42 教養教育科目は、文献検索、資料作成、口頭発表の能力を身に付ける点で十分か

		2023年3月卒業生					N/A	合計	2022年3月卒業生					N/A	合計
		十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である				十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である			
医学科	度数	6	11	2	0	0	20	2	4	0	0	10			
	%	30.0%	55.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%	20.0%	40.0%	30.0%	10.0%	100.0%			
保健学科	度数	25	47	15	0	1	88	9	24	7	2	42			
	%	28.4%	53.4%	17.0%	0.0%	1.1%	100.0%	21.4%	57.1%	16.7%	4.8%	100.0%			
教育	度数	5	31	11	1	0	49	5	30	12	2	49			
	%	10.2%	63.3%	22.4%	2.0%	0.0%	100.0%	10.2%	61.2%	24.5%	4.1%	100.0%			
社会情報	度数	11	35	4	1	0	53	11	54	10	6	83			
	%	20.8%	66.0%	7.5%	1.9%	0.0%	100.0%	13.3%	65.1%	12.0%	7.2%	100.0%			
理工	度数	67	170	41	5	0	289	72	250	61	9	397			
	%	23.2%	58.8%	14.2%	1.7%	0.0%	100.0%	18.1%	63.0%	15.4%	2.3%	100.0%			
合計	度数	114	294	73	8	0	499	99	362	93	20	581			
	%	22.8%	58.9%	14.6%	1.6%	0.0%	100.0%	17.0%	62.3%	16.0%	3.4%	100.0%			

## Q43 英語・外国語教養科目は、国際的なコミュニケーションの能力を身に付ける点で十分か

		2023年3月卒業生					N/A	合計	2022年3月卒業生					N/A	合計
		十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である				十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である			
医学科	度数	2	9	1	0	0	20	1	3	0	0	10			
	%	10.0%	45.0%	35.0%	5.0%	0.0%	100.0%	10.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%			
保健学科	度数	13	38	24	12	1	88	7	15	14	6	42			
	%	14.8%	43.2%	27.3%	13.6%	1.1%	100.0%	16.7%	35.7%	33.3%	14.3%	100.0%			
教育	度数	3	29	13	3	0	49	2	19	22	6	49			
	%	6.1%	59.2%	26.5%	6.1%	0.0%	100.0%	4.1%	38.8%	44.9%	12.2%	100.0%			
社会情報	度数	6	26	15	4	0	53	6	48	22	5	83			
	%	11.3%	49.1%	28.3%	7.5%	0.0%	100.0%	7.2%	57.8%	26.5%	6.0%	100.0%			
理工	度数	47	125	84	28	0	289	41	206	95	50	397			
	%	16.3%	43.3%	29.1%	9.7%	0.0%	100.0%	10.3%	51.9%	23.9%	12.6%	100.0%			
合計	度数	71	227	143	48	0	499	57	291	157	69	581			
	%	14.2%	45.5%	28.7%	9.6%	0.0%	100.0%	9.8%	50.1%	27.0%	11.9%	100.0%			

## Q44 情報の科目は、情報処理能力を身に付ける点で十分か

	2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計
医学科	度数 3	12	4			20	1	5				10
	% 15.0%	60.0%	20.0%	5.0%	0.0%	100.0%	10.0%	50.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数 19	49	16	3	1	88	8	23	10	1	0	42
	% 21.6%	55.7%	18.2%	3.4%	1.1%	100.0%	19.0%	54.8%	23.8%	2.4%	0.0%	100.0%
教育	度数 4	31	12	1	1	49	2	27	15	5	0	49
	% 8.2%	63.3%	24.5%	2.0%	2.0%	100.0%	4.1%	55.1%	30.6%	10.2%	0.0%	100.0%
社会情報	度数 9	30	9	3	2	53	7	53	15	5	3	83
	% 17.0%	56.6%	17.0%	5.7%	3.8%	100.0%	8.4%	63.9%	18.1%	6.0%	3.6%	100.0%
理工	度数 58	155	55	15	6	289	65	218	80	28	6	397
	% 20.1%	53.6%	19.0%	5.2%	2.1%	100.0%	16.4%	54.9%	20.2%	7.1%	1.5%	100.0%
合計	度数 93	277	96	23	10	499	83	326	122	41	9	581
	% 18.6%	55.5%	19.2%	4.6%	2.0%	100.0%	14.3%	56.1%	21.0%	7.1%	1.5%	100.0%

## Q45 「キャリアサポート室」や「就職ガイダンス」などの大学の就職支援は役立ったか

	2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計
医学科	度数 1	4		11	0	20	1	0				10
	% 5.0%	20.0%	20.0%	55.0%	0.0%	100.0%	10.0%	0.0%	10.0%	80.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数 12	34	24	17	1	88	5	17	9	11	0	42
	% 13.6%	38.6%	27.3%	19.3%	1.1%	100.0%	11.9%	40.5%	21.4%	26.2%	0.0%	100.0%
教育	度数 6	19	15	8	1	49	2	22	11	14	0	49
	% 12.2%	38.8%	30.6%	16.3%	2.0%	100.0%	4.1%	44.9%	22.4%	28.6%	0.0%	100.0%
社会情報	度数 10	20	13	10	0	53	7	32	24	20	0	83
	% 18.9%	37.7%	24.5%	18.9%	0.0%	100.0%	8.4%	38.6%	28.9%	24.1%	0.0%	100.0%
理工	度数 35	121	78	45	10	289	50	169	98	77	3	397
	% 12.1%	41.9%	27.0%	15.6%	3.5%	100.0%	12.6%	42.6%	24.7%	19.4%	0.8%	100.0%
合計	度数 64	198	134	91	12	499	65	240	143	130	3	581
	% 12.8%	39.7%	26.9%	18.2%	2.4%	100.0%	11.2%	41.3%	24.6%	22.4%	0.5%	100.0%

## Q46 「キャリアサポート室」を利用したか

	2023年3月卒業生						2022年3月卒業生					
	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計
医学科	度数 2	0	1	17	0	20	1	0				10
	% 10.0%	0.0%	5.0%	85.0%	0.0%	100.0%	10.0%	0.0%	0.0%	90.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数 2	14	16	55	1	88	1	3	6	32	0	42
	% 2.3%	15.9%	18.2%	62.5%	1.1%	100.0%	2.4%	7.1%	14.3%	76.2%	0.0%	100.0%
教育	度数 1	8	10	29	1	49	1	7	14	27	0	49
	% 2.0%	16.3%	20.4%	59.2%	2.0%	100.0%	2.0%	14.3%	28.6%	55.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数 4	14	18	17	0	53	8	19	28	28	0	83
	% 7.5%	26.4%	34.0%	32.1%	0.0%	100.0%	9.6%	22.9%	33.7%	33.7%	0.0%	100.0%
理工	度数 10	32	70	168	9	289	15	62	91	226	3	397
	% 3.5%	11.1%	24.2%	58.1%	3.1%	100.0%	3.8%	15.6%	22.9%	56.9%	0.8%	100.0%
合計	度数 19	68	115	286	11	499	26	91	139	322	3	581
	% 3.8%	13.6%	23.0%	57.3%	2.2%	100.0%	4.5%	15.7%	23.9%	55.4%	0.5%	100.0%

## Q47 大学が行った「就職ガイダンス」に参加したか

	2023年3月卒業生					2022年3月卒業生				
	何回も参加した	数回参加した	1回も参加しなかった	N/A	合計	何回も参加した	数回参加した	1回も参加しなかった	N/A	合計
医学科	度数 2	0	18	0	20	0	0	10	0	10
	% 10.0%	0.0%	90.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数 3	62	22	1	88	2	27	13	0	42
	% 3.4%	70.5%	25.0%	1.1%	100.0%	4.8%	64.3%	31.0%	0.0%	100.0%
教育	度数 1	20	27	1	49	3	12	34	0	49
	% 2.0%	40.8%	55.1%	2.0%	100.0%	6.1%	24.5%	69.4%	0.0%	100.0%
社会情報	度数 12	22	19	0	53	12	34	37	0	83
	% 22.6%	41.5%	35.8%	0.0%	100.0%	14.5%	41.0%	44.6%	0.0%	100.0%
理工	度数 15	140	126	8	289	26	152	216	3	397
	% 5.2%	48.4%	43.6%	2.8%	100.0%	6.5%	38.3%	54.4%	0.8%	100.0%
合計	度数 33	244	212	10	499	43	225	310	3	581
	% 6.6%	48.9%	42.5%	2.0%	100.0%	7.4%	38.7%	53.4%	0.5%	100.0%

## Q48 大学院への進学について、情報提供はしっかり行われていたか

	2023年3月卒業生							2022年3月卒業生						
	しっかり行われていた	だいたい行われていた	あまり行われていなかった	ほとんど行われていなかった	わからない	N/A	合計	しっかり行われていた	だいたい行われていた	あまり行われていなかった	ほとんど行われていなかった	わからない	N/A	合計
医学科	2	2	1	2	13	0	20	1	0	0	0	0	0	10
%	10.0%	10.0%	5.0%	10.0%	65.0%	0.0%	100.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	60.0%	0.0%	100.0%
保健学科	16	38	22	3	8	1	88	8	19	8	30.0%	60.0%	0.0%	100.0%
%	18.2%	43.2%	25.0%	3.4%	9.1%	1.1%	100.0%	19.0%	45.2%	19.0%	4.8%	11.9%	0.0%	100.0%
教育	2	11	13	10	12	1	49	1	7	10	25	0	49	
%	4.1%	22.4%	26.5%	20.4%	24.5%	2.0%	100.0%	2.0%	14.3%	12.2%	20.4%	51.0%	0.0%	100.0%
社会情報	5	21	8	0	19	0	53	1	32	12	3	34	1	83
%	9.4%	39.6%	15.1%	0.0%	35.8%	0.0%	100.0%	1.2%	38.6%	14.5%	3.6%	41.0%	1.2%	100.0%
理工	64	151	39	10	19	6	289	61	225	55	14	38	4	397
%	22.1%	52.2%	13.5%	3.5%	6.6%	2.1%	100.0%	15.4%	56.7%	13.9%	3.5%	9.6%	1.0%	100.0%
合計	89	223	83	25	71	8	499	72	283	81	32	108	5	581
%	17.8%	44.7%	16.6%	5.0%	14.2%	1.6%	100.0%	12.4%	48.7%	13.9%	5.5%	18.6%	0.9%	100.0%

## Q49 インターンシップ(学外実習を含む)に行ってみて、どのように感じたか

	2023年3月卒業生							2022年3月卒業生						
	大いに充実した時間を過ごせた	まあ充実した時間を過ごせた	あまり充実した時間は過ごせなかった	まったく充実した時間は過ごせなかった	行っていない	N/A	合計	大いに充実した時間を過ごせた	まあ充実した時間を過ごせた	あまり充実した時間は過ごせなかった	まったく充実した時間は過ごせなかった	行っていない	N/A	合計
医学科	3	6	0	0	11	0	20	3	0	0	0	0	0	10
%	15.0%	30.0%	0.0%	0.0%	55.0%	0.0%	100.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
保健学科	28	19	4	0	36	1	88	12	11	1	1	17	0	42
%	31.8%	21.6%	4.5%	0.0%	40.9%	1.1%	100.0%	28.6%	26.2%	2.4%	2.4%	40.5%	0.0%	100.0%
教育	15	13	1	1	18	1	49	15	12	2	0	20	0	49
%	30.6%	26.5%	2.0%	2.0%	36.7%	2.0%	100.0%	30.6%	24.5%	4.1%	0.0%	40.8%	0.0%	100.0%
社会情報	14	19	5	0	15	0	53	13	27	12	3	28	0	83
%	26.4%	35.8%	9.4%	0.0%	28.3%	0.0%	100.0%	15.7%	32.5%	14.5%	3.6%	33.7%	0.0%	100.0%
理工	24	54	15	3	184	9	289	36	100	27	3	224	7	397
%	8.3%	18.7%	5.2%	1.0%	63.7%	3.1%	100.0%	9.1%	25.2%	6.8%	0.8%	56.4%	1.8%	100.0%
合計	84	111	25	4	264	11	499	79	152	42	7	294	7	581
%	16.8%	22.2%	5.0%	0.8%	52.9%	2.2%	100.0%	13.6%	26.2%	7.2%	1.2%	50.6%	1.2%	100.0%

## Q50 教室や演習室などの教育施設に満足したか

	2023年3月卒業生					N/A	合計	2022年3月卒業生				
	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である				満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	
医学科	5	13	1	1	0	20	2	4	2	2	0	10
%	25.0%	65.0%	5.0%	5.0%	0.0%	100.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
保健学科	23	43	18	3	1	88	11	25	6	0	0	42
%	26.1%	48.9%	20.5%	3.4%	1.1%	100.0%	26.2%	59.5%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
教育	15	29	1	3	1	49	8	32	9	0	0	49
%	30.6%	59.2%	2.0%	6.1%	2.0%	100.0%	16.3%	65.3%	18.4%	0.0%	0.0%	100.0%
社会情報	16	32	5	0	0	53	18	49	11	5	0	83
%	30.2%	60.4%	9.4%	0.0%	0.0%	100.0%	21.7%	59.0%	13.3%	6.0%	0.0%	100.0%
理工	69	168	43	7	2	289	100	232	46	12	7	397
%	23.9%	58.1%	14.9%	2.4%	0.7%	100.0%	25.2%	58.4%	11.6%	3.0%	1.8%	100.0%
合計	128	285	68	14	4	499	139	342	74	19	7	581
%	25.7%	57.1%	13.6%	2.8%	0.8%	100.0%	23.9%	58.9%	12.7%	3.3%	1.2%	100.0%

## Q51 授業以外の自主的な活動をする上で、施設に満足したか

	2023年3月卒業生					N/A	合計	2022年3月卒業生				
	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である				満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	
医学科	4	13	3	0	0	20	2	4	3	1	0	10
%	20.0%	65.0%	15.0%	0.0%	0.0%	100.0%	20.0%	40.0%	30.0%	10.0%	0.0%	100.0%
保健学科	23	48	14	2	1	88	9	24	8	1	0	42
%	26.1%	54.5%	15.9%	2.3%	1.1%	100.0%	21.4%	57.1%	19.0%	2.4%	0.0%	100.0%
教育	13	25	6	3	2	49	6	26	13	4	0	49
%	26.5%	51.0%	12.2%	6.1%	4.1%	100.0%	12.2%	53.1%	26.5%	8.2%	0.0%	100.0%
社会情報	17	26	7	3	0	53	13	48	18	3	1	83
%	32.1%	49.1%	13.2%	5.7%	0.0%	100.0%	15.7%	57.8%	21.7%	3.6%	1.2%	100.0%
理工	66	162	50	9	2	289	89	207	75	20	6	397
%	22.8%	56.1%	17.3%	3.1%	0.7%	100.0%	22.4%	52.1%	18.9%	5.0%	1.5%	100.0%
合計	123	274	80	17	5	499	119	309	117	29	7	581
%	24.6%	54.9%	16.0%	3.4%	1.0%	100.0%	20.5%	53.2%	20.1%	5.0%	1.2%	100.0%

## Q52 専門的学識・技能を修得した

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生					
		とても 思う	まあ 思う	あまり 思わな い	まった く思わ ない	N/A	合計	とても 思う	まあ 思う	あまり 思わな い	まった く思わ ない	N/A
医学科	度数	11	8	1	0	0	20	5	5	0	0	10
	%	55.0%	40.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	45	40	1	0	2	88	20	20	1	0	42
	%	51.1%	45.5%	1.1%	0.0%	2.3%	100.0%	47.6%	47.6%	2.4%	0.0%	100.0%
教育	度数	20	26	0	1	2	49	18	26	5	0	49
	%	40.8%	53.1%	0.0%	2.0%	4.1%	100.0%	36.7%	53.1%	10.2%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	9	34	9	1	0	53	7	53	19	3	83
	%	17.0%	64.2%	17.0%	1.9%	0.0%	100.0%	8.4%	63.9%	22.9%	3.6%	100.0%
理工	度数	86	179	22	1	1	289	81	266	34	10	397
	%	29.8%	61.9%	7.6%	0.3%	0.3%	100.0%	20.4%	67.0%	8.6%	2.5%	100.0%
合計	度数	171	287	33	3	5	499	131	370	59	13	581
	%	34.3%	57.5%	6.6%	0.6%	1.0%	100.0%	22.5%	63.7%	10.2%	2.2%	100.0%

## Q53 専門的学識・技能を現実の諸課題に対して活用ができるようになった

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生					
		とても 思う	まあ 思う	あまり 思わな い	まった く思わ ない	N/A	合計	とても 思う	まあ 思う	あまり 思わな い	まった く思わ ない	N/A
医学科	度数	9	10	1	0	0	20	4	6	0	0	10
	%	45.0%	50.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	42	43	3	0	0	88	17	21	4	0	42
	%	47.7%	48.9%	3.4%	0.0%	0.0%	100.0%	40.5%	50.0%	9.5%	0.0%	100.0%
教育	度数	15	29	3	1	1	49	16	23	10	0	49
	%	30.6%	59.2%	6.1%	2.0%	2.0%	100.0%	32.7%	46.9%	20.4%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	6	36	10	1	0	53	9	48	22	3	83
	%	11.3%	67.9%	18.9%	1.9%	0.0%	100.0%	10.8%	57.8%	26.5%	3.6%	100.0%
理工	度数	60	176	48	3	2	289	69	262	50	13	397
	%	20.8%	60.9%	16.6%	1.0%	0.7%	100.0%	17.4%	66.0%	12.6%	3.3%	100.0%
合計	度数	132	294	65	5	3	499	115	360	86	16	581
	%	26.5%	58.9%	13.0%	1.0%	0.6%	100.0%	19.8%	62.0%	14.8%	2.8%	100.0%

## Q54 人間社会、歴史・文化、自然等についての幅広い教養を身に付けた

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生					
		とても 思う	まあ 思う	あまり 思わな い	まった く思わ ない	N/A	合計	とても 思う	まあ 思う	あまり 思わな い	まった く思わ ない	N/A
医学科	度数	5	7	7	1	0	20	2	7	1	0	10
	%	25.0%	35.0%	35.0%	5.0%	0.0%	100.0%	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	26	50	12	0	0	88	10	26	6	0	42
	%	29.5%	56.8%	13.6%	0.0%	0.0%	100.0%	23.8%	61.9%	14.3%	0.0%	100.0%
教育	度数	11	28	8	1	1	49	9	32	8	0	49
	%	22.4%	57.1%	16.3%	2.0%	2.0%	100.0%	18.4%	65.3%	16.3%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	19	27	6	1	0	53	16	51	12	4	83
	%	35.8%	50.9%	11.3%	1.9%	0.0%	100.0%	19.3%	61.4%	14.5%	4.8%	100.0%
理工	度数	48	162	70	5	4	289	57	247	75	15	397
	%	16.6%	56.1%	24.2%	1.7%	1.4%	100.0%	14.4%	62.2%	18.9%	3.8%	100.0%
合計	度数	109	274	103	8	5	499	94	363	102	19	581
	%	21.8%	54.9%	20.6%	1.6%	1.0%	100.0%	16.2%	62.5%	17.6%	3.3%	100.0%

## Q55 幅広い教養、学際的な理解に基づいて、様々な問題に対して多面的・総合的な判断ができるようになった

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生					
		とても 思う	まあ 思う	あまり 思わな い	まった く思わ ない	N/A	合計	とても 思う	まあ 思う	あまり 思わな い	まった く思わ ない	N/A
医学科	度数	5	9	6	0	0	20	3	6	0	0	10
	%	25.0%	45.0%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.0%	60.0%	0.0%	10.0%	100.0%
保健学科	度数	28	54	6	0	0	88	13	24	5	0	42
	%	31.8%	61.4%	6.8%	0.0%	0.0%	100.0%	31.0%	57.1%	11.9%	0.0%	100.0%
教育	度数	13	27	7	1	1	49	11	29	9	0	49
	%	26.5%	55.1%	14.3%	2.0%	2.0%	100.0%	22.4%	59.2%	18.4%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	12	35	5	1	0	53	20	48	11	3	83
	%	22.6%	66.0%	9.4%	1.9%	0.0%	100.0%	24.1%	57.8%	13.3%	3.6%	100.0%
理工	度数	53	187	42	5	2	289	61	280	44	9	397
	%	18.3%	64.7%	14.5%	1.7%	0.7%	100.0%	15.4%	70.5%	11.1%	2.3%	100.0%
合計	度数	111	312	66	7	3	499	108	387	69	13	581
	%	22.2%	62.5%	13.2%	1.4%	0.6%	100.0%	18.6%	66.6%	11.9%	2.2%	100.0%

## Q56 論理的思考力を身に付けた

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生					
		とても 思う	まあそ う思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	N/A	合計	とても 思う	まあそ う思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	N/A
医学科	度数	7	11	2	0	0	20	3	4	2	0	10
	%	35.0%	55.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	34	50	4	0	0	88	11	26	5	0	42
	%	38.6%	56.8%	4.5%	0.0%	0.0%	100.0%	26.2%	61.9%	11.9%	0.0%	100.0%
教育	度数	15	28	4	1	1	49	18	21	9	1	49
	%	30.6%	57.1%	8.2%	2.0%	2.0%	100.0%	36.7%	42.9%	18.4%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	16	33	3	1	0	53	17	53	10	3	83
	%	30.2%	62.3%	5.7%	1.9%	0.0%	100.0%	20.5%	63.9%	12.0%	3.6%	100.0%
理工	度数	77	175	32	3	2	289	99	263	26	6	397
	%	26.6%	60.6%	11.1%	1.0%	0.7%	100.0%	24.9%	66.2%	6.5%	1.5%	100.0%
合計	度数	149	297	45	5	3	499	148	367	52	10	581
	%	29.9%	59.5%	9.0%	1.0%	0.6%	100.0%	25.5%	63.2%	9.0%	1.7%	100.0%

## Q57 コミュニケーション能力を高めた

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生					
		とても 思う	まあそ う思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	N/A	合計	とても 思う	まあそ う思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	N/A
医学科	度数	7	9	3	1	0	20	5	4	0	0	10
	%	35.0%	45.0%	15.0%	5.0%	0.0%	100.0%	50.0%	40.0%	0.0%	10.0%	100.0%
保健学科	度数	41	43	4	0	0	88	14	25	3	0	42
	%	46.6%	48.9%	4.5%	0.0%	0.0%	100.0%	33.3%	59.5%	7.1%	0.0%	100.0%
教育	度数	17	24	5	2	1	49	15	22	12	0	49
	%	34.7%	49.0%	10.2%	4.1%	2.0%	100.0%	30.6%	44.9%	24.5%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	14	27	8	4	0	53	17	44	17	5	83
	%	26.4%	50.9%	15.1%	7.5%	0.0%	100.0%	20.5%	53.0%	20.5%	6.0%	100.0%
理工	度数	74	153	51	9	2	289	97	219	63	14	397
	%	25.6%	52.9%	17.6%	3.1%	0.7%	100.0%	24.4%	55.2%	15.9%	3.5%	100.0%
合計	度数	153	256	71	16	3	499	148	314	95	20	581
	%	30.7%	51.3%	14.2%	3.2%	0.6%	100.0%	25.5%	54.0%	16.4%	3.4%	100.0%

## Q58 社会で生起する問題に対し主体的に取り組む意欲を持つようになった

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生					
		とても 思う	まあそ う思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	N/A	合計	とても 思う	まあそ う思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	N/A
医学科	度数	5	7	0	0	0	20	3	5	2	0	10
	%	25.0%	35.0%	25.0%	10.0%	5.0%	100.0%	30.0%	50.0%	20.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	25	54	8	0	1	88	15	21	6	0	42
	%	28.4%	61.4%	9.1%	0.0%	1.1%	100.0%	35.7%	50.0%	14.3%	0.0%	100.0%
教育	度数	11	30	5	2	1	49	11	26	12	0	49
	%	22.4%	61.2%	10.2%	4.1%	2.0%	100.0%	22.4%	53.1%	24.5%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	12	30	9	2	0	53	14	51	15	3	83
	%	22.6%	56.6%	17.0%	3.8%	0.0%	100.0%	16.9%	61.4%	18.1%	3.6%	100.0%
理工	度数	48	178	53	8	2	289	49	255	75	14	397
	%	16.6%	61.6%	18.3%	2.8%	0.7%	100.0%	12.3%	64.2%	18.9%	3.5%	100.0%
合計	度数	101	299	80	14	5	499	92	358	110	17	581
	%	20.2%	59.9%	16.0%	2.8%	1.0%	100.0%	15.8%	61.6%	18.9%	2.9%	100.0%

## Q59 自然との共生を基盤とした豊かな人間性と広い視野及び社会的倫理観を身に付けた

		2023年3月卒業生					2022年3月卒業生					
		とても 思う	まあそ う思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	N/A	合計	とても 思う	まあそ う思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	N/A
医学科	度数	6	8	0	0	0	20	2	7	0	0	10
	%	30.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	100.0%	20.0%	70.0%	0.0%	10.0%	100.0%
保健学科	度数	25	53	10	0	0	88	12	22	7	1	42
	%	28.4%	60.2%	11.4%	0.0%	0.0%	100.0%	28.6%	52.4%	16.7%	0.0%	100.0%
教育	度数	10	26	11	1	1	49	8	30	10	1	49
	%	20.4%	53.1%	22.4%	2.0%	2.0%	100.0%	16.3%	61.2%	20.4%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	9	33	8	3	0	53	10	51	19	3	83
	%	17.0%	62.3%	15.1%	5.7%	0.0%	100.0%	12.0%	61.4%	22.9%	3.6%	100.0%
理工	度数	53	170	57	8	1	289	58	249	74	12	397
	%	18.3%	58.8%	19.7%	2.8%	0.3%	100.0%	14.6%	62.7%	18.6%	3.0%	100.0%
合計	度数	103	290	90	14	2	499	90	359	110	17	581
	%	20.6%	58.1%	18.0%	2.8%	0.4%	100.0%	15.5%	61.8%	18.9%	2.9%	100.0%

## Q60 社会から信頼され国内外で活躍することができるようになった

		2023年3月卒業生					N/A	合計	2022年3月卒業生					N/A	合計
		とても 思う	まあ 思う	あまり 思わな い	まった く思わ ない				とても 思う	まあ 思う	あまり 思わな い	まった く思わ ない			
医学科	度数	4	9				20	2	5					10	
	%	20.0%	45.0%	15.0%	20.0%	0.0%	100.0%	20.0%	50.0%	10.0%	20.0%	0.0%	100.0%		
保健学科	度数	11	44	23	10	0	88	5	9	26	2	0	42		
	%	12.5%	50.0%	26.1%	11.4%	0.0%	100.0%	11.9%	21.4%	61.9%	4.8%	0.0%	100.0%		
教育	度数	8	15	15	10	1	49	3	18	19	9	0	49		
	%	16.3%	30.6%	30.6%	20.4%	2.0%	100.0%	6.1%	36.7%	38.8%	18.4%	0.0%	100.0%		
社会情報	度数	6	13	25	9	0	53	5	34	35	9	0	83		
	%	11.3%	24.5%	47.2%	17.0%	0.0%	100.0%	6.0%	41.0%	42.2%	10.8%	0.0%	100.0%		
理工	度数	35	108	101	44	1	289	36	185	126	47	3	397		
	%	12.1%	37.4%	34.9%	15.2%	0.3%	100.0%	9.1%	46.6%	31.7%	11.8%	0.8%	100.0%		
合計	度数	64	189	167	77	2	499	51	251	207	69	3	581		
	%	12.8%	37.9%	33.5%	15.4%	0.4%	100.0%	8.8%	43.2%	35.6%	11.9%	0.5%	100.0%		

## Q61 群馬大学のカリキュラムを全体としてどう評価するか

		2023年3月卒業生					N/A	合計	2022年3月卒業生					N/A	合計
		とても 思う	まあ 思う	あまり 思わな い	まった く思わ ない				十分であ る	おおむね 十分であ る	やや不 十分であ る	不十分 である			
医学科	度数	7	13	0	0		20	3	5					10	
	%	35.0%	65.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.0%	50.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
保健学科	度数	25	58	4	1	0	88	14	26	2	0	0	42		
	%	28.4%	65.9%	4.5%	1.1%	0.0%	100.0%	33.3%	61.9%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%		
教育	度数	16	28	2	2	1	49	9	35	5	0	0	49		
	%	32.7%	57.1%	4.1%	4.1%	2.0%	100.0%	18.4%	71.4%	10.2%	0.0%	0.0%	100.0%		
社会情報	度数	13	36	3	1	0	53	20	54	7	2	0	83		
	%	24.5%	67.9%	5.7%	1.9%	0.0%	100.0%	24.1%	65.1%	8.4%	2.4%	0.0%	100.0%		
理工	度数	55	206	25	1	2	289	89	275	24	7	2	397		
	%	19.0%	71.3%	8.7%	0.3%	0.7%	100.0%	22.4%	69.3%	6.0%	1.8%	0.5%	100.0%		
合計	度数	116	341	34	5	3	499	135	395	40	9	2	581		
	%	23.2%	68.3%	6.8%	1.0%	0.6%	100.0%	23.2%	68.0%	6.9%	1.5%	0.3%	100.0%		



## 7.1.48 資料 6-4：群馬大学大学院全学修了時アンケート調査 集計表

群馬大学大学院全学修了時アンケート調査(2023年3月修了生、2022年3月修了生)  
【教育学研究科】集計表  
回収数:2023年3月修了生1、2022年3月修了生1

Q1 研究科等(略)

Q2 課程(略)

Q3 入学年度(略)

Q4 出身学部

		群馬大学	群馬大学 以外	合計
2022年3月修了生	度数	0	1	1
	%	0.0%	100.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	1	1
	%	0.0%	100.0%	100.0%

Q5 社会人大学院生

		社会人大 大学院生であ る	社会人大 大学院生でな い	合計
2022年3月修了生	度数	0	1	1
	%	0.0%	100.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	1	1
	%	0.0%	100.0%	100.0%

Q6 修了後の進路

		就職する (群馬県 内)	就職する (群馬県 外)	群馬大学 大学院に進 学する	他の大学の 大学院に進 学する	その他	合計
2022年3月修了生	度数	0	0	0	0	1	1
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	0	0	0	1	1
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%

Q7-1 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する研究分野があること

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	1	1
	%	100.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	1	1
	%	100.0%	100.0%

Q7-2 群馬大学大学院に入学を決めた理由:指導教員の資質・能力がすぐれていること

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	1	1
	%	100.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	1	1
	%	100.0%	100.0%

Q7-3 群馬大学大学院に入学を決めた理由:研究施設が十分であること

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	0	1
	%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	1
	%	0.0%	100.0%

Q7-4 群馬大学大学院に入学を決めた理由:資格や免許が取得できること

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	0	1
	%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	1
	%	0.0%	100.0%

Q7-5 群馬大学大学院に入学を決めた理由:将来就きたい職業につながる

		該当する	合計

2022年3月修了生	度数		
	%	100.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数		
	%	100.0%	100.0%

**Q7-6 群馬大学大学院に入学を決めた理由:就職の実績がよいこと**

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	0	
	%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	
	%	0.0%	100.0%

**Q7-7 群馬大学大学院に入学を決めた理由:大学教員からすすめられたこと**

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数		
	%	100.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	
	%	0.0%	100.0%

**Q7-8 群馬大学大学院に入学を決めた理由:経済的な負担が少ないこと**

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数		
	%	100.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	
	%	0.0%	100.0%

**Q7-9 群馬大学大学院に入学を決めた理由:その他**

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	0	
	%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	
	%	0.0%	100.0%

**Q8 入学時、教育ポリシーについて知っていたか**

		とても知っていた	まあ知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	合計
2022年3月修了生	度数	0		0	0	
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0		0	0	
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q9 入学時、満足していたか**

		とても満足して入学した	まあ満足して入学した	あまり満足していないが入学した	まったく満足していないが入学した	合計
2022年3月修了生	度数	0		0	0	
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0		0	0	
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q10 印象に残る経験:相当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやりとげる厳しさがあつた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数		0	0	0	
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数		0	0	0	
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q11 印象に残る経験:実社会との接点を感じることができた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計

2022年3月修了生	度数	0	1	0	0	1
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	1	0	0	1
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q12 印象に残る経験:学問固有の物の見方や考え方に触れられた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q13 印象に残る経験:大学院の個性や特色をいかした教育を受けられた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	1	0	0	1
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q14 印象に残る経験:自分の適性や将来への関心を知ることができた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	1	0	0	1
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q15 印象に残る経験:研究について、相談にのったり支援してくれる人がいた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q16 印象に残る経験:研究以外(進路、人間関係など)について、幅広く相談にのったり支援してくれる人がいた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q17 印象に残る経験:教員の指導に基づきながらも、自主性を尊重されて研究を進められた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q18 印象に残る経験:研究の態度や姿勢が不適切な場合、教員から指導を受けた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	1	0	0	0	1

2023年3月修了生	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	度数	1	0	0	0	
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q19 印象に残る経験:研究の成果を正当に評価された**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	1	0	0	0	
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	1	0	0	0	
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q20 満足度:研究テーマ選択の自由度**

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	度数	1	0	0	0	
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	1	0	0	0	
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q21 満足度:研究テーマに対する指導**

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	度数	1	0	0	0	
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	1	0	0	0	
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q22 満足度:指導教員とのコミュニケーション**

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	度数	0	1	0	0	
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	1	0	0	
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q23 満足度:図書館**

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	度数	1	0	0	0	
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	1	0	0	
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q24 満足度:研究施設・設備・機器等**

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	度数	0	1	0	0	
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	1	0	0	
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q25 満足度:就職支援**

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	度数	0	1	0	0	1
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

2023年3月修了生	度数	0	1	0	0	1
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q26 幅広く豊かな学識を身に付けた**

		とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	合計
2022年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q27 専門分野において自立して研究活動を実践できる能力を身に付けた**

		とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	合計
2022年3月修了生	度数	0	1	0	0	1
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	1	0	0	1
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q28 高度な専門性または国際性を必要とする職業を担う能力を身に付けた**

		とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	合計
2022年3月修了生	度数	0	1	0	0	1
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	1	0	0	1
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q29 研究者・技術者・高度専門職業人としての倫理観を身に付けた**

		とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	合計
2022年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	1	0	0	0	1
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q30 群馬大学大学院のカリキュラムを全体としてどう評価するか**

		十分である	おおむね十 分である	やや不十分 である	不十分であ る	合計
2022年3月修了生	度数	0	1	0	0	1
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	1	0	0	1
	%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

群馬大学大学院全学修了時アンケート調査(2023年3月修了生、2022年3月修了生対象)  
 【社会情報学研究科】集計表  
 回収数:2023年3月修了生7、2022年3月修了生6

## Q1 研究科等(略)

## Q2 課程(略)

## Q3 入学年度(略)

## Q4 出身学部

		群馬大学	群馬大学 以外	合計
2022年3月修了生	度数	0	6	
	%	0.0%	100.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	4	3	
	%	57.1%	42.9%	100.0%

## Q5 社会人大学院生

		社会人大 大学院生であ る	社会人大 大学院生でな い	合計
2022年3月修了生	度数	2	4	
	%	33.3%	66.7%	100.0%
2023年3月修了生	度数	1	6	
	%	14.3%	85.7%	100.0%

## Q6 修了後の進路

		就職する (群馬県 内)	就職する (群馬県 外)	群馬大学 大学院に進 学する	他の大学の 大学院に進 学する	その他	合計
2022年3月修了生	度数	0	3	0	0	3	6
	%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	2	4	0	0	1	7
	%	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	14.3%	100.0%

## Q7-1 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する研究分野があること

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	5	6
	%	83.3%	100.0%
2023年3月修了生	度数	7	7
	%	100.0%	100.0%

## Q7-2 群馬大学大学院に入学を決めた理由:指導教員の資質・能力がすぐれていること

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	2	6
	%	33.3%	100.0%
2023年3月修了生	度数	6	7
	%	85.7%	100.0%

## Q7-3 群馬大学大学院に入学を決めた理由:研究施設が十分であること

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	1	6
	%	16.7%	100.0%
2023年3月修了生	度数	2	7
	%	28.6%	100.0%

## Q7-4 群馬大学大学院に入学を決めた理由:資格や免許が取得できること

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	0	6
	%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	7
	%	0.0%	100.0%

## Q7-5 群馬大学大学院に入学を決めた理由:将来就きたい職業につながる

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	0	6
	%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	7
	%	0.0%	100.0%

**Q7-6 群馬大学大学院に入学を決めた理由:就職の実績がよいこと**

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	0	6
	%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	7
	%	0.0%	100.0%

**Q7-7 群馬大学大学院に入学を決めた理由:大学教員からすすめられたこと**

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	0	6
	%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	2	7
	%	28.6%	100.0%

**Q7-8 群馬大学大学院に入学を決めた理由:経済的な負担が少ないこと**

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	2	6
	%	33.3%	100.0%
2023年3月修了生	度数	3	7
	%	42.9%	100.0%

**Q7-9 群馬大学大学院に入学を決めた理由:その他**

		該当する	合計
2022年3月修了生	度数	2	6
	%	33.3%	100.0%
2023年3月修了生	度数	0	7
	%	0.0%	100.0%

**Q8 入学時、教育ポリシーについて知っていたか**

		とても知っていた	まあ知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	N/A	合計
2022年3月修了生	度数	1	4				
	%	16.7%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	1	3				
	%	14.3%	42.9%	28.6%	0.0%	14.3%	100.0%

**Q9 入学時、満足していたか**

		とても満足して入学した	まあ満足して入学した	あまり満足していないが入学した	まったく満足していないが入学した	合計
2022年3月修了生	度数	2	3	1		
	%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	5	2	0		
	%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q10 印象に残る経験:相当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやりとげる厳しさがあつた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	3	3	0		
	%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	2	5	0		
	%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q11 印象に残る経験:実社会との接点を感じることができた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	0	3	3	0	6
	%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	2	5	0	0	7
	%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q12 印象に残る経験:学問固有の物の見方や考え方に触れられた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	4	2		0	6
	%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	3	4		0	7
	%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q13 印象に残る経験:大学院の個性や特色をいかした教育を受けられた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	2	4		0	6
	%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	3	4		0	7
	%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q14 印象に残る経験:自分の適性や将来への関心を知ることができた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	2	3		0	6
	%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	2	4		0	7
	%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	100.0%

**Q15 印象に残る経験:研究について、相談にのったり支援してくれる人がいた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	4	2		0	6
	%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	4	3		0	7
	%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q16 印象に残る経験:研究以外(進路、人間関係など)について、幅広く相談にのったり支援してくれる人がいた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	2	2		1	6
	%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	100.0%
2023年3月修了生	度数	3	3		0	7
	%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	100.0%

**Q17 印象に残る経験:教員の指導に基づきながらも、自主性を尊重されて研究を進められた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	3	3		0	6
	%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	6	1		0	7
	%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q18 印象に残る経験:研究の態度や姿勢が不適切な場合、教員から指導を受けた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	1	2	3		6
	%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	4	1	1		7
	%	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	100.0%

**Q19 印象に残る経験:研究の成果を正当に評価された**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	度数	2	3	1	0	6
	%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	100.0%



2023年3月修了生	度数	4	3	0	0	7
	%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q20 満足度:研究テーマ選択の自由度**

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	度数	4	1	1		
	%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	6	1	0		
	%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q21 満足度:研究テーマに対する指導**

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	度数	4	1	1		
	%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	7	0	0		
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q22 満足度:指導教員とのコミュニケーション**

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	度数	3	3	0		
	%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	7	0	0		
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q23 満足度:図書館**

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	度数	3	1	1		
	%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	100.0%
2023年3月修了生	度数	4	2	1		
	%	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	100.0%

**Q24 満足度:研究施設・設備・機器等**

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	度数	1	3	2		
	%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	3	2	2		
	%	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	100.0%

**Q25 満足度:就職支援**

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	該当せず(社会人学生)	合計
2022年3月修了生	度数	2	2	0	0		
	%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%
2023年3月修了生	度数	2	2	3			
	%	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q26 幅広く豊かな学識を身に付けた**

		とても思う	まあ思う	あまり思う	まったく思う	合計
2022年3月修了生	度数	1	5			
	%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	5	2			
	%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q27 専門分野において自立して研究活動を実践できる能力を身に付けた**

		とても思う	まあ思う	あまり思う	まったく思う	合計
		思う	う	思わない	思わない	

2022年3月修了生	度数	2	3	1	0	6
	%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	5	2			
	%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q28 高度な専門性または国際性を必要とする職業を担う能力を身に付けた**

		とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	N/A	合計
2022年3月修了生	度数	2	2				
	%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	3	3				
	%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	100.0%

**Q29 研究者・技術者・高度専門職業人としての倫理観を身に付けた**

		とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	合計
2022年3月修了生	度数	2	4			
	%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	5	2			
	%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q30 群馬大学大学院のカリキュラムを全体としてどう評価するか**

		十分である	おおむね十 分である	やや不十分 である	不十分であ る	合計
2022年3月修了生	度数	4	0	2	0	6
	%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	度数	4	3	0	0	7
	%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%

## 群馬大学大学院全学修了時アンケート調査(2023年3月修了生、2022年3月修了生対象)

## 【医学系研究科】集計表

回収数:2023年3月修了生17、2022年3月修了18

## Q1 研究科等(略)

## Q2 課程(略)

## Q3 入学年度(略)

## Q4 出身学部

			群馬大学	群馬大学 以外	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	0	2	2
		%	0.0%	100.0%	100.0%
	博士課程	度数	7	9	16
		%	43.8%	56.3%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	4	1	5
		%	80.0%	20.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	6	12
		%	50.0%	50.0%	100.0%

## Q5 社会人大学院生

			社会人大 大学院生であ る	社会人大 大学院生でな い	N/A	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	1	0	2
		%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	8	7	1	16
		%	50.0%	43.8%	6.3%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	1	4	0	5
		%	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	7	5	0	12
		%	58.3%	41.7%	0.0%	100.0%

## Q6 修了後の進路

			就職する (群馬県 内)	就職する (群馬県 外)	群馬大学 大学院に進 学する	他の大学の 大学院に進 学する	その他	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	0	1	1	0	0	2
		%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	7	2	1	0	6	16
		%	43.8%	12.5%	6.3%	0.0%	37.5%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	0	3	0	1	1	5
		%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	3	0	0	6	12
		%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%

## Q7-1 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する研究分野があること

			該当する	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	2	2
		%	100.0%	100.0%
	博士課程	度数	11	16
		%	68.8%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	5	5
		%	100.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	12
		%	50.0%	100.0%

## Q7-2 群馬大学大学院に入学を決めた理由:指導教員の資質・能力がすぐれていること

			該当する	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	2
		%	50.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	16
		%	25.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	5
		%	60.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	12
		%	50.0%	100.0%

## Q7-3 群馬大学大学院に入学を決めた理由:研究施設が十分であること

			該当する	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	2
		%	50.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	16

2023年3月修了生	修士課程	%	18.8%	100.0%
		度数	2	5
	博士課程	%	40.0%	100.0%
		度数	2	12
		%	16.7%	100.0%

**Q7-4 群馬大学大学院に入学を決めた理由:資格や免許が取得できること**

			該当する	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	2
		%	50.0%	100.0%
	博士課程	度数	1	16
		%	6.3%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	1	5
		%	20.0%	100.0%
	博士課程	度数	0	12
		%	0.0%	100.0%

**Q7-5 群馬大学大学院に入学を決めた理由:将来就きたい職業につながる**

			該当する	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	0	2
		%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	1	16
		%	6.3%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	2	5
		%	40.0%	100.0%
	博士課程	度数	1	12
		%	8.3%	100.0%

**Q7-6 群馬大学大学院に入学を決めた理由:就職の実績がよいこと**

			該当する	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	0	2
		%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	0	16
		%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	0	5
		%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	0	12
		%	0.0%	100.0%

**Q7-7 群馬大学大学院に入学を決めた理由:大学教員からすすめられたこと**

			該当する	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	2
		%	50.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	16
		%	25.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	1	5
		%	20.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	12
		%	25.0%	100.0%

**Q7-8 群馬大学大学院に入学を決めた理由:経済的な負担が少ないこと**

			該当する	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	0	2
		%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	2	16
		%	12.5%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	2	5
		%	40.0%	100.0%
	博士課程	度数	2	12
		%	16.7%	100.0%

**Q7-9 群馬大学大学院に入学を決めた理由:その他**

			該当する	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	0	2
		%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	16
		%	18.8%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	0	5
		%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	1	12
		%	8.3%	100.0%

**Q8 入学時、教育ポリシーについて知っていたか**

			とても知っ ていた	まあ知っ ていた	あまり知ら なかった	まったく知 らなかった	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	0	1	1	0	2
		%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	0	7	7	2	16
		%	0.0%	43.8%	43.8%	12.5%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	2	0	1	2	5
		%	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%	100.0%
	博士課程	度数	2	4	4	2	12
		%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	100.0%

## Q9 入学時、満足していたか

			とても満足 して入学し た	まあ満足 して入学し た	あまり満足 していない が入学した	まったく満 足していな いが入学し た	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	1	0	0	2
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	10	2	0	16
		%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	2	0	0	5
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	4	2	0	12
		%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	100.0%

## Q10 印象に残る経験:相当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやりとげる厳しさがあった

			とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらな い	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	0	2	0	0	2
		%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	7	8	1	0	16
		%	43.8%	50.0%	6.3%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	2	0	0	5
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	8	0	0	12
		%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q11 印象に残る経験:実社会との接点を感じることができた

			とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらな い	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	1	0	0	2
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	2	7	6	1	16
		%	12.5%	43.8%	37.5%	6.3%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	0	2	0	5
		%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	6	0	1	12
		%	41.7%	50.0%	0.0%	8.3%	100.0%

## Q12 印象に残る経験:学問固有の物の見方や考え方に触れられた

			とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらな い	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	1	0	0	2
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	11	1	0	16
		%	25.0%	68.8%	6.3%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	4	1	0	0	5
		%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	7	5	0	0	12
		%	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q13 印象に残る経験:大学院の個性や特色をいかした教育を受けられた

			とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらな い	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	0	1	0	2
		%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	10	3	0	16
		%	18.8%	62.5%	18.8%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	1	0	1	5

	%	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%
博士課程	度数	5	6	1	0	12
	%	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	100.0%

**Q14 印象に残る経験:自分の適性や将来への関心を知ることができた**

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	1	0	0	0	2
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	9	1	0	1	16
		%	31.3%	56.3%	6.3%	0.0%	6.3%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	4	0	0	1	0	5
		%	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	6	1	0	0	12
		%	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q15 印象に残る経験:研究について、相談にのったり支援してくれる人がいた**

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	2	0	0	0	2
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	9	5	2	0	16
		%	56.3%	31.3%	12.5%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	5	0	0	0	5
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	7	0	0	12
		%	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q16 印象に残る経験:研究以外(進路、人間関係など)について、幅広く相談にのったり支援してくれる人がいた**

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	2	0	0	0	2
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	9	2	1	16
		%	25.0%	56.3%	12.5%	6.3%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	4	1	0	0	5
		%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	5	1	1	12
		%	41.7%	41.7%	8.3%	8.3%	100.0%

**Q17 印象に残る経験:教員の指導に基づきながらも、自主性を尊重されて研究を進められた**

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	2	0	0	0	0	2
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	8	1	0	1	16
		%	37.5%	50.0%	6.3%	0.0%	6.3%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	4	1	0	0	0	5
		%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	6	0	0	0	12
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q18 印象に残る経験:研究の態度や姿勢が不適切な場合、教員から指導を受けた**

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	0	1	0	2
		%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	8	3	1	16
		%	25.0%	50.0%	18.8%	6.3%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	2	2	1	0	5
		%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	6	1	0	12
		%	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	100.0%

**Q19 印象に残る経験:研究の成果を正当に評価された**

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計

2022年3月修了生	修士課程	度数	1	1	0	0	2
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	8	2	0	16
		%	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	5	0	0	0	5
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	6	1	0	12
		%	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	100.0%

**Q20 満足度:研究テーマ選択の自由度**

			とても満足 している	まあ満足し ている	あまり満足 していない	まったく満 足していな い	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	1	0	0	2
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	9	1	0	16
		%	37.5%	56.3%	6.3%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	2	0	0	5
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	6	0	0	12
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q21 満足度:研究テーマに対する指導**

			とても満足 している	まあ満足し ている	あまり満足 していない	まったく満 足していな い	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	2	0	0	0	2
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	9	1	0	16
		%	37.5%	56.3%	6.3%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	4	1	0	0	5
		%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	7	0	0	12
		%	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q22 満足度:指導教員とのコミュニケーション**

			とても満足 している	まあ満足し ている	あまり満足 していない	まったく満 足していな い	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	2	0	0	0	2
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	7	8	1	0	16
		%	43.8%	50.0%	6.3%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	2	0	0	5
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	6	0	0	12
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q23 満足度:図書館**

			とても満足 している	まあ満足し ている	あまり満足 していない	まったく満 足していな い	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	0	1	0	2
		%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	13	0	0	16
		%	18.8%	81.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	1	1	0	5
		%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	2	9	1	0	12
		%	16.7%	75.0%	8.3%	0.0%	100.0%

**Q24 満足度:研究施設・設備・機器等**

			とても満足 している	まあ満足し ている	あまり満足 していない	まったく満 足していな い	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	2	0	0	0	2
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	7	9	0	0	16
		%	43.8%	56.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	5	0	0	0	5
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	8	0	0	12
		%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q25 満足度:就職支援

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	該当せず(社会人学生)	N/A	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	0	0	1	0	0	2
		%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	5	2	0	5	0	16
		%	25.0%	31.3%	12.5%	0.0%	31.3%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	1	2	1	1	0	0	5
		%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	1	5	0	1	4	1	12
		%	8.3%	41.7%	0.0%	8.3%	33.3%	8.3%	100.0%

## Q26 幅広く豊かな学識を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	0	2	0	0	2
		%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	10	1	0	16
		%	31.3%	62.5%	6.3%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	1	1	0	5
		%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	6	0	0	12
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q27 専門分野において自立して研究活動を実践できる能力を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	0	1	1	0	0	2
		%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	12	0	0	0	16
		%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	1	1	0	0	5
		%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	6	0	0	1	12
		%	41.7%	50.0%	0.0%	0.0%	8.3%	100.0%

## Q28 高度な専門性または国際性を必要とする職業を担う能力を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	0	1	1	0	2
		%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	12	1	0	16
		%	18.8%	75.0%	6.3%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	2	1	2	0	5
		%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	3	3	0	12
		%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	100.0%

## Q29 研究者・技術者・高度専門職業人としての倫理観を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	0	1	1	0	2
		%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	11	1	0	16
		%	25.0%	68.8%	6.3%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	2	0	0	5
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	6	0	0	12
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q30 群馬大学大学院のカリキュラムを全体としてどう評価するか

			十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	合計
2022年3月修了生	修士課程	度数	1	0	1	0	2
		%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	8	2	0	16
		%	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	1	0	1	5
		%	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%
	博士課程	度数	7	5	0	0	12
		%	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	100.0%



群馬大学大学院全学修了時アンケート調査(2023年3月修了生、2022年3月修了生)  
【保健学研究科】集計表  
回収数:2023年3月修了生18、2022年3月修了生32

Q1 研究科等(略)

Q2 課程(略)

Q3 入学年度(略)

Q4 出身学部

		群馬大学	群馬大学 以外	合計
2022年3月修了生	博士前期課程	度数 14	8	22
	%	63.6%	36.4%	100.0%
博士後期課程	度数	6	4	10
	%	60.0%	40.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数 9	4	13
	%	69.2%	30.8%	100.0%
博士後期課程	度数	3	2	5
	%	60.0%	40.0%	100.0%

Q5 社会人大学院生

		社会人大 大学院生であ る	社会人大 大学院生でな い	合計
2022年3月修了生	博士前期課程	度数 15	7	22
	%	68.2%	31.8%	100.0%
博士後期課程	度数	8	2	10
	%	80.0%	20.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数 9	4	13
	%	69.2%	30.8%	100.0%
博士後期課程	度数	4	1	5
	%	80.0%	20.0%	100.0%

Q6 修了後の進路

		就職する (群馬県 内)	就職する (群馬県 外)	群馬大学 大学院に進 学する	他の大学の 大学院に進 学する	その他	合計
2022年3月修了生	博士前期課程	度数 4	4	8	0	6	22
	%	18.2%	18.2%	36.4%	0.0%	27.3%	100.0%
博士後期課程	度数	6	2	0	0	2	10
	%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数 5	3	2	0	3	13
	%	38.5%	23.1%	15.4%	0.0%	23.1%	100.0%
博士後期課程	度数	1	1	0	0	3	5
	%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	100.0%

Q7-1 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する研究分野があること

		該当する	合計
2022年3月修了生	博士前期課程	度数 16	22
	%	72.7%	100.0%
博士後期課程	度数	8	10
	%	80.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数 11	13
	%	84.6%	100.0%
博士後期課程	度数	2	5
	%	40.0%	100.0%

Q7-2 群馬大学大学院に入学を決めた理由:指導教員の資質・能力がすぐれていること

		該当する	合計
2022年3月修了生	博士前期課程	度数 13	22
	%	59.1%	100.0%
博士後期課程	度数	7	10
	%	70.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数 11	13
	%	84.6%	100.0%
博士後期課程	度数	3	5
	%	60.0%	100.0%

Q7-3 群馬大学大学院に入学を決めた理由:研究施設が十分であること

		該当する	合計
2022年3月修了生	博士前期課程	度数 4	22
	%	18.2%	100.0%
博士後期課程	度数	3	10
	%	30.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数 4	13
	%	30.8%	100.0%
博士後期課程	度数	1	5
	%	20.0%	100.0%

## Q7-4 群馬大学大学院に入学を決めた理由:資格や免許が取得できること

		該当する	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	1	22
	%	4.5%	100.0%
	博士後期課程 度数	1	10
	%	10.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	2	13
	%	15.4%	100.0%
	博士後期課程 度数	0	5
	%	0.0%	100.0%

## Q7-5 群馬大学大学院に入学を決めた理由:将来就きたい職業につながる

		該当する	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	7	22
	%	31.8%	100.0%
	博士後期課程 度数	1	10
	%	10.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	4	13
	%	30.8%	100.0%
	博士後期課程 度数	1	5
	%	20.0%	100.0%

## Q7-6 群馬大学大学院に入学を決めた理由:就職の実績がよいこと

		該当なし	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	2	22
	%	9.1%	100.0%
	博士後期課程 度数	0	10
	%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	1	13
	%	7.7%	100.0%
	博士後期課程 度数	0	5
	%	0.0%	100.0%

## Q7-7 群馬大学大学院に入学を決めた理由:大学教員からすすめられたこと

		該当する	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	4	22
	%	18.2%	100.0%
	博士後期課程 度数	5	10
	%	50.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	2	13
	%	15.4%	100.0%
	博士後期課程 度数	1	5
	%	20.0%	100.0%

## Q7-8 群馬大学大学院に入学を決めた理由:経済的な負担が少ないこと

		該当する	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	8	22
	%	36.4%	100.0%
	博士後期課程 度数	7	10
	%	70.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	4	13
	%	30.8%	100.0%
	博士後期課程 度数	0	5
	%	0.0%	100.0%

## Q7-9 群馬大学大学院に入学を決めた理由:その他

		該当する	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	3	22
	%	13.6%	100.0%
	博士後期課程 度数	0	10
	%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	2	13
	%	15.4%	100.0%
	博士後期課程 度数	1	5
	%	20.0%	100.0%

## Q8 入学時、教育ポリシーについて知っていたか

		とても知っていた	まあ知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	0	10	7	5	22
	%	0.0%	45.5%	31.8%	22.7%	100.0%
	博士後期課程 度数	0	5	3	2	10
	%	0.0%	50.0%	30.0%	20.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	1	10	2	0	13
	%	7.7%	76.9%	15.4%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	1	0	4	0	5
	%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	100.0%

## Q9 入学時、満足していたか

		とても満足して入学した	まあ満足して入学した	あまり満足していないが入学した	まったく満足していないが入学した	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	11	9	2	0	22
	%	50.0%	40.9%	9.1%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	5	5	0	0	10
	%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	7	6	0	0	13
	%	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	2	2	1	0	5
	%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%

## Q10 印象に残る経験:相当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやりとげる厳しさがあつた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	13	9	0	0	22
	%	59.1%	40.9%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	5	5	0	0	10
	%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	10	3	0	0	13
	%	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	5	0	0	0	5
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q11 印象に残る経験:実社会との接点を感じることができた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	4	9	8	1	22
	%	18.2%	40.9%	36.4%	4.5%	100.0%
	博士後期課程 度数	1	8	0	1	10
	%	10.0%	80.0%	0.0%	10.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	6	5	2	0	13
	%	46.2%	38.5%	15.4%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	1	0	4	0	5
	%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	100.0%

## Q12 印象に残る経験:学問固有の物の見方や考え方に触れられた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	15	7	0	0	22
	%	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	5	5	0	0	10
	%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	9	4	0	0	13
	%	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	3	2	0	0	5
	%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q13 印象に残る経験:大学院の個性や特色をいかした教育を受けられた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	13	8	1	0	22
	%	59.1%	36.4%	4.5%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	2	6	1	1	10
	%	20.0%	60.0%	10.0%	10.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	7	6	0	0	13
	%	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	2	2	1	0	5
	%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%

## Q14 印象に残る経験:自分の適性や将来への関心を知ることができた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	16	5	1	0	22
	%	72.7%	22.7%	4.5%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	4	5	0	1	10
	%	40.0%	50.0%	0.0%	10.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	8	5	0	0	13
	%	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	1	1	3	0	5

		%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	100.0%			
<b>Q15 印象に残る経験:研究について、相談のつたり支援してくれる人がいた</b>										
		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計				
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	19	3	0	0	22			
		%	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	100.0%			
	博士後期課程	度数	3	6	1	0	10			
		%	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	100.0%			
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	12	1	0	0	13			
		%	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%			
	博士後期課程	度数	3	1	1	0	5			
		%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%			
<b>Q16 印象に残る経験:研究以外(進路、人間関係など)について、幅広く相談のつたり支援してくれる人がいた</b>										
		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計			
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	10	11	0	1	0	22		
		%	45.5%	50.0%	0.0%	4.5%	0.0%	100.0%		
	博士後期課程	度数	3	5	2	0	0	10		
		%	30.0%	50.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	7	4	1	0	1	13		
		%	53.8%	30.8%	7.7%	0.0%	7.7%	100.0%		
	博士後期課程	度数	1	2	1	1	0	5		
		%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%		
<b>Q17 印象に残る経験:教員の指導に基づきながらも、自主性を尊重されて研究を進められた</b>										
		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計				
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	14	8	0	0	22			
		%	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	100.0%			
	博士後期課程	度数	2	8	0	0	10			
		%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	8	5	0	0	13			
		%	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%	100.0%			
	博士後期課程	度数	3	1	1	0	5			
		%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%			
<b>Q18 印象に残る経験:研究の態度や姿勢が不適切な場合、教員から指導を受けた</b>										
		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計			
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	9	9	2	1	1	22		
		%	40.9%	40.9%	9.1%	4.5%	4.5%	100.0%		
	博士後期課程	度数	1	5	3	1	0	10		
		%	10.0%	50.0%	30.0%	10.0%	0.0%	100.0%		
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	9	3	1	0	0	13		
		%	69.2%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%		
	博士後期課程	度数	1	2	2	0	0	5		
		%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
<b>Q19 印象に残る経験:研究の成果を正当に評価された</b>										
		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計				
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	11	11	0	0	22			
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
	博士後期課程	度数	3	5	2	0	10			
		%	30.0%	50.0%	20.0%	0.0%	100.0%			
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	5	8	0	0	13			
		%	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	100.0%			
	博士後期課程	度数	2	3	0	0	5			
		%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
<b>Q20 満足度:研究テーマ選択の自由度</b>										
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計				
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	12	10	0	0	22			
		%	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	100.0%			
	博士後期課程	度数	4	6	0	0	10			
		%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	10	3	0	0	13			
		%	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	100.0%			
	博士後期課程	度数	3	2	0	0	5			

		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
<b>Q21 満足度:研究テーマに対する指導</b>							
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計	
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	15	7	0	0	22
		%	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	5	4	1	0	10
		%	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	10	3	0	0	13
		%	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	3	0	2	0	5
		%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	100.0%
<b>Q22 満足度:指導教員とのコミュニケーション</b>							
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったくあてはまらない	合計	
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	16	6	0	0	22
		%	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	4	5	1	0	10
		%	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	10	3	0	0	13
		%	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	2	1	0	5
		%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
<b>Q23 満足度:図書館</b>							
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計	
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	2	12	7	1	22
		%	9.1%	54.5%	31.8%	4.5%	100.0%
	博士後期課程	度数	3	6	0	1	10
		%	30.0%	60.0%	0.0%	10.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	5	7	1	0	13
		%	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	2	1	0	5
		%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
<b>Q24 満足度:研究施設・設備・機器等</b>							
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計	
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	6	14	1	1	22
		%	27.3%	63.6%	4.5%	4.5%	100.0%
	博士後期課程	度数	5	4	1	0	10
		%	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	7	5	1	0	13
		%	53.8%	38.5%	7.7%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	2	1	0	5
		%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
<b>Q25 満足度:就職支援</b>							
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	該当せず(社会人学生)	合計
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	4	3	2	0	13
		%	18.2%	13.6%	9.1%	0.0%	59.1%
	博士後期課程	度数	0	5	1	0	4
		%	0.0%	50.0%	10.0%	0.0%	40.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	4	2	0	0	7
		%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	53.8%
	博士後期課程	度数	0	0	1	0	4
		%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%
<b>Q26 幅広く豊かな学識を身に付けた</b>							
		とても思う	まあ思う	あまり思う	まったく思う	合計	
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	10	12	0	0	22
		%	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	4	5	1	0	10
		%	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	5	8	0	0	13
		%	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	3	1	0	5
		%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	100.0%

## Q27 専門分野において自立して研究活動を実践できる能力を身に付けた

		とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそ う思わない	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	6	14	2	0	22
	%	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	3	6	1	0	10
	%	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	5	8	0	0	13
	%	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	1	2	2	0	5
	%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	100.0%

## Q28 高度な専門性または国際性を必要とする職業を担う能力を身に付けた

		とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそ う思わない	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	3	18	1	0	22
	%	13.6%	81.8%	4.5%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	2	7	1	0	10
	%	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	3	8	2	0	13
	%	23.1%	61.5%	15.4%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	1	1	3	0	5
	%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	100.0%

## Q29 研究者・技術者・高度専門職業人としての倫理観を身に付けた

		とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそ う思わない	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	8	13	1	0	0	22
	%	36.4%	59.1%	4.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	6	4	0	0	0	10
	%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	6	7	0	0	0	13
	%	46.2%	53.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	1	3	0	0	1	5
	%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%

## Q30 群馬大学大学院のカリキュラムを全体としてどう評価するか

		十分である	おおむね十 分である	やや不十分 である	不十分であ る	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	10	11	1	0	0
	%	45.5%	50.0%	4.5%	0.0%	0.0%
	博士後期課程 度数	6	4	0	0	0
	%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	7	6	0	0	13
	%	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	1	4	0	0	5
	%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	100.0%

群馬大学大学院全学修了時アンケート調査(2023年3月修了生、2022年3月修了生)  
【理工学府】集計表  
回収数:2023年3月修了生246、2022年3月修了生188

## Q1 研究科等(略)

## Q2 課程(略)

## Q3 入学年度(略)

## Q4 出身学部

		群馬大学	群馬大学 以外	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程	166	11	2	179
	度数 %	92.7%	6.1%	1.1%	100.0%
2022年3月修了生	博士後期課程	0	9	0	9
	度数 %	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	213	12	1	226
	度数 %	94.2%	5.3%	0.4%	100.0%
2023年3月修了生	博士後期課程	9	11	0	20
	度数 %	45.0%	55.0%	0.0%	100.0%

## Q5 社会人大学院生

		社会人大 大学院生であ る	社会人大 大学院生でな い	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程	4	175	0	179
	度数 %	2.2%	97.8%	0.0%	100.0%
2022年3月修了生	博士後期課程	2	7	0	9
	度数 %	22.2%	77.8%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	1	224	1	226
	度数 %	0.4%	99.1%	0.4%	100.0%
2023年3月修了生	博士後期課程	5	15	0	20
	度数 %	25.0%	75.0%	0.0%	100.0%

## Q6 修了後の進路

		就職する (群馬県 内)	就職する (群馬県 外)	群馬大学 大学院に進 学する	他の大学の 大学院に進 学する	その他	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程	23	145	6	2	3	0	179
	度数 %	12.8%	81.0%	3.4%	1.1%	1.7%	0.0%	100.0%
2022年3月修了生	博士後期課程	1	4	0	0	4	0	9
	度数 %	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	40	171	8	1	4	2	226
	度数 %	17.7%	75.7%	3.5%	0.4%	1.8%	0.9%	100.0%
2023年3月修了生	博士後期課程	1	8	0	0	11	0	20
	度数 %	5.0%	40.0%	0.0%	0.0%	55.0%	0.0%	100.0%

## Q7-1 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する研究分野があること

		該当する	合計
2022年3月修了生	博士前期課程	93	179
	度数 %	52.0%	100.0%
2022年3月修了生	博士後期課程	9	9
	度数 %	100.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	126	226
	度数 %	55.8%	100.0%
2023年3月修了生	博士後期課程	18	20
	度数 %	90.0%	100.0%

## Q7-2 群馬大学大学院に入学を決めた理由:指導教員の資質・能力がすぐれていること

		該当する	合計
2022年3月修了生	博士前期課程	59	179
	度数 %	33.0%	100.0%
2022年3月修了生	博士後期課程	8	9
	度数 %	88.9%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	49	226
	度数 %	21.7%	100.0%
2023年3月修了生	博士後期課程	15	20
	度数 %	75.0%	100.0%

## Q7-3 群馬大学大学院に入学を決めた理由:研究施設が十分であること

		該当する	合計
2022年3月修了生	博士前期課程	36	179
	度数 %	20.1%	100.0%
2022年3月修了生	博士後期課程	4	9
	度数 %	44.4%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	38	226
	度数 %	16.8%	100.0%

	博士後期課程	度数	8	20					
		%	40.0%	100.0%					
<b>Q7-4 群馬大学大学院に入学を決めた理由:資格や免許が取得できること</b>									
			該当する	合計					
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	5	179					
		%	2.8%	100.0%					
	博士後期課程	度数	0	9					
		%	0.0%	100.0%					
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	5	226					
		%	2.2%	100.0%					
	博士後期課程	度数	2	20					
		%	10.0%	100.0%					
<b>Q7-5 群馬大学大学院に入学を決めた理由:将来就きたい職業につながる</b>									
			該当する	合計					
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	67	179					
		%	37.4%	100.0%					
	博士後期課程	度数	1	9					
		%	11.1%	100.0%					
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	80	226					
		%	35.4%	100.0%					
	博士後期課程	度数	7	20					
		%	35.0%	100.0%					
<b>Q7-6 群馬大学大学院に入学を決めた理由:就職の実績がよいこと</b>									
			該当する	合計					
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	33	179					
		%	18.4%	100.0%					
	博士後期課程	度数	1	9					
		%	11.1%	100.0%					
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	50	226					
		%	22.1%	100.0%					
	博士後期課程	度数	1	20					
		%	5.0%	100.0%					
<b>Q7-7 群馬大学大学院に入学を決めた理由:大学教員からすすめられたこと</b>									
			該当する	合計					
2021年3月修了生	博士前期課程	度数	16	179					
		%	8.9%	100.0%					
	博士後期課程	度数	5	9					
		%	55.6%	100.0%					
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	22	226					
		%	9.7%	100.0%					
	博士後期課程	度数	5	20					
		%	25.0%	100.0%					
<b>Q7-8 群馬大学大学院に入学を決めた理由:経済的な負担が少ないこと</b>									
			該当する	合計					
2021年3月修了生	博士前期課程	度数	44	179					
		%	24.6%	100.0%					
	博士後期課程	度数	4	9					
		%	44.4%	100.0%					
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	59	226					
		%	26.1%	100.0%					
	博士後期課程	度数	8	20					
		%	40.0%	100.0%					
<b>Q7-9 群馬大学大学院に入学を決めた理由:その他</b>									
			該当する	合計					
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	13	179					
		%	7.3%	100.0%					
	博士後期課程	度数	0	9					
		%	0.0%	100.0%					
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	20	226					
		%	8.8%	100.0%					
	博士後期課程	度数	1	20					
		%	5.0%	100.0%					
<b>Q8 入学時、教育ポリシーについて知っていたか</b>									
			とても知っていた	まあ知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	合計		
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	4	97	54	24	179		
		%	2.2%	54.2%	30.2%	13.4%	100.0%		
	博士後期課程	度数	2	5	2	0	9		
		%	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%	100.0%		



2023年3月修了生	博士前期課程	度数	11	109	78	28	226
		%	4.9%	48.2%	34.5%	12.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	13	4	1	20
		%	10.0%	65.0%	20.0%	5.0%	100.0%

## Q9 入学時、満足していたか

		とても満足して入学した	まあ満足して入学した	あまり満足していないが入学した	まったく満足していないが入学した	合計	
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	53	118	8	0	179
		%	29.6%	65.9%	4.5%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	7	2	0	0	9
		%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	68	143	12	3	226
		%	30.1%	63.3%	5.3%	1.3%	100.0%
	博士後期課程	度数	13	7	0	0	20
		%	65.0%	35.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q10 印象に残る経験:相当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやりとげる厳しさがあった

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	86	88	5	0	179
		%	48.0%	49.2%	2.8%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	6	3	0	0	9
		%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	102	101	20	3	226
		%	45.1%	44.7%	8.8%	1.3%	100.0%
	博士後期課程	度数	10	8	2	0	20
		%	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	100.0%

## Q11 印象に残る経験:実社会との接点を感じることができた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	52	69	52	6	179
		%	29.1%	38.5%	29.1%	3.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	3	5	1	0	9
		%	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	30	107	74	15	226
		%	13.3%	47.3%	32.7%	6.6%	100.0%
	博士後期課程	度数	10	9	1	0	20
		%	50.0%	45.0%	5.0%	0.0%	100.0%

## Q12 印象に残る経験:学問固有の物の見方や考え方に触れられた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計	
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	86	80	13	0	0	179
		%	48.0%	44.7%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	博士後期課程	度数	3	6	0	0	0	9
		%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	100	107	14	4	1	226
		%	44.2%	47.3%	6.2%	1.8%	0.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	15	3	1	0	0	19
		%	78.9%	15.8%	5.3%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q13 印象に残る経験:大学院の個性や特色をいかした教育を受けられた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計	
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	56	91	28	4	0	179
		%	31.3%	50.8%	15.6%	2.2%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	4	4	1	0	0	9
		%	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	68	122	27	7	2	226
		%	30.1%	54.0%	11.9%	3.1%	0.9%	100.0%
	博士後期課程	度数	11	7	2	0	0	20
		%	55.0%	35.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q14 印象に残る経験:自分の適性や将来への関心を知ることができた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計	
2022年3月修了生	博士前期課程	度数	73	90	13	3	0	179

	%	40.8%	50.3%	7.3%	1.7%	0.0%	100.0%
	度数	6	1	1	1	0	9
2023年3月修了生	%	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	100.0%
	度数	92	117	13	3	1	226
	%	40.7%	51.8%	5.8%	1.3%	0.4%	100.0%
	度数	11	8	1	0	0	20
	%	55.0%	40.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q15 印象に残る経験：研究について、相談ののり支援してくれる人がいた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	108	54	14	2	1	179
	%	60.3%	30.2%	7.8%	1.1%	0.6%	100.0%
	博士後期課程 度数	3	6	0	0	0	9
	%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	144	65	12	5	0	226
	%	63.7%	28.8%	5.3%	2.2%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	13	5	2	0	0	20
	%	65.0%	25.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q16 印象に残る経験：研究以外（進路、人間関係など）について、幅広く相談ののり支援してくれる人がいた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	75	73	25	5	1	179
	%	41.9%	40.8%	14.0%	2.8%	0.6%	100.0%
	博士後期課程 度数	3	4	1	1	0	9
	%	33.3%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	94	97	28	6	1	226
	%	41.6%	42.9%	12.4%	2.7%	0.4%	100.0%
	博士後期課程 度数	11	4	5	0	0	20
	%	55.0%	20.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q17 印象に残る経験：教員の指導に基づきながらも、自主性を尊重されて研究を進められた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	103	64	5	7	0	179
	%	57.5%	35.8%	2.8%	3.9%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	7	2	0	0	0	9
	%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	133	84	6	2	1	226
	%	58.8%	37.2%	2.7%	0.9%	0.4%	100.0%
	博士後期課程 度数	15	3	2	0	0	20
	%	75.0%	15.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q18 印象に残る経験：研究の態度や姿勢が不適切な場合、教員から指導を受けた**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	50	81	28	20	0	179
	%	27.9%	45.3%	15.6%	11.2%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	4	3	2	0	0	9
	%	44.4%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	55	105	50	16	0	226
	%	24.3%	46.5%	22.1%	7.1%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	9	9	1	0	1	20
	%	45.0%	45.0%	5.0%	0.0%	5.0%	100.0%

**Q19 印象に残る経験：研究の成果を正当に評価された**

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	79	86	7	6	1	179
	%	44.1%	48.0%	3.9%	3.4%	0.6%	100.0%
	博士後期課程 度数	5	4	0	0	0	9
	%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	96	114	12	4	0	226
	%	42.5%	50.4%	5.3%	1.8%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	13	6	1	0	0	20
	%	65.0%	30.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**Q20 満足度：研究テーマ選択の自由度**

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	73	90	13	3	0	179
	%	40.8%	50.3%	7.3%	1.7%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	7	2	0	0	0	9
	%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	89	110	20	6	1	226
	%	39.4%	48.7%	8.8%	2.7%	0.4%	100.0%
	博士後期課程 度数	13	6	0	1	0	20
	%	65.0%	30.0%	0.0%	5.0%	0.0%	100.0%

## Q21 満足度:研究テーマに対する指導

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	100	65	12	2	179
	%	55.9%	36.3%	6.7%	1.1%	100.0%
	博士後期課程 度数	7	2	0	0	9
	%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	111	93	16	6	226
	%	49.1%	41.2%	7.1%	2.7%	100.0%
	博士後期課程 度数	13	6	1	0	20
	%	65.0%	30.0%	5.0%	0.0%	100.0%

## Q22 満足度:指導教員とのコミュニケーション

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	96	67	13	3	179
	%	53.6%	37.4%	7.3%	1.7%	100.0%
	博士後期課程 度数	7	2	0	0	9
	%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	110	90	24	2	226
	%	48.7%	39.8%	10.6%	0.9%	100.0%
	博士後期課程 度数	13	5	2	0	20
	%	65.0%	25.0%	10.0%	0.0%	100.0%

## Q23 満足度:図書館

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	43	98	30	8	0	179
	%	24.0%	54.7%	16.8%	4.5%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	5	3	1	0	0	9
	%	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	57	118	42	8	1	226
	%	25.2%	52.2%	18.6%	3.5%	0.4%	100.0%
	博士後期課程 度数	10	10	0	0	0	20
	%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q24 満足度:研究施設・設備・機器等

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	48	106	22	3	179
	%	26.8%	59.2%	12.3%	1.7%	100.0%
	博士後期課程 度数	3	5	1	0	9
	%	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	60	124	35	7	226
	%	26.5%	54.9%	15.5%	3.1%	100.0%
	博士後期課程 度数	14	5	1	0	20
	%	70.0%	25.0%	5.0%	0.0%	100.0%

## Q25 満足度:就職支援

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	該当せず(社会人学生)	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	39	94	35	10	0	1	179
	%	21.8%	52.5%	19.6%	5.6%	0.0%	0.6%	100.0%
	博士後期課程 度数	2	5	0	0	2	0	9
	%	22.2%	55.6%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	46	115	51	14	0	0	226
	%	20.4%	50.9%	22.6%	6.2%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程 度数	5	8	3	0	3	1	20
	%	25.0%	40.0%	15.0%	0.0%	15.0%	5.0%	100.0%

## Q26 幅広く豊かな学識を身に付けた

		とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	54	109	15	1	179
	%	30.2%	60.9%	8.4%	0.6%	100.0%
	博士後期課程 度数	5	3	1	0	9
	%	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	67	130	25	4	226
	%	29.6%	57.5%	11.1%	1.8%	100.0%
	博士後期課程 度数	11	9	0	0	20
	%	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q27 専門分野において自立して研究活動を実践できる能力を身に付けた

		とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	59	102	15	2	1	179
	%	33.0%	57.0%	8.4%	1.1%	0.6%	100.0%
	博士後期課程 度数	5	4	0	0	0	9
	%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	74	127	18	6	1	226
	%	32.7%	56.2%	8.0%	2.7%	0.4%	100.0%
	博士後期課程 度数	12	8	0	0	0	20
	%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q28 高度な専門性または国際性を必要とする職業を担う能力を身に付けた

		とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	31	95	47	6	179
	%	17.3%	53.1%	26.3%	3.4%	100.0%
	博士後期課程 度数	4	5	0	0	9
	%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	44	114	61	7	226
	%	19.5%	50.4%	27.0%	3.1%	100.0%
	博士後期課程 度数	11	9	0	0	20
	%	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q29 研究者・技術者・高度専門職業人としての倫理観を身に付けた

		とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	N/A	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	46	120	12	0	1	179
	%	25.7%	67.0%	6.7%	0.0%	0.6%	100.0%
	博士後期課程 度数	6	3	0	0	0	9
	%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	62	141	18	4	1	226
	%	27.4%	62.4%	8.0%	1.8%	0.4%	100.0%
	博士後期課程 度数	12	8	0	0	0	20
	%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## Q30 群馬大学大学院のカリキュラムを全体としてどう評価するか

		十分である	おおむね十 分である	やや不十分 である	不十分であ る	合計
2022年3月修了生	博士前期課程 度数	62	105	11	1	179
	%	34.6%	58.7%	6.1%	0.6%	100.0%
	博士後期課程 度数	7	2	0	0	9
	%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	100.0%
2023年3月修了生	博士前期課程 度数	58	144	22	2	226
	%	25.7%	63.7%	9.7%	0.9%	100.0%
	博士後期課程 度数	11	9	0	0	20
	%	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## 7.1.49 資料 6-5：大学教育センター学部教務委員会提出資料「2022 年度末実施各種学生アンケート結果のポイント」

### 2022年度末実施各種学生アンケート結果のポイント

2023 年 5 月 9 日

二宮 祐(大学教育・学生支援機構教育改革推進室)

#### 学習ふりかえりアンケート(学部 1~3 年生対象(医学科のみ学部 1~5 年生対象))

- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行以降、学習に対して積極的になっている様子が窺える。
  - 設問 06 授業や勉強の様子 B授業の予習や復習をした  
2022 年度末実施 1~3 年生合計 「とても」(22.3%)+「まあ」(54.2%)=76.5%  
(2019 年度末実施 51.9%)
  - 設問 10 授業や勉強の様子 F興味をもったことについて自主的に勉強した  
2022 年度末実施 1~3 年生合計 「とても」(28.3%)+「まあ」(49.9%)=78.2%  
(2019 年度末実施 32.4%)
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の収束傾向に関連して、2020 年度において低調であった「身についた」実感が回復している。
  - 設問 12 どの程度身についたか A人と協力しながらものごとを進める  
2022 年度末実施 1~3 年生 「とても」(43.8%)+「まあ」(49.0%)=92.8%  
(2020 年度末実施 76.6%)
- 上記の「身についた」感覚はコーホートでも改善している。
  - 設問 12 どの程度身についたか A人と協力しながらものごとを進める  
2020 年度末実施 1 年生 「とても」(26.1%)+「まあ」(51.0%)=77.1%  
2021 年度末実施 2 年生 「とても」(35.8%)+「まあ」(53.7%)=89.5%  
2022 年度末実施 3 年生 「とても」(43.6%)+「まあ」(46.3%)=89.9%
- クラブ・サークル活動の時間はやや長くなった傾向がある。
  - 設問 27 授業期間中 1 日あたり生活時間 Cクラブ・サークル活動  
2022 年度末実施 1 年生 「1 時間未満」53.5%  
(2020 年度末実施 1 年生 「1 時間未満」71.8%)
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の収束傾向に関連して、2020 年度において低調であった普段の生活における人間関係が回復している。
  - 設問 30 普段の生活 B勉強について相談できる友だちや先輩がいた  
2022 年度末実施 1~3 年生 「とても」(49.1%)+「まあ」(37.4%)=86.5%  
(2020年度末実施 69.5%)
- 群馬大学ディプロマポリシーに関連する、「専門的学識・技能の修得」などの経験については安定して好調な回答となっている。
  - 設問 51 身につけることにつながる経験 A 専門的学識・技能の修得  
2022 年度末実施 1~3 年生 「とても」(23.5%)+「まあ」(62.8%)=86.3%  
(2020 年度末実施 83.5%)

### 全学卒業時アンケート調査

- 学習に対して前向きな姿勢であったという回答を得ている。
  - Q12 学習の様子:授業に真面目に出席した  
2023年3月卒業生 「とても」(52.5%)+「まあ」(41.9%)=94.4%  
(2022年3月卒業生 90.9%)
  - Q15 学習の様子:グループワークやディスカッションに、積極的に参加した  
2023年3月卒業生 「とても」(30.1%)+「まあ」(56.9%)=87.0%  
(2022年3月卒業生 86.9%)
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受けている(2020年4月に2年生)ためか、肯定的な回答の割合が高い項目がある。
  - Q17 学習の様子:興味をもったことについて自主的に勉強した  
2023年3月卒業生 「とても」(27.9%)+「まあ」(53.3%)=81.2%  
(2022年3月卒業生 30.1%)
  - Q18 学習の様子:進路や将来について積極的に考えた  
2023年3月卒業生 「とても」(40.5%)+「まあ」(38.3%)=78.8%  
(2022年3月卒業生 28.9%)
- 群馬大学ディプロマポリシーに関連する、「専門的学識・技能の修得」などの経験についても安定して好調な回答となっている。
  - Q52 専門的学識・技能を修得した  
2023年3月卒業生 「とても」(34.3%)+「まあ」(57.5%)=91.8%  
(2022年3月卒業生 86.2%)
  - Q56 論理的思考力を身に付けた  
2023年3月卒業生 「とても」(29.9%)+「まあ」(59.5%)=89.4%  
(2022年3月卒業生 88.4%)

## 7.1.50 資料 6-6：第 14 回全学FD連続講演会「大学教育のグランドデザイン」開催案内

### 第 14 回 全学FD連続講演会 「大学教育のグランドデザイン」 大学院改革について ～ 筑波大学の取組 ～

**日 時：**令和 4 年 11 月 7 日（月）14 時 30 分～16 時 30 分（予定）

**実施方法：**Zoom によるオンライン開催

#### 【概要】

全学 FD 連続講演会「大学教育のグランドデザイン」は、平成 21 年度から毎年、学外から大学教育の専門家をお招きして実施しています。

今年度は本学においても、令和 6 年度の設置に向けて検討を進めております「大学院改革」について、先行する筑波大学の取組を、ご紹介いただきます。

#### 【内容】

時間	内容	講演者等
14:30	開会・挨拶	理事（教育・評価担当） 林 邦彦
14:35～15:20	筑波大学の取組 ①（45 分） <u>筑波大学の学位プログラム制について</u>	筑波大学 特命教授/ 学長特別補佐 沼田 治 先生
15:20～15:30	質疑応答 ①（10 分）	
15:30～16:15	筑波大学の取組 ②（45 分） <u>筑波大学における教学マネジメントの充実について</u>	筑波大学 芸術系教授/ 教学マネジメント室長 山中 敏正 先生
16:15～16:25	質疑応答 ②（10 分）	
16:30	閉会・挨拶	

（司会：教育改革推進室 二宮 祐）

#### 【参加方法】

- 時間になりましたら、以下により Zoom にアクセスしてください。

（URL）<https://gunma-u-ac-jp.zoom.us/j/82789187107?pwd=QlRxOWJ6cFIMcmZzNTh2Y3RTazAwdz09>

（ミーティング ID） 827 8918 7107 （パスコード） 178278

- 事前の参加登録は必要ありませんが、FD として参加実績を把握する必要がありますので

**参加者は、講演会当日に、必ず以下の URL（Google Forms）から、出席登録をお願いします。**

（出席登録 URL）<https://forms.gle/6YSyoFvM3txzkfmr6>

（主催：大学教育・学生支援機構）

7.1.51 資料 6-7：教育改革推進室監修・群馬大学演劇部製作動画「徹底解説!!正しいレポートの書き方」

